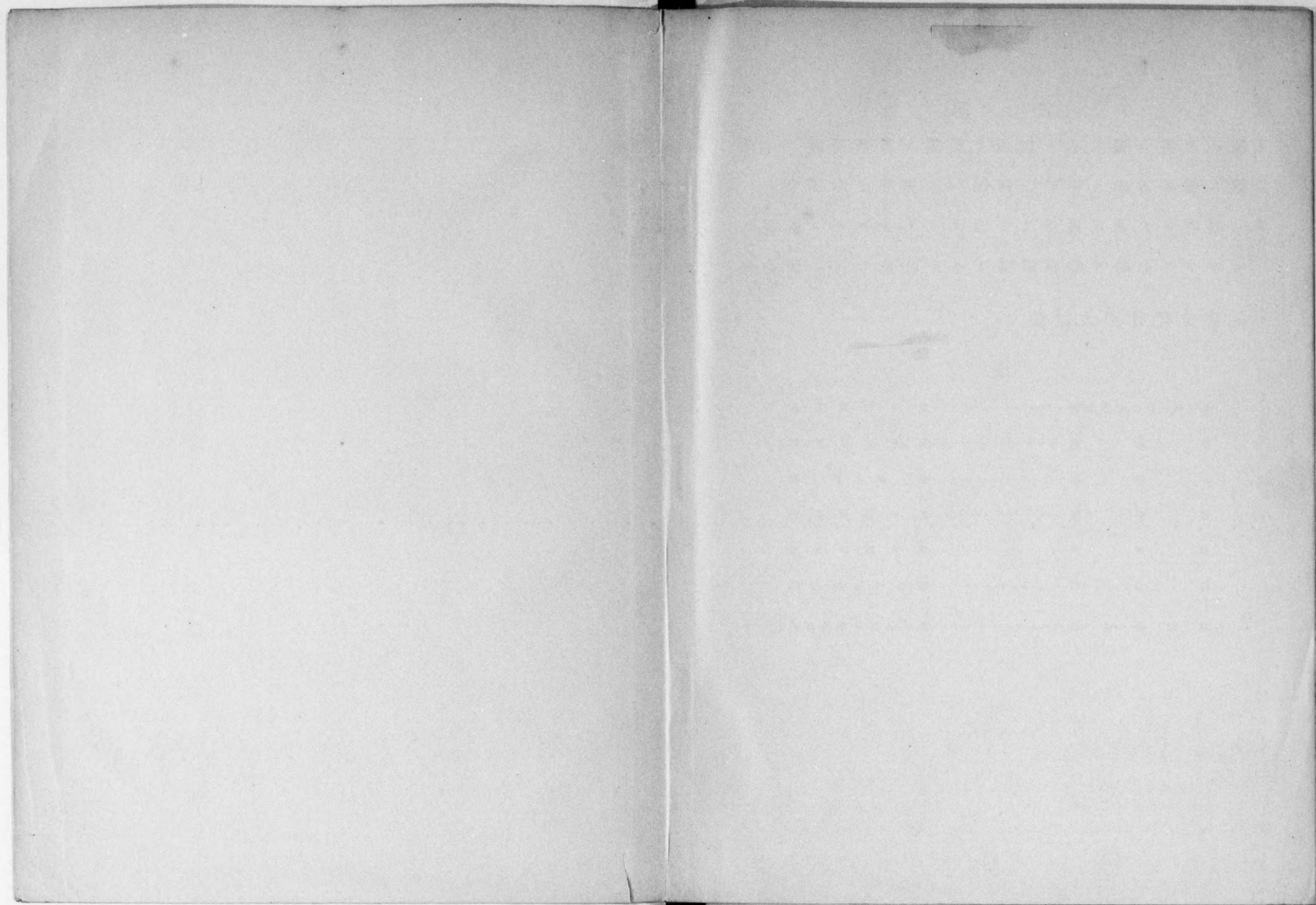




始





緒 言

本書ハ遞信事業ノ狀況ヲ通覽スルノ便ニ供スル爲主トシテ昭和七年度(若ハ昭和七年中)ノ本省事務ノ概要ヲ蒐録シタルモノトス而シテ計數ニ關スル詳細ハ關係各局ニ於テ發刊セル下記印刷物ヲ參照アリタシ

遞信大臣官房文書課

記

通信統計要覽	郵務、電務、工務三局共編
電氣事業要覽	電 氣 局
海 事 摘 要	管 船 局
航空統計年報	航 空 局
經理事務年報	經 理 局
貯金局統計年報	貯 金 局
簡易保險局統計年報	簡 易 保 險 局

14.4
77x

目次

CONTENTS

第一編 總說

Chapter 1. General Remarks

遞信省沿革略誌.....1

第一章 法 規.....11

Section 1. Laws and Regulations

第二章 官 制.....11

Section 2. Government Organisations etc.

第三章 遞信公報及文書.....13

Section 3. Official Gazette and Documents

遞信公報發行數(自大正十二年度
至昭和七年度).....13

文書取扱件數(自大正十三年
至昭和七年).....14

第四章 職 員.....16

Section 4. Personnel

遞信省所屬職員(自大正十二年度末
至昭和七年度末).....16

休 職 者.....18

外國留學者及出張者.....18

第五章 遞信官吏練習所.....18

Section 5. Training School of Communication

Officials

無線技術者ノ養成.....18

學生異動及現員(自大正十二年度
至昭和七年度).....19

入學志願者及合格者(同上).....20

第六章 共 濟 組 合.....21

Section 6. Mutual Aid Association

事 業 成 績(自大正十二年度
至昭和七年度).....21

第七章 遞 信 博 物 館.....22

Section 7. Communication Museum

陳列品ノ縱覽.....22

陳列品ノ増加.....22

陳列品ノ貸出及出品.....22

意匠圖案及寫真.....22

事業用機械器具ノ研究及改良.....22

郵便車、郵便船室ノ設備改善.....22

第八章 遞信事業ノ狀況.....22

Section 8. Condition of Communications

內地遞信事業概括表

第九章 會 議.....23

Section 9. Conference

第十章 歲入及歲出.....23

Section 10. Revenue and Expenditure

歲入歲出豫算及決算額(昭和七年度).....25

歲入歲出決算額(自大正十二年度
至昭和六年度).....28

第十一章 財 產.....29

Section 11. Property

土 地 面 積(自大正十二年度
至昭和七年度).....29

建 物 面 積(自大正十二年度末
至昭和七年度末).....30

船 舶(同 上).....31

第二編 通 信

Chapter 2. Communications

郵務、電務、工務各局沿革略誌.....33

第一章 郵便電信及電話局所.....57

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便局所開廢.....57

電信及電話局所開廢.....58

郵便電信電話局所數(自大正十二年度至昭和七年度).....59

郵便電信及電話局所取扱事務別(自大正十二年度末至昭和七年度末).....61

郵便切手、收入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函(同上).....63

第二章 郵便電信及電話局職員.....64

Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員(自大正十二年度末至昭和七年度末).....64

第三章 郵便業務ニ關スル施設.....66

Section 3. Institutions for Postal Services

郵便葉書様式改正.....66

鐵道列車食堂内ニ於テ郵便切手類賣捌開始.....66

滿洲國ノ郵政獨立ニ伴フ諸般ノ便宜ノ供與並同國ト一般郵便聯合國トノ間ノ郵便業務ノ媒介事務開始.....66

本邦ト中華民國間ニ發着スル郵便物ノ取扱ニ關スル諸規定ヲ滿洲國ニモ適用ノコトニ改正.....66

日滿兩國間連絡航空郵便業務ノ開始.....66

橫濱發羅府經由紐育便ノ新設.....66

日本帝國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間小包郵便物交換ニ關スル約定ノ締結及實施.....66

特殊記念通信日附印.....67

第四章 郵便線路.....73

Section 4. Mail Routes

内地郵便線路(自大正十二年度末至昭和七年度末).....73

第五章 郵便物數.....74

Section 5. Number of Mail Matters

内地郵便局取扱通常郵便物數(自大正十二年度末至昭和七年度末).....74

同 小包郵便物數(同上).....76

通常郵便物不能還付數(同上).....78

小包郵便物不能還付數(同上).....79

特殊取扱通常郵便物亡失毀損數(同上).....80

小包郵便物亡失毀損數(同上).....81

第六章 電信業務ニ關スル施設..... 82

Section 6. Institutions for Telegraph Services

電報規則中改正.....82

電氣事業法ノ實施ニ伴フ私設電信規則等改正.....82

請願通信施設規則中改正.....83

「マドリッド」會議.....83

外國電報料金「フラン」換算率變更.....83

局所ノ開廢.....83

分課設置.....86

東京市域擴張ニ伴フ施設.....86

**第七章 電信線路、電報氣送管及障
碍並機械**.....87

Section 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus

内地電信線路(自大正十二年度末至昭和七年度末).....87

電報氣送管所在地別(昭和七年度末).....88

内地電信障度數及時數(自大正十二年度末至昭和七年度末).....90

内地郵便電信局所用 電信機械及電池數(昭和七年度末).....92

第八章 電報通數.....94

Section 8. Number of Telegrams

内地郵便電信局取扱電報通數(自大正十二年度末至昭和七年度末).....94

在中華民國本邦電信局取扱 (同上).....96

第九章 電話業務ニ關スル施設.....97

Section 9. Institutions for Telephone Services

特設電話規則中改正.....97

特設電話規則ニ依ル電話ヲ電話規則ニ依ル電話ニ變更.....97

役場專用電話所屬官署ニ電話規則ニ依ル電話事務開始.....97

壬地ノ交換ニ屬スル電話ニ關スル料金特定.....97

特別加入區域及加入區域外ヨリノ加入電話ニ關スル制度改正.....97

地方廳及公署カ其ノ電話線ヲ引渡シタル場合ノ料金ノ減免及通話ノ先順位ニ關スル規定廢止.....98

電話通話規則中改正.....99

昭和七年度以降辛地以上ニ於テ開通シタル加入電話ノ名義及設置場所變更禁止.....99

電話特別開通申請受付.....99

電話擴張計畫實施.....102

内鮮電話通話連絡.....104

都市近接地間市外電話ノ改善.....104

第十章 電話線路障碍及機械.....106

Section 10. Telephone Routes, Faults and Apparatus

内地電話線路(自大正十二年度末至昭和七年度末).....106

内地市内電話障度數(同上).....108

内地市外電話障度數及時數(同上).....110

内地郵便電信電話局所用 電話機械及電池數(同上).....110

第十一章 電話加入者及電話通話數.....114

Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者(自大正十二年度末至昭和七年度末).....114

内地電話通話數(同上).....114

第十二章 無線電信無線電話業務ニ關スル施設.....115

Section 12. Institutions for Wireless Telegraph and Wireless Telephone Services

船舶安全法中無線電信關係事項規定.....115

無線電報規則中改正.....115

私設無線電信規則中改正.....115

無線通信士資格檢定規則中改正.....115

無線電報取扱規程中改正.....115

船舶信號符字ヲ無線電信呼出符號ニ一致.....116

對外通信約定.....116

對外無線通信連絡開始.....116

「ラヂオ」調査ノ實施.....116

國際電話株式會社設立認可.....116

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

貯金局沿革略誌..... 119

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設.....133

Section 1. Institutions for Postal Money Order

外國郵便爲替ノ振出制限範圍擴張及外國郵便振替ノ拂出制限設定.....133

外國電信爲替ノ無線送達開始.....133

爲替證書様式改正.....133

郵便爲替受拂高(自大正十二年度末至昭和七年度末).....134

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設.....135

Section 2. Institutions for Postal Savings

郵便貯金利子割合ノ改正.....135

未確認通帳提出方懲罰.....135

郵便貯金預拂及現況(自大正十二年度末至昭和七年度末).....136

郵便貯金地方別(昭和七年度).....138

第三章 證券..... 141

Section 3. Bonds

保管證券(自大正十二年度末至昭和七年度末).....141

第四章 郵便振替貯金.....142
 Section 4. Postal Check and Transfer
 郵便振替貯金口座加入者及受拂高
 (自大正十二年度至昭和七年度).....142

第五章 年金恩給.....143
 Section 5. Annuity and Pension
 年金恩給給與金拂渡高(自大正十二年度至昭和七年度).....143

第四篇 簡易生命保險及郵便年金

Chapter 4. Post Office Life Insurance and Post Office Life Annuities
 簡易保險局沿革略誌.....145

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設.....151
 Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services
 被保險者ニ對スル保健施設.....151
 北海道地方ニ於ケル水災害契約者救濟施設.....151

第二章 保險事業成績.....152
 Section 2. Summary of Post Office Life Insurance Business
 事業成績(自大正十二年度至昭和七年度).....152
 同地方別(昭和七年度).....156
 被保險者職業別(昭和七年度末).....160

第三章 審査會.....161
 Section 3. Meeting of Investigation
 審査會ノ審査.....161
 審査會ノ審査狀況.....161

第四章 積立金ノ運用.....161
 Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍.....161
 積立金ノ運用狀況.....161
 積立金貸付狀況(自大正十四年度至昭和七年度).....162
 積立金運用狀況(昭和七年度末現在).....166
 積立金府縣別貸付狀況(同上).....167

第五章 郵便年金事務ニ關スル施設.....169
 Section 5. Institutions for Post Office Life Annuities Services
 郵便年金取扱規程中改正.....169
 郵便年金規則中改正.....169

第六章 年金事業成績.....170
 Section 6. Summary of Post Office Life Annuities Business
 事業成績(自昭和二年度至同七年度).....170
 同地方別(昭和七年度).....172
 年金受取人職業別(昭和四年四月末現在).....192

第七章 審査會.....193
 Section 7. Meeting of Investigation
 審査會ノ審査.....193
 審査會ノ審査狀況.....193

第八章 積立金ノ運用.....193
 Section 8. Investment of the Fund
 積立金ノ運用範圍.....193
 積立金ノ運用狀況.....193
 積立金貸付狀況(自昭和三年度至同七年度).....194
 積立金運用狀況(昭和七年度末現在).....195

第五編 電氣

Chapter 5. Electrical Undertakings

電氣局沿革略誌.....197

電氣試驗所沿革略誌.....205

第一章 電氣事業ニ關スル施設.....209
 Section 1. Institutions for Electrical Undertakings

改正電氣事業法ノ實施.....209
 電氣委員會ノ設置.....209
 特定供給許可基準ノ決定.....209
 電氣事業ノ許可、認可及其ノ他ノ處分(昭和七年度).....209

第二章 電氣事業數及發電力數.....211
 Section 2. Number of Electrical Undertakings and Kilowatt Capacities

電氣事業數原動力別(自大正十二年末至昭和七年年末).....211
 電氣事業用發電力數原動力別(同上).....212

第三章 電氣事業用線路、線條、軌道及車輛.....213
 Section 3. Electric Line, Track and Car

電氣事業用線路及線條(自大正十二年末至昭和七年年末).....213
 電氣鐵道事業者軌道及車輛(自大正十二年末至昭和七年年末).....214

第四章 電燈及電力.....215
 Section 4. Electric Lamp and Power

電氣供給事業ノ電燈數(自大正十二年末至昭和七年年末).....215
 同 電力數(同上).....216
 用途別電動機箇數及馬力數(昭和七年年末).....217

第五章 資本及收支.....218
 Section 5. Capital, Revenue and Expenditure

電氣供給事業者、資本金、社債及積立金(自大正十二年末至昭和七年年末).....218
 電氣供給收入、支出及益金(自大正十二年末至昭和七年年末).....219

第六章 電氣事業主任技術者.....220
 Section 6. Chief Electrical Engineer

電氣事業主任技術者資格檢定申請人及合格者(自大正十二年末至昭和七年年末).....220
 電氣事業主任技術者數(自大正十二年末至昭和七年年末).....222

第七章 事故.....223
 Section 7. Obstacles

發、變電所及線路事故件數(昭和七年年末).....223
 架空配電線路月別事故件數(同上).....224
 感電死傷數(同上).....225

第八章 電氣試驗.....226
 Section 8. Electro-Technical Inspection

電氣計器ノ檢定.....226
 電氣用品ノ試驗.....226
 本省購入物品試驗.....226
 研究並調査及發明.....226
 第一部.....226
 第二部.....229
 第三部.....230
 第四部.....232
 第五部.....237
 試作課.....237
 特許及考案.....237
 電氣用品試驗數(自大正十二年末至昭和七年年末).....241
 電氣計器檢定數(同上).....242

第六編 海事

Chapter 6. Maritime Affairs

管船局沿革略誌.....243

燈臺局沿革略誌.....255

第一章 海事業務ニ關スル施設.....263
 Section 1. Institutions relating to Maritime Affairs

遠洋航路補助法施行細則中改正.....263

鐵道船舶通シ運送規則中改正.....263
 船舶改善助成施設.....263
 船舶検査法施行細則中改正.....263
 昭和六年法律第六號施行期日.....263
 船舶法施行細則中改正.....263
 船鑑札規則中改正.....263
 船舶積量測度規程中改正.....263
 石數船改測規則ノ制定.....264
 簡易船舶積量測度規程ノ制定.....264
 巴拿馬運河噸數證書交付規則中改正.....264
 蘇士運河噸數證書交付規則中改正.....264
 巴拿馬蘇士兩運河噸數證書交付規則ニ依ル事
 務ヲ行フ管海官廳及測度執行地.....264
 失業船員救濟事業施設.....264
 船員ノ徴兵検査.....264
 船舶職員法中改正.....264
 船員法ノ事務ヲ行フ市町村長ノ追加及改正.....264
 船舶検査執行地ノ指定.....265
 學校ノ認定.....266
 機關工場ノ認定.....266

第二章 船 船.....267
 Section 2. Shipping
 登簿船異動(自大正十二年
至昭和七年).....267
 船舶現在數(自大正十二年末
至昭和七年末).....270
 登簿船積量及年齡別(同上).....271
 造船所及造船(自大正十二年
至昭和七年).....272
 検査船舶(同上).....273
 遭難船舶(同上).....274
 遭難船舶遭難地方別(昭和七年).....275
 遭難船舶月別(同上).....277
 遭難船死傷人員及遭難種類別(自大正十二年
至昭和七年).....279
 遭難救助者(同上).....280

**第三章 船燈、信號器及救命具製造
人及請賣人**.....281

Section 3. Number of Licensed Manufacturers
and Resalesmen of Ship's Lights,
Signals and Life Saving Apparatus

船燈、信號器、救命具免許製造人及認可請賣人
(自大正十二年
至昭和七年).....281

第四章 船 員.....282

Section 4. Mariners

船員手帖受有者(自大正十二年
至昭和七年).....282
 海技免狀受有者(同上).....283
 同 種類別(同上).....284

第五章 水 先 人.....285

Section 5. Pilot

水先人免狀受有者水先區別(自大正十二年
至昭和七年).....285

第六章 海 員 審 判.....286

Section 6. Marine Court of Inquiry

高等海員審判所取扱件數及人員(自大正十二年
至昭和七年).....286
 地方海員審判所取扱件數及人員(同上).....288

第七章 船員職業紹介.....290

Section 7. Finding Employment for Seamen

求人數及求職者數對照(自大正十二年
至昭和七年).....290

第八章 開港場ト船舶ノ出入.....292

Section 8. Vessels Entered or Cleared at
Open Ports

開港港則施行各港出入船舶(自大正十二年
至昭和七年).....292

第九章 航 路 標 識.....293

Section 9. Light-House, Buoys, Beacons, etc.

航路標識數(自大正十二年
至昭和七年).....293
 航路標識種類別(昭和七年末).....294
 燈臺構造及其ノ高光達距離(自大正十二年
至昭和七年).....295

第十章 命 令 航 路.....296

Section 10. Subsidized Lines

遞信省命令航路.....296
 地方廳命令航路.....303

第十一章 保護會社及團體.....310

Section 11. Subsidized Concerns

日本郵船株式會社營業概況.....310
 大阪商船株式會社營業概況.....311
 日清汽船株式會社營業概況.....312
 南洋郵船株式會社營業概況.....314
 北日本汽船株式會社營業概況.....314
 近海郵船株式會社營業概況.....314
 原田汽船株式會社營業概況.....315
 栗林商船株式會社營業概況.....315
 各汽船會社營業狀況一覽表(昭和七年度).....317
 日本海員液濟會事業成績(自大正十二年
至昭和七年).....318
 帝國水難救濟會事業成績(同上).....319

第七編 航 空

Chapter 7. Civil Aviation

航空局沿革略誌.....321

第一章 航空業務ニ關スル施設.....325

Section 1. Institutions relating to Civil
Aeronautical Service

航空機操縦士ノ養成.....325
 航空機乘員技備證明書及航空免狀ノ交付.....325
 航空機ノ検査及登録.....326
 飛行機ノ拂下及拂下斡旋.....327
 定期航空輸送ニ對スル保護獎勵.....327
 航空機維持獎勵金ノ支給.....329
 航空機試作獎勵金ノ下付.....329
 帝國飛行協會及其ノ他ニ對スル補助.....329
 航空路ノ施設.....330

民間飛行機數(自大正十二年
至昭和七年).....332
 航空機乘員技備證明書及航空免狀受有者
(自大正十二年
至昭和七年).....333

**第八編 臺灣、樺太、朝鮮、關東廳
管内及南洋通信事項**

Chapter 8. Communications in Formosa,
Saghalien, Korea, The Kwan-
tung Province and South Seas

郵 便(昭和七年度).....335
 電 信(同上).....335
 電 話(同上).....336
 爲替、貯金及振替貯金(同上).....336
 年金恩給及保管證券(同上).....337



逓信省沿革略誌

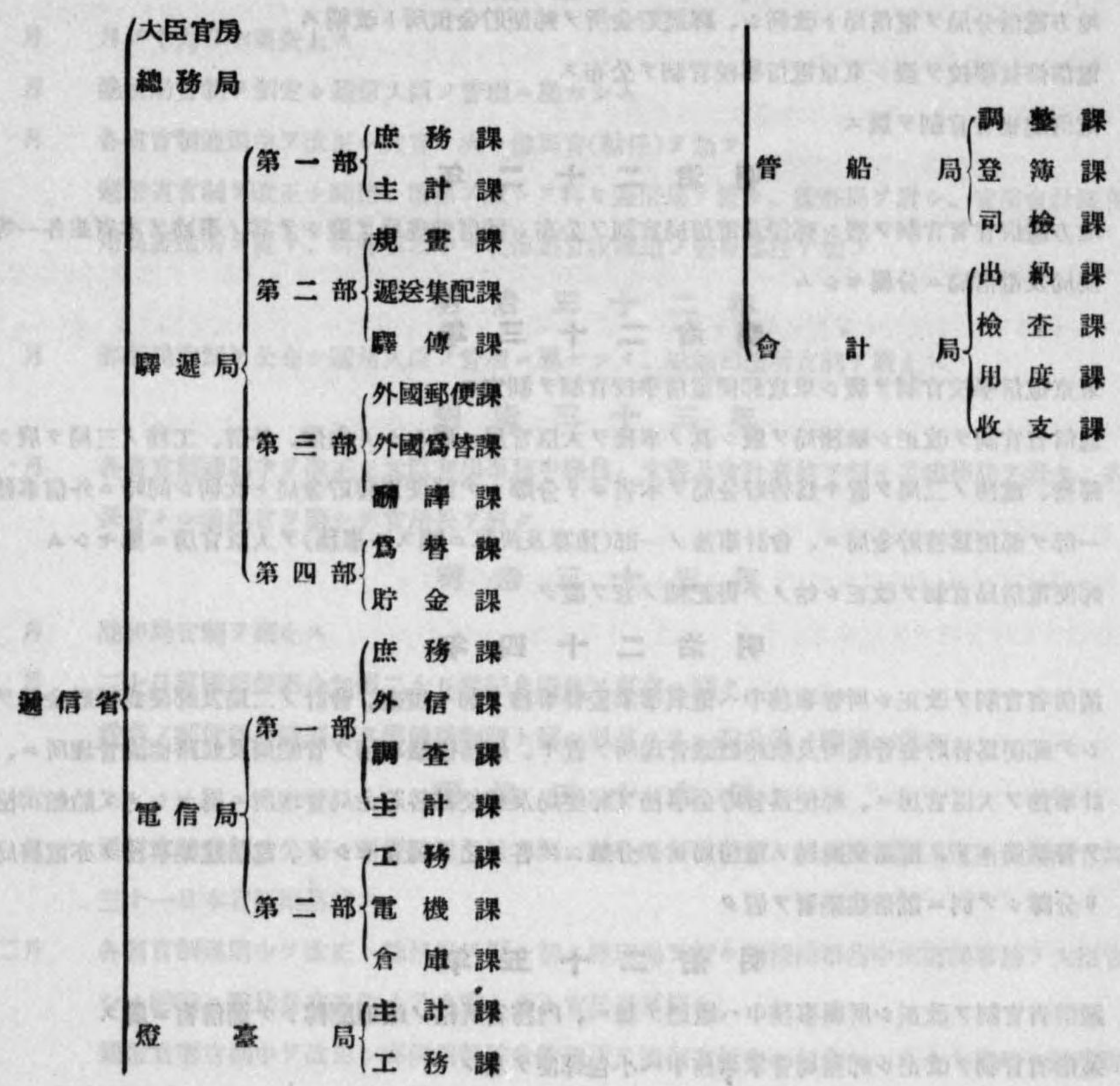
本省各局及所屬所ニ關スル沿革略誌ニ就テハ關係各編ニ譲リ、今立省後ニ於ケル主ナル官制其ノ他ノ沿革ヲ摘録スヘキハ次ノ如シ

明治十八年

十二月 二十二日逓信省ヲ創立シ農商務省ヨリ驛遞、管船ノ兩事務ヲ、工部省ヨリ電信、燈臺ノ兩事務ヲ承繼シ本省ヲ東京ニ置キ假ニ之ヲ驛遞、電信、燈臺、管船、會計、庶務ノ六局ニ分ツテシテ驛遞、電信、燈臺、管船ノ各局ハ本省轄外ナリシヲ以テ之ヲ外局ト謂ヒ庶務、會計ノ二局ハ構内ニアリシヲ以テ之ヲ内局ト稱セリ

明治十九年

二月 逓信省官制ヲ公布シ逓信大臣ハ驛遞、電信、燈臺、浮標、船舶及海員ニ關スル事務ヲ管理シ大臣官房及總務局ノ外驛遞、電信、燈臺、管船、會計ノ六局ヲ置カル而シテ當時ニ於ケル所屬各局分課次ノ如シ



- 三月 地方逓信官署官制ヲ公布シ地方郵便電信ノ事務ヲ管理スル爲須要ノ地ニ逓信管理局ヲ置キ逓信大臣ノ管轄ニ屬セシム而シテ逓信管理局ハ七月一日ヨリ開局ス
- 四月 本省ヲ東京木挽町八丁目一番地ニ設置シ在來ノ電信局舎ヲ流用シテ之ニ充ツ
- 同 二十六日ヨリ逓信公報ヲ發行シ逓信事務ニ關係アル勅令、閣令及本省ノ令達、告示ハ總テ公報ヲ以テ下達ス
- 同 商船學校及電信修技學校官制ヲ定メ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム
- 八月 電信建築官官制ヲ公布ス
- 十一月 地方郵便局及電信分局ハ土地ノ情況ニヨリ之ヲ合併シテ郵便電信局ト爲スノ方針ヲ定ム

明治二十年

- 二月 八日付ヲ以テ卍字形ヲ逓信省全般ノ徽章ト定ム
- 三月 逓信省官制ヲ改正シ驛遞、電信ノ二局ヲ廢シテ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ置キ郵便事務ヲ内信、外信ノ二局ニ、爲替事務ヲ外信、爲替貯金ノ二局ニ、貯金事務ヲ爲替貯金局ニ、電信事務ヲ内信、外信、工務ノ三局ニ屬セシム
- 三月 地方電信分局ヲ電信局ト改稱シ、驛遞貯金所ヲ郵便貯金預所ト改稱ス
- 五月 電信修技學校ヲ廢シ東京電信學校官制ヲ公布ス
- 六月 電信建築官官制ヲ廢ス

明治二十二年

- 七月 地方逓信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ逓信管理局ヲ廢シテ其ノ事務ヲ本省並各一等郵便局及電信局ニ分屬セシム

明治二十三年

- 三月 東京電信學校官制ヲ廢シ東京郵便電信學校官制ヲ制定ス
- 六月 逓信省官制ヲ改正シ總務局ヲ廢シ其ノ事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ爲替貯金局ヲ本省ヨリ分離シテ郵便爲替貯金局ト改稱シ同時ニ外信事務ノ一部ヲ郵便爲替貯金局ニ、會計事務ノ一部(豫算及決算ニ關スル事務)ヲ大臣官房ニ屬セシム
- 七月 郵便電信局官制ヲ改正シ始メテ書記補ノ官ヲ置ク

明治二十四年

- 七月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中ヘ電氣事業監督事務ヲ加ヘ燈臺、會計ノ二局及郵便爲替貯金局ヲ廢シテ郵便爲替貯金管理所及航路標識管理所ヲ置キ、航路標識事務ヲ管船局及航路標識管理所ニ、會計事務ヲ大臣官房ニ、郵便爲替貯金事務ヲ郵便局及郵便爲替貯金局管理所ニ屬セシメ又船舶司檢所ヲ管船局ヨリ、電話交換局ヲ電務局ヨリ分離シテ各々之ヲ獨立セシメ、電信建築事務ヲ亦電務局ヨリ分離シテ別ニ電信建築署ヲ置ク

明治二十五年

- 七月 逓信省官制ヲ改正シ所屬事務中ヘ鐵道ヲ加ヘ、内務省所轄ノ鐵道廳轉シテ逓信省ニ屬ス
- 同 逓信省官制ヲ改正シ郵務局管掌事務中ヘ小包郵便ヲ加フ

明治二十六年

- 十月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中ヘ水陸運輸ノ監督ヲ加ヘ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トナシ鐵道廳ヲ鐵道局ト改稱シテ本省中ノ一局トシ、電信建築署ヲ廢シテ其ノ事務ヲ逓信大臣ノ指定シタル一等郵便電信局ニ屬セシム

明治二十九年

- 四月 海員審判所官制ヲ制定ス
- 十月 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム

明治三十年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ參事官ハ一人ヲ限リ勅任トス
- 八月 逓信省官制ヲ改正シ通信局ヲ分テテ再ヒ郵務、電務ノ二局トシ、大臣官房中財務、調度ノ二課及電信燈臺用品製造所軍務並鐵道、通信、兩局會計事務ノ一部ヲ分離シテ新ニ監査局ヲ置キ、鐵道局事務中作業ニ關スル事務ヲ分離シテ本省以外別ニ鐵道作業局ヲ置ク

明治三十一年

- 五月 月ノ十九日日本省炎上ス
- 七月 港務局官制ヲ制定シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム
- 十月 各省官制通則中ヲ改正シ次官ノ次ニ參與官(勅任)ヲ加フ
- 同 逓信省官制ヲ改正シ郵務、電務ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置キ、監査局ヲ廢シ、官房會計課及電信燈臺用品製造所ヲ置キ、所管事務中ニ北海道官設鐵道ノ監督事務ヲ加フ

明治三十二年

- 六月 海事局官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシメ、船舶司檢所官制ヲ廢止ス

明治三十三年

- 四月 各省官制通則中ヲ改正シ大臣官房事務中職員、文書及會計事務ヲ割キテ總務局ヲ置キ、次官ヲ總務長官トシ參與官ヲ廢シテ官房長ヲ置ク

明治三十五年

- 三月 港務局官制ヲ廢止ス
- 六月 二十日萬國郵便聯合加盟二十五年紀念祝典ヲ東京ニ開ク
- 同 從來ノ郵便器具陳列所ヲ郵便博物館ト稱シ翌月ヨリ一般公衆ノ縱覽ニ供ス

明治三十六年

- 三月 通信官署官制ヲ公布シ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ヲ廢止ス
- 同 三十一日日本省新築落成ス
- 十二月 各省官制通則中ヲ改正シ總務局ヲ廢シ新ニ經理局ヲ置キ總務局事務中文書課事務ヲ大臣官房ニ屬セシメ同時ニ總務長官ヲ改メテ次官トナシ官房長ヲ廢ス
- 同 通信官署官制中ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署中ニ包含セシムルト同時ニ該管理所官制ヲ

廢止ス

明治三十八年

- 三月 逓信省官制ヲ改正シ所管事務中北海道官設鐵道ノ監督ヲ廢ス
- 同 東京郵便電信學校ヲ廢止シ通信官吏練習所ヲ設ク
- 七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布ク

明治三十九年

- 五月 臨時鐵道國有準備局官制ヲ制定シ逓信大臣ノ管理ニ屬ス

明治四十年

- 一月 二十二日本省再ヒ火災ニ罹リシヲ以テ麹町區吳服橋内ニ假廳舍ヲ急造シ同舍内ニテ事務ヲ處理ス
- 三月 帝國鐵道廳官制ヲ公布シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシメ同時ニ鐵道作業局官制ハ之ヲ廢止ス

明治四十一年

- 五月 萬國電信會議ヲ里斯本ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 鐵道局所掌事務ノ中ヘ軌道ニ關スル事項ヲ加フ
- 十二月 逓信省官制ヲ改正シ所管事項中官設鐵道ノ管理及私設鐵道ノ監督ヲ廢シ鐵道局ヲ削ル(鐵道局ハ鐵道院トシテ内閣ニ直屬ス)
- 同 鐵道院官制公布ト共ニ帝國鐵道廳官制ハ廢止サル

明治四十二年

- 七月 逓信省官制ヲ「逓信大臣ハ郵便、小包郵便、電信、電話及航路標識ヲ管理シ發電水力ニ關スル事務ヲ掌リ電氣、造船、水陸運輸ニ關スル事業及航路、船舶、海員ヲ監督ス」ト改メ、通信局所掌事務中郵便爲替、郵便貯金及電氣事業ノ監督ニ關スル事項ヲ削リ電氣局ヲ新設シテ電氣事業ニ關スル事項ヲ掌ラシメ又電氣局ニ電氣試驗所ヲ置キ電氣試驗ニ關スル事項ヲ掌ラシム
- 同 郵便貯金局官制ヲ公布シ通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ廢止ス
- 同 臨時鐵道國有準備局官制ヲ廢止ス
- 同 通信官署職員共済組合ヲ設ク
- 十月 萬國郵便聯合紀念碑落成式ヲ「ベルン」ニ舉行シ本邦官吏參列ス
- 十一月 通信官吏練習所ヲ逓信官吏練習所ト改稱シ大臣官房ノ一所トス

明治四十三年

- 三月 郵便貯金局所掌事務中ヘ年金恩給ノ給與ニ關スル事項ヲ加フ
- 同 逓信管理局官制ヲ設ケ監督及現業事務ヲ掌ラシム
- 同 郵便博物館ヲ逓信博物館トシテ大臣官房ニ屬セシム
- 同 三十一日新築中ノ本省落成ス
- 四月 逓信省内ニ臨時發電水力調査局ヲ設置ス

明治四十四年

- 一月 逓信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ置ク

明治四十五年

大正元年

- 一月 逓信選獎規程ヲ制定シ主トシテ現業吏員、備人ニシテ勤勞及功績アル者ニ對シ旌表スルコトトシ二月ヨリ施行ス
- 五月 十三日 大正天皇東宮ニ在セシトキ本省ニ行啓アラセラル

大正二年

- 六月 逓信省官制ヲ改正シ經理局ヲ廢シ大臣官房ノ一課トス
- 同 爲替貯金局官制ヲ公布シテ郵便貯金局官制ハ之ヲ廢止ス
- 同 臨時發電水力調査局ヲ廢止ス
- 同 地方逓信官署官制ヲ公布シ逓信管理局官制ヲ廢止シ從來ノ十三逓信管理局ヲ五逓信局ニ改ム

大正三年

- 十月 各省官制通則中ヲ改正シ各省ニ參政官、副參政官ヲ置ク

大正四年

- 二月 爲替貯金局所掌事務中ニ各官廳ノ徵收スル歳入金ノ受入及歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事項ヲ加フ

大正五年

- 三月 逓信省官制ヲ改正シ電信燈臺用品製造所ヲ廢止シ經理課ニ製機係ヲ置キ同製造所作業ノ一部ヲ承繼ス
- 四月 本省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設ク
- 七月 逓信省官制ヲ改正シ管船局ニ船用品検査所ヲ設置ス
- 同 爲替貯金局所掌事務中ヘ簡易生命保險ヲ加フ

大正六年

- 二月 逓信省臨時調査局官制ヲ制定シ電氣及海事ニ關スル調査事務ヲ掌ラシム(大正九年五月同局官制廢止)
- 九月 戰時船舶管理局官制ヲ制定シ戰時船舶ニ關スル事務ヲ掌ラシム(大正九年六月同局官制廢止)
- 十一月 三等郵便局又ハ三等電信局ニハ各局一人ヲ限り通信手ヲ置クコトヲ得セシム

大正七年

- 六月 逓信省官制中ヲ改正シ逓信監察事務ヲ掌ラシムル爲大臣官房ニ監察課ヲ設ク
- 同 電氣試驗所官制ヲ制定シ電氣局ヨリ分離シ逓信大臣ノ管理ニ屬セシム

大正八年

- 五月 逓信省官制ヲ改正シ本省ニ再ヒ經理局ヲ設置ス
- 同 地方逓信官署官制中ヲ改正シ逓信局ヲ七局トシ別ニ逓信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム

大正九年

- 五月 各省官制通則中ヲ改正シ參政官、副參政官ヲ廢シ各省一人ニ限り勅任參事官ヲ置クコトヲ得セシム
- 同 逓信部内臨時職員設置制ヲ公布ス

- 五月 海軍委員會官制ヲ公布シ逓信大臣ノ監督ニ屬セシム
- 九月 逓信官署現業員共済組合ヲ逓信部内職員共済組合ト改正シ救助ノ種目ヲ増シ三等郵便局員モ之ニ加入セシムルコトトシ十一月ヨリ施行ス
- 十月 貯金局及簡易保險局官制ヲ公布シ爲替貯金局官制ヲ廢止ス
- 同 臨時電信電話建設局官制ヲ公布ス
- 同 萬國郵便會議ヲ西班牙馬德里ニ開催本邦委員參列ス

大正十年

- 四月 二十日通信事業創始五十年紀念祝賀會ヲ開催ス
- 十月 逓信官吏練習所技術補習科規程ヲ制定ス
- 十二月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中ニ空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ加フ

大正十一年

- 一月 逓信部内職員共済組合診察所規程ヲ設ケ組合員ノ傷痍又ハ疾病ノ診察治療ヲ爲ス
- 二月 逓信官吏練習所規則中ヲ改正シ行政科ヲ第一部行政科ニ、電信科ヲ第二部行政科ニ改ム
- 同 逓信官吏練習所專修科規程ヲ制定ス
- 十二月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ傷痍給與金ノ額ヲ增加ス

大正十二年

- 四月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中空中ノ運輸ニ關スル事項ヲ削除ス
- 同 陸軍省所轄ノ航空局轉シテ逓信省ニ屬ス
- 同 三等郵便局及三等電信局ニハ各一人ニ限ラレル通信手ヲ二人置クコトヲ得セシム
- 同 逓信博物館ヲ麹町區富士見町五丁目ニ移轉ス
- 八月 三等郵便局長及三等電信局長ニシテ引續キ二十五年以上在職シ事務熟練ノ者ハ特ニ之ヲ奏任官ノ待遇トナスノ途ヲ開ク
- 九月 逓信部内職員共済組合財産管理規程ヲ制定ス
- 同 未曾有ノ震火災ノ爲本省、臨時電信電話建設局、貯金局、簡易保險局、電氣試驗所及高等海員審判所燒失セシニ付假事務所ヲ下記ノ通開設セリ

本省	東京驛前東京中央郵便局内
臨時電信電話建設局	
貯金局	麻布區富士見町内閣統計局内
簡易保險局	芝區芝浦日出町分室内
電氣試驗所	芝區芝浦埋立地同所分室内

- 十月 逓信部内職員共済組合積立金貸付規程ヲ制定シ震災ニ伴フ組合員ノ保護救済ニ勉ム

大正十三年

- 四月 大震火災ノ際部内従事員ニシテ身命ヲ賭シ其ノ職責ヲ全フシタル者或ハ多數人命救助ニ從事シタルモノ等ノ内特ニ一般ノ儀表トナスヘキ者ヲ表彰ス

- 五月 十一日新築假廳舎竣工ニ付本省ハ麹町區大手町ニ移轉ス
- 七月 部内現業員ノ衛生及保健ニ關スル状態ヲ調査シ之カ施設ニ關スル事項ヲ審議スル爲現業員保健調查會ヲ設ク
- 八月 各省官制通則中ヲ改正シ政務次官、參與官ヲ加ヘ參事官ヲ削ル
- 同 逓信局官制並逓信官署官制ヲ制定シ地方逓信官署官制ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ、大臣官房ニ保健課ヲ新設ス
- 同 萬國郵便會議ヲ瑞典國「ストックホルム」ニ開催本邦委員參列ス
- 十月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ組合加入六ヶ月未滿ノモノニモ給與金ヲ與フルノ途ヲ開ク
- 十一月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「發電水力ニ關スル事務」ヲ「發電水力及航空ニ關スル事務」ニ改メ航空局ヲ本省中ニ加フ
- 同 行政整理ニ伴ヒ中央官廳ニ於テ十一課二所、地方部局ニ於テハ課ヲ減少シタルカ本省ニ於ケル分課ノ廢止併合又ハ改正シタルモノ下記ノ如シ

廢止	大臣官房監察課	併合並改正	逓信局外國郵便課、外國電信課ヲ併セテ外信課トス
	電氣局水力課		航空局第一課、第二課、第三課ヲ監理課、技術課トス
	管船局調査課		
	同 登録課		
	經理局製機課		各課間ノ事務ノ分合ヲ行フト共ニ經理局調度課ヲ需品課ニ改ム

- 其ノ他臨時電信電話建設局第四課及同局東京大阪以外ノ五出張所ノ材料課ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ業務監察並事務審査委員ヲ置ク

大正十四年

- 四月 商船學校ヲ文部省ニ移管ス
- 五月 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「日本無線電信株式會社」ニ關スル事項ヲ加ヘ逓信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ臨時電信電話建設局官制ヲ廢止ス而シテ本官制改正後ニ於ケル本省各局分課次ノ如シ

逓信省	大臣官房	秘書課	電務局	規畫課	管船局	船舶課
		文書課		外國電信課		海員課
		保健課	工務局	庶務課	航空局	船用品検査所
		逓信官吏練習所		電信課		監理課
		逓信博物館		電話課	技術課	
		業務監察	電氣局	監理課	經理局	主計課
		業務課		業務課		需品課
		規畫課		技術課		管轄課
		外國郵便課	郵務局	庶務課	監查課	大阪出張所
		業務課		監理課		

- 九月 萬國電信會議ヲ佛國巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ救済金請求期間ヲ延長ス
- 同 航路標識管理所ヲ廢シ燈臺局ヲ置ク

大正十五年
昭和元年

- 一月 逓信部内從業員會規程ヲ制定ス
- 四月 勞働爭議調停法公布(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 五月 瑞西國「ジュネーヴ」市ニ於テ第八回國際勞働總會開催セラレ本邦委員參列ス
- 六月 逓信官吏練習所特別科規程ヲ制定ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」市ニ於テ第九回國際勞働總會開催セラレ本邦委員參列ス
- 同 勞働爭議調停法施行令ヲ公布ス(大正十五年七月一日ヨリ施行)
- 八月 簡易保險局官制中ヲ改正シ所管事務中ニ「郵便年金ニ關スル事務」ヲ加フ
- 同 逓信局官制中ヲ改正シ所管事務中ニ「郵便年金ノ管理ニ關スル事務」ヲ加フ
- 同 通信官署官制中ヲ改正シ「郵便年金ノ現業事務」ヲ加フ
- 十二月 逓信部内共済組合規則中ヲ改正シ救済金中ニ特療給與金ヲ加ヘ廢疾年金ノ給與額等ヲ増額シ甲種特別組合員ノ制ヲ設ク

昭和二年

- 二月 傭人扶助金支給手續中ヲ改正シ傭人ノ重大ナル過失ニ因ル傷害ニ對シテモ扶助金ヲ支給スルコトトス
- 四月 勅令第九六號ヲ以テ私法上ノ金錢債務ノ支拂延期及手形等ノ權利保存行爲ノ期間延長ニ關スル件ヲ公布シ同日ヨリ施行ス
- 七月 逓信省官制中ヲ改正シ管船局ニ設置ノ船用品検査所ヲ船舶試驗所ニ改メ船舶ノ試驗並船用品ノ検査及試験ニ關スル事項ヲ掌ラシム
- 八月 雇員及各種傭人ノ職名中ヲ改正ス
- 九月 第七回萬國度量衡總會ヲ巴里ニ開催本邦委員參列ス
- 同 萬國飛行郵便會議ヲ蘭國海牙ニ開催本邦委員參列ス
- 十一月 萬國無線電信會議ヲ「ワシントン」ニ開催本邦委員參列ス

昭和三年

- 一月 大禮使ノ設置ニ伴ヒ内國旅費ノ特例ニ關スル件並工事等ノ隨意契約ニ依ルコトヲ得ル件ヲ公布セラル
- 六月 雇員扶助令ニ關スル勅令公布セラル
- 同 傭人扶助令中改正ノ件公布セラル
- 七月 雇員扶助金支給手續ヲ制定シ六月九日ヨリ之ヲ適用ス
- 八月 萬國電信會議ヲ「ブラッセル」ニ開催本邦委員參列ス

- 同 萬國船舶信號書改訂會議ヲ「倫敦」ニ開催本邦委員參列ス
- 十一月 雇員、傭人又ハ之ニ準スヘキ者ノ懲戒免除ニ關スル件公布セラル
- 同 逓信省官制中ヲ改正シ所管事務中「水陸運輸ニ關スル事業」ヲ「水運ニ關スル事業」ニ改ム

昭和四年

- 一月 臨時電氣事業調査會官制ヲ公布ス
- 三月 英國倫敦ニ於テ開催ノ國際海上人命安全條約改訂會議ニ本邦委員參列ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ第十二回國際勞働總會ニ本邦委員參列ス
- 同 英國倫敦ニ於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議ニ本邦委員參列ス
- 四月 資源調査法公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 五月 逓信部内職員共済組合規則中ヲ改正シ六月一日ヨリ施行ス
- 六月 天皇陛下 潮岬燈臺、櫻野崎燈臺及潮岬無線電信局ニ行幸アラセラル
- 七月 傭人扶助令中ヲ改正シ葬祭料ヲ増額ス
- 同 逓信省被服類規程ヲ制定シ従前ノ規程、指令及通牒等ヲ廢止ス
- 同 逓信省分課規程中ヲ改正シ大臣官房ニ監察課ヲ置ク
- 八月 逓信省分課規程中ヲ改正シ東京、大阪兩逓信局ニ用品課ヲ置ク
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ第十三回國際勞働總會ニ本邦委員參列ス
- 九月 ポーランド國「ワルソー」ニ於テ開催ノ第二回國際航空私法會議ニ本邦委員參列ス
- 十一月 資源調査法施行期日ニ關スル勅令公布セラレ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年

- 二月 逓信官吏練習所規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ各科ノ授業科目ニ變更ヲ加ヘ入學試験ニ應シ得ル範圍ヲ限定セル等ナリ
- 四月 英國倫敦ニ於テ開催ノ國際船舶滿載吃水線會議ニ本邦委員參列ス
- 五月 逓信部内職員共済組合事務取扱規程中ヲ改正シ六月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 逓信省内國旅費規程中ヲ改正ス
- 七月 臨時電氣事業調査會官制ヲ廢止ス
- 同 逓信部内ニ在職スル者ノ爲シタル發明又ハ考案ニ關スル特許權又ハ實用新案權ノ歸屬ニ關スル件ヲ制定公布ス
- 同 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ國際聯盟總會第十一回會議ニ本邦委員參列ス
- 同 旅費減額支給ニ關スル件ヲ制定シ本月十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 日支通信問題交渉ニ關シ本邦委員參列ス
- 九月 ポルトガル國「リスボン」ニ於テ開催ノ國際航路標識會議ニ本邦委員參列ス
- 十月 臨時海運調査會ヲ設置ス

昭和六年

- 三月 逓信省分課規程中ヲ改正ス官印ノ管守事項ニ關スル改正ナリ

- 三月 郵便切手類及収入印紙賣捌規則、印紙切手類出納規程中ヲ改正ス其ノ要旨ハ賣捌割引歩合引下ニ依ル
 四月 遞信省分課規程中ヲ改正ス管船局分課掌理事項ニ關スル改正ナリ
 五月 官吏減俸ニ關スル勅令公布セラル六月一日ヨリ之ヲ施行ス
 六月 物品會計規則中改正ノ件公布セラル
 同 二以上ノ俸給ヲ受クル官吏及待遇官吏ノ減俸ニ關スル勅令公布セラル
 九月 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ交通及通過ニ關スル第四回總會ニ本邦委員參列ス
 十月 入營者職業保障法施行規則ヲ制定公布シ十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭 和 七 年

- 一月 供給労働者扶助令公布セラル
 同 遞信官吏練習所規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ修業費用ヲ減額セシ等ナリ
 二月 瑞西國「ジュネーヴ」ニ於テ開催ノ第十六回國際労働總會ニ本邦委員參列ス
 同 臨時海難防止調査會ヲ設置ス
 四月 郵便電信及電話官署渡切經費施行規程中ヲ改正ス
 同 臨時海運調査會ヲ廢止ス
 五月 海事審議會ヲ設置ス
 六月 恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
 同 「マドリツド」ニ於ケル萬國電信會議及國際無線電信會議ニ本邦委員參列ス
 七月 國際聯盟交通專門委員會ニ本邦委員參列ス
 同 恩給ノ減額補給及停止ノ法律施行期日ニ關スル勅令公布セラレ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
 九月 文官分限令中改正ノ件及文官分限委員會官制ニ關スル勅令公布セラレ本月二十四日ヨリ之ヲ施行ス
 十月 郵便切手類及収入切紙賣捌規則中ヲ改正ス
 同 臨時海難防止調査會ヲ廢止ス
 十一月 電氣委員會官制ヲ公布シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
 十二月 遞信省分課規程中ヲ改正シ電氣局ニ檢査課ヲ設置ス
 同 遞信省内國旅費規程及昭和五年公達第六二六號旅費減額支給ニ關スル件中ヲ改正シ即日之ヲ施行ス

總 說
 GENERAL REMARKS

第一編 總 說

CHAPTER 1. GENERAL REMARKS

第一章 法 規

Section 1. Laws and Regulations

本年度中ニ於テ當省主管事項ニ關シ公布セラレタル法規類ハ法律4件、勅令30件、條約1件、省令74件、告示2,330件、公達785件、訓令3件ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ勅令6件、條約1件、省令15件、訓令3件ヲ増加シ告示224件、公達147件ヲ減少セリ而シテ其ノ公布ニ係ル法規類中主ナルモノノ内容ニ關シテハ之ヲ關係各篇ニ於テ架説セリ

第二章 官 制

Section 2. Government Organisations etc.

本年度中ニ於ケル官制及俸給令等ノ改正ニシテ當省職員ニ關係アルモノ次ノ如シ
昭和七年十月一日勅令第二八七號ヲ以テ逡信部内臨時職員設置制中ヲ下記ノ通り改正シ公布ノ日ヨリ施行セラル

第一條第一號(電信及電話建設ノ事務ニ従事スルモノ)中「事務官專任7人」ヲ「事務官專任6人」ニ、「技師專任49人^{内4人ヲ勅任ト爲スコトヲ得}」ヲ「技師專任41人^{内3人ヲ勅任ト爲スコトヲ得}」ニ、「屬專任86人」ヲ「屬專任75人」ニ、「技手專任305人」ヲ「技手專任258人」ニ、同條第三號(郵便局々舎共ノ他ノ震災復舊及新營事務ニ従事スルモノ)中「技手專任5人」ヲ「技手專任3人」ニ、同條第四號(航空路設置ノ事務ニ従事スルモノ)中「屬專任2人」ヲ「屬專任1人」ニ、「技手專任2人」ヲ「技手專任1人」ニ、同條第五號(町村電話施設ノ事務ニ従事スルモノ)ヲ(船舶改善施設ノ事務ニ従事スルモノ)トシ「技師專任1人」「屬專任2人」「技手專任2人」ヲ「技師專任3人」「屬專任1人」「技手專任6人」ニ改ム

第三條第一號(電信及電話建設ノ事務ニ従事スルモノ)中「書記官專任5人」ヲ「書記官專任4人」ニ、「事務官專任5人」ヲ「事務官專任4人」ニ、「技師專任19人」ヲ「技師專任16人」ニ、「書記專任80人」ヲ「書記專任68人」ニ、「技手專任285人」ヲ「技手專任233人」ニ、同條第二號(造船鐵材調査ニ従事スルモノ)中「技師專任6人」ヲ「技師專任5人」ニ、「書記專任4人」ヲ「書記專任3人」ニ改メ同條第三號(町村電話施設ノ事務ニ従事スルモノ)ヲ削除ス

同月同日勅令第二八八號ヲ以テ電氣試驗所官制中ヲ改正シ「書記專任15人」ヲ「書記專任14人」ニ、「技手專任103人」ヲ「技手專任101人」ニ以上孰レモ減員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第二八九號ヲ以テ貯金局官制中ヲ改正シ「書記專任682人」ヲ「書記專任658人」ニ、「書記補專任1,156人」ヲ「書記補專任1,123人」ニ以上孰レモ減員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第二九〇號ヲ以テ簡易保險局官制中ヲ改正シ「事務官專任15人」ヲ「事務官專任16人」ニ、書記專任

1,188人」ヲ「書記專任1,339人」ニ、「技手專任19人」ヲ「技手專任21人」ニ、「書記補專任1,562人」ヲ「書記補專任1,709人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第二九一號ヲ以テ逓信局官制中ヲ改正シ「書記官專任9人」ヲ「書記官專任8人」ニ、「事務官專任39人」ヲ「事務官專任38人」ニ、「技師專任125人」ヲ「技師專任121人」ニ、「書記專任1,988人」ヲ「書記專任1,897人」ニ、「技手專任1,653人」ヲ「技手專任1,621人」ニ、「書記補專任1,194人」ヲ「書記補專任1,168人」ニ以上孰レモ減員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第二九二號ヲ以テ逓信官署官制中ヲ改正シ「通信事務官專任115人」ヲ「通信事務官專任118人」ニ、「通信技師專任29人」ヲ「通信技師專任30人」ニ、「通信書記專任6,807人」ヲ「通信書記專任6,839人」ニ、「通信技手專任610人」ヲ「通信技手專任614人」ニ、「通信書記補專任11,541人」ヲ「通信書記補專任11,536人」ニ改メ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第二九三號ヲ以テ燈臺局官制中ヲ下記ノ通り改正シ公布ノ日ヨリ施行セラル
「書記專任13人」ヲ「書記專任12人」ニ、「技手專任19人」ヲ「技手專任18人」ニ以上孰レモ減員シ第七條第一項中「通航信號所各5人」ノ次ニ「無線方位信號所各3人」ヲ加ヘ同條第三項中「船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ航路標識」ノ次ニ「無線方位信號所ニ非サル無線電信ノ設備ヲ有スル航路標識」ヲ加フ

十一月十二日勅令第三四六號ヲ以テ貯金局官制中ヲ改正シ「書記專任658人」ヲ「書記專任659人」ニ、「書記補專任1,123人」ヲ「書記補專任1,125人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第三四七號ヲ以テ逓信官署官制中ヲ改正シ「通信書記專任6,839人」ヲ「通信書記專任6,870人」ニ、「通信書記補專任11,536人」ヲ「通信書記補專任11,565人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

十一月二十一日勅令第三五五號ヲ以テ電氣委員會官制ヲ制定シ逓信大臣ノ監督ニ屬シ電氣ニ關スル事項ニ付其ノ諮問ニ應ジ意見ヲ開申スル所トシ會長(逓信大臣ヲ以テ之ニ充ツ)委員若干名、幹事ヲ置キ十二月一日ヨリ之ヲ施行セラル

十二月三日勅令第三七〇號ヲ以テ逓信省官制中ヲ改正シ第二條中「書記官專任18人」ヲ「書記官專任17人」ニ、「第七條中「逓信省事務官專任12人」ヲ「逓信省事務官專任16人」ニ、「第七條ノ二中「航空官專任12人」ヲ「航空官專任11人」ニ、「第八條中「技師專任61人」ヲ「技師專任59人」ニ、「第九條中「屬專任280人」ヲ「屬專任283人」ニ、「第十條中「技手專任111人」ヲ「技手專任109人」ニ改メ公布ノ日ヨリ施行セラル

同月同日勅令第三七一號ヲ以テ逓信局官制中ヲ改正シ「書記專任1,897人」ヲ「書記專任1,909人」ニ、「書記補專任1,168人」ヲ「書記補專任1,171人」ニ以上孰レモ増員シ公布ノ日ヨリ施行セラル

第三章 逓信公報及文書

Section 3. Official gazette and Documents.

逓信公報發行數

Number of Official gazette issued.

年次 Year	種別 Description	發行回数 Times	發行部數 No.	印刷頁數 Pages	印刷費 (円) Expence (En)	平均一部ニ付 One Copy Average	
						頁數 Page	印刷費 (円) Expence (En)
昭和 七年度	1932-33	298	5,741,533	37,464,232	61,816	6.5	1.07
六年度	1931-32	324	5,597,481	35,333,164	58,298	6.3	1.04
五年度	1930-31	297	5,548,183	38,195,950	76,392	6.8	1.38
四年度	1929-30	297	5,550,224	39,044,302	78,089	7.3	1.43
三年度	1928-29	296	5,160,817	28,441,442	56,883	5.5	1.10
二年度	1927-28	299	5,049,554	31,334,610	62,669	6.2	1.24
元年度	1926-27	298	4,946,744	28,623,852	57,248	6.2	1.16
大正 十四年度	1925-26	296	4,790,869	24,654,056	49,308	5.1	1.03
十三年度	1924-25 (自十三年五月五日 至十四年三月三十一日)	268	4,279,731	20,937,830	41,876	4.9	0.98
十二年度	1923-24 (自十二年四月一日 至十四年八月三十一日)	128	1,934,696	9,702,943	19,806	5.0	1.24

文書取扱件数

Number of documents transacted.

昭和七年
1932

部局	種別 Description	收受文書通数 Number of documents received	回議文書通数 Number of drafts of official letters	謄書文書通数 Number of official letters Copied fair
大臣官房 Ministers Secretariate	秘書課 Section of Personnel	32,492	99	327
	文書課 Section of Archives	35,240	748	2,121
	保健課 Section of Health and Welfare	14,893	3,903	7,777
	監察課 Section of Inspections	4,774	514	485
	官吏練習所 Training School of Communications Officials	14	29	12
	通信博物館 Museum of Communication	143	321	993
郵務局 Direction General of Posts	37,438	7,362	11,914	
電務局 Direction General of Telegraphs and Telephones	334,991	31,208	53,622	
工務局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering	25,056	5,054	5,802	
電氣局 Direction General of Electric Exploitation	51,000	7,631	18,488	
海軍省 Direction General of Mercantile Marines	58,600	10,635	45,635	

文書取扱件数 (續)

Number of documents transacted.

(Continued) 昭和七年
1932

部局	種別 Description	收受文書通数 Number of documents received	回議文書通数 Number of drafts of official letters	謄書文書通数 Number of official letters Copied fair
航空局 Civil Aviation Bureau		17,670	2,442	8,461
経理局 Direction General of General Accounts and Supplies		47,400	12,943	19,370
貯金局 Direction General of Postal Money Orders and savings bank		2,784	912	3,231
簡易保険局 Bureau of Post Office Life Insurance		13,026	17,126	42,550
電氣試験所 Electro Technical Laboratory		401	368	304
合計	Grand Total	675,922	101,295	221,092
昭和六年	1931 年	443,475	104,405	258,080
五年	1930 年	443,006	114,258	288,050
四年	1929 年	427,148	132,851	320,969
三年	1928 年	397,251	119,436	273,982
二年	1927 年	383,662	128,813	235,222
元年	1926 年	387,720	128,033	200,780
大正十年	1925 年	395,760	120,442	238,140
十年	1924 年	383,220	128,261	209,868

備考 本表ハ毎週木曜日毎ニ調査シタル計数ヲ基礎トシ當該年中ノ取扱数ヲ計算セルモノニシテ推算ナリ
Note. This table makes a presumptive estimate of the number of transaction during the year concerned on the basis of calculation made every thursday

第四章

Section 4.

遞信省

Officials,

部局 Section	種別 Description	親任 Sinnin Rank	勅任 Tyokunin Rank	奏任 Sonin Rank	判任 Hannin Rank		
					男 Male	女 Female	計 Total
本省 Main Office	大臣官房 Ministers Secretariate	1	4	12	72	-	72
	郵務局 Direction General of Posts	-	1	5	45	-	45
	電務局 Direction General of Telegraphs and Telephones	-	1	8	63	1	64
	工務局 Direction General of Telegraph and Telephone Engineering	-	4	44	156	-	156
	電氣局 Direction General of Electric Exploitation	-	2	33	73	-	73
	船舶局 Direction General of Mercantile Marines	-	3	23	40	-	40
	航空局 Civil Aviation Bureau	-	1	14	21	-	21
	經理局 Direction General of Accounts and Supplies	-	2	18	163	1	164
	計	1	18	157	633	2	635
	貯金局 Direction General of Postal Money Orders and Savings Bank	-	1	23	1,248	284	1,532
	簡保局 Bureau of Post Office Life Insurance	-	2	25	2,333	314	2,647
	電氣試驗所 Electro Technical Laboratory	-	1	23	95	-	95
	燈臺局 Lighthouse Bureau	-	1	6	504	-	504
	海員審判所 Marine Court Inquiry	-	-	19	9	-	9
通信局 Direction of Communication	-	7	192	3,747	54	3,801	
郵便電信電話局 Post, Telegraph and Telephone Office	-	-	148	25,841	1,432	27,273	
合計 Grand Total		1	30	593	34,410	2,086	36,496
昭和六年度末 March 31, 1932		1	29	552	32,369	1,920	34,289
昭和五年度末 March 31, 1931		1	30	574	33,628	2,108	35,736
昭和四年度末 March 31, 1930		1	30	572	32,900	2,138	35,038
昭和三年度末 March 31, 1929		1	28	565	31,345	2,059	33,404
昭和二年度末 March 31, 1928		1	28	532	30,228	1,962	32,190
昭和元年度末 March 31, 1927		1	28	519	29,584	2,030	31,614
昭和十四年度末 March 31, 1926		1	28	512	28,564	1,932	30,496
昭和十三年度末 March 31, 1925		1	30	521	27,525	1,819	29,344
昭和十二年度末 March 31, 1924		1	31	563	27,878	1,825	29,703

備考 1. 本表ニハ嘱託員及臨時雇人ヲ包含セズ
Note. This list excludes non official Staffs and those employed Temporarily.

職員
Personnel.

所屬職員
Employees etc.

昭和七年度末

March 31, 1933

通信手 (判任待遇) Post office clerk (Ranking as a Hannin official)			所長 Chief of Postal agency	雇員 (高層) Employee (high class)			雇員 (低層) Employee (low class)			合計 Grand Total
男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total	
-	-	-	-	88	14	102	9	-	9	200
-	-	-	-	25	7	32	-	-	-	83
-	-	-	-	74	71	145	-	-	-	218
-	-	-	-	90	13	103	277	-	277	584
-	-	-	-	55	7	62	1	-	1	171
-	-	-	-	28	4	32	26	2	28	126
-	-	-	-	28	7	35	13	-	13	84
-	-	-	-	365	20	385	540	45	585	1,154
-	-	-	-	753	143	896	866	47	913	2,620
-	-	-	-	1,835	1,929	3,764	597	345	942	6,262
-	-	-	-	2,623	1,891	4,514	329	49	378	7,566
-	-	-	-	686	34	720	139	26	165	1,004
-	-	-	-	34	6	40	162	4	166	717
-	-	-	-	2	-	2	1	-	1	31
-	-	-	-	4,968	755	5,723	13,073	324	13,397	23,120
5,029	445	5,474	571	33,577	45,680	79,257	61,140	1,053	62,193	174,916
5,029	445	5,474	571	44,478	50,438	94,916	76,307	1,848	78,155	216,236
2,412	87	2,499	618	45,309	47,359	92,668	73,523	1,591	75,114	205,770
2,412	95	2,507	515	45,925	46,782	92,707	75,533	1,755	77,288	209,358
2,208	77	2,285	449	45,191	48,079	93,270	75,061	1,721	76,782	208,427
2,101	70	2,171	376	43,554	45,428	88,982	72,738	1,561	74,299	199,826
1,879	48	1,927	243	41,952	43,285	85,237	70,177	1,442	71,619	191,777
1,774	30	1,804	132	44,917	34,937	79,854	67,809	1,392	69,201	183,153
1,731	21	1,752	-	38,546	37,001	75,547	65,701	1,222	66,923	175,259
1,482	7	1,489	-	37,200	34,621	71,821	62,932	1,058	63,990	167,196
1,539	10	1,549	-	37,916	34,277	72,193	62,887	972	63,859	167,899

休職者 本省所屬官吏ニシテ本年度末現在ニ於ケル休職者ハ奏任官2人判任官41人(内三等局長19人)ナリ

外國留學者及出張者

外國留學者

官職名	人員	在留國	研究科目	在留期間
遞信書記官	1	英國、獨國	遞信事業	一ケ年
遞信技師	1	獨國	電話事業	同
遞信局書記官	1	英國	遞信事業	同
電氣試驗所技師	1	獨國	電氣事業	同
簡易保險局事務官	1	米國	保險事業	同

外國出張者

官職名	人員	出張國名	調査事項
遞信局技師	1	英國	電信電話事業
遞信技師	1	獨國、瑞典	電氣事業

第五章 遞信官吏練習所

Section 5. Training School of Communication Officials

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

無線技術者ノ養成 最近無線電信並無線電話事業ノ改良擴張ニ伴ヒ無線技術者ノ不足ヲ告クルニ至リタルヲ

以テ昭和八年二月專修科無線電信技術科ヲ開講シ同年七月卒業ノ豫定ヲ以テ右要員二十四名ヲ養成セリ

遞信官吏練習所學生異動及現員

Number of Students of the Training School of Communication Officials

昭和七年度
1932-33

種別 Description	學科 Course				合計 Total	
	第一部行政科 Administration	第二部行政科 Telegraph	技術科 Technique	無線通信科 Radio Communication		
前年度ヨリ繰越在學 Being at school since the Preceding fiscal year		64	62	58	49	233
入學 Admittance	33		32	28	22	115
入學取消 Withdrawal of Admittance	1			1		2
退學 Leaving				2	1	3
死 Death					1	1
卒業 Graduation	35		31	32	30	128
年度末現員 At the end of the fiscal year 1932-33	61		63	51	40	215
昭和六年度 1931-32	64		62	58	49	233
五年度 1930-31	67		68	7	57	262
四年度 1929-30	62		68	83	54	267
三年度 1928-29	64		67	107	63	301
二年度 1927-28	74		67	139	65	345
元年度 1926-27	81		72	155	68	376
大正十四年度 1925-26	94		76	138	36	344
十三年度 1924-25	94		81	144		319
十二年度 1923-24	104		87	214		405

備考 本表ノ外大正十二年度末ニ於テ專修科外國郵便科16名同無線電信通信科44名計60名アリ

遞信官吏練習所入學志願者及合格者

Applicants and Successors for Admittance to the
Training School of Communication Officials

昭和七年度
1932-33

學科 Course	種別 Description	部內 Those in the Service	部外 Those not in the Service	依託 Entrusted	合計 Total
第一部行政科 Administration	入學志願者 Applicants	527			527
	合格者 Successors	33			33
第二部行政科 Telegraph	入學志願者 Applicants	183			183
	合格者 Successors	32			32
技術科 Technique	入學志願者 Applicants	1,551			1,551
	合格者 Successors	28			28
無線通信科 Radio Communication	入學志願者 Applicants	115			115
	合格者 Successors	22			22
合計 Total	入學志願者 Applicants	2,376			2,376
	合格者 Successors	115			115
昭和 1931-32	入學志願者 Applicants	2,976			2,976
	合格者 Successors	106			106
五年度 1930-31	入學志願者 Applicants	816	3,049	259	4,124
	合格者 Successors	81	39	14	134
四年度 1929-30	入學志願者 Applicants	1,047	2,795	244	4,086
	合格者 Successors	76	49	19	144
三年度 1928-29	入學志願者 Applicants	571	1,681	163	2,415
	合格者 Successors	79	57	3	139
二年度 1927-28	入學志願者 Applicants	526	1,714	161	2,401
	合格者 Successors	69	120	9	198
元年度 1926-27	入學志願者 Applicants	395	1,421	90	1,906
	合格者 Successors	57	139	6	202
大正 1925-26	入學志願者 Applicants	364	1,196	95	1,655
	合格者 Successors	71	150	17	238
十三年度 1924-25	入學志願者 Applicants	559	1,116	94	1,769
	合格者 Successors	43	96	11	150
十二年度 1923-24	入學志願者 Applicants	588	936	79	1,603
	合格者 Successors	81	100	43	224

第六章 共濟組合

Section 6. Mutual Aid Association

共濟組合事業成績

Mutual Aid Association

種別 Description	年次 Year					
	昭和七年度 1932-33	六年度 1931-32	五年度 1930-31	四年度 1929-30	三年度 1928-29	
年度末現在組合員 Actual Number of Associates at the end of the fiscal year	173,761	164,483	168,159	165,672	158,569	
救濟金給與件數 Number of times, relief funds given	62,521	50,416	53,715	60,906	62,532	
收入 Revenue	組合員掛金 Instalment	3,933,121	3,852,588	3,917,163	3,655,685	3,525,834
	政府補助金 Subsidy	3,096,920	3,036,287	3,032,062	2,896,321	2,773,628
	預金利息 Interest	2,591,183	2,216,413	2,070,550	1,929,537	1,694,164
	雜收入 Miscellaneous	321,603	328,482	218,097	259,036	338,817
	合計 Total	9,942,827	9,433,770	9,237,872	8,740,579	8,332,443
支出 Payment	給與金 Relief	5,558,343	3,568,373	3,493,608	3,855,431	3,586,897
	雜費 Miscellaneous	420,550	447,723	398,796	352,843	393,813
	損 Deficit	-	-	-	-	1
	合計 Total	5,978,893	4,016,096	3,892,404	4,208,274	3,980,711
種別 Description	年次 Year					
	二年度 1927-28	元年度 1926-27	大正十四年度 1925-26	十三年度 1924-25	十二年度 1923-24	
年度末現在組合員 Actual Number of Associates at the end of the fiscal year	152,783	144,443	137,212	129,459	128,455	
救濟金給與件數 Number of times, relief funds given	56,404	55,111	53,600	63,572	42,498	
收入 Revenue	組合員掛金 Instalment	3,208,076	2,912,030	2,672,935	2,511,027	1,365,548
	政府補助金 Subsidy	2,495,258	2,274,645	2,212,750	1,817,070	1,076,747
	預金利息 Interest	1,431,394	1,144,223	917,700	683,078	422,306
	雜收入 Miscellaneous	391,618	271,463	226,642	181,889	84,017
	合計 Total	7,526,346	6,602,361	6,030,027	5,193,064	2,948,618
支出 Payment	給與金 Relief	2,869,881	2,633,185	2,242,343	2,786,757	1,314,319
	雜費 Miscellaneous	331,237	287,030	168,662	160,975	106,770
	損 Deficit	1	6	13	-	-
	合計 Total	3,201,119	2,920,221	2,411,018	2,947,732	1,421,089

備考 大正十二年度分ハ震災ノ爲書類焼失ニ付九月一日以降ノモノヲ掲ク
Note. The date of the figures on from 1st, April to 31st, August 1923 were destroyed by fire and so sum up the figures on from 1st, September 1923 on wards

第七章 逓信博物館

Section 7. Communication Museum

本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

陳列品ノ縦覧

本年度ニ於ケル開館日數ハ二百九十五日縦覧者總數20,538人團體縦覧ノ主ナルモノハ大阪市立市岡商業學校、東京府立家政女學校、和洋裁縫女子專門學校、滿洲國留學生警察講習所生、明治學院中學部、牛込高等女學校及市内各小學校生徒等ナリ

陳列品ノ増加

萬國郵便聯合總局ヨリ送付ノ各國郵便切手類2,245枚、「フルマンゴリヤス」複葉旅客用飛行機模型外5點ナリ

陳列品ノ貸出及出品

博覽會、展覽會等ニ貸出又ハ出品シタルモノ29件其ノ出品總數1,295點ニシテ其ノ主ナルモノ次ノ如シ
萬國婦人子供博覽會、空中文化展覽會、名古屋逓信展覽會、船ノ展覽會、弘前通信展覽會、電話事業展覽會、第七回輸出品包裝展覽會、江戸時代ノ科學ニ關スル記念展覽會、「スポーツ」ト航空ノ照明展覽會、全日本國產洋服博覽會、全國發明展覽會等ニシテ就中萬國婦人子供博覽會ニ對シテハ逓信文化館ヲ特設シ逓信事業ニ關スル凡テヲ網羅シ實演或ハ動的裝置ニ依リ觀衆ノ感興裡ニ事業ノ周知ヲ圖リ多大ノ效果ヲ收メタリ

意匠圖案及寫眞

靖國神社臨時大祭、勅諭拜受五十年記念時局博覽會、東京市域擴張、名古屋衛生博覽會、陸軍特別大演習、日滿航空郵便聯絡、山陰線鐵道全通、祖國日向産業博覽會、萬國婦人子供博覽會ノ各記念特種通信日附印、中宮祠外177局ノ名勝史蹟通信日附印滿洲國郵便切手、同匯兌印紙、國際年賀狀其ノ他事業周知用統計圖表等160餘種ヲ作成セリ尙事業周知及參考資料トシテ撮影600餘種印畫作成13,000餘枚ニ上レリ

事業用機械器具ノ研究及改良

郵便切手賣捌機械、郵便把東機械、行囊背負具、押印機等ノ研究、鐵製掛函ノ改正外ニ郵便用具ノ改良14點其ノ他各局使用ノ押印機200餘臺ノ檢査、修繕及事業用品ノ依託檢査89點其ノ個數135,000餘個ニ上レリ

郵便車、郵便船室ノ設備改善

郵便受渡機械ノ改良、郵便船室内通風裝置、縮切便使用車ノ設備、郵便車暖房管覆設備其ノ他區分棚設備改善等450餘輛受渡柱機ノ改造110餘基ニ對シ夫々設計施工セリ

第八章 逓信事業ノ狀況

Section 8. Condition of Communications

11.1	11.2	11.3	11.4	11.5	11.6	11.7	11.8	11.9	11.10
11.11	11.12	11.13	11.14	11.15	11.16	11.17	11.18	11.19	11.20
11.21	11.22	11.23	11.24	11.25	11.26	11.27	11.28	11.29	11.30
11.31	11.32	11.33	11.34	11.35	11.36	11.37	11.38	11.39	11.40
11.41	11.42	11.43	11.44	11.45	11.46	11.47	11.48	11.49	11.50
11.51	11.52	11.53	11.54	11.55	11.56	11.57	11.58	11.59	11.60
11.61	11.62	11.63	11.64	11.65	11.66	11.67	11.68	11.69	11.70
11.71	11.72	11.73	11.74	11.75	11.76	11.77	11.78	11.79	11.80
11.81	11.82	11.83	11.84	11.85	11.86	11.87	11.88	11.89	11.90
11.91	11.92	11.93	11.94	11.95	11.96	11.97	11.98	11.99	11.100

遞信事業概括表 (其ノ一)

Item of Inland business (No. 1)

遞信局 Direction of Commu- nications	管轄地方 Prefecture	面積 (平方キロ) Area (Km ²)	人口 Population	郵便電信電話取扱局所 (昭和七年) 度末現在 Post, Telegraph and Telephone Office (March 31, 1933)				郵便物 No. of Mails 數 (昭和七年度) (1932-33)						電報通數 (昭和七年度) Telegram-dealt (1932-33)			電 話 加 入 者 (昭和七年) 度末現在 Telephone Subscribe- rs (March 31, 1933)
				郵 便 Post	電 信 Telegraph	電話交換 Telephone Exchange	電話通話 Telephone Message	常 Ordinary			小 Parcels			發 信 Despatch	著 信 Arrival	人口百 = 付發信 Despatch per 100 of population	
								引 受 Acceptance	配 達 Delivery	人口一 = 付引受 Acceptance per Capita	引 受 Acceptance	配 達 Delivery	人口十 = 付引受 Acceptance per 10 of population				
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	88,775.04	2,935,200	703	678 (□ 17)	204	437	181,734,789	204,734,556	61.9	2,682,072	3,865,090	9.14	4,235,227	4,445,389	144.3	31,184
仙台 Sendai	青森 Aomori	9,630.92	906,100	146	100	39	60	28,820,165	34,518,771	31.8	390,356	670,017	4.31	723,517	755,210	79.8	5,497
	岩手 Iwate	15,235.31	1,005,100	185	119	80	100	32,091,506	38,977,318	31.9	373,289	670,412	3.71	574,827	616,084	57.2	4,933
	宮城 Miyagi	7,273.75	1,181,500	192	127	83	112	55,698,171	61,000,976	47.1	646,660	840,292	5.47	733,657	894,637	62.1	9,141
	秋田 Akita	11,663.86	1,007,800	182	122	91	112	35,457,973	45,329,715	35.2	401,130	713,152	3.98	553,489	573,238	54.9	5,895
	山形 Yamagata	9,325.76	1,100,700	207	116	59	97	37,200,412	45,087,599	33.8	433,537	664,182	3.94	527,265	553,670	47.9	6,512
	福島 Fukushima	13,781.61	1,535,800	283	173	82	134	56,439,827	67,672,924	36.7	577,206	910,879	3.76	680,438	778,021	44.3	9,410
	新潟 Niigata	12,578.64	1,966,000	346	237	123	200	76,856,330	90,870,091	39.1	936,137	1,318,004	4.76	1,026,424	1,040,600	52.2	16,170
	計 Total	79,489.85	8,703,000	1,541	995 (□ 1)	557	815	322,564,384	383,157,374	37.1	3,758,321	5,789,938	4.32	4,819,617	5,211,460	55.4	57,558
東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	6,090.99	1,517,700	220	119	92	116	48,664,380	64,398,005	32.1	399,001	738,125	2.63	452,860	576,909	29.8	7,913
	栃木 Totigi	6,436.59	1,161,800	144	76	51	64	35,563,375	44,318,067	30.6	377,825	592,034	3.25	393,212	412,140	33.8	8,279
	群馬 Gunma	6,335.82	1,212,400	134	80	65	78	37,734,528	50,370,749	31.1	381,602	596,970	3.15	418,606	441,457	34.5	9,052
	埼玉 Saitama	3,802.70	1,484,600	112	68	63	74	40,257,168	54,022,964	27.1	368,464	583,716	2.48	353,266	429,598	23.8	9,733
	千葉 Tiba	5,078.81	1,497,900	205	144	105	138	52,412,278	67,027,004	35.0	430,242	826,074	2.87	524,952	768,822	35.0	10,359
	東京 Tokyo	2,144.79	5,770,200	574	187	204	158	971,347,879	729,174,305	168.3	14,808,507	7,469,157	25.66	8,741,428	8,513,995	151.5	132,502
	神奈川 Kanagawa	2,353.49	1,699,000	※ △ 187 6	99	64	95	105,114,303	111,039,392	61.9	1,211,890	1,365,793	7.13	1,314,828	1,325,726	77.4	25,016
	山梨 Yamanashi	4,465.87	642,900	109	69	47	69	35,234,211	37,287,353	54.8	318,704	373,796	4.96	236,409	272,600	36.8	5,110
	静岡 Siduoka	7,769.91	1,847,400	274	195	161	199	83,555,693	98,395,182	45.2	874,476	1,232,441	4.73	1,026,936	1,310,591	55.6	20,119
		計 Total	44,478.97	16,833,900	※ △ 1,959 6	1,375 (□ 311)	723	991	1,409,883,815	1,256,633,021	83.8	19,170,711	13,778,106	11.39	13,462,557	14,051,838	80.0

	神奈川 Kanagawa	2,353.49	1,699,000	(※ △ 6)	99	64	95	105,114,303	111,039,392	61.9	1,211,890	1,365,793	7.13	1,314,828	1,325,720	77.4	25,010	
	山梨 Yamanashi	4,465.87	642,900	109	69	47	69	35,234,211	37,287,353	54.8	318,704	373,796	4.96	236,409	272,600	36.8	5,110	
	静岡 Shizuoka	7,769.91	1,847,400	274	205	161	199	83,555,693	98,395,182	45.2	874,476	1,232,441	4.73	1,026,936	1,310,591	55.6	20,119	
	計 Total	44,478.97	16,833,900	(※ △ 6)	1,375	723	991	1,409,883,815	1,256,033,021	83.8	19,170,711	13,778,106	11.39	13,462,557	14,051,838	80.0	228,083	
名古屋 Nagoya	富山 Toyama	4,257.42	790,600	115	75	48	62	32,049,589	41,209,186	40.5	425,097	480,635	5.38	578,715	616,376	73.2	8,370	
	石川 Isikawa	4,197.51	759,200	144	99	64	90	42,112,155	43,667,413	55.5	450,990	574,375	5.94	581,723	593,032	76.6	9,524	
	福井 Fukui	4,017.97	626,100	127	83	50	75	32,042,141	37,951,714	51.2	328,076	483,230	5.24	517,697	561,768	82.7	7,136	
	長野 Nagano	13,626.13	1,751,500	319	233	149	220	87,486,494	101,450,301	49.9	753,112	1,130,632	4.30	742,976	823,748	42.4	18,275	
	岐阜 Gifu	10,494.70	1,196,400	221	133	117	136	54,070,853	63,501,921	45.2	790,881	873,527	6.61	508,081	561,074	42.5	11,568	
	愛知 Aichi	5,081.14	2,664,500	312	188	142	167	170,224,677	168,399,130	63.9	2,822,169	1,886,781	10.59	1,932,520	1,950,671	72.5	43,243	
	三河 Mie	5,765.28	1,176,900	233	165	113	145	51,942,513	61,548,694	44.1	607,099	815,706	5.16	606,155	706,160	51.5	11,350	
	計 Total	47,440.15	8,965,200	1,471	(□ 981)	683	895	469,928,422	517,728,359	52.4	6,177,424	6,244,886	6.89	5,467,867	5,812,849	61.0	109,472	
大阪 Osaka	滋賀 Siga	4,050.93	703,100	143	110	90	105	39,342,106	46,085,407	56.0	418,343	573,887	5.95	363,653	396,359	51.7	6,943	
	京都 Kyoto	4,621.20	1,610,200	239	163	103	145	163,842,649	157,376,246	101.8	3,119,115	2,234,751	1.94	1,500,302	1,491,678	93.2	38,550	
	大阪 Osaka	1,813.63	3,728,200	309	167	81	162	445,288,957	369,260,199	119.4	8,284,404	3,736,402	22.22	6,248,182	5,909,687	167.6	84,668	
	兵庫 Hyogo	8,322.88	2,721,400	369	278	183	254	200,047,129	209,396,398	73.5	2,343,917	2,630,131	8.61	3,312,300	3,394,929	121.7	45,864	
	奈良 Nara	3,688.60	601,100	121	101	66	87	46,355,058	45,530,870	77.1	582,122	510,717	9.68	313,305	368,680	52.1	6,545	
	和歌山 Wakayama	4,723.42	847,700	169	131	72	121	45,536,545	54,279,447	53.7	544,551	723,242	6.42	502,867	614,352	59.3	9,953	
	徳島 Tokushima	4,143.22	727,000	143	96	76	91	34,592,644	39,747,594	47.6	377,524	493,465	5.19	349,847	411,307	48.1	4,740	
	高知 Kochi	7,103.62	730,200	155	99	77	93	30,052,177	36,510,018	41.2	422,204	567,429	5.78	522,298	588,224	71.5	4,562	
		計 Total	38,467.50	11,668,900	1,648	(□ 1,532)	748	1,058	1,005,057,265	958,186,279	86.1	16,092,180	11,470,024	13.79	13,112,754	13,175,216	112.4	201,827
広島 Hiroshima	鳥取 Tottori	3,489.48	495,900	101	72	56	61	23,151,740	27,106,027	46.7	206,647	349,743	4.17	301,060	331,098	60.7	4,138	
	島根 Shimane	6,618.04	746,200	209	164	137	172	35,123,603	43,219,823	47.1	472,479	676,566	6.33	471,387	532,724	63.2	4,981	
	岡山 Okayama	7,046.48	1,301,800	268	192	154	191	66,036,442	76,780,702	50.7	726,929	1,001,070	5.58	849,749	920,469	65.3	12,435	
	広島 Hiroshima	8,436.52	1,721,300	327	219	181	217	124,735,113	132,669,431	72.5	1,612,209	1,680,949	9.37	1,579,248	1,662,152	91.7	17,240	
	山口 Yamaguchi	6,082.11	1,151,700	(※ 5)	206	146	181	76,303,617	86,078,408	66.3	802,817	1,160,744	6.97	1,423,568	1,457,154	123.6	11,582	
	香川 Kugawa	1,858.73	745,500	102	70	58	67	35,103,473	38,259,257	47.1	363,450	458,721	4.87	457,425	494,621	61.4	5,883	
	愛媛 Ehime	5,667.11	1,160,000	205	148	112	139	52,002,177	62,962,132	44.8	649,042	887,607	5.60	778,424	867,319	67.1	8,422	
		計 Total	39,198.47	7,322,400	(※ 5)	(□ 1,080)	844	1,028	412,456,165	467,075,780	56.3	4,833,573	6,215,400	6.60	5,860,861	6,265,537	80.0	64,681
熊本 Kumamoto	福岡 Fukuoka	4,939.65	2,615,400	329	249	158	211	155,677,437	162,906,665	59.5	1,975,326	2,283,749	7.55	2,655,318	2,654,349	101.5	26,778	
	佐賀 Saga	2,443.90	604,200	129	99	66	86	27,833,916	37,950,949	40.1	385,537	498,443	5.55	442,735	494,236	63.8	4,857	
	長崎 Nagasaki	4,075.78	1,260,600	235	177	78	138	63,681,691	75,541,630	50.5	863,404	1,163,414	6.85	1,403,654	1,450,061	111.3	9,091	
	熊本 Kumamoto	7,437.72	1,376,700	221	161	70	106	54,011,898	57,850,350	39.2	773,553	963,384	5.62	801,334	869,690	58.2	8,705	
	大分 Oita	6,333.88	957,800	193	138	93	116	51,512,312	57,306,932	53.8	558,549	832,177	5.83	703,563	764,942	73.5	7,415	
	宮崎 Miyazaki	7,738.30	787,600	125	99	59	82	27,796,393	35,427,817	35.3	312,334	569,845	3.97	499,380	540,647	63.4	4,053	
	鹿児島 Kagosima	9,103.50	1,589,800	244	194	101	142	62,373,651	68,441,679	39.2	801,970	997,984	5.04	1,116,633	1,196,233	70.2	6,717	
	沖縄 Okinawa	2,386.29	585,300	57	30	9	18	9,246,893	11,449,185	15.8	87,359	177,334	1.49	300,207	307,610	51.3	715	
		計 Total	44,459.02	9,867,400	1,533	(□ 1,172)	634	899	452,134,191	506,885,207	45.8	5,758,032	7,486,330	5.84	7,922,824	8,277,768	80.3	68,331
	總計 Grand Total	382,309.00	66,296,000	(※ △ 11)	(□ 7,813)	4,393	6,123	4,253,759,931	4,294,100,596	64.2	58,472,313	54,849,774	8.82	55,319,476	57,525,088	83.4	761,136	

備考 1. 電信取扱無線電信 755 局中ニハ船内設置ノモノ 728 局ヲ包含ス
2. ※印ハ船内局 □印ハ無線局 △印ハ艦内局
3. 郵便物数中ノ×印ハ集金郵便
4. 電報總計中ニハ船舶無線電信及無線電話局所取扱數發信 437,769 著信 285,031
ヲ含ム
5. 括弧内ノ數字ハ内譯ナリ

Note. 1. 728 Wireless telegraph offices on board ships are included in the table.
2. ※ On board a ship. □ Wireless telegraph office △ In warship.
3. × Collection of money.
4. 437,769 Telegrams despatched by and 285,031 arrived at wireless telegraph and wireless telephone offices on board ships are included.
5. The figures in the parenthesis are items.

遞信事業概括表 (其ノ二)

Item of Inland business (No. 2)

遞信局 Direction of Commu- nications	管轄地方 Prefecture	郵便爲替(内國) (昭和七年度) Postal Money orders (1932-33)					郵便貯金 (昭和七年度末現在) Postal Savings (March 31, 1933)				郵便振替 加入者 (昭和七年 度末現在) Subscribers of Postal Check and Transfer (March 31, 1933)	簡易保險(昭和七年度末現在) Post Office Life Insurance Business (March 31, 1933)			郵便年金(昭和七年度末現在) Post Office Life Annuities Business (March 31, 1933)			電氣事業(官廳及自業) (昭和七年度末現在) Electrical Undertakings (Dec 31, 1932)			登録船舶 (昭和七年度末現在) Registered Vessels (Dec 31, 1932)	
		出 Issued		拂 Paid		人口百=付 振出口數 Issued per 100 of Population	預 ヶ人 Depositors	金 額 Amount	平均一人 ノ金額 Amounts of Deposit per Capita	人口百=付 預ヶ人 Deponents per 100 of Population		契約件數 No. of Contracts	保 險 金 額 Sums insured	人口千=對ス ル契約件數 Contracts per 1,000 of Population	契約件數 No.	年 金 額 Amount of Annuities	一件平均 年金額 Average Am- ount of An- nuities per Co- ntract	事 業 數 Undertakings			汽 船 數 Steamers	
		口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount													開 業 In Operation	未 開 業 Under Co- struction	計 Total	船 數 No.	總 噸 數 Gross Tonnage
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	2,309,474	47,685,400	1,933,538	43,616,792	78.68	1,540,145	87,664,662	56,920	52.47	13,712	843,372	120,052,130	287.33	7,643	707,750.74	92,601	53	1	54	200	37,954
仙臺 Sendai	青森 Aomori	435,075	10,386,983	406,875	12,701,765	48.02	351,307	23,358,643	66,491	38.77	1,416	204,595	25,032,993	225.80	2,726	180,504.61	66,216	12	-	12	4	181
	岩手 Iwate	424,541	10,349,252	388,889	12,973,969	42.24	362,302	18,833,911	51,984	36.05	1,793	203,731	21,842,474	202.70	2,830	180,937.97	63,936	17	1	18	6	1,163
	宮城 Miyagi	458,540	9,211,969	519,017	11,386,713	38.81	512,977	24,844,999	48,433	43.42	2,754	280,604	36,003,612	237.50	4,707	377,399.05	80,178	6	-	6	34	2,236
	秋田 Akita	413,041	7,792,048	381,798	7,181,995	40.98	385,212	12,464,733	32,358	38.22	1,533	220,588	26,022,794	218.88	2,972	215,711.20	72,581	11	1	12	4	126
	山形 Yamagata	360,414	6,982,021	373,715	6,793,269	32.74	464,077	16,088,500	34,668	42.16	2,162	314,541	29,672,538	285.76	5,930	324,568.80	54,733	18	-	18	4	148
	福島 Fukushima	543,929	10,595,080	555,611	10,972,652	35.42	751,355	55,940,413	74,453	48.92	3,205	387,107	44,930,130	252.06	5,928	450,721.04	76,033	29	-	29	-	-
	新潟 Niigata	667,694	13,289,578	807,446	15,532,945	33.96	666,542	34,926,017	52,399	33.90	4,285	603,092	71,338,214	306.76	8,195	550,126.11	67,129	25	1	26	43	10,333
	計 Total	3,303,234	68,606,931	3,433,351	77,543,308	37.96	3,493,772	186,457,216	53,368	40.14	17,148	2,214,258	254,842,755	254.42	33,288	2,279,968.78	68,492	118	3	121	95	14,187
東京 Tokyo	茨城 Ibaraki	366,185	6,942,741	447,551	8,384,921	24.13	604,733	39,208,493	64,836	39.85	2,249	251,776	31,209,752	165.89	3,779	249,451.23	66,010	16	1	17	3	102
	栃木 Totigi	316,364	6,418,871	349,763	6,743,644	27.23	428,923	36,706,543	83,629	36.92	1,734	249,252	33,164,082	214.54	3,345	260,606.28	77,909	12	-	12	-	-
	群馬 Gunma	316,448	6,272,724	315,599	6,229,656	26.10	508,273	30,283,187	59,581	41.92	1,807	266,728	32,580,210	220.00	3,223	263,406.10	81,727	34	-	34	-	-
	埼玉 Saitama	275,163	6,025,840	324,196	6,689,288	18.53	478,682	54,652,592	114,173	32.24	2,465	317,994	40,314,670	214.20	4,339	336,843.35	77,632	8	1	9	-	-
	千葉 Chiba	409,310	7,819,119	530,997	10,519,008	27.33	672,532	48,181,903	71,643	44.90	2,900	268,995	34,952,905	179.58	3,632	303,950.41	83,687	15	1	16	22	1,854
	東京 Tokyo	4,595,834	88,560,632	5,505,950	101,887,286	79.65	3,831,171	364,685,196	95,189	66.40	40,695	1,942,042	350,568,677	336.56	17,672	2,049,837.01	75,993	27	3	30	513	1,321,993
	神奈川 Kanagawa	886,314	16,178,290	716,842	14,127,299	52.17	1,015,507	94,751,215	93,304	59.77	3,665	444,933	73,970,643	261.88	5,669	534,696.01	94,319	17	-	17	161	138,941
山梨 Yamanashi	170,051	3,552,788	242,029	4,404,675	26.45	241,190	14,474,554	60,013	37.52	1,610	119,219	14,022,376	185.44	1,580	108,783.84	68,851	21	1	22	-	-	
静岡 Shizuoka	677,592	13,670,378	779,921	16,159,521	36.68	802,338	48,205,563	60,081	43.43	4,708	399,851	48,845,106	216.44	7,779	544,413.70	69,985	29	4	33	21	2,325	
	計 Total	8,013,261	155,441,383	9,212,818	173,145,298	47.60	8,583,349	731,149,246	85,182	50.99	61,833	4,260,799	659,628,421	253.11	51,018	4,651,987.93	91,183	179	11	190	720	1,465,225

Kaiyugawa 山梨 Yamanashi 静岡 Sidnoka 計 Total	170,051	3,552,788	242,029	4,404,675	26.45	241,190	14,474,554	60,013	37.52	1,610	119,219	14,022,376	185.44	1,580	108,783.84	68,851	21	1	22	-		
	677,592	13,670,378	779,921	16,159,521	36.68	802,338	48,205,563	60,081	43.43	4,708	399,851	48,845,106	216.44	7,779	544,413.70	69,985	29	4	33	21	2,325	
	8,013,261	155,441,383	9,212,318	173,145,298	47.60	8,583,349	731,149,246	85,182	50.99	61,833	4,260,790	659,628,421	253.11	51,018	4,651,987.93	91,183	179	11	190	720	1,465,225	
名古屋 Nagoya	富山 Toyama	251,685	5,731,047	328,515	8,322,071	31.83	327,736	18,631,820	56,850	41.45	2,900	255,275	32,503,747	322.89	3,337	179,360.80	53,749	25	1	26	29	16,351
	石川 Isikawa	283,491	5,712,917	372,250	7,471,857	37.34	395,254	31,931,330	80,787	52.06	3,103	267,379	33,307,690	352.19	3,540	240,725.06	68,001	15	1	16	58	132,109
	福井 Fukui	232,883	5,080,229	249,671	5,249,730	37.20	451,194	41,405,779	91,769	72.06	1,950	239,296	33,460,460	382.20	3,852	219,918.43	57,092	12	-	12	9	3,676
	長野 Nagano	600,042	11,653,651	636,790	12,275,505	34.26	885,061	62,337,656	70,433	50.53	5,621	418,330	45,749,741	238.87	7,093	459,629.57	64,800	32	2	34	-	-
	岐阜 Gifu	426,848	8,836,906	418,708	8,810,837	35.68	690,205	76,862,074	111,361	57.69	3,920	329,360	35,751,926	275.29	7,083	369,247.86	52,132	71	1	72	-	-
	愛知 Aichi	1,037,457	21,682,427	1,032,811	20,708,016	38.94	1,717,188	238,623,250	138,962	64.45	12,006	880,392	117,303,330	330.42	12,621	935,948.13	74,158	32	1	33	41	2,628
	三重 Mie	450,686	8,896,776	522,558	10,763,769	38.29	731,892	57,113,026	78,035	62.19	2,966	395,437	41,586,011	336.00	9,334	518,412.93	55,540	10	-	10	23	1,257
	計 Total	3,283,092	67,593,953	3,561,303	73,607,785	36.62	5,198,530	526,904,935	101,357	57.99	32,466	2,785,519	339,662,905	310.70	46,860	2,923,242.84	62,382	197	6	203	160	146,021
大阪 Osaka	滋賀 Siga	261,663	5,484,019	274,877	5,913,905	29.19	451,711	39,112,482	86,587	64.25	2,635	222,695	23,706,490	248.40	4,235	208,781.22	49,299	6	-	6	35	3,272
	京都 Kyoto	947,852	18,257,492	1,213,625	22,639,431	58.87	1,197,352	107,420,411	89,715	74.36	10,011	582,207	82,845,381	361.57	9,512	672,085.34	70,657	11	-	11	133	367,174
	大阪 Osaka	2,664,524	52,331,262	2,199,684	41,899,285	71.47	2,287,545	181,611,591	79,391	61.36	31,500	1,017,813	168,044,115	273.00	12,373	985,451.70	79,645	17	2	19	309	561,042
	兵庫 Hyogo	1,678,857	37,023,601	1,340,602	27,842,696	61.69	1,611,085	131,148,374	81,404	59.20	10,168	795,125	113,644,342	292.17	11,259	816,553.46	72,525	25	2	27	573	1,053,583
	奈良 Nara	206,161	4,586,090	321,568	6,636,983	34.30	440,088	34,999,963	79,529	73.21	3,498	150,884	17,887,706	251.00	2,085	122,307.17	58,660	9	-	9	-	-
	和歌山 Wakayama	359,464	10,148,627	426,110	13,070,529	42.40	479,639	56,071,956	16,904	56.58	3,585	203,236	25,654,079	239.75	2,949	219,462.61	74,419	16	-	16	28	14,829
	徳島 Tokushima	216,814	4,838,297	278,622	5,975,604	29.82	416,283	41,079,138	98,681	57.26	3,672	154,683	16,389,746	212.77	2,523	146,533.34	58,079	7	-	7	11	4,316
	高知 Koti	343,055	7,214,056	407,914	8,586,760	46.98	294,309	21,783,424	74,015	40.31	1,239	128,353	12,433,317	175.78	2,037	151,923.61	74,582	14	-	14	45	13,694
	計 Total	6,678,390	139,883,444	6,463,002	132,615,193	57.23	7,178,012	613,227,339	85,431	61.51	66,308	3,254,996	460,505,176	278.95	46,973	3,323,998.45	70,745	105	4	109	1,134	2,017,610
	広島 Hiroshima	鳥取 Tottori	191,349	3,523,483	212,296	4,012,730	38.59	223,771	10,714,680	47,882	45.12	1,458	140,722	14,452,438	283.77	2,166	165,388.20	76,357	5	-	5	1
島根 Simane		338,051	6,617,024	405,250	8,415,418	45.30	422,583	16,631,545	39,357	56.63	2,864	219,395	20,315,948	294.02	3,122	224,276.17	71,837	13	-	13	20	1,609
岡山 Okayama		521,900	10,609,598	555,626	11,484,485	40.09	689,830	44,913,416	65,108	52.99	4,312	364,685	37,380,006	280.14	5,209	4,784,749	78,296	9	-	9	20	1,044
広島 Hiroshima		913,333	19,450,266	1,028,599	21,434,739	53.06	1,251,315	87,253,535	69,729	72.70	7,486	573,693	63,426,578	333.29	8,404	627,602.27	74,678	13	-	13	214	54,872
山口 Yamaguchi		728,829	15,570,515	687,121	14,502,520	63.28	743,591	53,249,294	71,611	64.56	6,625	349,973	41,257,252	303.88	5,657	421,926.18	76,353	7	-	7	193	26,916
香川 Kagawa		246,415	5,763,087	334,247	7,241,769	33.05	415,592	32,063,852	77,152	55.75	2,135	232,815	23,894,806	312.29	3,461	265,454.03	76,699	10	-	10	8	300
愛媛 Ehime		434,575	9,490,115	517,272	11,150,346	37.46	449,694	24,913,163	55,400	38.77	2,835	296,301	29,200,030	255.43	4,323	350,100.13	80,985	10	-	10	74	14,922
計 Total		3,374,452	71,924,088	3,740,411	78,242,007	46.08	4,176,376	269,739,485	64,279	57.31	27,715	2,177,584	229,927,058	297.39	32,342	2,472,594.47	76,452	67	-	67	530	99,726
熊本 Kumamoto	福岡 Fukuoka	1,541,513	31,109,413	1,330,753	28,206,355	58.94	1,471,299	92,035,706	62,554	56.26	9,182	754,798	95,729,123	288.60	7,744	715,087.39	92,341	17	2	19	276	59,808
	佐賀 Sagu	323,557	6,549,170	424,397	7,874,994	49.61	344,060	16,336,833	47,483	49.56	2,357	147,351	16,608,520	212.26	2,012	149,955.41	74,531	3	1	4	6	213
	長崎 Nagasaki	789,621	16,701,419	819,190	19,060,990	62.64	643,116	31,743,544	49,359	51.02	3,937	344,537	41,267,237	273.31	4,120	364,500.31	88,471	13	2	20	128	29,117
	熊本 Kumamoto	575,325	11,850,156	637,563	14,254,932	41.79	625,802	37,841,289	60,468	45.46	2,884	282,373	32,704,945	205.11	3,644	317,692.46	87,182	11	1	12	4	115
	大分 Oita	456,676	9,394,809	499,451	11,407,367	47.68	432,538	30,217,678	69,861	45.16	2,794	227,139	26,419,714	237.15	3,244	258,546.36	79,700	21	-	21	5	204
	宮崎 Miyazaki	368,208	7,901,303	338,936	9,343,632	46.75	294,735	12,940,257	43,905	37.42	1,019	149,945	15,123,899	190.38	1,969	150,920.20	76,648	7	2	9	4	110
	鹿児島 Kagosima	699,406	16,092,265	924,199	20,920,317	43.99	695,719	25,930,044	37,271	43.76	1,981	268,591	29,033,483	168.95	3,483	221,708.18	63,654	15	1	16	21	2,633
	沖縄 Okinawa	117,812	3,464,551	151,975	3,894,374	20.13	118,238	2,434,372	20,589	20.20	123	165,923	5,692,256	112.63	835	59,218.05	70,920	5	-	5	22	986
	計 Total	4,872,118	102,763,146	5,176,464	114,962,961	49.38	4,625,507	249,479,723	53,936	46.88	24,277	2,240,657	262,579,177	227.08	27,051	2,237,628.36	82,719	97	9	106	466	93,186
合計 Grand Total	31,834,021	652,998,345	33,510,917	695,733,343	48.02	34,815,691	2,664,622,606	76,535	52.52	243,459	17,777,176	2,327,297,622	268.15	245,175	18,596,271.57	75,849	816	34	850	3,305	3,874,209	

備考 1. 電気事業者ニシテ其ノ設備二地方以上ニ亘ルモノハ主タル地方ヲ計上ス

Note. 1. An electrical undertaking having its equipments in two or more provinces is accounted only in which the main exists.

第九章 會議

Section 9. Conference

保險課長會議

各逕信局保險課長ヲ召集シ昭和七年四月十九日ヨリ同月二十六日迄本省會議室ニ於テ第十五回保險課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

協議事項 7件

逕信局長會議

各逕信局長ヲ召集シ昭和七年七月四日ヨリ同月六日迄本省會議室ニ於テ第十八回逕信局長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 1件 會議事項 10件

地方海事官會議

各逕信局海事部長並技術官ヲ召集シ昭和七年十月五日ヨリ同月八日迄本省會議室ニ於テ地方海事官會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 1件 協議事項 12件

工務課長會議

各逕信局工務課長ヲ召集シ昭和八年三月二十六日ヨリ同月二十八日迄本省會議室ニ於テ工務課長會議ヲ開催ス其ノ會議事項及件數次ノ如シ

諮問事項 2件 協議事項 19件 打合事項 49件 參考事項 17件

第十章 歳入及歳出

Section 10. Revenue and Expenditure

昭和七年度一般會計豫算トシテ第六十回帝國議會ニ提出シタル歳入ハ經常部(印紙收入ヲ除ク)227,076,630圓臨時部1,151,242圓計228,227,872圓ナリシモ不成立トナリシヲ以テ昭和七年三月勅令第二十三號ニ依リ施行スヘキ前年度豫算經常部241,997,599圓臨時部890,040圓計242,887,639圓ニ實行追加經常部957,112圓外ニ第六十二回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額臨時部285,997圓及第六十三回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額臨時部187,087圓ヲ加ヘ減少見込額經常部11,034,588圓臨時部24,795圓計11,059,383圓ヲ控除シ經常部231,920,123圓臨時部1,338,329圓計233,258,452圓ヲ昭和七年度實行豫算ト定メ歳出ハ經常部292,790,268圓臨時部39,405,545圓計332,195,813圓ナリシモ是亦不成立トナリシヲ以テ前記勅令ニ依リ施行スヘキ前年度豫算經常部293,889,731圓臨時部39,727,051圓計333,616,782圓ニ第六十二回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額經常部13,121,069圓臨時部3,069,512圓計16,190,581圓及第六十三回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額臨時部2,398,341圓ヲ加ヘ總額352,205,704圓ノ範圍内ニ於テ經常部304,519,184圓臨時部42,430,076圓計346,949,260圓ヲ昭和七年度ニ於ケル實行豫算ト定メタリ。又特別會計(1)簡易生命保險歳入歳出豫算トシテ第六十回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入196,965,364

圓歲出99,580,787圓ナリシモ不成立トナリシヲ以テ昭和七年三月勅令第二十三號ニ依リ施行スヘキ前年度豫算歳入183,766,115圓歳出73,416,106圓ニ第六十二回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額歳入11,493,720圓歳出25,983,919圓及第六十三回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額歳出187,087圓外ニ七年度増收見込額1,667,605圓ヲ加ヘ計歳入196,927,440圓歳出99,587,112圓ヲ以テ昭和七年度ノ實行豫算ト定メ(2)郵便年金歳入歳出豫算トシテ第六十回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入11,340,692圓歳出4,139,305圓ナリシモ不成立トナリシヲ以テ昭和七年三月勅令第二十三號ニ依リ施行スヘキ前年度豫算歳入9,721,488圓歳出2,849,362圓ニ第六十二回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額歳入6,487,816圓歳出1,292,808圓ヲ加ヘ外ニ七年度減收見込額4,869,189圓ヲ控除シ計歳入11,340,115圓ヲ以テ昭和七年度ニ於ケル歳入ノ實行豫算ト定メ計歳出4,142,170圓ヲ以テ歳出ノ實行豫算ト定メタリ

大正十四年三月二十三日
 郵政省
 郵政總局
 庶務課
 出費及入費 第十卷
 昭和七年三月二十三日

出費及入費 第十卷
 Section 10. Revenue and Expenditure

郵便年金歳入歳出豫算トシテ第六十回帝國議會ニ提出シタルモノハ歳入11,340,692圓歳出4,139,305圓ナリシモ不成立トナリシヲ以テ昭和七年三月勅令第二十三號ニ依リ施行スヘキ前年度豫算歳入9,721,488圓歳出2,849,362圓ニ第六十二回帝國議會ニ提出ノ追加豫算成立額歳入6,487,816圓歳出1,292,808圓ヲ加ヘ外ニ七年度減收見込額4,869,189圓ヲ控除シ計歳入11,340,115圓ヲ以テ昭和七年度ニ於ケル歳入ノ實行豫算ト定メ計歳出4,142,170圓ヲ以テ歳出ノ實行豫算ト定メタリ

歳入歳出豫算及決算額

Estimates and Settlement of

Annual Receipts and Expenditure

昭和七年度
 1932-33

科 目	Item	豫 算 Estimates	決 算 Settlement
歳 入 Revenue	印 紙 收 入 Stamps	65,476,163	66,108,533
	官 業 及 官 有 財 産 收 入 Receipt from public undertakings and State Property	231,091,931	243,023,921
	郵 便 電 信 及 電 話 收 入 Post, Telegraph & Telephone Service	231,088,145	243,019,626
	官 有 物 質 下 料 Rent of the Government-Property	3,786	4,295
	雜 收 入 Miscellaneous	828,192	574,819
	合 計 Total	297,396,286	309,707,273
	官 有 物 質 下 代 Proceeds of Sale of the Government-Property	302,502	248,998
	臨 時 部 特 別 會 計 等 移 入 Contingent Transferred from Special Account	1,035,827	415,844
	合 計 Total	1,338,329	664,842
	總 計 Grand Total	298,734,615	310,372,115
經 常 部 Ordinary	通 信 本 省 Main Office	1,420,026	1,406,937
	通 信 費 Direction of Communications	138,138,322	139,438,036
	電 氣 試 驗 所 費 Electro-Technical Laboratory	624,718	621,783
	燈 臺 局 費 Lighthouse Bureau	988,685	986,884
	年 金 及 恩 給 Annuities and Pensions	161,612,212	160,153,799
	諸 支 出 金 Miscellaneous	96,586	58,550
合 計 Total	302,880,549	302,665,989	

歲入歲出豫算及決算額 (續)
Estimates and Settlement of (Continued)
Annual Receipts and Expenditure

昭和七年度
1932-33

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement
	補助及獎勵費	Subsidies and Bounties	15,105,474	14,922,267
	海員養成補助	To train Mariners	16,000	16,000
	水難救濟補助	To rescue from Sea-Casualties	56,000	56,000
	航路補助	To extend Steamship	10,584,132	10,469,836
	電氣用品標準仕様制定補助	To standardize Electrical Articles	2,720	2,720
	船員職業紹介事業補助	To facilities for finding Employment for Seamen	94,100	94,100
	航空獎勵金	To encourage Civil Aviation	169,837	170,086
	航空輸送補助	To facilities for air transport	2,374,950	2,374,950
	私設無線電信通信從事者養成補助	To facilities for educating Operators for Private Wireless Telegraphic installation	6,800	6,800
	海員社會事業補助	To Social enterprises for Seamen	935	935
	失業船員救濟事業補助	State aid for special relief work of unemployed seamen.	91,666	109,804
	船員授職事業補助	Subsidies to relieve unemployed officers	458,334	371,036
臨時部 Contingent	船舶改善助成費	Subsidies to improve merchant fleet	1,250,000	1,250,000
歲出 Expenditure	電信電話管繕費	Building and Repairing of Telegraph and Telephone	158,811	171,418
	航路標識建設及改修費	Expenses for building and repairing beacons	208,125	207,542
	管繕費	Building & Repairing	179,112	217,179
	電話交換擴張費	Expansion of Telephone Exchange	23,571,200	22,662,017

歲入歲出豫算及決算額 (續)
Estimates and Settlement of (Continued)
Annual Receipts and Expenditure

昭和七年度
1932-33

科	Item	目	豫算 Estimates	決算 Settlement
	電信擴張及改良費	Telegraphic Extension and Betterment	925,000	902,606
	造船鐵材調查費	Expenditure for the recognition of exemption from Customs duty on ship-building materials	36,779	36,409
	電氣試驗所臨時研究費	Electro-Technical Laboratory research expenses for the limited term	50,616	50,506
	航空路設置費	Estimated expenditure on organization work of a regular air route	1,488,525	1,467,432
	町村電話施設費	Expenses for Telephone installations in Towns	-	42,378
	臨時通信費	Extraordinary expenses for communications	110,000	108,573
	震災復舊及新營費	Restoration expenditures for services damaged by earthquake-fire and new services expenditures	421,767	309,684
	災害費	Calamities	58,696	78,988
	無線電話施設費	Institution of Radio	17,562	17,256
	臨時恩給事務取扱費	Expenditures for extraordinary Pension business	6,726	6,726
	船舶改善施設費	Expenditure for merchant fleet improvement scheme	42,219	41,276
	合計	Total	42,380,612	41,242,257
總計	Grand Total	計	345,261,161	343,908,246
簡易生命保險歲入	Revenue of Post Office Life Insurance	入	208,359,084	198,993,295
同	Expenditure	歲出	125,751,793	97,055,069
特別會計 Special Account	郵便年金歲入	Revenue of Post Office Annuities	17,828,508	14,275,927
同	Expenditure	歲出	5,432,113	3,470,220

歲入歲出決算額
The Settled Accounts of the
Revenue and Expenditure

年次	Year	經 常 部 Ordinary	臨 時 部 Contingent	計 Total
昭和 六 年 度 1931-32	歲 入 Revenue	294,728,353	355,218	295,083,571
	歲 出 Expenditure	297,308,346	31,508,725	328,817,071
五 年 度 1930-31	歲 入 Revenue	299,280,656	238,667	299,519,323
	歲 出 Expenditure	296,218,812	39,277,096	335,495,908
四 年 度 1929-30	歲 入 Revenue	318,974,007	300,374	319,274,381
	歲 出 Expenditure	296,046,667	60,877,341	356,924,008
三 年 度 1928-29	歲 入 Revenue	320,391,517	368,468	320,759,985
	歲 出 Expenditure	287,072,261	53,686,589	340,758,850
二 年 度 1927-28	歲 入 Revenue	318,627,713	313,051	318,940,764
	歲 出 Expenditure	280,407,478	70,944,278	351,351,756
元 年 度 1926-27	歲 入 Revenue	306,491,863	307,644	306,799,507
	歲 出 Expenditure	262,785,437	89,919,067	352,704,504
大 正 十 四 年 度 1925-26	歲 入 Revenue	301,970,174	692,905	302,663,079
	歲 出 Expenditure	254,717,236	81,122,878	335,840,114
十 三 年 度 1924-25	歲 入 Revenue	263,199,923	244,719	263,444,642
	歲 出 Expenditure	248,748,214	68,717,630	317,465,844
十 二 年 度 1923-24	歲 入 Revenue	236,239,076	292,861	236,531,937
	歲 出 Expenditure	207,270,386	68,287,064	275,557,450

第十一章 財產
Section 11. Property

土 地 面 積
Area of Land

昭和七年度末
March 31, 1933

部 局 Section	本 省 Main Office	航 空 局 Civil Aviation Bureau	貯 金 局 D. G. of P. Money Orders and Savings Bank	簡 易 保 險 局 Bureau of Post Office Life Insurance	地 方 通 信 署 Local Communi- cation Offices	在 中 華 民 國 郵 便 電 信 局 Post, Telegra- ph Offices in Middle Repub- lic	燈 臺 局 Light house Bureau	各 航 路 標 Nautical Marks	合 計 Total
年 度 末 At the 31st March of :	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre	平 方 米 特 爾 Sq. metre
昭 和 七 年 度 1933	175,852	2,076,614	44,175	58,999	1,526,301	2,099	2,750,168		6,634,208
六 年 度 1932	178,903	565,930	44,17	58,999	1,582,748	2,099	2,730,855		5,163,709
五 年 度 1931	178,460	565,953	44,175	49,081	1,556,360	2,099	2,729,655		5,125,783
四 年 度 1930	178,457	565,969	44,123	49,081	1,541,967	2,099	2,723,258		5,104,954
三 年 度 1929	214,242	-	25,845	49,081	1,477,025	2,099	2,647,806		4,416,152
二 年 度 1928	198,374	-	25,845	49,081	1,433,122	3,808	2,639,932		4,350,162
元 年 度 1927	170,057	-	21,878	45,842	1,370,396	3,812	2,625,932		4,237,917
大 正 十 四 年 度 1926	199,428	-	21,127	22,344	1,307,820	3,808	2,587,634		4,142,161
十 三 年 度 1925	198,658	-	21,127	22,344	1,481,265	3,811	2,499,521		4,226,726
十 二 年 度 1924	193,789	-	21,104	22,344	1,246,170	3,811	2,501,253		3,988,471

新建物面積

Area of Buildings

昭和七年度末
March 31, 1933

部 種 別	Section 局	本省 Main Office	航空局 Civil Aviation Bureau	貯金局 D. G. of P. Money Orders & Savings Bank	簡易保險局 Bureau of Post Office Life Insurance	地方通信 官署 Local Communi- cation Offices	在中華民國 郵政電 信局 Post, Tele- graph Offi- ces in Mid- dle Republi-	燈臺局 Light- house Bureau	各航路 標識 Nautical Marks	合計 Total
Description		Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre	Sq. metre
事務所 Office Part	建	51,835	281	12,307	14,605	274,448	886	3,712	358,074	
住宅 Dwelling Part	建	2,575	-	235	69	42,493	106	28,741	74,219	
倉庫 Store Part	建	9,124	-	218	810	8,671	132	7,028	25,988	
雜屋 Miscellaneous Part	建	28,612	1,445	2,688	1,587	167,131	456	8,274	210,193	
合計 Total		92,146	1,726	15,448	17,071	492,743	1,580	47,755	668,469	
昭和 六年度末 March 31, 1932		91,392	280	15,434	17,071	485,838	1,580	45,888	657,483	
五年度末 March 31, 1931		92,020	350	24,542	17,071	468,422	1,580	43,626	647,611	
四年度末 March 31, 1930		91,808	350	16,648	17,071	451,027	1,580	43,899	621,383	
三年度末 March 31, 1929		88,532	-	16,605	17,289	429,235	1,580	41,326	594,567	
二年度末 March 31, 1928		88,062	-	16,591	8,406	419,946	1,580	40,765	575,350	
元年度末 March 31, 1927		90,162	-	16,185	8,410	395,592	1,570	40,433	554,352	
大正 十四年度末 March 31, 1926		107,921	-	29,851	14,654	555,799	3,389	38,740	750,354	
十三年度末 March 31, 1925		103,432	-	29,332	4,238	551,958	3,362	37,530	729,852	
十二年度末 March 31, 1924		63,848	-	28,959	69	516,966	3,362	36,916	650,120	

船舶

Shipping

昭和七年度末
March 31, 1933

部 種 別	Section 局	本省 Main Office	地方通信 官署 Local Com- munication Offices	燈臺局 Light house Bureau	各航路標識 Nautical Marks	合計 Total
Description						
汽船 Steamers	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	4 7,196	34 490	16 2,485		54 10,171
帆船 Sailing Vesseles	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	-	-	-		-
端 Bont	舟 Boat	-	65	41		106
合計 Total	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	4 7,196	99 490	57 2,485		160 10,171
昭和 六年度末 March 31, 1932	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	4 7,193	101 502	61 2,481		166 10,176
五年度末 March 31, 1931	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	3 7,186	106 479	61 2,475		170 10,140
四年度末 March 31, 1930	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	3 7,186	109 479	60 2,500		172 10,165
三年度末 March 31, 1929	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	3 7,183	110 479	58 2,491		171 10,153
二年度末 March 31, 1928	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	4 11,245	108 473	58 2,496		170 14,214
元年度末 March 31, 1927	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	4 11,245	108 509	56 2,459		168 14,213
大正 十四年度末 March 31, 1926	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	24 11,236	108 402	57 2,460		189 14,098
十三年度末 March 31, 1925	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	24 11,236	110 402	53 2,460		212 17,559
十二年度末 March 31, 1924	船數 No. 總噸數 Gross Tonnage	4 11,236	126 398	54 2,464		209 17,559

郵務、電務、工務各局沿革略誌

郵務、電務、工務ノ三局ハ孰レモ元通信局ノ一分課ナリシカ大正十四年五月逓信省官制改正ノ結果夫々本省内ノ一局トナリタルモノニシテ内郵務、電務兩局ノ如キハ從來屢々離合ヲ繰返シテ今日ニ至レリ而シテ右三局ノ所掌事項ハ通信事務運行上相互密接ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ本沿革ニ於テモ特ニ三局ヲ分掲セス而シテ郵便、電信事務ニ至リテハ其ノ濫觴ヲ遠クニ發スト雖制度トシテ之ヲ認メラレタルハ電信ニ在リテハ明治二年、郵便ニ於テハ明治四年トス爾後幾多ノ所管廳省等ノ變遷ヲ經テ今日ニ至レルカ以下年ヲ逐フテ之カ沿革中主ナルモノヲ摘録スレバ次ノ如シ

明治元年

- 一月 三職ノ職制分課ヲ定メラレ諸國水陸運輸驛路ノ事務ハ内國事務總督ノ所管ニ屬ス
- 二月 改メテ八局ヲ置キ上記ノ事務ハ内國事務局ノ所管ニ屬ス
- 閏四月 内國事務局ヲ廢シテ會計官ヲ置キ七司ヲ管シ驛遞司其ノ一ニ屬ス
- 七月 各地飛脚賃錢ノ制ヲ定ム
- 九月 驛遞規則ヲ定メ驛遞ノ法ハ驛遞司之ヲ裁定シ府藩縣之ヲ遵守シ驛卿ノ組替、訴訟請願、各驛ノ配置等凡テ驛遞司ノ管理ニ屬セシム
- 十月 車駕東遷ニ際シ驛遞司ヲ東京(七月江戸ヲ東京ト改稱)ニ置ク
- 同 諸官司ノ發スル公狀、諸荷物ハ一切各驛傳馬所ニ於テ遞傳セシメ驛遞官吏一名ヲ出シテ監督セシム

明治二年

- 四月 民部官ヲ置カレ驛遞司ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 官ヲ改メ省トナシ民部省廢セラレ驛遞司ハ民部大藏省ニ屬ス
- 八月 驛遞司ヲ驛遞寮ニ改ム
- 同 始メテ電信事業開設ノ事ニ著手セルモ事草創ニ係リ所管廳ヲ建ツルニ至ラス假ニ燈臺事務ニ附屬シテ外務省ノ管理ニ屬セシカ翌月燈臺事務ノ大藏省ニ移サルルニ及ビ電信事務モ亦之ニ屬ス
- 同 横濱燈明臺役所及同港裁判所間ニ電信線ヲ架設シテ指字機ヲ裝置シ專ラ官用通信ノ用ニ供ス
- 同 神奈川縣ヲシテ横濱裁判所、東京運上所間電信線建築事務ヲ處理セシメ横濱裁判所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 九月 傳信機取扱規則(十三項ヨリ成ル)ヲ設ク
- 同 東京横濱間ニ電信線ヲ架設ス
- 十月 東京運上所内ニ傳信機役所ヲ置ク
- 十一月 傳信機ニ關スル七項ヲ規定シテ各省及近傍府縣内ニ布告ス
- 十二月 傳信機役所ヲ傳信局ト改稱ス

明治三年

- 四月 歐文通信ノ取扱ヲ開始ス
- 七月 民部大藏省ヲ民部省及大藏省ニ分ツニ方リ、驛遞及電信事務ハ民部省ニ屬シ省中四司(土木、驛遞、

鑛山、通商)六掛(聴訟、社寺、鐵道、傳信機、燈臺、横須賀製鐵所)ヲ置キ電信ニ對シテハ始メテ傳信機ノ名アルニ至ル然レトモ實際ハ尙舊例ニヨリ燈臺掛ニ於テ之ヲ處理セリ

八月 大阪、神戸間ニ電信線ヲ架設シ大阪川口、神戸大手町ニ傳信局ヲ置キ事務ヲ開始ス
同 大北電信會社ニ上海長崎間及浦鹽長崎間ノ兩海底線ヲ長崎ニ陸揚シ及長崎横濱間ニ海底線ヲ布設スルコトヲ許可シ丁抹公使ト之ニ關スル條約ヲ交換ス(長崎横濱間ハ起工ニ至ラス明治十五年其ノ許可ヲ廢止ス)

閏十月 工部省ヲ置キ電信事務ハ同省ニ屬ス
同 兵庫縣ニ於テ日曜日其ノ他公休日ヲ廢シテ公衆ノ利便ヲ圖リ十一月五日ヨリ年中晝夜ノ別ナク電信ヲ取扱ヒ午後七時ヨリ午前七時ニ至ル間ハ料金ヲ倍課シ且公用通信ノ無料ヲ改メテ一般通信料ノ半額ヲ徵スルコトヲ令ス
十二月 郵便開設ニ關シテ十二藩六縣ニ令シ東海道品川ヨリ大津ニ至リ、城州伏見ヨリ河州守口ニ至ル管内各驛皆書狀集函及切手賣捌所ヲ設ケシム

明治四年

一月 飛脚便法ヲ設ケ公私通信ヲシテ自在ナラシムルコトヲ令シ三月以降東京ヨリ大阪ニ至ル三十九時間飛脚ヲ廢シ東海道各驛四五里四方各村及勢州、美濃路ニ右幸便ヲ以テ達スルコトトシ諸官省發公信モ亦定費ヲ以テ賃錢切手ヲ購買シ發送スルコトトス

二月 書狀賃錢切手四十八文、百文、二百文、五百文ノ四種發行ニ付各管内便宜ノ地及資產アル者ヲ選ヒテ切手ノ發賣ヲ命シ、百文ニ付四文ノ手数料ヲ給スルコトトス

同 郵便差出方心得及時間賃錢表ヲ布告ス

三月 東京大阪間ニ新式郵便ヲ實施シ兩地ニ郵便役所ヲ設ク

四月 民部省ヨリ電信事務ヲ繼承ヲ完了ス依テ工部省ニ傳信掛ヲ置ク

五月 官用傳信機稅則ヲ定メ公信ト雖有料トス

六月 上海長崎間海底線成リ海外ト通信ヲ開始ス

七月 民部省廢セラレテ驛遞司ハ大藏省ニ屬シ翌八月驛遞寮ト改稱ス

同 八月ニ涉リ横濱、神戸、長崎、函館、新潟ノ五港ニ郵便役所ヲ設ケ其ノ賃錢表ヲ發行ス

八月 工部省官制ヲ定メ電信寮ヲ置ク

同 大阪以西ノ書狀發行法ヲ定ム

同 東京長崎間(三百五十七里)陸線架設ノ工ヲ起ス

十月 モールス印字機始メテ渡來ス

明治五年

三月 増補郵便規則(四年十一月制定)ヲ頒布ス、其ノ要旨ハ書狀ノ外新聞雜誌、書籍見本、書留郵便ノ差出方ヲ定メ、官廳宛公益ニ關スル建白書又ハ願書等開封ノモノハ無料トシ、貨幣封入書狀、危險物等ヲ郵便禁制品トシ、外國郵便差出手續等ヲ定メタルコト等ナリ

同 東京市内ニ一日三回ノ郵便集配ヲ開ク

四月 傳信局ヲ電信局ト改稱シ西京ニモ電信局ヲ開ク

同 東京長崎間通信料ヲ定ム

五月 東京横濱間ニ一日五回往復便ヲ開キ且郵便切手ヲ貼付セザル書狀ノ遞送ヲ營業トスルヲ禁シ郵便ヲ政府ノ專掌ニ屬セシム

六月 金子入書狀遞送規則ヲ發布シテ東京横濱間ニ實施ス

七月 國內(後志、膽振ヲ除ク)本支道ノ別ナク縣廳所在地及港、津、市、驛等公私用務繁多ノ地ニ凡テ信書ノ遞送ヲナサシム

同 海外音信内地傳送料額ヲ定ム

八月 赤間關海島ニ一線ヲ沈設ス之ヲ第一線海底線トス

九月 十錢、二十錢及三十錢郵便切手ヲ發行ス

同 東京府内各局音信料額ヲ定ム

同 一般私線ノ架設ヲ許ササルコトトス

十一月 各府縣ニ告諭シ電報ハ創業ノ際工事多端通信停滯ノ虞ナシトセサルニ付中間局ニ於テ通信杜絶シタルトキハ郵便ヲ以テ送達スヘク其ノ延滯ニ對シテハ損害賠償ノ責ニ任セサルコトヲ明カニス

明治六年

二月 東京長崎間架線ノ工竣ハリ沿道ノ地ニ順次電信局ヲ開ク

三月 四錢郵便切手ヲ發行ス

四月 郵便役所ヲ分チテ一等乃至四等トス

同 郵便賃錢ノ稱呼ヲ廢シテ郵便稅ト改稱シ量目等一ノ信書ハ里程ノ遠近ニ係ハラス均一郵稅トス、但シ市内郵便、地方郵便、市外増稅ハ尙舊ニ依ル

五月 東京長崎間各電信局ヲ事務ノ繁閑ニヨリ一等乃至三等ニ分ツ

同 信書遞送ノ業務ハ學ヲ驛頭ノ特任ニ歸シ茲ニ本邦郵便制度始テ定マル

同 同文電報ノ取扱ヲ開始ス

八月 大日本政府電信取扱規則ヲ制定シ、通信ノ方法順序ヲ示シ、語字及符號ノ計算並郵便配達、返信料前納、報知依頼、校正、符牒各電報ノ種別ヲ明カニス

十二月 郵便葉書、封皮、帶紙ヲ發行シ其ノ用方規則ヲ頒布ス

明治七年

一月 驛遞寮ハ内務省所管トナル

同 六錢郵便切手ヲ發行ス

二月 飛信遞送規則ヲ制定シ非常ノ通信ニ限リテ用フルコトトス

同 海外電信料ヲ改正ス

三月 琉球ニ郵便局ヲ開ク

六月 北米合衆國ト郵便交換條約ヲ締結シ八年一月ヨリ實施ス

八月 電信私線規則ヲ定メ官線ナキ地ニ私線ノ架設ヲ許シ之ニ關スル條項ヲ規定ス

- 九月 日本帝國電信條例ヲ制定シ電信ニ關スル諸般罰則等ヲ規定ス
- 十二月 在本邦米國郵便局ヲ撤退ス

明治八年

- 一月 米國トノ郵便交換條約ヲ實施ス
- 同 郵便役所ヲ郵便局ト改稱シ且同一市内ニ數個ノ郵便局アルモノハ其ノ一局ヲ本局トシ其ノ他ハ總ヘテ分局トシ郵便局又ハ分局ト隔絶セル土地ニ郵便受取所ヲ設置ス
- 十月 電信各局ノ閉開時限ヲ一定シ午前六時ヨリ午後十時マテトス

明治九年

- 一月 局待電報ノ制ヲ定ム
- 三月 追尾電報ノ制ヲ定ム
- 四月 上海ニ本邦郵便局ヲ開キ芝罘、鎮江等八港ニ郵便受取所ヲ設置ス
- 六月 火災報ヲ一定シ出火ニ關スル揭示ヲナスコトトス
- 九月 五厘郵便切手及一錢通常葉書ヲ發行ス
- 十二月 朝鮮釜山ニ本邦郵便局ヲ設置ス

明治十年

- 一月 各省諸寮ヲ廢シテ局ヲ設クルコトトナリ驛遞寮、電信寮ヲ驛遞局又ハ電信局ニ改メ地方電信局ハ之ヲ電信分局ト改稱ス
- 二月 萬國聯合郵便條約ニ加盟シ六月ヨリ之ヲ實施ス
- 六月 外國郵便葉書ヲ發行ス
- 十一月 八錢郵便切手ヲ發行ス

明治十一年

- 三月 東京木挽町ニ電信中央局ヲ設置シテ全國電信ノ中心トシ二十五日電信開業式ヲ舉行ス
- 同 海外通信ハ萬國電信公法ニヨリ取扱フコトトス
- 同 内國和文通信ハ住所姓名等ノ數字ヲ音信文ニ通算シテ料金ヲ徵スルコトトナル(十一月住所姓名ヲ一通五錢ニ改ム)
- 五月 佛國巴里ニ開催ノ萬國郵便聯合會議ニ本邦委員ヲ出席セシメ六月其ノ決議ニ依ル萬國聯合郵便條約ニ加盟シ翌年四月ヨリ之ヲ實施ス

明治十二年

- 一月 萬國電信條例ニ加盟調印ヲ了ス
- 四月 倫敦ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 五月 電信取扱規則ヲ改定シ七月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ秘密ヲ嚴守シ安寧秩序ヲ害スル電報ノ取扱ヲ禁シ、通信上ノ責任ヲ明ニシ、取扱ヲ便利ニシテ改追尾電報ヲ設ケ、至急電報ノ制ヲ開キ、照校、受信報知電報ヲ定メ、同文電報ヲ連名電報トシタルコト等トス

- 六月 二錢葉書、五十錢郵便切手及三錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
- 七月 著信電報ハ凡テ炭酸紙ヲ以テ謄寫スルコトトス
- 十二月 在本邦英國郵便局ヲ撤去セシメ同時ニ英領香港郵政廳ト小包交換條約ヲ締結シ翌年一月ヨリ實施ス
- 同 工部省製機掛ニ於テ始メテ「モールス」印字機十臺ヲ製出ス

明治十三年

- 三月 在本邦佛國郵便局ヲ撤去セシム茲ニ於テ本邦郵便事業ハ舉ケテ我カ統管ニ歸ス
- 同 地震報知方法ヲ設ケ横濱、東京近傍十四局ニ達示シテ之ニ依ラシム
- 五月 朝鮮元山津ニ本邦郵便局ヲ開設ス
- 十月 海外ニ發スル電報文中ニ邦語ヲ用フルコトヲ認ム

明治十四年

- 四月 農商務省ヲ置カレ驛遞局ハ其ノ所管ニ屬ス
- 七月 郵便支局ノ制ヲ設ケ(十六年五月廢ス)
- 八月 清國芝罘、鎮江等八ヶ所ニ設置セル本邦郵便受取所ハ收支償ハス且取扱人其ノ人ヲ得難キニ依リ悉ク之ヲ閉鎖ス
- 同 地方人民ヨリ興業費及局舎等ヲ獻納シ電信置局ヲ請願スルトキハ必要ト認ムルモノハ之ヲ許可ス

明治十五年

- 六月 電信取扱規則ヲ改正シ、島嶼配達ノ制ヲ加ヘ、内國至急官報料金ヲ通常信ノ二倍トシ閉局時限後ト雖之カ取扱ヲナサシメ其ノ他諸般ノ事項ヲ改正ス
- 十月 海底線保護萬國會議ニ我在佛公使館員ヲ參列セシム
- 十一月 郵便條例ヲ制定シ從來ノ諸法規ヲ統一改正シテ郵便物ヲ第一種乃至第四種ニ分チ郵便料額ヲ全國均一トス

明治十六年

- 一月 五錢郵便切手ヲ發行ス
- 三月 朝鮮ト日朝間海底線布設ニ關スル條約ヲ締結ス
- 同 驛遞區編制法ヲ定メ全國ヲ劃シテ驛遞區トシ、驛遞區ヲ劃シテ郵便區トス而シテ每驛遞區ニ一驛遞出張局ヲ設ケ、每郵便區ニ郵便局ヲ置キ驛遞出張局ヲシテ其ノ驛遞區内ノ郵便局ヲ管理シ、郵便局ヲシテ其ノ郵便區内ノ郵便受取所及切手賣下所ヲ管理セシム
- 十月 海底線保護萬國聯合會議ニ再ヒ在佛公使館員ヲ參列セシム
- 十一月 大阪梅田電信分局ヲ西部電信中央局トシ大阪以西各分局ニ發著スル音信ノ繼送ヲ掌ラシム

明治十七年

- 六月 郵便徽章ヲ定ム
- 十二月 電信披閱手續ヲ設ケ犯罪事件檢察上ノ必要ニ應セシム

明治十八年

- 一月 二錢内國郵便往復葉書及六錢萬國郵便聯合往復葉書ヲ發行ス

- 三月 葡國里斯本府 = 開催ノ萬國郵便聯合會議 = 本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議 = 依ル追加條約 = 同盟シ翌年四月ヨリ實施ス
- 五月 電信條例ヲ改正シ電信取扱規則ヲ改定ス、其要旨ハ專掌ノ趣旨ヲ明 = シ、料金を均一 = シ、住所氏名料ヲ廢シ、受取證書ヲ差出スノ方法ヲ設ケ、連名電報ヲ同文電報トシ、受信電報ノ稱ヲ定メ、尋問改正手續ヲ明 = シ、閱覽正寫ノ方法ヲ創メ、電信切手ヲ發行シタルコト等トス
- 七月 電信機施設法ヲ定メ電信建築 = 關スル方法ヲ明 = ス
- 八月 伯林 = 開催ノ萬國電信會議 = 本邦委員ヲ參列セシム
- 十二月 逓信省創設セラレ驛遞局ハ農商務省ヨリ、電信局ハ工部省ヨリ移ル = 及ヒ郵便電信事務ハ逓信省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 逓信省官制ヲ公布シ六局ヲ置キ驛遞、電信二局其ノ内 = 合マル
- 同 郵便條例ヲ改正シ流動或ハ腐敗シ易キ物品等ノ郵送ノ禁ヲ寬 = ス
- 三月 地方逓信官署官制ヲ公布シ郵便電信事業管理ノ爲須要ノ地下記十三ヶ所 = 逓信管理局ヲ置キ又地方郵便電信ノ事務ヲ掌理スル爲郵便局及電信分局ヲ置キ逓信管理局ノ管理 = 屬セシメ、郵便局及電信分局ヲ各一等、二等、三等トス
東京、大阪、岡山、赤間關、仙臺、金澤、名古屋、熊本、松江、函館、福島、丸龜、新潟
- 五月 海底線保護萬國聯合會議 = 三度在佛公使館員ヲ參列セシム
- 八月 電信建築官官制ヲ公布シ電機ノ施設及修築ノ工事ヲ處理スル爲逓信管理區ヲ分チ電信局長ノ管理 = 屬セシム

明治二十年

- 三月 官制改正ノ結果驛遞、電信ノ二局ヲ廢シ内信、外信、工務、爲替貯金ノ四局ヲ設ケ内國郵便、内國電信ノ事務ハ内信局、外國郵便、外國電信、外國爲替ノ事務ハ外信局、電信工事 = 關スル事務ハ工務局 = 於テ分掌ス
- 同 郵便電信業務ノ聯帶セル郵便ハ之ヲ免稅トシ電報ハ局報トス
- 六月 電信建築官官制ヲ廢止ス
- 十月 英國ト畫狀郵便ヲ以テ交換スル商品見本ノ重量及積量ノ制限 = 關スル約定ヲ締結シ翌年六月ヨリ實施ス

明治二十一年

- 三月 二十五錢及一圓郵便切手ヲ發行ス
- 四月 三等郵便局長採用規則ヲ定ム
- 五月 新 = 改追尾電報ノ方法ヲ設ク
- 十二月 電話通信手續ヲ設ケ翌年一月ヨリ試験ヲ兼ネ東京熱海兩電信局間 = 於テ電話通信ヲ開ク

明治二十二年

- 一月 電話取扱心得ヲ設ケ東京熱海間ノ電話 = 使用セシム

- 三月 電信電話線私設條規ヲ定メ、出願ノ手續、工事起竣ノ報告、公私兩線ノ關係等ヲ規定ス
- 四月 地方部局 = 訓示シテ通信秘密ノ保護ヲ嚴 = シ公衆 = 接スル = 親切丁寧ヲ以テシ又取扱上不都合アル場合何人 = テモ本省 = 申告セシムルノ途ヲ開ク
- 七月 地方逓信官署官制ヲ廢シ郵便及電信局官制ヲ公布シ逓信管理局ヲ廢シ郵便電信局、郵便局、電信局ヲ各一等、二等、三等トシ、一等局ハ各指定区域内各局業務ノ監督ヲ兼スルコトトシ九月一日ヨリ施行ス
- 八月 郵便條例ヲ改正シ第三種 = 屬スル定時印刷物ノ郵稅ヲ半減シ、第四種 = 屬スル書籍、圖書、見本、雛形等ノ重量ヲ増加シ且農産物種子ヲ第四種 = 編入シ各其ノ郵稅ノ割合ヲ輕減ス
- 十一月 電報受付時限ヲ改定シ三月 = 十月ハ午前六時ヨリ午後十時迄トス十一月 = 二月ハ午前七時
- 十二月 電信切手ノ使用ヲ翌年二月限り禁止スルコトトス

明治二十三年

- 三月 本省各局、郵便及電信局並爲替貯金局、出納所 = 於テ相互 = 往復スル公務ノ内地郵便及電信ヲ郵便事務又ハ局報トシテ取扱ハシム
- 四月 電話交換規則ヲ定メ電話通信ノ手續順序ヨリ電話器使用料金及其ノ方法等ヲ明 = シ電話交換加入ノ申込ヲ爲サシム
- 五月 巴里開催ノ萬國電信會議 = 本邦委員ヲ參列セシム
- 六月 逓信省官制ヲ改正シ内信、外信、工務ノ三局ヲ廢シテ郵務、電務ノ二局ヲ置キ郵便 = 關スル事務ハ郵務局、電信 = 關スル事務ハ電務局 = テ掌ル
- 八月 電信電話建築條例ヲ制定シ電信電話ノ建築 = 就キ民有土地營造物供用等ノ場合損害賠償及補償評定等ノ事ヲ規定ス
- 同 電報局渡規則ヲ定メ局渡證票ヲ交付シ電信局所 = 就キ電報ヲ受取ラシムル事トシ十月ヨリ施行ス
- 九月 英領加奈陀ト小包郵便交換條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス
- 十二月 東京濱橫兩市 = 電話交換ヲ開始ス

明治二十四年

- 四月 埃國維也納 = 於ケル萬國郵便會議 = 委員ヲ派遣シ其ノ決議事項ヲ翌年七月ヨリ實施ス
- 同 大北電信會社ヨリ肥前呼子、對島嚴原間ノ海底線ヲ買収シ之 = 關聯シテ壹岐、對島 = 發着スル電報料ヲ内地ト同一 = シ釜山迄ノ電報料ヲ低減ス
- 六月 訴訟書類特別送達ノ手續ヲ定ム
- 七月 逓信省官制ヲ改正シ電務局 = 於テハ電信ノ外電話及電氣事業監督 = 關スル事項ヲ掌ル
- 同 電信建築署官制ヲ公布シ東京外五ヶ所 = 電信建築署ヲ設ク
- 同 電話交換局官制ヲ公布シ電話交換ノ業務ヲ執行ス
- 同 萬國電信條例 = 附隨シ各國適宜 = 規定スルヲ得ル事項 = 關シ本邦 = 於テ施行スヘキ規定ヲ公示ス、本文ナキ電報ヲ認メ、句讀點ノ類ヲ傳送セサルコト、無絨配達ヲ認メサルコト、至急私報及返信料前納 = 關スル規則ノ全部ヲ施行スルコト等ヲ主ナルモノトス

明治二十五年

- 二月 第三種郵便物認可規則ヲ定ム
- 三月 配達證明郵便ノ制ヲ設ク
- 五月 三錢郵便切手ヲ發行ス
- 六月 小包郵便法ヲ公布シ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ種類ヲ通常及價格登記ノ二種トシ、郵便料ハ遞送距離ト重量トニ依リテ區別シ、郵便區ノ市外ニ配達スルモノハ別ニ料金ヲ加徴スルコト等ナリ
- 十月 特別氣象電報ノ制ヲ設ク

明治二十六年

- 三月 大阪神戸ニ電話交換ヲ開始ス
- 六月 本邦發萬國郵便聯合外諸國宛郵便物ノ稅率ヲ改定シテ凡テ同一稅額トス
- 十月 官制ヲ改正シ郵務、電務ノ二局ヲ合セテ通信局トス
- 同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分テ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局及三等郵便局トシ、一等郵便電信局ハ管内各局ノ監督ヲ兼スルコトトシ次ノ各地ニ之ヲ置ク
東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島
- 同 電話交換局ニ支局ヲ設置シ得ルコトトス
- 同 第三種及第四種郵便物自體及上封ニ筆書シ得ル事項ヲ定ム

明治二十七年

- 六月 軍事郵便ニ關スル規定ヲ設ケ戰時若ハ時變ニ際シ軍隊、軍艦、軍衙、其ノ他軍人軍屬ヨリ發スル郵便物ハ軍事郵便物トシテ無料トシ是等ニ對シテ宛テタルモノハ完納稅郵便物ニ限ルコトトス
- 九月 特別警報氣象電報ノ制ヲ設ク
- 十二月 獨逸ト小包郵便交換約定ノ件ヲ公布シ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十八年

- 三月 第五種郵便物ヲ設ケ第四種中農産物種子ヲ以テ之ニ充テ料率ヲ低減ス
- 十二月 臺灣、威海衛各野戰局ニ軍事郵便物ノ外平時完納稅郵便物ノ取扱ヲ開始ス

明治二十九年

- 四月 臺灣ニ郵便、電信、爲替貯金等ニ關スル規定ヲ施行ス
- 同 小包郵便料ヲ改正シ市外加徴料ヲ廢シ、容積制限ヲ擴メ、料金ノ基準タル里程階級ヲ減シ百里以上ハ均一率ヲ採用ス
- 六月 ブタベスト開催萬國電信會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年七月ヨリ施行ス
- 九月 代金引換小包ノ制ヲ設ク
- 同 英國ト締結セル小包郵便交換ニ關スル約定ヲ公布ス
- 十月 鹿兒島、那覇間固定軍用電信ヲ公衆電信用ニ供スルコトトス

- 十月 在外郵便電信局、郵便局官制ヲ公布ス

明治三十年

- 五月 米國華盛頓ニ開催ノ萬國郵便會議ニ委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ明治三十二年一月ヨリ施行ノコトトス
- 六月 外國新聞電報規則ヲ制定シ料金ヲ低減ス
- 八月 官制ヲ改正シ通信局ヲ郵務、電務ノ二局ニ分ツ
- 同 郵便及電信局官制ヲ改正シ郵便及電信局ヲ分テ一等郵便電信局、二等郵便電信局、二等郵便局、二等電信局、三等郵便電信局、三等郵便局、三等電信局トシ一等郵便電信局ハ管轄區内各局ノ監督ヲ兼スルモノトシ次ノ十八局ヲ置ク
東京、大阪、京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、多度津、鹿兒島
- 十月 諸國宛郵便稅率ヲ改正ス
- 十一月 在韓國本邦郵便局ト本邦トノ間及在韓本邦局相互間ノ郵便稅ハ內國郵便稅率ニ依ル旨ヲ明ニス
- 十二月 電話交換規則ヲ改正シ、加入期ヲ短縮シ、加入權讓渡ニ關スル事項ヲ規定シテ手續ヲ簡重ニシ、急設ノモノハ讓渡ヲ禁シ加入登記料ヲ徵收シ、料金ヲ高メ別ニ電話依託電報規則ヲ制定ス

明治三十一年

- 二月 電話交換規則ヲ改正シ官廳ノミナラス公署其ノ他公益ニ關スルモノニ對シテハ特別架設ヲ認メ、使用料ヲ改正シ現金納付ヲ原則トスルコトニ改ム
- 三月 萬國郵便聯合四錢葉書及同八錢往復葉書ヲ發行ス
- 四月 電話加入申込讓渡ヲ許可スルコトトス
- 八月 佛國トノ價格表記小包郵便物交換條約ヲ公布ス
- 十月 官制ヲ改正シ郵務局、電務局ヲ廢シテ再ヒ通信局ヲ置ク

明治三十二年

- 一月 電話依託電報用語ノ制限ヲ廢シ、依託料額ヲ改正シ、電話交換規則中長距離電話ニ關スル事項ヲ追加ス
- 二月 郵便條例ヲ改正シ郵便物容積制限ヲ寬メシ、第一種及第二種郵便物料金ヲ引上ケ、第一種ハ單位當重量ヲ增加シ、葉書ノ紙質ヲ改良シ四月一日ヨリ施行ス
- 三月 郵便切手ノ賣下ヲナス局所ニ於テハ收入印紙ノ賣下ヲモ爲スコトニ定メラル
- 同 加入登記料並市内外電話料金ヲ改正ス
- 同 內國電信料金ヲ引上ケテ一音信ノ字數ヲ增加シ、發信人氏名ヲ有料字數ニ算入スルコトトシ、市内電報同文電報、追尾電報等ノ料金ヲ改正シ、受信人連記ヲ禁シテ一名ニ限ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス
- 五月 郵便博物館ヲ遞信省構内ニ置ク
- 同 一錢五厘葉書ヲ發行ス

- 五月 固定軍用電信公衆通信取扱規則ヲ制定ス
- 十月 三錢往復葉書ヲ發行ス

明治三十三年

- 三月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ發布シ、韓國發及韓國宛小包ノ規定ヲ設ク
- 八月 電話呼出規程ヲ制定シ加入者又ハ電話所ニ來ル者ヨリ電話所所在地ノ者ヲ呼出シ對話スルコトヲ得セシム
- 九月 郵便規則ヲ制定シ郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ郵便禁制品ノ種類ヲ改正シ、價格表記トナスヘキ物件ノ種類ヲ限定シ、私製葉書ヲ認メ、業務用書類ヲ設ケ、通常郵便ニモ價格表記及代金引換ノ制ヲ認メ、現金取立ニ關スル規定ヲ設ケ、損害賠償ノ標準ヲ定メタルコト等トス
- 同 鐵道船舶郵便規則ヲ制定シ鐵道船舶郵便法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、同法ハ鐵道及船舶運送業者ノ郵便物運送ニ關スル諸般ノ事項ヲ規定スル所アリ、本則ハ之ニ關聯シ是等ノ郵便物運送ノ爲ニスル設備、運送料金等ヲ定ム
- 同 外國郵便規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行シ之ニ關聯シテ名宛變更及取戻ニ關スル事項代金引換交換局名、代金引換書留取立制限額等ヲ告示ス
- 同 郵便局所收入印紙賣下規則、便郵切手類賣下規則及第三種郵便物認可規則ヲ定メ十月一日ヨリ施行ス
- 同 電報規則ヲ制定シ電信法實施ニ伴ヒ十月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ官報及局報ノ範圍ヲ改正シ、局報ノ發送ヲ制限シ、本文ナキ電報ヲ認メ、無絨配達ノ制ヲ設ケ、直配達區域ヲ擴張シ、在韓本邦局相互間ノ電報ハ內國電報ニ準セシムルコト等トス
- 同 私設電信規則、私設電信ニ依ル公衆通信取扱規則、官應用電信電話規程ヲ制定シ略號登記料、配達先登記料、局渡料ノ金額及其ノ納付手續ヲ定メ及本邦ト韓國本邦局所間直發著電報取扱規則ヲ改正シ各十月一日ヨリ施行ス
- 同 自動電話ノ設備ニ伴ヒ其ノ通話料ノ差入方及通話方法制限ニ關スル事項ヲ定メ又官廳ニ對スル加入區域外加入ノ制ヲ設ク
- 十月 郵便法、電信法及鐵道船舶郵便法ヲ臺灣ニ施行ス
- 同 三錢封緘葉書、同往復葉書及一錢五厘郵便切手ヲ發行ス
- 同 電信法ハ一定ノ條項ヲ除キ無線電信ニ準用スルノ件ヲ定ム
- 十二月 年賀郵便ノ特別取扱ヲ開始ス

明治三十四年

- 一月 集合電報規則ヲ定メ在清本邦軍人軍屬ト本國親戚知已トノ間ニ往復スル電報ニ便シ二月ヨリ施行ス、
- 十二月 郵便物包裝規則ヲ定メ價格表記其ノ他郵便物ノ包裝ヲ完全ナラシムルコトヲ期シ、價格表記郵便物封皮及同封緘紙ヲ發行ス

明治三十五年

- 七月 特設電話加入規則ヲ制定シ加入區域外ニ在ル電話所所在地及其ノ附近ニ在ル者ハ通話ニ必要ナル一

- 切ノ設備及維持費等ヲ負擔シ電話ニ加入シ得ルノ途ヲ開ク
- 九月 集合電報規則ヲ廢止シ、從來內地臺灣間ニ發著スル私報ハ至急報ニ限リタルヲ通常報ヲモ取扱フコトトシ料金ヲ定メ翌年一月ヨリ施行ス
- 十二月 華盛頓ニ於テ締結シタル價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便交換條約ニ加盟シタル結果外國通常郵便ハ相當表記金額ヲ保險シテ貴重品及有價證券等ヲ外國ヘ郵送スルノ途ヲ開キ、小包條約ハ文明諸國(英國及其ノ殖民地ヲ除ク)ハ概ネ加盟セルヲ以テ其ノ送受スル小包郵便物ハ相當料金ニ依リ直接適當ノ線路ヲ選擇シ得ルコトナレリ
- 同 小包郵便料金ノ遠近均一ノ制ヲ改メ同一郵便區内ニ發著スルモノハ量目ニ係ハラステ低料トシ、同時ニ日清韓三國相互間ニ發著スル小包料金ヲ改定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十六年

- 三月 遞信官署官制ヲ公布シ通信官署ハ通信管理局、郵便局、電信局、電話局及鐵道郵便局トシ郵便局ハ一等、二等、三等トシ郵便、爲替、貯金事務ノ外電信、電話事務ヲ、電信局ハ電信ノ外電話事務ヲ兼掌スルヲ得而シテ通信管理局ハ東京及大阪ノ二局トシ一等郵便局ハ次ノ十六局トシテ管理事務ヲ兼掌ス京都、横濱、神戸、長崎、札幌、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、宇都宮、長野、青森、金澤、高松、鹿兒島而シテ上記通信官署官制公布ト共ニ郵便及電信局官制、在外郵便電信局、郵便局官制及電話交換局官制ハ之ヲ廢止ス
- 同 新ニ特定三等郵便局ノ制ヲ設ク
- 同 町村ノ請願電信施設ノ件ヲ定メ創業費全部及維持費一部ヲ負擔シテ局所ヲ新設スルノ途ヲ開キ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 日清郵便約定同小包郵便約定ヲ實施シ清國內何レノ地ヘ宛ツル通常郵便物モ内地ト同一料金ヲ以テスルノ便ヲ得又清國ヨリ發スル郵便物ヲ各國ヘ媒介遞送シ且清國輸出入ノ小包郵便ニ對シ關稅ノ賦課ヲ受クルコトヲ承認ス
- 十一月 取扱時間外電報ノ制ヲ設ク
- 十二月 通信管理局ヲ廢シテ東京及大阪郵便局ニ改メ鐵道郵便局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ通信官署ニ加フ
- 同 私製葉書製式規則ヲ定ム

明治三十七年

- 二月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 三月 俘虜郵便ノ制ヲ設ク
- 七月 米國ト小包交換條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス

明治三十八年

- 四月 郵便電信受取所及郵便受取所ヲ郵便局ニ改定シ從來官設ノモノハ二等局ニ、受負ノモノハ三等局トス
- 同 特設電話規則ヲ制定ス

- 六月 通信日附印規程ヲ定メ各種日附印ヲ統一シ其ノ製式ヲ改ム
- 七月 朝鮮通信事業ヲ帝國政府ニ引繼キ内地ト共通ノ通信制度ヲ布クニ至ル
- 十二月 鑛業特設電話ノ制ヲ設ク

明治三十九年

- 四月 羅馬開催萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決議事項ハ翌年十月ヨリ實施ス
- 五月 樺太ト本邦各地間ニ公衆通信ヲ開ク
- 六月 電話規則ヲ制定シテ電話料金を低減シ、至急通話ノ制ヲ設ケ、新ニ共同線加入及連接加入ノ方法ヲ設ケ申込ノ不正變更ヲ禁ス
- 七月 郵便葉書表面ノ輪廓及注意文ヲ除去ス
- 八月 東京グワム島間ニ、翌月佐世保大連間ニ何レモ海底線通信ヲ開始ス
- 同 關東都督府内ニ於ケル郵便、電信及電話ノ業務ニ關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
- 十月 伯林開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 年賀郵便規則ヲ制定シ十二月十五日ヨリ二十九日迄年賀郵便トシテ差出シタルモノノ特別取扱方ヲ定ム
- 十二月 新聞電報規則ヲ制定シ新聞掲載ノ爲ニスル電報料金を半減ス

明治四十年

- 二月 請願電信規則ヲ改定シテ維持費ノ免除及輕減ノ途ヲ開ク
- 三月 郵便法及郵便規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ命令ヲ以テ郵便料ヲ低減シ得ルコトトシ小包郵便物ノ重量制限ヲ寬シ、無封書狀ノ料金を特定シ、繪葉書ノ下部ニ通信文記載ヲ認メ、小包ニ普通取扱ノ方法ヲ設ケ、代金引換及現金取立制限金額ヲ高メ、廣告郵便ノ制ヲ設ケ、無料郵便ハ一般ニ通信事務ト表記スルモノトシタルコト等ニシテ四月一日ヨリ實施セリ
- 四月 郵便法其ノ他通信法規ヲ樺太ニ施行ス
- 五月 内國郵便使用及外國郵便使用切手帖ヲ發行ス
- 同 印刷シタル無封書狀及第三種以外ノ定時刊行物ヲ約束郵便トナシ得ルコトトシ低料郵送ノ途ヲ開キ、新聞電報豫約及料金後納ノ方法ヲ設ク
- 六月 電話開通用物件ヲ無償ニテ提供スル場合ニ於テハ優先開通ノ途ヲ開ク
- 八月 豫約新聞電話規則ヲ制定施行ス
- 九月 船舶通報規則ヲ定メ通過報及信號報ノ取扱ヲ開始ス
- 同 地方廳ニ於テ警察用電話ヲ無償ニテ引渡シタル場合ニ於テハ該線ニ依ル電話料ニ限り半減スルコトトス
- 十月 國際返信切手券ヲ發行ス

明治四十一年

- 二月 五圓及拾圓郵便切手ヲ發行ス

- 二月 引受時刻證明郵便ノ制ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス
- 四月 無線電報規則ヲ定メ五月一日ヨリ施行ス
- 同 豫約新聞電話規則ヲ改正シ長距離ニ限リタル制限ヲ撤シ利用範圍ヲ擴ム
- 五月 里斯本開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 同 電話規則ヲ改正シテ寄附金受理ノ途ヲ開キ物件受理ニ代フ
- 八月 豫約新聞電報規則ヲ制定シ在來個々ニ申請者ニ命令シタルヲ一律ニ取扱フコトトス
- 九月 郵便切手類記號規則ヲ制定シ切手類多數使用者ノ保管出納ニ便ス
- 同 特設電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ加入區域ヲ制定シ、加入申請ヲ一等局長ニ於テ認可シ、加入設備ヲ通信官署ノ名ニ於テナスコト等ナリ
- 十月 通信官署ト海軍艦船間ノ無線電信ニ依リ發受スル電報ニ無線電報規則ヲ準用ス
- 十一月 郵便函製式ヲ改正シ鐵製朱塗トス
- 十二月 鑛業特設電話規則ヲ改正シ一定ノ場合私設電信電話ヲ施設シ得ルコトトス

明治四十二年

- 三月 氣象通知電報規則ヲ制定シ公衆ノ請求ニ基キ中央氣象臺又ハ測候所ニ於テ公示スル事項ヲ電信局所ニ於テ取扱フコトトス
- 五月 地方廳引繼電話ノ通話料減額ヲ他ノ電話線ニ依リ連絡スル通話區域ノ通話ニモ及ホシ優先接續等ノ特例ヲ開ク
- 同 電話至急開通規則ヲ制定シ特ニ指定スル土地(六大都市ヲ指定ス)ニ於テ一定ノ料金を納ムルトキハ加入申込登記順番ニ係ハラズ年度内ニ開通ヲナスコトトス
- 六月 新聞電報ノ内地、臺灣、樺太相互間ニ及ホスコトトス
- 七月 通信官署官制中郵便爲替貯金管理所ヲ削ラレタル結果從來通信局ノ管掌シタル内外郵便爲替、郵便貯金及附帶業務ノ規畫、監督事務ヲ貯金局ニ移ス
- 十月 繪葉書ハ紙質ニ限リタルヲ改メテ寫眞又ハ織物、木、羽類ノ貼付ヲ認メ其ノ重量及製作上ノ標準ヲ明示ス
- 十一月 特許審判書類特別取扱ノ制ヲ設ク
- 同 市内特別郵便ノ制ヲ定メ同一郵便区内ニ多數發信スルモノノ爲ニ特ニ低料取扱ヲ爲スコトトス
- 十二月 東京神田兩局間ニ氣送管ニ依ル電報送受ヲ開始ス

明治四十三年

- 一月 通貨以外ノ貴重品ヲ書留郵便物トシテ差出シ得ルコトトス
- 三月 逓信管理局官制ヲ設ケ逓信管理局ヲ東京、大阪、横濱、神戸、長崎、札幌、長野、新潟、名古屋、熊本、仙臺、廣島、金澤ニ置キ監督及現業事務ヲ掌リ又通信官署官制ヲ改正シ通信官署ヲ郵便局、電信局及電話局トシ郵便局ヲ分テ一等、二等、三等トシ電信局及電話局ヲ分テ一等、二等トス
- 同 郵便切手其ノ他證券徽章類取締方ヲ規定シ切手類偽造、變造、通信日附印類似ノモノ、逓信省徽章ノ濫用等ヲ取締ルコトトス

- 四月 清韓郵便規則ヲ制定施行ス
- 五月 航行中ノ船舶無線電信局及艦船ト中央氣象臺間ニ氣象報ノ交換ヲ開始ス
- 同 電話規則ヲ改正シ長距離電話料ヲ低減シ夜間通話ノ制ヲ設ク
- 九月 同報電信ヲ創始シ東京局及東京株式取引所間ニ施設ス
- 十月 郵便法其ノ他各通信法規ヲ朝鮮ニ施行ス
- 十一月 内容證明郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 同 内地、朝鮮、樺太、滿洲相互間電報料ヲ低減シ、日清電報規則及日清無線電報規則ヲ制定施行ス

明治四十四年

- 二月 速達郵便ノ制ヲ設ケテ東京市内及東京横濱間ニ施行シ、四月大阪市内及大阪、神戸、京都相互間ニ施行ス
- 十月 現金取立郵便ヲ集金郵便ト改稱シ、取立證券ノ種類ヲ増加シ、料金ヲ改正シ尙集金郵便振替貯金拂込規則ヲ設ケ取立金ヲ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 十二月 内國郵便用切手帖ヲ改メ三錢、一錢五厘各別冊トシ價格ヲ切手料金ト同シクス

明治四十五年 大正元年

- 四月 官公署ヨリ發スル無封書狀ニシテ特ニ多數ナルモノハ約東郵便トシテ低料郵送ノ方法ヲ設ク
- 同 市内専用電話規則ヲ施行シ政府ノ施設スル電話線ヲ個人ニ専用セシムルノ方法ヲ設ク
- 五月 乗客宛電報及停車場揭示電報ノ特別取扱ヲ開始ス
- 六月 帝國艦船ト米國觀測所トノ間ニ氣象電報ヲ交換スルコトトス
- 同 倫敦開催ノ國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 水底線不通等ニ因ル場合陸上相互間無線電信ノ媒介ニ依リ無線電報トシテ取扱ノ方法ヲ設ク

大正二年

- 二月 電話規則ヲ改正シ電話番號簿及機械移轉ニ關スル事項並制裁規定等ヲ改ム
- 六月 地方逓信官署官制ヲ公布シテ逓信管理局官制及通信官署官制ヲ廢止シ、地方逓信官署ヲ逓信局、郵便局、電信局及電話局トシ、逓信局ヲ次ノ五ヶ所ニ置ク而シテ郵便局以下ノ等級及其ノ所掌事務ハ従前ノ例ニ依ル
 東部(東京市)西部(大阪市)北部(仙臺市)九州(熊本市)北海道(札幌區)尙下記各地ニ分掌局ヲ置キ管理事務ヲ分掌セシム
 長野、新潟(以上東部逓信局所管)名古屋、金澤、廣島(以上西部逓信局所管)
- 七月 銚子無線電信局ニ於テ中央氣象臺ト直接電線ノ連絡ヲ圖リ自働ニ中央標準時ヲ航行中ノ船舶ニ發信スルコトトス

大正三年

- 二月 官公署ニ對シ電話加入區域外加入ヲ認ム
- 五月 電信法規ヲ無線電話ニ準用スルコト、短期豫約新聞電話ノ方法ヲ設ク

- 八月 軍事郵便ノ取扱ヲ開始ス
- 十月 電話通話規則ヲ制定シ定時通話、通話取消料ノ方法ヲ設ケ、夜間通話ヲ非加入者ニ及ホシ、豫約取引所電話ノ制ヲ設ケ十二月ヨリ施行ス
- 十二月 書留郵便物ニ對シ代金引換ノ取扱ヲナシ得ルコトトシ又其ノ引換代金ヲ直チニ差出人ノ振替貯金口座ニ拂込ミ得ルコトトス
- 同 集金郵便トシテ取扱フ證券ノ種類ヲ増加シ、委託料金ヲ加徴シ、委託用紙ノ私製ヲ認メ、取立期間ヲ短縮ス
- 同 交通不便ノ地ニ宛テタル年賀郵便ハ十二月五日ヨリ其ノ引受ヲ開始スルコトトス
- 同 銚子、富貴角及大連灣海岸局ヲシテ中央氣象臺ヨリ發スル暴風雨警報ヲ無線電信ヲ以テ英文ニヨリ發信スルコトトス

大正四年

- 一月 長崎上海間海底線工事完成ニ付本線ニ依リ日支間和文電報取扱ヲ開始ス
- 三月 配達日時指定電報ノ制ヲ設ク
- 同 代金引換郵便物居室引換及取立金居室拂ノ制度ヲ開始シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 六月 無線電信法ヲ制定シ十月ヨリ實施ス、其ノ要旨ハ陸上無線施設ハ最少限度ニ於テ之ヲ認メ、船舶内ニ於ケルモノハ可成便宜ヲ附與シ、私設無線電信ヲ公衆又ハ軍事ニ使用シ又ハ軍事等ノ必要ニ基キ私設設備ヲ制限撤廢スルコト、無線電信電話ニ使用スル爲政府ハ船舶ノ一部ヲ使用スルコト等トス尙之ニ關聯シテ諸規則ノ制定及改廢アリ
- 同 本邦ト露領勘察加間ニ無線電信ニ依ル通信ヲ開始ス
- 八月 豫約新聞電報ヲ臺灣及樺太ニ施行ス
- 十一月 御大禮ニ關シテ御舉行地タル京都及其ノ附近ニ於テ速達郵便、官報號外特別取扱、電報特別取扱、郵便局所ノ臨時増置、電信回線ノ臨時施設等諸般ノ措置ヲ爲セリ
- 十二月 請願通信施設ニ關スル件ヲ公布シテ明治三十六年町村請願電信施設ノ件ヲ廢止セリ其ノ要旨ハ請願事項ヲ次ノ如クニ擴メ町村ノミナラス個人ノ請願ヲモ認メ維持費ヲ前納トシタルコト等トス
 無集配局新設、無線電信局新設、自動電話所新設、電信事務開始、無線電信事務開始、電報配達事務開始、電話通話事務開始、電話呼出事務開始
- 同 日支郵便規則ヲ改正シ小包郵便物ニシテ再輸出スルモノハ其ノ旨表示スルコトトシ及其ノ小包郵便料金ヲ改正シ翌年一月ヨリ施行ス

大正五年

- 二月 電話郵便規則ヲ制定シ加入者ヨリ非加入者ヘ又ハ非加入者相互間ノ通信ヲ媒介スルコトトシ三月ヨリ施行ス
- 三月 郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ信書送達ノ營業禁止條項中法人代表者ニ關スル事項ヲ明定シ、無料郵便物ノ範圍ヲ改定シ、賠償及諸般制裁規定ヲ明ニシタルコト等トス
- 同 鐵道船舶郵便法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ運送方法、貨率、制裁規定ノ改正等トス

- 三月 電信法ヲ改正シ八月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ配達又ハ交付スルコトヲ得サル電報ハ電信官署ニ保管スルニ止ムルコト、無線電信ニ關スル通信ヲ無料トナシ得ルコト及諸般制裁規定ニ關スル改正等トス
- 同 電話規則ヲ改正シ使用料階級五種ヲ六種トシ加入者數ヲ以テ其ノ區別ノ標準トシ四月ヨリ施行ス
- 四月 地方逓信官署官制ヲ改正シ電信局等級ヲ一、二等、三等トス
- 五月 間送電報ノ制度ヲ施行シ夜間閑散時低料ヲ以テ一定ノ局ニテ之カ取扱ヲ開始ス
- 七月 帝國占領南洋「ヤップ」島海軍電信所ニ公衆通信ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 青島守備軍管內ト帝國電信系トノ間及守備軍管內相互間ニ發著スル電報ハ日支電報規則又ハ同無線電報規則ニ依ルコトトス

大正六年

- 三月 無線電信ニ依ル海軍艦船發著電報ノ託送取扱ヲ定メ四月ヨリ施行ス
- 四月 配達日時指定電報ノ取扱範圍ヲ擴張ス
- 同 電話ニ依ル火災報知制度ヲ新設シテ東京市内ニ施行ス
- 五月 盲人用點字ノ無封書狀及印刷物ニ對シ料金ノ割合ヲ低減ス
- 十月 特設電話規則ヲ改正シ十一月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ同一邸宅内ニ限リ施設シタルモノヲ交換線ニ接続シ得ルコト、維持料ヲ線路町程ニ依ルコトニ改メタルコト、不用ニ歸シタル線路ヲ豫備トシテ存置スルコト等トス

大正七年

- 三月 郵便規則ヲ改正シ四月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ通貨ノ價格表記ニ爲サスシテ差出シタル者ニ對スル不足料金額ヲ定メ、無封書狀ノ約束郵便差出ノ條件ヲ變更シ、繪葉書表面通信文記載欄ヲ擴張シ、閉囊配達ノ方法ヲ認メタルコト等トス
- 四月 郵便受付時間ヲ改正シ比較的閑散ナル局ニアリテハ之ヲ短縮ス
- 同 帝國占領南洋諸島ニ無線電報ノ取扱ヲ開始ス
- 六月 内地、青島守備軍管內間ニ豫約無線電報取扱ヲ開始ス
- 同 電話規則及電話至急開通規則ヲ改正シテ申込取消及其ノ至急開通申請受理方法等ニ關スル事項ヲ改メ

大正八年

- 三月 警句入通信日附印ヲ主要局ニ於テ使用ス
- 四月 小包郵便料金ヲ改正シ及切手別納郵便ノ制ヲ設ク
- 同 電話規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ區域外加入ヲ一般ニ擴メ、増設電話施設ノ範圍ヲ擴張シ、私設電話取締ノ途ヲ設ケタルコト等トス
- 五月 地方逓信官署官制ヲ改正シ逓信局ヲ東京、名古屋、大阪、廣島、熊本、仙臺、札幌ノ七局トシ別ニ逓信大臣ハ郵便局ヲ指定シ區域ヲ定メテ現業監察ノ事務ヲ掌ラシム
- 八月 參拾錢郵便切手ヲ發行ス

- 十月 約束郵便物及切手別納郵便物ヲ年賀郵便トシテ差出シ得ルコトトス

大正九年

- 三月 各種電話料金ヲ改正シ、東京、大阪等六大都市ニ度數制ヲ實施ス
- 四月 消防電話ノ制ヲ設ク
- 五月 各種電報料金ヲ改正シ八月ヨリ施行ス
- 六月 電話至急開通規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ至急開通申込ニ加入申込登記ヲ要セサルコト、至急開通受理方法ヲ變更シタルコト等トス
- 九月 馬德里開催萬國郵便會議、華盛頓開催國際通信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十月 私書函使用ニ關スル規定ヲ改正シ利用ニ便ス
- 十一月 官廳用無線電信及無線電話規則ヲ制定ス

大正十年

- 四月 二十日通信事業創始五十年紀念祝典ヲ東京ニ開催シ勤績者、優良三等局及功績者ヲ表彰シ、通信事業殉難者ノ追悼法要ヲ營ム
- 同 逓信講習所規則ヲ制定シ從事員ノ素質能率ノ向上ヲ圖ル
- 同 無線電信法中ヲ改正シ航空機ニ施設スル無線電信及無線電話ニ關スル事項ヲ設ク
- 七月 始メテ逓信官署從事員狀勢調査ヲ施行ス
- 同 封緘葉書様式ヲ改正ス
- 九月 分課規程中ヲ改正シ從來ノ外信課ヲ外國郵便、外國電信ノ二課トシ調査課ヲ設置ス
- 十二月 新ニ外國郵便規則、外國郵便爲替規則ヲ制定シ各種料金ヲ増額シ、特許審判及審査書類特別取扱郵便規則ヲ制定シ何レモ翌年一月一日ヨリ施行ス
- 同 電信監督機ニ依ル監査規程ヲ設ケ通信能率ノ向上ヲ企圖ス
- 同 西班牙國馬德里ニ於テ萬國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ヲ締結シ翌年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年

- 一月 八錢萬國郵便聯合葉書及拾六錢萬國郵便聯合葉書ヲ發行ス
- 四月 電信現業檢定規程、郵便局監査規程ヲ制定ス
- 七月 南洋廳ニ於ケル郵便及電信ノ業務ニ關シテハ内地各通信法規ノ規定ヲ準用スルコトトス
- 九月 陸軍動員令電報取扱規程、海軍充員令電報取扱規程ヲ制定ス
- 十月 北滿洲方面軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
- 同 海軍電報取扱規約ヲ定ム
- 十一月 内地朝鮮間豫約新聞電報ノ取扱ヲ開始ス
- 同 在支那國帝國郵便官署區内ニ於テ使用スル二錢葉書、四錢往復葉書及四錢封緘葉書ノ發行ヲ中止ス
- 十二月 野戰郵便局ニ關スル規定ヲ軍事郵便局ニ準用ノ件ヲ廢止ス
- 同 青島守備軍管內發著郵便物ノ取扱ヲ廢止ス

十二月 本年限リ在支那本邦郵便局所ヲ廢止ス

大正十二年

- 一月 上海、芝罘ニ一等電信局ヲ設置ス
- 二月 約束郵便取扱承認規則ヲ制定シ、電話便規則ヲ廢止ス
- 同 殖民地宛代金引換郵便物ノ居宅引換ノ取扱ヲ廢止ス
- 三月 新ニ郵便切手類及收入印紙賣捌規則ヲ設ク
- 四月 大阪無線電信局ヲ設置ス
- 同 價格表記郵便物封皮一枚壹錢ヲ貳錢ニ改メ一日ヨリ實施ス
- 六月 電話至急開通規則ヲ新ニ制定ス
- 十月 郵便切手類及收入印紙買受代金延納規則ヲ制定シ大正十二年度末迄之ヲ施行ス
- 同 震災ニヨリ應急用トシテ五厘、一錢五厘、二錢、三錢、四錢、五錢、八錢、十錢、二十錢ノ各種暫定郵便切手ヲ發行ス
- 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ中止ス
- 同 震災ニヨリ應急用トシテ通常葉書及往復葉書ヲ發行ス
- 同 臨時市内特設電話規則ヲ設ク
- 十二月 放送用私設無線電話規則ヲ制定ス

大正十三年

- 四月 放送無線電報規則ヲ制定ス
- 同 市内電話通話一度ノ料金二錢ヲ三錢ニ改メ、市外電話一通話時分五分ヲ三分ニ改メ
- 七月 漁船級私設無線電信通信従事者資格ヲ制定ス
- 八月 瑞典國「ストックホルム」ニ開催ノ第八回萬國郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 十一月 年賀郵便物ノ特別取扱ヲ再開ス
- 同 東京放送局ノ設立ヲ許可ス之レ本邦ニ於ケル放送無線局ノ嚆矢トス
- 同 行政整理ノ爲調査課ヲ廢止シ外國郵便課、外國電信課ヲ併合シテ外信課トシテ東京、大阪兩逓信局ノ都市課ヲ廢止ス

大正十四年

- 三月 書留郵便料金七錢ヲ十錢ニ改メ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 震災ニヨリ應急用トシテ發行セル暫定郵便切手ヲ廢止ス
- 同 日本無線電信株式會社法ヲ公布ス
- 五月 逓信省官制ヲ改正シ通信局ヲ廢シテ郵務、電務、工務ノ三局ヲ置キ郵便及陸運ノ監督ニ關スル事務ハ郵務局、電信電話並日本無線電信株式會社ニ關スル事務ハ電務局、電信電話ノ建設及保存ノ工事ニ關スル事務ハ工務局ニテ掌ル而シテ本改正ニ伴ヒ臨時電信電話建設局官制ハ之ヲ廢止セラル
- 同 通常葉書、往復葉書及封緘葉書ノ様式ヲ改正ス
- 同 電話特別開通規則ヲ制定ス

- 六月 西比利亞方面トノ軍事郵便物取扱ヲ廢止ス
- 八月 新聞電報認可規則ヲ制定ス
- 九月 十三錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 「ストックホルム」締結ノ英國郵便條約、同價格表記書狀及箱物交換約定並小包郵便物交換條約ヲ公布ス
- 同 佛國巴里ニ開催ノ萬國電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシメ其ノ決定事項ハ十一月一日ヨリ實施スルコトトス
- 十月 萬國郵便聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス
- 同 外國通常郵便料金ヲ引下ク
- 十一月 外國電報帝國電信系内分送規則ヲ廢止ス
- 十二月 萬國郵便聯合葉書及萬國聯合往復葉書ノ様式ヲ改正ス

大正十五年 昭和元年

- 一月 逓信部内從業員會規程ヲ制定ス
- 二月 選舉無料郵便規則、選舉無料郵便物特別取扱規程等ヲ制定ス
- 四月 岸壁又ハ棧橋ニ繫留スル船舶ト陸上トノ間ノ電話連絡制度ヲ制定施行ス
- 同 飛行郵便ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所規則ヲ制定ス
- 十月 外國電報規則ヲ改定シ翌十一月一日ヨリ施行ス
- 十二月 「クリスマス」及新年祝賀特別外國電報規則ヲ制定ス

昭和二年

- 一月 陸軍ニ用電報取扱規約ヲ改定ス
- 二月 市内専用電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ法人ニ非サル團體ニ對シテモ同電話ノ使用ヲ認ムルコトトス
- 三月 放送用私設無線電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ全國鐵石化ノ實現ヲ圖ル爲メ從來ノ最大電力制限一「キロワット」ヲ十「キロワット」ニ擴大スルヲ要シ又放送電波長ニ付テモ其ノ制限ヲ若干緩和スルヲ必要トス其ノ他聽取特許料徵收事務ノ簡捷ヲ期スル爲メ一部ヲ郵便切手ヲ以テ收納スル事トシ尙科學ノ進歩及放送業務ノ實況ニ應ジ二、三改正ヲ要スル廉アルニ因ル
- 五月 無線方位測定通信規則ヲ制定ス
- 同 私設無線電信規則及無線電報規則ヲ改正ス
- 六月 萬國郵便聯合加盟五十年紀念トシテ一錢五厘、三錢、六錢、十錢ノ各郵便切手ヲ發行ス
- 八月 磐城無線電信局ヲ廢止ス
- 九月 索道事業規則ヲ制定ス
- 同 蘭國海牙ニ開催ノ國際飛行郵便會議ニ本邦委員ヲ參列セシム

- 十月 電報規則及同取扱規程中ヲ改正シ電報料金ノ切手別納制ヲ制定シ又同文電報及配達日時指定電報制中ヲ改正ス
- 十一月 「ワシントン」=開催ノ國際無線電信會議=本邦委員ヲ參列セシム
- 同 町村電話ト電話官署トヲ連絡スル電話=關スル件ヲ制定ス
- 同 市内専用電話規則中ヲ改正シ専用者=對スル料金ノ特定又ハ免除ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シ昭和三年一月一日ヨリ施行ス
- 同 臨時市内特設電話規則ヲ廢止ス
- 同 無線電報規則及私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ航行中ノ各艦船=對シ極東各重要港=於ケル傳染病情報ノ放送ヲ取扱フコトトス
- 十二月 特設電話規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ特設局漸次普及セル=付加入區域ヲ異ニスル他局へ加入申請ヲ爲シ得ルコトトス
- 同 條約第二號=依リ日本帝國逓信省及海峽殖民地郵政廳間小包郵便約定ヲ修正スル追加條款ヲ公布ス

昭和三年

- 一月 通常郵便物市内特別取扱規則中ヲ改正ス
- 二月 豫約新聞電話規則中ヲ改正ス
- 三月 昭和三年度ヨリ「メートル」法實施=伴ヒ關係電信、電話諸規則中ヲ改正ス
- 同 私設無線電信規則中ヲ改正ス
- 同 陸軍動員令電報取扱規程中ヲ改正ス
- 同 放送用私設無線電話規則ヲ改正ス
- 五月 名古屋無線電信局ヲ設置ス
- 六月 電話特別開通規則中ヲ改正ス
- 七月 専用寫眞電信=關スル規則ヲ制定ス
- 八月 「ブラツセル」=開催ノ萬國電信會議=本邦委員ヲ參列セシム
- 九月 請願通信施設規則中ヲ改正ス
- 同 無線電話通話規則ヲ制定ス
- 同 私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則中ヲ改正ス
- 同 私設電信規則、私設電信規則料金額及其ノ納付手續及官廳用電信電話規則中ヲ夫々改正シ公布ノ日ヨリ施行ス
- 十月 御大禮記念トシテ一錢五厘、三錢、六錢、十錢ノ各郵便切手ヲ發行シ十一月十日ヨリ賣捌クコトトセリ
- 十一月 東京神戸間長距離電話ケーブル敷設工事完了シ本月ヨリ當該線路=依ル通話ヲ實施ス
- 同 電報取扱規程及外國電報取扱規程中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ印刷電信機=依ル通信上ノ實績漸次良好トナリ之カ取扱=關スル規定ノ統一ヲ要スルト又「タイプライター」=依ル受信紙ハ中繼及著信共共用式紙=改刷スルコトトナリシ等=因ル
- 同 年賀特別郵便規則中ヲ改正ス

- 十一月 年末年首普通々常郵便物特別取扱規程ヲ制定シ公布ノ日ヨリ施行ス
- 十二月 無線電報規則及私設電信、私設無線電信公衆通信取扱規則中ヲ夫々改正シ昭和四年一月一日ヨリ施行ス
- 同 國際無線電信條約公布セラル
- 同 外國無線電報規則及同取扱規程中ヲ改正ス
- 同 私設無線電信規則及無線電報取扱規程中ヲ改正ス

昭和四年

- 三月 航空郵便規則及同取扱規程ヲ制定シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 速達郵便規則中及同取扱規程中ヲ改正ス
- 同 英國倫敦=於テ開催ノ萬國郵便聯合大會議=本邦委員ヲ參列セシム
- 四月 法律第四十五號ヲ以テ無線電信法中改正法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 同 名古屋無線電信局ヲシテ本邦ト歐羅巴各國トノ間=發著スル外國電報ノ取扱ヲ爲サシム
- 同 軍事郵便物直接交換局指定=關スル件(公達第五四五號)ヲ廢止ス
- 五月 支那方面ト帝國郵便系トノ間=發著スル軍事郵便物ノ取扱=關スル件(昭和三年五月省令第三〇號)及濟南事件=對スル軍事郵便取扱開始ノ件(告示第一二七五號)ヲ廢止ス
- 六月 外國航空郵便取扱規程ヲ制定シ二十一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 郵便規則中ヲ改正シ十一月ヨリ之ヲ施行ス
- 同 九月一日ヨリ四錢、八錢等各郵便切手ノ刷色ヲ改正ス
- 九月 神宮式年遷宮記念トシテ一錢五厘、三錢ノ記念郵便切手ヲ發行シ十月二日ヨリ之ヲ賣捌ク
- 同 訴訟審判及審査書類郵便規則、同取扱規程ヲ制定公布シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十月 航空用郵便切手トシテ八錢五厘外三種ノ切手ヲ發行ス
- 十一月 條約第二號=依リ日本帝國逓信省及香港郵政廳間小包郵便約定ヲ修正スル追加條款公布セラル
- 同 明治四十年九月告示第五二二號日本帝國逓信省及香港郵政廳間=締結セル小包郵便物交換=關スル約定ノ施行細則ヲ修正スル追加條款ヲ公布十一月十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 神戸郵便局ヲ神戸中央郵便局ト改稱ス
- 同 神戸中央電信局ヲ設置ス
- 十二月 電話規則中及特設電話規則中ヲ改正ス
- 同 無線電信法中改正法律施行期日=關スル勅令公布セラレ同改正法律ハ一月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 同 高周波電流ヲ使用スル通報信號施設=無線電信法準用=關スル件並無線電信法第二八條ノ三=依ル費用補償=關スル件ヲ制定シ、私設無線電信規則中、私設電信規則中、放送用私設無線電話規則中ヲ改正シ法律第四五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年

- 四月 電話規則中、特設電話規則中及電話通話規則中ヲ改正ス
- 五月 日滿郵便規則中ヲ改正ス

- 六月 萬國郵便聯合ニ關スル諸條約及關係規定等ヲ公布シ七月一日ヨリ施行ス
- 七月 通常往復葉書ノ様式並紙質及封緘葉書ノ紙質ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ賣捌クコトトセリ
- 八月 寫眞電報規則ヲ制定ス
- 同 日華通信問題交渉ニ關シ本邦委員ヲ參列セシム
- 九月 第二回國勢調査記念トシテ一錢五厘、三錢郵便切手ヲ發行ス
- 同 外國電報規則中ヲ改正ス
- 十月 航空郵便規則中及速達郵便規則中ヲ改正ス
- 同 明治神宮鎮座十年記念トシテ一錢五厘、三錢郵便切手ヲ發行ス
- 十二月 七錢郵便切手ヲ發行ス

昭和六年

- 三月 郵便法、鐵道船舶郵便法中改正法律公布セラル而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトトセリ
- 四月 無線通信士資格檢定規則ヲ制定公布シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス同時ニ大正四年十月省令第四八號私設無線電信通信従事者資格檢定規則ハ之ヲ廢止ス
- 五月 電話番號簿廣告掲載規程ヲ制定公布シ十五日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 昭和六年法律第四號(郵便法中改正)同第五號(鐵道船舶郵便法中改正)施行期日ニ關スル勅令公布セラレ同改正法律ハ八月一日ヨリ之ヲ施行セラル
- 六月 私設無線電信規則中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 船舶通報規則中、同取扱規程中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電報取扱規程中ヲ改正シ七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 名勝史蹟ニ因メル圖案ヲ挿入シタル通信日附印ヲ十日ヨリ使用ス
- 同 郵便規則中、通常郵便物市内特別取扱規則中、速達郵便規則中、航空郵便規則中、郵便切手類記號規則中、私設郵便函規則中、鐵道船舶郵便規則中、外國郵便規則中及日滿郵便規則中ヲ夫々改正シ何レモ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 郵便線路規程ヲ制定公布シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 無線電報規則中ヲ改正シ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 郵便規則中改正(簡易生命保險及郵便年金事務ニ關スル無料郵便取扱ニ關スル改正)シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 八月 福岡電話局ヲ設置ス
- 九月 電話番號簿廣告掲載規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 電話規則中及特設電話規則中ヲ改正シ十日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 滿洲方面事變ニ伴ヒ軍事郵便ノ取扱ヲ開始シ十三日ヨリ之ヲ施行ス
- 十二月 放送用私設無線電話規則中ヲ改正シ同七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年

- 二月 揚子江方面事變ニ伴ヒ軍事郵便ノ取扱ヲ開始シ十九日ヨリ之ヲ施行ス
- 三月 持設電話規則中ヲ改正シ三十一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設電話ヲ普通電話ニ變更スル場合加入者ヘノ豫告期間短縮ニ關スル改正ナリ
- 六月 私設無線電信規則中ヲ改正シ二十日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ船舶ニ無線電信ヲ施設セムトスルトキノ出願事項ニ關スル改正ナリ
- 同 「マドリツド」ニ於ケル萬國電信會議及國際無線電信會議ニ本邦委員ヲ參列セシム
- 七月 通信手規程ヲ制定公布シ六日ヨリ之ヲ施行ス同時ニ大正六年十一月省令第四六號通信手銜規程ハ之ヲ廢止ス
- 同 無線通信士資格檢定規則中ヲ改正シ二十二日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ第一級資格銜範圍擴張ニ關スル改正ナリ
- 八月 外國郵便規則中及同取扱規程中ヲ改正シ二十三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ日「ソ」兩國間小包郵便約定實施ニ關スル改正ナリ
- 九月 電報規則中、同取扱規程中、日華電報規則中、新聞電報認可規則中、同規程中、無線電報規則中、同取扱規程等中ヲ夫々改正シ二十六日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 電話規則中及電話通話規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設電話及町村電話制度ノ廢止ニ伴フ改正ナリ
- 同 郵便規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ東京市域擴張ニ伴フ速達郵便ノ郵便區維持ニ關スル改正ナリ
- 同 電報規則中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ役場専用電話廢止ニ伴フ改正ナリ
- 同 電話通話取扱規程及市内専用通話事務規程中ヲ改正シ十月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ特設及町村兩電話制度廢止ニ伴フ改正ナリ
- 十月 外國無線電報規則及同取扱規程中ヲ改正シ十四日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ外國放送電報ノ受信業務取扱開始ニ伴フ改正ナリ
- 十一月 外國郵便規則中ヲ改正シ三日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ日滿連絡航空郵便取扱開始ニ伴フ改正ナリ
- 同 私設電信規則中、私設電信規則ニ依ル料金額及其ノ納付手續ノ件中、官廳用電信電話規程等中ヲ夫々改正シ十二月一日ヨリ之ヲ施行ス、其要旨ハ電氣工作物規程ノ改正ニ伴フ改正ナリ

第二編 通信

Chapter 2. Communications

第一章 郵便電信及電話局所

Section 1. Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局所ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

A. 郵便局所開廢

1. 一等郵便局分室設置 門司、松江、笹島、松山ノ各郵便局ノ保險分室並大阪中央郵便局中央市場内分室ヲ設置ス
2. 郵便局等級改定 大森、笹島、若松ノ各二等集配郵便局ヲ一等郵便局ニ改定ス
3. 二等郵便局開廢並分室設置 杉並、荒川、代々幡、葛飾ノ各二等集配郵便局及神奈川、八幡、杉並、荒川ノ各郵便局ノ保險分室並兵庫郵便局中央市場内分室、大阪西郵便局堀江分室ヲ設置シ静岡丸、横濱丸ノ各船内郵便局及保土ヶ谷郵便局保險分室、中野郵便局杉並、大阪西郵便局靱、大阪堀江郵便局小林ノ各分室ヲ廢止ス
4. 三等郵便局設置 虹別三等集配郵便局及鳥取元鑄物師町、横手驛前、鹿折、福山西霞町、多良間、虎杖濱、追濱、香取、板橋金井窪、世田ヶ谷中原、玉川等々力、荏原旗ヶ岡、深川東陽町、高田本町、東成俊徳橋、北中通、久留米小頭町、博多東中洲、小川驛前、上甲子園、江尻驛前、掛川下俣、三島清水、饗庭、大阪朝日ビルディング内、三鷹、大泉、茅ヶ崎茶屋町、福岡南樂院、釧路頓化、川湯、奈良舟橋、盛岡大通、南磯、一志中川、修繕寺驛前、神戸櫻口、岐阜本莊、水戸驛前、函館高盛、札幌白石、横濱久保町、姪濱愛宕下、名古屋洲原、名古屋吸場、名古屋阿由知、萩平安古、安濃、東和歌山驛前、名古屋八田、名古屋露橋、名古屋矢田、飛鳥、下關幡生、札幌豊平六、名古屋船方、豊橋松山、一宮大門、岡山暖町、名古屋櫻見、名古屋彌富、名古屋出口、名古屋三階橋、豊橋北島、四日市驛前、四日市鹽濱、高岡中川、松本出川、伏見、京都中堂寺、肥田、美濃川合、足近、美川、廣島牛田、八幡濱向灘、今市新町ノ各無集配三等郵便局ヲ設置ス
5. 郵便取扱所設置並改定 里見、大乘、福田、長流、茂呂、八丈島檜立、戸島、室生、東草野、黒田、小笠江、八東、岩瀬、陸前吉田、高陽、鷹根、上徳富、嘉瀬、田渡、江川、三入、鶴巢、中津山、眞瀧、馬橋、明治、八名賀茂、敷玉、矢合、瀬尻、光政、備前加茂、大内、上風連ノ各郵便取扱所ヲ設置シ荷負、呼人、目梨別、中春別、津賀、仙道、三保、土氣、由木、梅田、幌呂、西合志、吉岡、西郷ノ各郵便取扱所ヲ集配三等郵便局ニ又白石島、岩岡、大澤、越後猿澤、西小野田、尺別炭山、緋牛内、上川沿、中渚滑、計呂地、平、杉野、照來、姫治、西大寺、川島、宮野、山守、豊川、三神、湯涌谷、田中、御領、西明寺、野石、加茂野驛前、采女、圓野、七郷、中郷、滑津、更別、宗像、山倉、高原、五西月、加茂、角井、六實、赤津、飽海田澤、下小阿仁、大葛、細江、梅檀山、國分、來待、出東、大内、賀見畑、有真香、能義、西箕輪、澤田、春立、川南、中川、鹽見驛前、大澤、小濱富津、尾田、細呂木、六

條、三嶽、田澤、青郷、上味見、靜狩ノ各郵便取扱所ヲ無集配三等郵便局ニ改定ス

B. 電信及電話局所開廢

- 1. 一等電信局分室廢止 東京無線電信局富岡分室ヲ廢止ス
- 2. 一等電話局分局設置 東京中央電話局三田分局ヲ設置ス
- 3. 二等電信局分室設置 長崎無線電信局愛野送信所ヲ設置ス
- 4. 電信取扱所開廢 神瑞丸、安土丸、永保丸、滿光丸、開城丸、蛟龍丸、豐浦丸、若松丸、大治丸、天山丸、名古屋丸、松浦丸、淨實樓丸、早隆丸、宗谷丸、南海丸、北海丸、廣盛丸、「マウントペンテリコン」ノ各船舶無線電信取扱所ヲ設置シ西新井、祝園、近江長岡、後三年、壺阪、上別保、厚床、幾寅、尾幌、上尾幌、沼川、落合ノ各普通電信取扱所及たいん丸、玉璽丸、大義丸、桂丸、射水丸、元山丸、孟買丸、大慶丸、久滿加多丸、須磨浦丸、永保丸、蛟龍丸、榛名山丸、加久丸、高麗丸、泰昌丸、隆昌丸、遠江丸、明石丸、第一眞盛丸、美保丸、第二十一共同丸、第三乾坤丸、第五乾坤丸、元中丸、相模丸、吉林丸、八重嶽丸、第十一御影丸、小菊丸、臺北丸、北海丸、五福丸、金泉丸、與和丸ノ各船舶無線電信取扱所ヲ廢止ス
- 5. 電話所開廢 北橋、斗内、鹽見驛前、上内田、南畑ノ各普通電話所並上山、新美唄、昭和、上田炭礦、平山、雨龍、尾小屋ノ各鑛業特設電話所ヲ設置シ西明寺、下小阿仁、鹽見驛前、八俣ノ各普通電話所並伊勢炭礦、田籠、大隈、鎮西、廣野、菅生ノ各鑛業特設電話所ヲ廢止ス

郵便電信電話局所數
Number of Post, Telegraph and Telephone Offices

種別 Detached Office	郵便局 Post Office											電信局 Telegraph Office					
	一 等 First Class			二 等 Second Class			三 等 Third Class			郵便取扱所 Station (Post)	合計 Grand Total	一 等 First Class					
	集配 Delivery	無集配 Non Delivery		集配 Delivery	無集配 Non Delivery		特配 Special Delivery	集配 Delivery	無集配 Non Delivery			普通 Ordinary	無線電報 Radio tele-graph office	合計 Total			
		鐵道 Traveling Post Office	船舶及 寄附 Traveling and Sea Post Office		普通 Ordinary	鐵道 Traveling Post Office											
昭和 七 年 度 1933	79	3	1	83	176	42 (※12)	4	222	52	4,969	4,469	9,490	527	10,322	7 (△3)	3	10
六 年 度 1932	76	3	1	80	175	44 (※14)	4	223	52	4,911	4,367	9,330	575	10,208	7 (△3)	3	10
五 年 度 1931	73	3	1	77	176	43 (※13)	4	223	52	4,871	4,240	9,163	491	9,954	7 (△3)	3	10
四 年 度 1930	70	3	1	74	177	36 (※11)	4	217	53	4,795	4,102	8,950	449	9,690	7 (△3)	3	10
三 年 度 1929	70	3	1	74	171	36 (※12)	4	211	57	4,730	3,945	8,732	376	9,393	6 (△3)	3	9
二 年 度 1928	66	3	1	70	174	30 (※12)	4	208	59	4,653	3,881	8,593	243	9,114	6 (△3)	2	8
元 年 度 1927	66	4	-	70	169	30 (※12)	4	203	61	4,575	3,875	8,511	132	8,916	6 (△3)	3	9
大正 十 四 年 度 1926	66	4	-	70	163	29 (※12)	4	196	62	4,530	3,847	8,439	-	8,705	6 (△3)	3	9
十 三 年 度 1925	66	4	-	70	161	29 (※12)	4	194	63	4,476	3,830	8,369	-	8,633	6 (△3)	3	9
十 二 年 度 1924	67	4	1	72	151	27 (※12)	3	181	68	4,477	3,748	8,293	-	8,546	6 (△3)	3	9

郵便電信電話局所數 (續)
Number of Post, Telegraph and Telephone Offices

種別 Detached Office	電信局 Telegraph Office				電話局 Telephone Office			郵便 Post Agency	電信取扱所 Station (Telegram)		電話所 Station (Telephone)			總計 Grand Total	公 衆 電 話 Public Telephone				
	二等 Second Class				本局 Main office	分局 Branch office	二等 Second Class		普通 Ordinary	無線 Radio telegraph office on board ships	合計 Total	普通 Ordinary	鑛業 Special telephone for the mining			合計 Total			
	普通 Ordinary	無線 Radio-tele- graph office	線 On land	船 On board Ships													合計 Total		
																		合計 Grand Total	
昭和七年度 1933	6	18	20	44	54 (△3)	7	45	1	53	-	1,067	714 (□6)	1,781	1	535 (※6)	179	232	12,443 (△3)	2,471
六年度 1932	6	18	20	44	54 (△3)	7	44	1	52	-	1,077	728 (□6)	1,805	1	48 (※6)	178	226	12,346 (△3)	2,373
五年度 1931	6	17	20	43	53 (△3)	6	44	1	51	-	1,046	736 (□7)	1,782	1	40 (※6)	189	229	12,070 (△3)	2,225
四年度 1930	6	15	20	41	51 (△3)	6	43	1	50	-	1,026	722 (□7)	1,748	1	32 (※6)	197	229	11,769 (△3)	2,045
三年度 1929	6	11	20	37	46 (△3)	6	41	1	48	-	1,029	709 (□10)	1,738	1	16	191	207	11,433 (△3)	2,005
二年度 1928	6	9	20	35	43 (△3)	6	38	1	45	-	1,019	685 (□10)	1,704	1	1	191	192	11,099 (△3)	1,800
元年度 1927	6	9	20	35	44 (△3)	6	36	1	43	-	1,014	642 (□10)	1,656	1	1	198	199	10,859 (△3)	1,324
大正十四年度 1926	6	9	30	45	54 (△3)	6	35	-	41	-	995	550 (□10)	1,545	1	1	187	188	10,534 (△3)	1,324
十三年度 1925	5	8	31	44	53 (△3)	6	36	-	42	-	992	516 (□8)	1,508	1	2	192	194	10,431 (△3)	1,324
十二年度 1924	5	8	31	44	51 (△3)	6	34	-	40	-	983	458 (□8)	1,441	1	2	192	194	10,275 (△3)	1,323

備考 1. △印ハ在中華民國本省所轄局所 ※船舶局 □陸上無線電信取扱所
Note. The mark △shows Japanese offices in Middle Republic ※Post office on board ships □Radio telegraph station on land
2. 本表ニハ定期開局ノモノヲ算入ス
This table includes offices opened during fixed period
3. 括弧内ノ数字ハ内譯ナリ
The figures in the parenthesis are items

郵便電信及電話局所取扱事務別

Number of Post, Telegraph and Telephone Offices Classified by Services

昭和七年度末
March 31, 1933

種別 Description	郵便 Post	電信 Telegraph	電話 Telephone		
			交換 Exchange	通話 Message	
郵便局 Post Office	一 等 First Class	83	79	66	81
	二 等 Second Class	222	201	111	202
	三 等 Third Class	9,490	5,700	4,118	5,773
	計 Total	9,795	5,980	4,295	6,056
郵便取扱所 Station (Post)	527	-	-	-	
電信局 Telegraph Office	一 等 First Class	-	10 (△3)	1	4
	二 等 Second Class	-	44	-	8 (※6)
	計 Total	-	54 (△3)	1	12 (※6)
電話局 Telephone Office	一 等 First Class	-	-	7	-
	分局 Branch Office	-	-	45	-
	二 等 Second Class	-	-	1	1
	計 Total	-	-	53	1
郵便受取所 Postal Agency	-	-	-	-	
電信取扱所 Station (Telegram)	-	1,781	-	-	
電信電話取扱所 Station (Telegram & Telephone)	-	-	1	-	
電話所 Station (Telephone)	-	-	44	53 (※6)	
總計 Grand Total	10,322	7,816 (△3)	4,393	6,123 (※12)	

郵便電信及電話局所取扱事務別 (續)
Number of Post, Telegraph and Telephone Offices Classified by Services (Continued)

種 別 Description	郵 便 Post	電 信 Telegraph	電 話 Telephone	
			交 換 Exchange	通 話 Message
昭和六年 度 末 March 31, 1932	10,208	7,712 (△ 3)	3,308	5,873 (※ 12)
五 年 度 末 March 31, 1931	9,954	7,634 (△ 3)	3,118	5,608 (※ 12)
四 年 度 末 March 31, 1930	9,690	7,458 (△ 3)	2,967	5,305 (※ 12)
三 年 度 末 March 31, 1929	9,393	7,283 (△ 3)	2,697	4,952
二 年 度 末 March 31, 1928	9,114	7,145 (△ 3)	2,450	4,650
元 年 度 末 March 31, 1927	8,916	7,012 (△ 3)	2,263	4,430
大正十四年 度 末 March 31, 1926	8,705	6,797 (△ 3)	2,079	4,223
十 三 年 度 末 March 31, 1925	8,633	6,720 (△ 3)	1,993	4,051
十 二 年 度 末 March 31, 1924	8,546	6,573 (△ 3)	1,954	3,928

備 考 △印ハ在中華民國本省所轄局所
Note. The mark △shows Japanese offices in Middle Republic
※印ハ船舶局トス
The mark ※ Post office on board ships.
括弧内ノ數字ハ内譯ナリ
The figures in the parenthesis are items

郵便切手、收入印紙賣捌所、郵便函及郵便私書函
Postage and Revenue Stamp Sale Agencies and Post Boxes

種 別 Description	郵 便 切 手 賣 捌 所 Postage stamp sale agency	收 入 印 紙 賣 捌 所 Revenue stamp sale agency	郵 便 函 Post Box			私 書 函 Private Box	
			柱 函 Pillar Box	掛 函 Receptacle	合 計 Total	設 備 數 Arranged	貨 與 數 Used
昭和七年 度 末 March 31, 1933	69,341 (※ 250)	467	24,222 (△ 178)	51,427 (△ 214 205)	75,649 (△ 214 383)	17,578	12,319
六 年 度 末 March 31, 1932	68,397 (※ 239)	485	23,359 (△ 187)	50,831 (△ 200 204)	74,190 (△ 200 391)	16,313	11,388
五 年 度 末 March 31, 1931	67,935 (※ 238)	490	22,791 (△ 190)	50,922 (△ 199 202)	73,713 (△ 199 392)	15,204	10,561
四 年 度 末 March 31, 1930	67,151 (※ 233)	562	22,347 (△ 132)	50,699 (△ 227 182)	73,046 (△ 227 314)	14,112	9,805
三 年 度 末 March 31, 1929	66,525 (※ 224)	567	20,950 (△ 120)	50,481 (△ 229 190)	71,431 (△ 229 310)	13,288	9,046
二 年 度 末 March 31, 1928	65,697 (※ 185 2)	572	19,860 (△ 99)	50,493 (△ 186 149)	70,353 (△ 186 248)	12,479	8,810
元 年 度 末 March 31, 1927	65,217 (※ 181)	647	19,029 (△ 87)	50,617 (△ 195 177)	69,646 (△ 195 204)	11,781	8,087
大正十四年 度 末 March 31, 1926	64,467 (※ 137 2)	703	18,516 (△ 80)	50,442 (△ 79 165)	68,958 (△ 79 245)	10,785	7,662
十 三 年 度 末 March 31, 1925	63,392 (※ 121 2)	721	17,769 (△ 75)	49,565 (△ 62 126)	67,334 (△ 62 201)	10,704	7,553
十 二 年 度 末 March 31, 1924	62,219 (※ 143)	755	16,647 (△ 65)	48,955 (△ 97 117)	65,602 (△ 97 182)	9,461	6,761

備 考 1. * 船内 △私設
2. 括弧内ノ數字ハ内譯ナリ
Note. * On board ships △Private The figures in the parenthesis are items

第二章 郵便電信及電話局職員

Section 2. Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

郵便電信及電話局職員

Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

昭和七年度末
March 31, 1933

種 別 Description	一 等 局 First Class	二 等 局 Second Class	三 等 局 Third Class				郵便取 扱所 Station (Post)	電 話 所 Station (Telephone)	總 計 Grand Total
			特 定 Special	集 配 Delivery	無 集 配 Non. Delivery	計 Total			
奏 任 Sonin Rank	(△ 147 3)	-	-	-	-	-	-	(△ 147 3)	
判 任 Hannin Rank	男 Male (△ 10,415 44)	5,450	52	4,969	4,469	9,490	-	(△ 25,355 44)	
	女 Female 11,758	186	-	-	-	-	-	1,529	
計 Total (△ 1,343 44)	5,636	52	4,969	4,469	9,490	-	(△ 26,884 44)		
通 信 手 Post office clerk	男 Male -	-	250	4,359	420	5,029	-	5,029	
	女 Female -	-	6	244	195	445	-	445	
計 Total -	-	-	256	4,603	615	5,474	-	5,474	
所 長 Chief of Postal agency	-	-	-	-	-	-	527	44	571
雇 員 (High class)	男 Male (△ 9,016 12)	6,168	1,028	12,866	4,723	18,617	-	(△ 33,801 12)	
	女 Female 20,092	5,954	1,509	13,361	5,937	20,807	-	46,853	
計 Total (△ 29,108 12)	12,122	2,537	26,227	10,660	39,424	-	(△ 80,654 12)		
備 人 (Low class)	男 Male (△ 13,688 73)	13,714	1,403	31,090	1,283	33,776	-	(△ 61,178 73)	
	女 Female 698	323	32	-	-	32	-	1,053	
計 Total (△ 14,386 73)	14,037	1,435	31,090	1,283	33,808	-	(△ 62,231 73)		
總 計 Grand Total (△ 55,399 132)	31,795	4,280	66,889	17,027	88,196	527	44	(△ 175,961 132)	

郵便電信及電話局職員

(續)

Personnel at Post, Telegraph and Telephone Offices

(Continued)

種 別 Description	一 等 局 First Class	二 等 局 Second Class	三 等 局 Third Class				郵便取 扱所 Station (Post)	電 話 所 Station (Telephone)	總 計 Grand Total
			特 定 Special	集 配 Delivery	無 集 配 Non. Delivery	計 Total			
昭和六年度末 March 31, 1932	(△ 81,723 123)	-	3,948	65,172	16,501	85,621	575	43	(△ 167,962 123)
五 年 度 末 March 31, 1931	(△ 86,008 123)	-	4,092	64,324	15,943	84,359	482	33	(△ 170,882 123)
四 年 度 末 March 31, 1930	(△ 86,643 121)	-	4,218	62,704	15,227	82,149	449	32	(△ 169,273 121)
三 年 度 末 March 31, 1929	(△ 80,590 120)	-	4,333	61,201	14,892	80,426	376	16	(△ 161,408 120)
二 年 度 末 March 31, 1928	(△ 77,754 126)	-	4,337	58,926	14,179	77,442	243	1	(△ 155,440 126)
元 年 度 末 March 31, 1927	(△ 73,561 119)	-	4,202	57,265	13,842	75,309	132	1	(△ 149,003 119)
大正十四年度末 March 31, 1926	(△ 69,109 94)	-	4,035	56,173	13,470	73,678	-	1	(△ 142,788 94)
十 三 年 度 末 March 31, 1925	(△ 65,979 94)	-	3,925	54,862	13,158	71,945	-	2	(△ 137,926 94)
十 二 年 度 末 March 31, 1924	(△ 64,224 93)	-	4,280	54,768	12,758	71,806	-	2	(△ 136,032 93)

備 考 1. 表中△印ハ在中華民國本省所轄局員トス
Note. The mark △ shows officials etc. at Japanese Post offices in Middle Republic.

2. 括弧内ノ数字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

第三章 郵便業務ニ關スル施設

Section 3. Institutions for Postal Services

郵便業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

郵便葉書様式改正 從來郵便葉書ニハ「郵便はかき」ト表示シ「か」ニ濁點ヲ附セサル用例ナリシカ郵便葉書ノ如ク公衆ノ日常生活ニ最モ親ミアルモノニアリテハ日常ノ慣用ニ從ヒ「郵便はがき」ト濁音ノ假名ヲ使用スルヲ可ト認メ昭和八年一月十九日省令第四號ヲ以テ通常葉書及往復葉書ノ様式中「はかき」ヲ「はがき」ニ改正シ同年二月十五日ヨリ從來ノモノト取混セ賣捌クコトトセリ

鐵道列車食堂内ニ於テ郵便切手類賣捌開始 昭和七年十月一日ヨリ省線列車食堂内ニ於テ繪葉書ヲ賣捌クコトトナリタルニ付列車内ヨリ之ヲ郵便ニ差出サムトスル乗客ノ便宜ノ爲同食堂内ニ於テモ郵便切手類ノ賣捌ヲ爲シ得ル様同年同月四日省令第四三號ヲ以テ「郵便切手類及收入印紙賣捌規則」ヲ改正シ即日之ヲ施行セリ

滿洲國ノ郵政獨立ニ伴フ諸般ノ便宜ノ供與竝同國ト一般郵便聯合國トノ間ノ郵便業務ノ媒介事務開始 昭和七年七月滿洲國ノ郵政獨立ニ伴ヒ同國ハ全ク萬國郵便聯合外ノ一國トナリ一般聯合國トノ通信連絡杜絶セムトシタルニ付本邦ニ於テハ其ノ郵政施行上ノ各種資料ノ提供、諸般ノ便宜ノ供與ト共ニ一般聯合國ト同國トノ間ニ介在シ其ノ通信業務ノ媒介ニ任シテ國際連絡杜絶ノ憂ナカラシメタリ

本邦ト中華民國間ニ發著スル郵便物ノ取扱ニ關スル諸規定ヲ滿洲國ニモ適用ノコトニ改正 昭和七年三月一日滿洲國ノ獨立以來本邦ハ諸外國ト滿洲國トノ間ニ介在シテ其ノ間ノ通信連絡杜絶ノ憂無カラシムルト共ニ本邦ト滿洲國トノ間ニ發著スル郵便物ニ付テハ便宜從來通本邦ト中華民國トノ間ニ發著スル郵便物ノ例ニ倣ヒ之ヲ處理セシメ居タル處同年九月十五日日本邦ハ滿洲國ヲ正式ニ承認シタルヲ以テ本邦ト中華民國トノ間ニ發著スル郵便物ノ取扱ニ關スル省令、告示、公達、通牒、告知等中華民國トアルハ滿洲國ニ適用シ得ヘキ限リ之ヲ中華民國及滿洲國ニ改ムルコトトセリ

日滿兩國間連絡航空郵便業務ノ開始 從來滿洲國宛航空通常郵便物ハ本邦業務ノミニ依リ新義州迄航空遞送セラルルニ過キサリシカ昭和七年十一月三日以降新義州齊々哈爾間ニ滿洲國定期航空業務開設セラレタルニ依リ本邦ニ於テモ之ヲ利用スルコトトセリ其ノ後新航空線路ノ開設ニ伴ヒ夫々關係告示ニ必要ナル事項ヲ追加セリ又外國小包郵便物ニ付テハ從來航空遞送ヲ爲サザリシ處日滿兩國間發著小包ニ限リ航空取扱ヲ爲スコトトシ外國郵便規則中ニカ改正ヲナシ尙外國小包郵便料金表中ニ「滿洲國」ノ項ヲ加ヘ航空増料金ヲ定メテ之ヲ公示シ翌日ヨリ之ヲ實施セリ

横濱發羅府經由紐育便ノ新設 昭和七年十一月大阪商船株式會社ノ横濱發羅府經由紐育行船便ニ依リ本邦發南北兩米及「カナダ」宛通常郵便物並米國宛小包郵便物ノ差立ヲ開始スルコトトシ同社ニ對スル命令書中改正ヲ爲シタル上同月ヨリ之ヲ實施セリ

日本帝國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間小包郵便物交換ニ關スル約定ノ締結及實施 大正十二年八月以降日「ソ」間ニ小包郵便物ノ直接交換停止セラレ「ソヴィエト」聯邦宛小包ハ英國、佛國又ハ伊國ヲ經由シ送達スルノ外ナカリシカ大正十四年日「ソ」兩國間ノ國交恢復ニ伴ヒ本邦ハ日「ソ」兩國間ニ小包郵便

約定ヲ締結セムコトヲ「ソヴィエト」聯邦當局ニ提議シ爾來機會アル毎ニ兩國郵政廳間ニ於テ直接ニ又ハ外務省ヲ經テ協議ヲ重ネタル結果愈成案ヲ得ルニ至リタルヲ以テ昭和六年十一月二十三日「モスコウ」ニ於テ兩國全權委員當該小包郵便約定ニ署名調印シタリ右約定ハ極密顧問ノ諮詢ヲ經テ御批准アラセラレ昭和七年八月三日條約第六號ヲ以テ公布セリ、而シテ本約定ハ其ノ批准書交換後一月ニシテ實施セララルヘキ處御批准書ハ同年七月二十三日東京ニ於テ交換ヲ了シタルヲ以テ本約定ニ翌月二十三日ヨリ實施セラレタリ之カ爲外國郵便規則、外國郵便取扱規程、郵便物区分規程、事業用品規程、輸入禁制品包有郵便物取扱手續、外國小包郵便料金表、外國宛小包郵便物差立表等中夫々改正セリ、本約定實施ノ結果「ソヴィエト」聯邦宛小包ノ英國、佛國及伊國經由ニ依リ送達線路ハ之ヲ廢止シ本邦郵船ニ依リ「ソヴィエト」聯邦ト直接交換ヲ開始スルト同時ニ本件約定ニ基キ同國ノ媒介ニ依リ「シベリア」經由ニテ獨逸、「エストニア」、「ラトヴィア」、「ベルシア」及土耳其宛小包送達ノ途ヲ開キタリ、本約定ニ依ル小包ハ重量五「キログラム」迄、長さ「メートル」二五及容積二百十六立方「デシメートル」トシ「フラン」迄之ヲ價格表記ト爲スコトヲ得ヘク又到達送料、踪跡取調料、價格表記小包ノ發送料、本邦宛小包ノ國內轉送料及別配達補充料ハ聯合ノ小包約定ニ依ル小包ニ對スルモノト同額ナリ

特殊記念通信日附印

A. 産業と観光の大博覽會記念



中央ニ博覽會ヲ象徵スル建物並澤澤城ヲ表ハシ兼六公園ノ風致ヲ代表スル琴柱燈籠、櫻花及金澤市ノ特産物タル陶器、織物等ヲ配シ産業ト観光ノ博覽會タルノ意ヲ表シタルモノトフ

使用局 産業と観光の大博覽會々場内金澤郵便局臨時出張所

使用期間 昭和七年四月十二日ヨリ同年六月五日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

B. 岡山觀光博覽會記念



園内ニ博覽會場ノ一部及後樂園ノ鶴岡山城並月桂樹ヲ配シ岡山觀光博覽會記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 岡山観光博覧會々場内岡山郵便局臨時出張所

使用期間 昭和七年四月一日ヨリ同年五月十日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

C. 靖國神社臨時大祭記念



中央ニ靖國神社々殿ノ正面、陸海軍徽章及遺族章ヲ配シ參道ノ燈籠並櫻ノ花辨ヲ描キ臨時大祭記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 麹町郵便局及九段郵便局

使用期間 昭和七年四月二十五日ヨリ同月二十八日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印(使用期間以外ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需ニ應ス

D. 勅諭拜受五十年記念時局博覽會記念



三勇士ノ像及鐵條網ヲ描キ勅諭拜受五十年記念時局博覽會記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 勅諭拜受五十年記念時局博覽會々場内廣島郵便局臨時出張所及同廣島驛前郵便局臨時出張所

使用期間 昭和七年五月七日ヨリ同月十五日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

E. 東京市域擴張記念



輪廓ヲ東京市ノ「マーク」ニ象リ其ノ中ニ宮城ヲ中心トシテ新舊兩市域ヲ描キ省線々路、隅田川、荒川放水路等ヲ取入レ月桂樹ヲ配シテ大東京記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 昭和七年十月一日現在ニ於ケル東京市内一、二等郵便局(鐵道郵便局ヲ除ク)及無集配三等郵便局

使用期日 昭和七年十月一日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

F. 名古屋衛生博覽會記念



博覽會建物、名古屋城ノ一部及月桂樹ヲ配シ名古屋衛生博覽會記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 名古屋衛生博覽會々場内名古屋郵便局臨時出張所

使用期間 昭和七年十月一日ヨリ同月三十一日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受ニ使用ス但シ書狀ハ郵便局窓口ニ差出シタルモノニ限ル、使用期間中及其ノ後十日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件ニ對シ消印ノ需ニ應ス

G. 陸軍特別大演習記念



中央星形内ニ大阪城天主閣、金剛葛城ノ二山、砲彈、飛行機ヲ配シ大演習ノ意ヲ表ハシ又菊花ハ季節瑞鳥鳳凰ハ行幸ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 大阪市内一、二等郵便局

使用期日 昭和七年十一月十四日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受=使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口=差出シタルモノ=限ル、陸軍特別大演習大本營内郵便局ハ使用當日其ノ他ノ使用局ハ使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件=對シ消印ノ需=應ス

H. 日滿航空郵便連絡記念



飛行中ノ輸送機及日滿兩國國旗、月桂樹ヲ配シ日滿航空郵便連絡記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 東京中央、大阪中央、博多、高松、松山ノ各郵便局

使用期間 昭和七年十一月三日ヨリ同月五日迄

使用方法 航空通常郵便物ノ引受=使用ス尙使用局以外ノ郵便局=於テ引受タル航空通常郵便物=對シ使用期間中航空路=依リ差立ノ際其ノ餘白=本日附印ヲ押捺ス、使用期間中及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件=對シ消印(使用期間以外ハ使用最終日ノ日附ヲ使用ス)ノ需=應ス

I. 山陰線鐵道全通記念



中央=鐵道乗車券ヲ表ハシ快走セル列車及山陰線ノ路並=月桂樹ヲ配シタルモノトス

使用局 萩郵便局

使用期日 昭和八年二月二十四日

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受=使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口=差出シタルモノ=限ル、使用當日及其ノ後三日間料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件=對シ消印ノ需=應ス

J. 祖國日向産業博覽會記念



外廓ヲ八咫鏡=象リ、曲玉、月桂樹ヲ配シ皇祖發祥ノ聖地=於テ開催ノ祖國日向産業博覽會記念ノ意ヲ表シタルモノトス

使用局 祖國日向産業博覽會々場内宮崎郵便局臨時出張所

使用期間 昭和八年三月十七日ヨリ同年四月三十日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受=使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口=差出シタルモノ=限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件=對シ消印ノ需=應ス

K. 萬國婦人子供博覽會記念



中央部=博覽會建物ノ一部ト之ヲ望メル婦人及子供ノ立姿ヲ描キ月桂樹及櫻花等ヲ配シタルモノトス

使用局 萬國婦人子供博覽會々場内下谷郵便局臨時出張所及同三田郵便局臨時出張所

使用期間 昭和八年三月十七日ヨリ同年五月十日迄

使用方法 料金ヲ完納シタル書狀(無封ノ書狀ヲ除ク)及郵便繪葉書ノ引受=使用ス但シ書狀ハ其ノ希望ヲ以テ郵便局窓口=差出シタルモノ=限ル、使用期間中料金完納ノ郵便葉書並記念ノ目的ヲ以テ一錢五厘以上ノ郵便切手ヲ貼付シタル物件=對シ消印ノ需=應ス

第四章 郵便線路

Section 4. Mail Routes

内地郵便線路

Inland Mail Routes

種別 Class	陸 Route by land キロメートル (Km)				水 Route by water キロメートル (Km)				航空路 Route by air
	通常道路 Road	鐵道線路 Railway	面積百平方料ニ付 Per 100 square (Km ²) 通常道路 Road	鐵道線路 Railway	海 Sea	川 River	湖 Lake	計 Total	
年度末 At the 31st March of:—									
昭和 七年度 1933	△ 33,307 65	20,178	9	5	35,927 (19,401)	152	94	36,173	3,038
六年度 1932	△ 32,637 83	19,897	9	5	37,546 (20,275)	152	94	37,792	3,005
五年度 1931	△ 28,064 108	18,996	7	5	21,820 (11,783)	204	28	22,052	3,005
四年度 1930	△ 28,229 118	17,882	7	5	20,669 (11,160)	161	247	21,077	1,455
三年度 1929	△ 27,620 118	17,778	7	5	20,521 (11,082)	247	161	20,929	1,215
二年度 1928	△ 26,185 118	16,962	7	4	20,077 (10,842)	228	128	20,433	—
元年度 1927	△ 27,170 111	20,139	7	5	20,127 (10,869)	230	126	20,483	—
大正 十四年度 1926	△ 27,209 134	16,337	7	4	18,871 (10,186)	232	134	19,237	—
十三年度 1925	△ 27,498 82	15,367	7	4	18,087 (9,765)	98	134	18,319	—
十二年度 1924	△ 27,318 67	14,979	7	4	19,844 (10,712)	145	263	20,252	—

備考 1. △印ハ鐵索道路ニシテ内課ナリ
 Note: 1. △Iron-rope ways included in the above figures
 2. 括弧内ノ数字ハ哩數ヲ示ス
 The figures shown in the parentheses indicate number of nautical miles

郵 第五卷 第四章 普通郵便局内地
Section 5. Number
Numbers of Ordinary Mails

種 別 Description	年 次 Year			
	七 年 度 1932-33	六 年 度 1931-32	五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30
引 受 Acceptance	4,253,750,031 24,703,934	4,490,202,875 24,698,728	4,409,551,651 26,380,272	5,096,611,368 25,806,686
人口十ニ對スル物數 Acceptance Per 10 of population	642	687	684	809
書 留 Registration	58,085,809	57,566,778	59,403,748	60,976,478
價 格 表 記 Declaration of value	2,530,284	2,436,916	2,389,524	2,440,732
代 金 引 換 Cash-on delivery	398,491	424,145	533,501	617,430
別 配 達 Special delivery	230,730	212,020	211,512	208,481
引受時刻證明(有料) Certificate of time of posting (Charged)	4,675	3,215	3,709	3,028
配 達 證 明 Delivery certificate	2,511,714	2,346,599	2,334,384	2,263,047
内 容 證 明 Certification of letters documents	1,546,123	1,596,506	1,427,379	1,166,009
前掲中再掲 Items of the above-mentioned	-	-	-	941,209
訴 訟 書 類 Special service of judicial documents	2,588,676	2,638,667	2,440,117	2,004,045
特許審判書類 Documents of patents	-	-	-	6,699
速 達 郵 便 Quick delivery	4,244,681	4,157,107	4,311,511	4,554,084
航 空 郵 便 Air mail	234,665	149,876	94,089	-
約 束 郵 便 Contract mail	211,903,586	217,443,926	232,945,584	236,247,065
市 内 特 別 郵 便 Special urban mail	132,712,375	124,198,731	107,228,611	128,139,301
切 手 別 納 郵 便 Mail without stamps affixed	253,290,233	272,206,715	246,399,062	278,583,893
配 達 Delivery	4,294,100,596 34,213,102	4,532,477,443 38,805,324	4,437,939,812 41,410,764	5,046,099,425 38,164,157
上掲ノ外引受 Acceptance except the above	6,419,795	6,557,614	7,148,651	7,394,272
集 金 郵 便 Collection of cash	-	-	-	-
廣 告 郵 便(有料) Advertisement mail (Charged)	-	-	-	-

備 考 1. ×印ハ外國郵便ニシテ内譯ナリ
Note. 1. The mark ×Shows Foreign Ordinary mails included

便 物 數
of Mail Matter
郵 便 物 數
at Inland Post Offices

種 別 Description	年 次 Year					
	三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27	十 四 年 度 1925-26	十 三 年 度 1924-25	十 二 年 度 1923-24
引 受 Acceptance	4,764,671,266 24,564,036	4,863,287,510 22,236,780	3,974,192,623 22,584,405	4,266,410,278 20,954,554	4,120,032,952 190,603,080	3,710,089,970 21,640,155
人口十ニ對スル物數 Acceptance Per 10 of population	767	793	665	714	697	634
書 留 Registration	60,525,084	59,133,051	58,407,054	57,366,271	57,471,768	51,671,726
價 格 表 記 Declaration of value	2,347,334	2,231,735	2,020,498	1,965,053	1,871,948	1,913,055
代 金 引 換 Cash-on delivery	592,180	628,195	716,187	818,974	921,635	660,654
別 配 達 Special delivery	220,702	226,649	206,694	198,391	176,835	163,917
引受時刻證明(有料) Certificate of time of posting (Charged)	3,414	2,649	2,571	2,661	3,077	2,946
配 達 證 明 Delivery certificate	2,376,761	2,353,431	2,286,155	2,170,910	2,023,468	1,768,506
内 容 證 明 Certification of letters documents	1,093,073	1,118,058	958,556	904,986	835,326	744,095
前掲中再掲 Items of the above-mentioned	733,286	603,856	636,686	621,431	466,016	488,132
訴 訟 書 類 Special service of judicial documents	1,668,415	1,711,002	1,483,201	1,386,904	1,313,303	1,144,944
特許審判書類 Documents of patents	7,786	-	-	-	12	1,761
速 達 郵 便 Quick delivery	4,727,931	4,370,620	4,127,066	3,958,195	3,942,725	4,377,435
航 空 郵 便 Air mail	-	-	-	-	-	-
約 束 郵 便 Contract mail	234,485,974	227,990,852	221,733,652	203,131,894	208,989,047	167,882,916
市 内 特 別 郵 便 Special urban mail	112,097,838	104,340,587	81,095,571	74,712,454	54,926,242	40,231,639
切 手 別 納 郵 便 Mail without stamps affixed	252,012,761	287,640,027	227,518,853	222,607,616	230,122,808	155,857,741
配 達 Delivery	4,716,170,378 38,707,802	4,833,723,104 36,507,308	3,906,474,525 35,091,708	4,270,172,210 29,555,318	4,159,786,493 26,465,098	3,759,491,240 30,021,159
上掲ノ外引受 Acceptance except the above	7,747,874	7,851,118	7,630,137	6,540,330	6,684,810	5,941,599
集 金 郵 便 Collection of cash	-	-	-	-	59,900,448	64,037,811
廣 告 郵 便(有料) Advertisement mail (Charged)	-	-	-	-	-	-

内地郵便局 小包
取 扱
Number of Parcels at

種 別 Description	年 次 Year	昭和	昭和	昭和	昭和
		七 年 度 1932-33	六 年 度 1931-32	五 年 度 1930-31	四 年 度 1929-30
引 受 Acceptance	有 料 Charged	55,834,140	55,575,465	57,490,526	61,013,967
	無 料 Free	2,638,173	2,626,466	2,577,227	2,636,616
	計 Total	* 58,472,313 430,377	* 58,201,931 357,873	* 60,067,753 437,616	* 63,650,583 479,119
人口十ニ對スル物數 Acceptance per 10 of population		8.8	8.9	9.3	10.1
前掲中再掲 Items of the abovementi- oned	書 留 Registration	21,945,295	21,526,203	23,106,871	25,348,108
	價 格 表 記 Declaration of value	2,313	1,988	2,661	3,083
	代 金 引 換 Cash-on-delivery	7,694,074	7,359,620	7,620,814	8,107,929
	別 配 達 Special delivery	17,768	13,617	13,569	14,386
	配 達 證 明 Delivery certificate	186,751	156,738	150,782	181,030
	留 置 Post restante		?	?	66,143
	速 達 郵 便 Quick delivery	166,529	181,062	196,115	215,960
	航 空 郵 便 Air mail	6,307	3,091	1,606	-
配 達 Delivery	* 54,849,774 140,133	* 55,654,599 208,845	* 57,724,881 249,540	* 60,654,644 265,980	

備考 1. * 印ハ外國郵便ニシテ内票ナリ
Note. 1. The mark * Shows Foreign parcel included.

郵 便 物 數
Inland Post Offices

三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27	大 正 十 四 年 度 1925-26	十 三 年 度 1924-25	十 二 年 度 1923-24
60,781,930	58,043,856	55,964,225	53,311,919	50,725,669	46,478,074
2,553,099	2,512,031	2,294,419	2,229,637	2,143,457	1,979,865
* 63,335,029 490,510	* 60,555,887 460,978	* 58,258,644 443,674	* 55,541,556 476,746	* 52,869,126 446,491	* 48,457,939 340,504
9.8	9.8	9.7	9.3	8.9	8.3
25,776,100	25,013,917	25,117,738	24,274,334	23,533,966	21,108,695
5,205	7,579	7,137	7,808	7,259	7,505
7,911,127	7,573,564	7,459,572	6,990,419	6,530,267	5,989,625
17,694	15,468	16,393	17,911	16,180	14,257
211,616	203,257	242,990	242,129	205,370	147,102
61,383	62,736	63,417	62,288	53,621	55,115
212,123	183,484	157,039	126,072	111,489	93,701
-	-	-	-	-	-
* 60,465,163 259,788	* 57,657,320 248,348	* 55,852,079 268,607	* 53,225,423 274,123	* 50,710,656 308,376	* 46,486,998 354,299

通常郵便物不能還付數
Disposition of irregularities of the Ordinary mails

種別 Description	筒 數			左 筒 數 中			配達郵便物— 萬筒=對スル 不能配達還付 No. of the impossible compared with 10,000 delivered	外國郵便 Foreign Mails	
	前年度越高 Carried over from preceding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達 還付 The im- possible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返還 Returned to	外國ヨリ 返還 Returned from
昭和 七 年 度 1932-33	314,750 (△ 85)	940,569 (△ 3,982)	1,255,319 (△ 4,067)	217,944 (△ 3778)	701,852 (△ 195)	335,523 (△ 94)	1.63	106,867	172,973
六 年 度 1931-32	389,983 (△ 68)	892,828 (△ 5,020)	1,282,811 (△ 5,088)	161,630 (△ 4,728)	806,431 (△ 275)	314,750 (△ 85)	1.78	111,758	133,936
五 年 度 1930-31	369,896 (△ 201)	1,013,620 (△ 4,837)	1,383,516 (△ 5,038)	156,689 (△ 4,508)	836,844 (△ 462)	389,983 (△ 68)	1.89	108,547	127,699
四 年 度 1929-30	359,126 (△ 175)	976,487 (△ 4,731)	1,335,613 (△ 4,906)	165,766 (△ 4,336)	799,951 (△ 369)	369,896 (△ 201)	1.58	99,373	136,569
三 年 度 1928-29	357,193 (△ 204)	1,133,643 (△ 4,937)	1,490,836 (△ 5,141)	160,048 (△ 4,437)	971,662 (△ 529)	359,126 (△ 175)	2.00	108,818	129,237
二 年 度 1927-28	155,922 (△ 213)	907,016 (△ 4,585)	1,062,938 (△ 4,798)	160,293 (△ 4,169)	545,452 (△ 425)	357,193 (△ 204)	1.13	90,294	135,646
元 年 度 1926-27	369,912 (△ 277)	753,440 (△ 4,669)	1,123,352 (△ 4,946)	127,211 (△ 4,240)	840,219 (△ 493)	155,922 (△ 213)	2.16	88,636	107,462
大正 十 四 年 度 1925-26	354,741 (△ 316)	987,216 (△ 4,001)	1,341,957 (△ 4,317)	128,050 (△ 3,494)	843,995 (△ 546)	369,912 (△ 277)	1.98	139,911	106,751
十 三 年 度 1924-25	233,086 (△ 365)	1,016,143 (△ 3,592)	1,249,229 (△ 3,957)	131,642 (△ 3,105)	762,846 (△ 536)	354,741 (△ 316)	1.83	144,167	111,434
十 二 年 度 1923-24	395,786 (△ 246)	1,262,990 (△ 4,552)	1,658,776 (△ 4,798)	550,213 (△ 3,781)	875,477 (△ 652)	233,086 (△ 365)	2.33	98,022	?

備考 1. △印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. △ Registered or with declared value. The figures of foreign mails are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

小包郵便物不能還付數
Disposition of irregularities of Parcels

種別 Description	筒 數			左 筒 數 中			配達小包十萬 筒=對スル不 能配達還付 No. of the impossible compared with 100,000 delivered	外國小包 Foreign parcels	
	前年度越高 Carried over from the preceding year	本年度分 In the present year	合計 Total	配達還付 Delivered or returned	不能配達 還付 The im- possible to deliver or to return	處分未済 Not yet disposed with		外國へ 返還 Returned to	外國ヨリ 返還 Returned from
昭和 七 年 度 1932-33	1,148 (△ 62)	7,857 (△ 5,547)	9,005 (△ 5,609)	5,779 (△ 5,438)	2,088 (△ 104)	1,138 (△ 67)	3.81	1,107	5,449
六 年 度 1931-32	1,971 (△ 120)	8,209 (△ 5,393)	10,180 (△ 5,513)	5,872 (△ 5,308)	3,160 (△ 143)	1,148 (△ 62)	5.68	1,567	5,327
五 年 度 1930-31	2,098 (△ 101)	9,311 (△ 6,139)	11,409 (△ 6,240)	6,461 (△ 5,998)	2,977 (△ 122)	1,971 (△ 120)	5.16	1,890	6,029
四 年 度 1929-30	3,060 (△ 127)	11,210 (△ 7,106)	14,270 (△ 7,233)	7,581 (△ 6,996)	4,591 (△ 136)	2,098 (△ 101)	7.57	1,871	7,001
三 年 度 1928-29	2,772 (△ 136)	8,862 (△ 4,618)	11,634 (△ 4,754)	5,073 (△ 4,475)	3,429 (△ 152)	3,132 (△ 127)	5.67	1,910	4,468
二 年 度 1927-28	2,973 (△ 230)	10,143 (△ 6,065)	13,116 (△ 6,295)	6,440 (△ 5,935)	3,903 (△ 224)	2,773 (△ 136)	6.77	1,724	5,954
元 年 度 1926-27	2,242 (△ 415)	11,130 (△ 5,283)	13,372 (△ 5,698)	5,765 (△ 5,262)	4,730 (△ 215)	2,877 (△ 221)	8.47	2,095	5,291
大正 十 四 年 度 1925-26	2,767 (△ 404)	9,867 (△ 4,773)	12,634 (△ 5,177)	4,847 (△ 4,342)	5,545 (△ 420)	2,242 (△ 415)	10.42	2,229	4,612
十 三 年 度 1924-25	2,505 (△ 221)	10,477 (△ 3,965)	12,982 (△ 4,186)	4,069 (△ 3,387)	6,146 (△ 395)	2,767 (△ 404)	12.12	2,663	3,600
十 二 年 度 1923-24	4,079 (△ 276)	11,568 (△ 3,819)	15,647 (△ 4,095)	4,426 (△ 3,554)	8,716 (△ 320)	2,505 (△ 221)	18.75	1,651	3,456

備考 1. △印ハ書留及價格表記トス又外國郵便ニ關スルモノハ再掲ナリ
Note. △ Registered or with declared value. The figures of foreign Parcels are reproduced.
2. 括弧内ノ數字ハ内課ナリ
The figures in the parenthesis are items.

特殊取扱通常郵便物亡失毀損數

Irregularities of the Ordinary mails of special Service

種別 Description 年次 Year	前年度 越過 Carried over from the prece- ding year	本 年 分 In the pres- ent year	合 計 Total	同 上 中									處 未 分 濟 Not yet dispo- sed with	郵便物 十萬箇 =對シ 亡失毀 損 Rate in 100,000 mails	
				亡			失			毀					Not yet dispo- sed with
				賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated	賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated	賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated			
				箇 數 No.	金 額 Amount		箇 數 No.	金 額 Amount		箇 數 No.	金 額 Amount				
昭和 七 1932-33	52	281	333	50	671	254	5	-	-	-	-	24	0.47		
六 1931-32	90	336	426	167	1,962	205	2	-	-	-	-	52	0.56		
五 1930-31	93	314	407	97	1,152	194	26	-	-	-	-	90	0.51		
四 1929-30	42	290	332	75	876	162	-	2	40	-	-	93	0.46		
三 1928-29	146	270	416	108	1,329	263	1	2	70	-	-	42	0.43		
二 1927-28	40	303	343	87	1,340	105	5	-	-	-	-	146	0.49		
元 1926-27	154	276	430	184	3,436	203	-	1	80	2	-	40	0.46		
大正 十 四 1925-26	106	437	543	201	3,408	188	-	-	-	-	-	154	0.74		
十 三 1924-25	223	376	599	316	3,616	165	9	3	50,000	-	-	106	0.63		
十 二 1923-24	111	530	641	214	3,166	176	25	2	30,000	1	-	223	1.00		

小包郵便物亡失毀損數

Irregularities of Parcels

種別 Description 年次 Year	前年度 越過 Carried over from the prece- ding year	本 年 分 In the pres- ent year	合 計 Total	同 上 中									處 未 分 濟 Not yet dispo- sed with	引受小 包十萬 箇=對 シ亡失 毀損 Rate in 100,000 parcels accep- ted	
				亡			失			毀					Not yet dispo- sed with
				賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated	賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated	賠償 Compensated		不賠償 Uncom- pensated			
				箇 數 No.	金 額 Amount		箇 數 No.	金 額 Amount		箇 數 No.	金 額 Amount				
昭和 七 1932-33	68	177	245	153	726	44	-	-	-	-	-	48	0.84		
六 1931-32	133	143	276	146	618	62	-	-	-	-	-	68	0.66		
五 1930-31	229	238	467	177	781	63	94	-	-	-	-	133	1.03		
四 1929-30	128	348	476	183	850	63	1	-	-	-	-	229	1.37		
三 1928-29	316	158	474	183	1,271	158	-	-	-	-	-	128	0.71		
二 1927-28	91	765	856	398	1,978	142	-	-	-	-	-	316	3.06		
元 1926-27	81	303	384	253	929	40	-	-	-	-	-	91	1.21		
大正 十 四 1925-26	66	343	409	279	1,110	49	-	-	-	-	-	81	1.39		
十 三 1924-25	62	703	765	408	2,096	265	12	10	48,600	4	-	66	2.99		
十 二 1923-24	152	468	620	399	1,424	133	26	-	-	-	-	62	2.22		

第六章 電信業務ニ關スル施設

Section 6. Institutions for Telegraph Services

電信業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

電報規則中改正 公衆ノ利便増進ト歐文電報ノ利用促進ヲ計ル爲シ歐文新聞電報ノ取扱ヲ開始スル爲シ昭和七年九月十四日省令第三十號ヲ以テ本規則中大要下記ノ如キ改正ヲ加ヘ同月二十六日ヨリ之ヲ施行セリ

- (1) 歐文新聞電報ノ取扱ヲ下記ニ依リ認ムルコトトセリ
 - (イ) 新聞電報料ハ和文新聞電報料ノ一般電報料ニ對スル減額割合ト略同様トス
 - (ロ) 至急料ハ和文新聞電報ト同様新聞電報料ノ二倍トス
 - (ハ) 同文料ハ和文新聞電報ノ同文料ト同様トス
 - (ニ) 豫約新聞電報料ハ百語以内、二百語以内、三百語以内ノ三種ニ分テ和文豫約新聞電報料ノ一般新聞電報料ニ對スル減額率ト同様トス
 - (ホ) 歐文新聞電報ノ用語ハ日本語及英語ニ限ルコトトス
- (2) 戰時事變ニ際シ日本赤十字社ヨリ發スル電報又ハ國庫金取扱事務ニ關シ日本銀行等ヨリ發スル電報ヲ官報トシテ取扱フニハ逡信大臣ノ承認ヲ要シタルモ行政事務ノ簡捷ヲ計ル趣旨ヲ以テ之カ承認制ヲ廢シ一定ノ條件ヲ具フルモノハ官報トシテ取扱フコトトセリ
- (3) 昭和七年十月一日ヨリ役場専用電話制度ハ事實上廢止セラルルコトトナリタルニ伴ヒ關係條項ヲ下記ノ如ク改正セリ
 - (イ) 電報規則中電線託送ニ關スル役場専用電話關係條項ヲ削除シタルコト
 - (ロ) 託送電報發受心得及明治四十一年五月告示第五八二號(郵便電信ノ發受ニ關シ一般公衆ノ特ニ注意ヲ要スルモノノ件)中役場専用電話ニ關スル條項ヲ削除シタルコト

電氣事業法ノ實施ニ伴フ私設電信規則等改正 昭和七年十二月一日ヨリ改正電氣事業法ノ實施ニ伴ヒ電氣工作物規程改正セラレタル處工事規定ニ付テモ改正ヲ見タルヲ以テ之ト一致セシムル爲シ私設電信規則及官廳用電信電話規程中電信電話ノ工事方法ニ付改正ヲ加フルト共ニ右規定中公衆用信號施設ニ關スル條項モ改正シ又電報送受ノ爲シ氣送管ヲ施設スル場合ノ規定ヲモ新ニ追加シ何レモ昭和七年十二月一日ヨリ之ヲ實施セリ改正要旨下記ノ如シ

- (1) 私設電信電話線ノ低壓又ハ高壓電流ノ電線ト交叉若ハ接近スル場合ノ間隔ハ從來六十種ナリシガ原則トシテ一米ニ改メタルコト
- (2) 特別高壓電線ト交叉スル場合ノ間隔ハ從來一萬「ヴォルト」以下ノトキハ一米、之ヲ超過スルトキハ一萬「ヴォルト」迄毎二十五種ヲ加フルコトトナレルモ六萬「ヴォルト」以下ノトキハ二米、之ヲ超過スルトキハ一萬「ヴォルト」迄毎二十種ヲ加フルコトニ改メタルコト
- (3) 而シテ右ニ低觸スル既設ノ私設電信電話線ハ一ケ年以内ニ改修スルヲ要スルコト
- (4) 火災報知機ニ依ル公衆信號施設ハ從來逡信大臣ノ許可ヲ受クルコトニナリ居レルモ行政事務簡捷ノ趣旨ヨリ施設後單ニ其ノ旨届出ヲ爲サバ足ルコトニ改メタルコト

- (5) 電報送受用ノ電信電話線及正午時通報用ノ電鈴線ニ對シテハ從來施設者ノ申請ニ依リ逡信省施設ノ地下「ケーブル」ヲ使用シ得ルコト、ナリ居レルモ地下「ケーブル」ノ外架空「ケーブル」ヲ使用シ得ルコトニ改メタルコト
 - (6) 最近氣送管ノ發達ニ伴ヒ之ニ依ツテ電報ヲ送受シタキ旨希望スル者アルヲ以テ此ノ場合ハ電報送受用電信電話ノ施設ニ準ジテ申請シ得ルコトニ新ニ規定セルコト
- 以上ノ改正ニ伴ヒ私設電信電話無線電信電話監督事務規程及私設電信規則ニ依ル料金額及其ノ納付手續中必要ナル改正ヲ行ヘリ

請願通信施設規則中改正 電信電話ニ關スル從來ノ請願通信施設規則ハ機關ノ普及上適切ナラザルモノアリト認メラレタルニ付大體一般施設ト同一歩調ヲ採リ機關普及ノ公正ヲ期スル爲シ昭和八年二月二日省令第五號ヲ以テ本規則中維持費徵收方法等改正ヲ行ヒ同月十一日ヨリ之ヲ實施セリ

「マドリツド」會議 第十三回萬國電信會議及第四回國際無線電信會議ハ昭和七年九月三日ヨリ同年十二月十日ニ至ル間「マドリツド」ニ於テ開催セラレ本邦委員モ之ニ參列シテ從來ノ國際電信條約及國際無線電信條約ニ代ル國際電氣通信條約並電信、電話、一般無線及追加無線ノ各附屬規則ニ調印ヲ了セリ

外國電報料金「フラン」換算率變更 外國電報料金ハ從來「フラン」四十錢換ノ邦貨額ヲ以テ告示セラレ居タル處本邦圓價ノ著シキ下落ニ因リ之ヲ「フラン」六十錢換ニ變更シ(新聞電報料金ニ限り四十錢換ヲ維持ス)全般的ニ外國電報料金表ヲ改正ヲ行ヒ昭和八年一月一日ヨリ之ヲ實施セリ

局所ノ開廢

(一) 局開廢及等級改定 本年度中實施シタル電信取扱一、二等局下記ノ如シ

(イ) 有線

逡信局名	開始局名	廢止局名	等級改定			件數合計
			二等局ヲ 二等局ニ	特定三等局ヲ 二等局ニ	普通三等局ヲ 二等局ニ	
東京	荒川郵便局	中野郵便局 杉並分室	大森郵便局	—	—	5
	杉並郵便局	—	—	—	—	
	代々幡郵便局	—	—	—	—	
名古屋	—	—	笹島郵便局	—	—	1
大阪	—	—	—	—	—	1
熊本	—	—	若松郵便局	—	—	1
計	4	1	3	—	—	8

(ロ) 無線

遞信局名	開始局名	廢止局名	件數合計
熊本	長崎無線電信 愛野送信所分室)	—	1
計	1	—	1

(二) 電信事務開始 (勅令請願ヲ除ク)

本年度電信事務開始方決定セルモノ下記ノ如シ

遞信局名	開始決定局數
東京	19
名古屋	19
大阪	22
廣島	20
熊本	18
仙臺	15
札幌	12
計	125

(三) 勅令請願 = 依ル電信事務開始 本年度中勅令請願通信施設規則 = 依リ事務ヲ開始セルモノ下記ノ如シ

遞信局名	事務開始局名	同上内譯	
		前年度受理	本年度受理
東京	2	2	—
名古屋	1	1	—
大阪	1	1	—
廣島	—	—	—

熊本	—	—
仙臺	—	—
札幌	—	—
計	4	4

(四) 電信取扱所開廢 本年度中電信取扱所ノ設置又ハ廢止ヲ決定セルモノ下記ノ如シ

遞信局名	設置又ハ廢止			配達事務開始又ハ廢止			備考
	設置	廢止	差引計	開始	廢止	差引計	
東京	—	3	△ 3	—	1	△ 1	△印ハ減
名古屋	—	—	—	—	—	—	
大阪	—	2	△ 2	—	1	△ 1	
廣島	—	—	—	—	—	—	
熊本	—	—	—	—	—	—	
仙臺	—	1	△ 1	—	—	—	
札幌	—	7	△ 7	—	—	—	
計	—	13	△ 13	—	2	△ 2	

(五) 臨時 = 設置シタル電信取扱局所

遞信局名	一等局	二等局	特定三等局	普通三等局	出張所	分室	件數
東京	—	—	—	—	1	—	1
名古屋	—	—	—	—	1	—	1
大阪	—	1	—	9	6	1	17
廣島	—	—	—	—	19	1	20
熊本	—	—	—	—	3	1	4
計	—	1	—	9	30	3	43

分課設置 本年度中分課設置セラレタルモノ下記ノ如シ

局名	設置分課名	實施月日
大森郵便局	郵便電信課、電話課、保險課、庶務課	昭和七年十月十六日
笹島郵便局	郵便課、電信課、保險課、庶務課	同上

東京市域擴張ニ伴フ施設 十月一日ヨリ東京市ニ編入セラレタル地域中ニハ電報ノ直配達區域外ノ地域又ハ隣接他縣所在ノ局ヨリ電報ノ配達ヲ受ケ居レル地域アリタルヲ以テ市域擴張後ニ於テハ電報ノ直配達區域外ノ地ヲ存セシメズ而モ新市域内ハ總テ市内地所在ノ局ヨリ配達セシムル爲既設三等局ニ電信事務ヲ開始シ又ハ電信區劃ノ變更ヲ爲シ又人口稠密シ通信力旺盛ナル地域ニハ集配二等局ヲ新設シテ之ニ電信事務ヲ開始シ以テ電報ノ速達ヲ期セリ

第七章 電信線路、電報氣送管及障礙竝機械

Section 7. Telegraph Lines, Pneumatic Tubes, Faults and Apparatus.

内地電信線路

Number of Length of Inland Telegraph Lines.

種別 Class	陸上線 Land lines キロメートル Km				地下ケーブル Underground Cables キロメートル (Km)		合計 Total キロメートル (Km)		百平方軒ニ付 Per 100 Square (Km)		水底ケーブル Submarine Cables キロメートル (Km)	
	架空裸線 Aerial lines		架空ケーブル * Over head Cables		線路 Routes	心線 Cores	線路 Routes	線條 Lines	線路 Routes	線條 Lines	線條 Lines	心線 Cores
	線路 Routes	線條 Lines	線路 Routes	心線 Cores								
昭和 七年度 1933	35,713	235,079	74	20,302	707	94,892	36,494	350,273	10	92	15,286	18,357
六年度 1932	35,772	236,348	69	19,692	690	93,604	36,531	349,644	10	91	15,283	18,413
五年度 1931	35,935	235,040	77	17,306	501	87,605	36,513	339,951	10	89	15,324	18,390
四年度 1930	35,955	235,716	71	15,370	424	76,155	36,450	327,241	10	86	15,314	18,286
三年度 1929	35,647	233,568	78	14,738	317	56,420	36,042	304,726	9	80	15,298	18,248
二年度 1928	35,609	232,593	63	14,322	275	45,894	35,947	292,809	9	77	15,324	18,140
元年度 1927	35,586	230,955	51	14,035	255	35,052	35,892	280,042	9	73	15,314	18,123
大正 十四年度 1926	35,444	230,382	39	10,698	181	24,541	35,664	265,621	9	66	15,810	16,906
十三年度 1925	35,455	230,264	59	8,832	153	18,368	35,667	257,464	9	66	13,824	16,078
十二年度 1924	35,557	228,716	31	5,691	110	12,453	35,698	246,860	9	64	13,329	15,579

備考 架空「ケーブル」中架空裸線ニ添架シタル部分ノ線路ハ計上セス
Note. * Excl. sive of parts of cables laid along with aerial lines.

電報氣送

Pneumatic

所 在		Section laid down with Pneumatic Tubes	
東京中央電信局	東京中央電信局受配課間	Between	Tokyo Central Telegraph office
同	葵町郵便局間	"	"
同	芝郵便局間	"	"
同	新橋郵便局間	"	"
同	京橋通郵便局間	"	"
同	京橋郵便局間	"	"
同	深川郵便局間	"	"
同	日本橋通郵便局間	"	"
同	本所郵便局間	"	"
同	兩國郵便局間	"	"
同	小傳馬町郵便局間	"	"
同	本町郵便局間	"	"
同	下谷郵便局間	"	"
同	本郷郵便局間	"	"
同	牛込郵便局間	"	"
同	麴町郵便局間	"	"
豫			Spare
東京中央電信局	東京中央郵便局間	Between	Tokyo Central Telegraph office
同	日本橋郵便局間	"	"
同	東京米穀取引所間	"	"
同	日本橋兜町分局間	"	"
同	神田郵便局間	"	"
同	淺草郵便局間	"	"
同	京橋築地分局間	"	"
豫			Spare
大阪中央電信局	柳田郵便局間	Between	Osaka Central Telegraph office
同	北濱郵便局間	"	"
同	中央市場内分室間	"	"
豫			Spare
大阪中央電信局	内寫眞電送用		For phototelegraphic service
大阪中央電信局	内電報受付配達事務用		For Accepting and Delivering of Telegrams
大阪中央電信局	大阪中央郵便局間	Between	Osaka Central Telegraph office
同	川口郵便局間	"	"
神戸中央電信局	神戸中央郵便局間	"	Kobe Central Telegraph office
同	兵庫郵便局間	"	"
豫			Spare
總	計		Total

管 所 在 地 別

Tubes

昭和七年度末
March 31, 1933

地	管ノ種類	管數	直長	延長
	Kind of tube	No. of tube	Length of routes メートル(m)	Length of tube メートル(m)
Section of Acceptance and Delivery Tokyo Central Telegraph office	小	4	109	438
Aoiyo Post office	"	2	3,963	7,926
Siba Post office	"	"	3,487	6,972
Sinbasi Post office	"	"	2,679	5,356
Kyobasitori Post office	"	"	1,875	3,751
Kyobasi Post office	"	"	2,980	5,962
Hukagawa Post office	"	"	2,802	5,604
Nihonbasitori Post office	"	"	1,304	2,607
Honjyo Post office	"	"	3,502	7,003
Ryogoku Post office	"	"	2,043	4,085
Kodenmatyo Post office	"	"	1,341	2,681
Hontyo Post office	"	"	635	1,268
Sitaya Post office	"	"	3,370	6,741
Hongo Post office	"	"	3,111	6,223
Usigome Post office	"	"	4,114	8,227
Kojimati Post office	"	"	3,212	6,424
	"	"	852	3,890
Tokyo Central Post office	大	2	1,279	2,557
Nihonbasi Post office	"	"	1,245	2,491
Tokyo Rice Exchange	"	"	1,628	3,259
Nihonbasi Kabutotyo branch of Post office	"	"	1,420	2,842
Kanda Post office	"	"	1,819	3,639
Asakusa Post office	"	"	4,076	8,154
Kyobasitukizi branch of Post office	"	"	3,899	7,799
	"	"	589	1,177
Umeda Post office	小	2	1,010	2,020
Kitahama Post office	"	"	1,855	3,710
Osaka Central market	"	"	1,485	2,970
	"	"	836	2,004
at Osaka Central Telegraph office	大	2	122	122
at Osaka Central Telegraph office	"	1	22	22
Osaka Central Post office	"	2	813	1,626
Kawaguti Post office	"	"	1,916	3,832
Kobe Central Post office	"	"	1,273	2,546
Hyogo Post office	"	"	3,493	6,986
	"	"	25	50
			70,184	142,964

内地電信障碍
Frequencies and Hours of

種 別 Description	年 次 Year	昭和七年			
		1932-33	1931-32	1930-31	1929-30
混 線 Contacts	度 數 Frequency	4,557	4,278	5,634	5,390
	時 數 Hour	22,104	19,571	33,652	29,174
地 氣 Earth	度 數 Frequency	3,305	3,376	5,212	4,751
	時 數 Hour	17,021	13,909	36,209	22,071
斷 線 Disconnection	度 數 Frequency	2,134	2,190	2,799	2,939
	時 數 Hour	7,737	7,482	12,002	10,407
陸上及地下ケーブル Land and Under-ground Cables	度 數 Frequency	220	185	253	346
	時 數 Hour	2,570	2,441	3,770	4,532
漏 電 Leakage	度 數 Frequency	889	948	1,172	1,129
	時 數 Hour	1,602	1,644	2,528	2,318
其 他 Others	度 數 Frequency	889	948	1,172	1,129
	時 數 Hour	1,602	1,644	2,528	2,318
合 計 Total	度 數 Frequency	11,105	10,977	15,070	14,555
	時 數 Hour	51,034	45,047	88,161	68,502
水 底 線 Submarine Cables	度 數 Frequency	76	104	77	48
	時 數 Hour	194,074	226,980	139,233	125,205

度數及時數
Faults of Inland Telegraph.

三 年 度 1928-29	二 年 度 1927-28	元 年 度 1926-27	大正十四年度		
			十 三 年 度 1924-25	十 二 年 度 1923-24	十 一 年 度 1922-23
5,655	6,392	7,598	6,777	6,950	5,791
32,959	37,347	59,387	51,052	49,172	47,464
5,114	5,504	5,656	5,751	4,911	4,795
30,375	47,175	43,572	32,952	36,606	40,103
2,863	3,022	2,923	2,947	3,383	2,965
12,476	13,069	15,814	17,785	18,871	15,966
633	631	1,541	1,885	1,997	1,732
20,790	18,672	57,854	56,345	42,198	44,560
1,193	936	800	791	619	269
3,180	2,068	2,139	2,077	1,682	1,417
15,458	16,485	18,518	18,151	17,860	15,552
99,780	118,331	178,766	160,211	148,529	149,510
88	46	45	42	64	71
149,538	29,933	51,727	52,531	79,917	175,043

内地郵便電信機
Number of Telegraph apparatuses and Batteries

種別 Description	通信局 Direction of Commu- nications	東 京 名 古 屋 大 阪			
		Tokyo	Nagoya	Osaka	
電話 Telephone for Teleg. Service	機		643	828	787
現符機 Ink writer	單 Simplex		5	-	-
	二 Duplex (D. C.)		2	-	-
音響機 Sounder	單 Simplex		929	607	931
	二 Duplex		134	66	160
	交直四重 Quadruplex (A. C. & D. C.)		19	11	13
自動機 Automatic Telegraph, Duplex	二重		45	3	34
現波自動 Undulator and Siphon recorder	單 Simplex		1	-	-
	二 Duplex		1	-	-
印字二重機 Printing Duplex Telegraph for Japanese characters	手 manual		2	1	10
	自 Automatic		11	2	8
歐文自動印字二重機 Printing Automatic Duplex Telegraph for alphabet	機		2	2	-
二路二重歐文印字機 Double-Duplex Printing Telegraph	機		2	-	3
寫真電信機 Phototelegraph	機		1	-	1
單信自動中繼裝置 Telegraphic Repeater Simplex	機		-	-	-
電信中繼 Telegraphic Repeater	上 (振動式)		4	22	14
	上 (二一式)		-	6	6
寫真電信中繼器 Phototelegraphic Repeater	機		-	1	-
電信集信機 Telegraph Concentrator	機		1	-	-
電信自動交換機 Automatic Telegraph Switchboard	機		2	-	1
電信用電話交換機 Telephone Exchange Board	機		-	1	2
電信監督 Inspection Apparatus	機		11	15	12
	時 Automatic Time Switch		14	13	12
合 Total	計		1,828	1,578	1,994
電池 Batteries	一 Primary	次	16,437	13,192	17,270
	二 Secondary	次	657	594	706
	合 Total	計	17,094	13,786	17,976

備考 音響機單信中ニハ從來結合重單信ノ中ニ掲上セラレタルモノノ中ヨリ單信ヲ加ヘ二重ハ結合重單信ノ二重ト交直
Note: The above figures of "Sounder Simplex" are included those reckoned in "Single and Duplex combined Sys-
tem" the figures of "Sounder Duplex" those reckoned in "Single and Duplex combined System" and
"Duplex (A.C.&D.C.)", and the figures of "Sounder Quadruplex (A.C.&D.C.)" those reckoned in "Duplex

械及電池數
used at Inland Post and Telegraph Offices

昭和七年度末
March 31, 1933

種別 Description	廣 島 熊 本 仙 臺 札 幌					計 Total
	Hirosima	Kumamoto	Sendai	Sapporo		
	337	788	547	369		4,299
	-	-	-	-	-	5
	-	-	-	-	-	2
	694	742	717	467		5,087
	73	105	51	28		617
	11	14	5	5		78
	19	22	9	29		161
	-	3	-	-		4
	1	9	-	-		11
	4	3	-	3		23
	1	2	1	1		26
	-	-	-	-		4
	-	2	-	-		7
	-	-	-	-		2
	49	7	39	17		152
	9	3	-	-		12
	-	-	-	-		12
	-	-	-	-		1
	-	-	-	-		1
	-	-	-	-		2
	-	-	-	-		3
	13	14	15	11		91
	9	12	11	7		78
	1,220	1,726	1,395	939		10,680
	10,524	11,087	10,713	14,977		94,200
	584	1,226	1,280	905		5,952
	11,108	12,313	11,993	15,882		100,152

双信ノ内ヨリ直流及交流二重ヲ加ヘ交直四重ハ交直双信ノ内ヨリ四重ヲ加ヘタリ
tem" the figures of "Sounder Duplex" those reckoned in "Single and Duplex combined System" and
(A.C.&D.C.)

第八章 電報通數

Section 8. Number of Telegrams

内地郵便 電信局取扱 電報通數

Number of Telegrams dealt with at Inland Post and Telegraph Offices

種別 Description	内國電報 Domestic			外國電報 Foreign			中繼電報 Transit	
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total		
昭和七年度 1932-33	發信 Despatch	48,492,354	5,572,692	54,065,046	1,157,747	96,683	1,254,430	101,297,228
	著信 Arrival	48,692,802	7,588,361	56,281,163	1,137,546	106,379	1,243,925	
六年度 1931-32	發信 Despatch	49,844,342	5,662,938	55,507,280	1,093,956	99,698	1,193,654	102,771,973
	著信 Arrival	49,962,194	7,822,304	57,784,498	1,116,151	108,291	1,224,442	
五年度 1930-31	發信 Despatch	51,262,221	6,120,285	57,382,506	1,083,436	100,425	1,183,861	107,287,804
	著信 Arrival	51,418,554	8,507,062	59,925,616	1,117,657	107,317	1,224,974	
四年度 1929-30	發信 Despatch	57,241,974	6,664,003	63,905,977	1,183,544	111,284	1,294,828	117,898,050
	著信 Arrival	57,469,768	9,037,908	66,507,676	1,218,110	118,460	1,336,570	
三年度 1928-29	發信 Despatch	58,599,456	6,728,316	65,327,772	1,154,504	101,691	1,256,195	120,407,374
	著信 Arrival	58,843,317	9,100,552	67,943,869	1,183,874	107,601	1,291,475	
二年度 1927-28	發信 Despatch	59,657,039	6,745,184	66,402,223	1,153,942	113,318	1,267,260	118,162,198
	著信 Arrival	59,868,609	8,919,491	68,788,100	1,200,349	119,312	1,319,661	
元年度 1926-27	發信 Despatch	59,423,634	6,726,475	66,150,109	1,164,610	115,317	1,279,927	116,328,004
	著信 Arrival	59,543,552	8,869,745	68,413,297	1,210,597	122,044	1,332,641	
大正十四年度 1925-26	發信 Despatch	60,229,027	7,654,402	67,883,429	1,109,944	115,239	1,225,183	116,796,804
	著信 Arrival	60,298,108	9,322,788	69,620,896	1,142,093	122,786	1,264,879	
十三年度 1924-25	發信 Despatch	60,850,715	8,187,376	69,038,091	1,027,328	118,840	1,146,168	116,183,199
	著信 Arrival	60,890,421	9,418,695	70,309,116	1,060,615	130,864	1,191,479	
十二年度 1923-24	發信 Despatch	58,439,328	8,543,879	66,983,207	968,356	137,071	1,105,427	114,673,685
	著信 Arrival	58,914,246	10,341,994	69,256,240	1,020,811	147,419	1,168,230	

備考 内國電報中ニハ日華電報規則ニ據リテ取扱ヒタルモノヲ包含ス
 Note. Domestic Telegrams include those treated in accordance with Japan and Middle Republic Teleg. Regulations.

前表中無線電信、無線電話局ニ於テ取扱ヒタルモノヲ再掲スレハ次表ノ如シ

Telegrams handed at the wireless telegraph, wireless telephone office shown in the said table is as follow:-

無線電信、無線 電話局取扱 電報通數

Number of Telegrams dealt with at Wireless Telegraph, Wireless Telephone Offices

種別 Description	内國電報 Domestic			外國電報 Foreign			
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	
昭和七年度 1932-33	發信 Despatch	276,131	111,235	387,366	30,540	19,863	50,403
	著信 Arrival	130,719	131,868	262,587	14,898	7,546	22,444
六年度 1931-32	發信 Despatch	284,109	102,880	386,989	33,804	20,125	53,929
	著信 Arrival	130,740	159,819	290,559	17,131	6,966	24,097
五年度 1930-31	發信 Despatch	276,649	100,304	376,953	36,939	19,748	56,687
	著信 Arrival	122,571	179,582	302,153	18,239	6,800	25,039
四年度 1929-30	發信 Despatch	302,487	76,810	379,297	35,432	13,981	49,413
	著信 Arrival	125,820	157,134	282,954	16,543	6,617	23,160
三年度 1928-29	發信 Despatch	291,456	52,084	343,540	36,052	12,251	48,303
	著信 Arrival	110,183	98,861	209,044	17,229	6,067	23,296
二年度 1927-28	發信 Despatch	246,517	44,128	290,645	30,403	9,152	39,555
	著信 Arrival	91,657	98,033	189,690	14,483	5,000	19,483
元年度 1926-27	發信 Despatch	196,371	36,317	232,688	25,037	7,145	32,182
	著信 Arrival	75,191	92,356	167,547	12,226	3,966	16,192
大正十四年度 1925-26	發信 Despatch	149,471	37,753	187,224	19,325	6,106	25,431
	著信 Arrival	61,260	73,082	134,342	8,165	3,030	11,195
十三年度 1924-25	發信 Despatch	148,805	36,859	185,724	19,612	8,850	28,462
	著信 Arrival	58,155	74,761	132,916	7,866	3,814	11,680
十二年度 1923-24	發信 Despatch	121,687	30,244	151,931	18,224	15,179	33,403
	著信 Arrival	47,535	52,897	100,432	6,714	7,072	13,786

在中華民國本邦電信局取扱電報通數

Number of Telegrams dealt with at Japanese Telegraph Offices in Middle Republic

種別 Description	內國電報 Domestic			外國電報 Foreign			中繼電報 Transit	
	有料 Charged	無料 Free	合計 Total	有料 Charged	無料 Free	合計 Total		
昭和七年度 1932-33	發信 Despatch	20,328	1,520	21,848	158,226	9,172	167,398	2
	著信 Arrival	26,238	874	27,112	147,782	7,737	155,519	
六年度 1931-32	發信 Despatch	20,749	1,507	22,256	183,040	17,355	200,395	2
	著信 Arrival	26,412	875	27,287	163,324	15,672	178,996	
五年度 1930-31	發信 Despatch	32,025	1,607	33,632	219,688	12,695	232,383	1
	著信 Arrival	34,840	1,106	35,946	198,821	11,558	210,379	
四年度 1929-30	發信 Despatch	32,884	1,696	34,580	262,536	23,509	286,045	4
	著信 Arrival	34,393	1,114	35,507	222,691	22,894	245,585	
三年度 1928-29	發信 Despatch	29,688	1,773	31,461	257,009	21,757	278,766	1
	著信 Arrival	30,738	1,206	31,944	212,448	21,307	233,755	
二年度 1927-28	發信 Despatch	30,265	1,687	31,952	277,533	30,098	307,631	1
	著信 Arrival	33,362	1,311	34,673	226,512	31,711	258,223	
元年度 1926-27	發信 Despatch	28,629	1,871	30,500	274,265	27,835	302,100	1
	著信 Arrival	30,866	1,273	32,139	230,251	29,235	259,486	
大正十四年度 1925-26	發信 Despatch	26,247	2,214	28,461	220,426	27,589	248,015	3
	著信 Arrival	28,832	1,627	30,459	198,449	28,397	226,846	
十三年度 1924-25	發信 Despatch	27,315	2,221	29,536	185,558	26,302	211,860	1
	著信 Arrival	30,022	1,499	31,521	170,852	26,319	197,171	
十二年度 1923-24	發信 Despatch	22,802	2,183	24,985	174,192	28,262	202,454	4
	著信 Arrival	25,894	1,623	27,517	157,809	27,932	185,741	

第九章 電話業務ニ關スル施設

Section 9. Institutions for Telephone Services

電話業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

特設電話規則中改正 特設電話ヲ普通電話ニ變更スルトキハ其ノ變更期日ヲ三箇月前ニ加入者ニ通知スルコトニ規定セラレ居ルコロ、右三箇月ノ期間ハ一面ニ於テハ加入者ヲシテ制度變更後モ引續キ當該電話加入者タルヘキヤ否ヤヲ考慮セシメ加入ヲ繼續セムトスルトキハ相當手續ヲ爲スコトヲ得他面ニ於テハ關係電話官署ヲシテ制度變更ニ關スル各種ノ準備ヲ爲サシムル爲メノ期間ニシテ該目的ノ期間トシテハ十五日ヲ以テ足ルモノト認メラルルニ付昭和七年三月三十一日省令第七號ヲ以テ關係規則ヲ改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ實施セリ

特設電話規則ニ依ル電話ヲ電話規則ニ依ル電話ニ變更 特設電話制度ハ電話事業ノ創始時代ニ於テ小都市及農村ニ於ケル電話普及ヲ助長セシムルカ爲メニ設ケラレタル制度ニシテ局外ノ設備ハ全部加入者ヲシテ施設セシメ更ニ局内裝置ニ對シテモ工費ノ一部ヲ寄附セシメ居リタリ然ルニ加入者ノ負擔高額トナルノミナラス物品ノ購入其ノ他ニ多數ノ日子ヲ要シ工事ノ進捗ヲ妨ケ殊ニ線路ノ新設又ハ添架ノ場合等負擔ノ公平ヲ缺キ易ク且ツ料金制度モ亦複雑ニシテ時勢ニ適セサル點尠カラサルヲ以テ本制度ヲ全廢シ全部普通電話ニ變更スルコトトシ昭和七年十月一日ヨリ之ヲ實施セリ

役場専用電話所屬官署ニ電話規則ニ依ル電話事務開始 政府ハ大正十五年郡役所廢止後ニ於ケル自治行政ノ運行ヲ一層敏活完全ナラシメ且地方經費ノ節約ヲ圖ル爲メ府縣廳ト町村役場トヲ連絡スル電話施設ヲ爲スノ急務ナルヲ認メ、既設電話交換局ニ加入セシムルコトヲ得サル地域内ニ在ル町村役場ノ爲メ町村電話施設計畫ヲ樹テ、之ニ依リテ之等町村役場ト府縣廳トノ間ニ電話連絡ノ途ヲ開キ併セテ當該地方ノ一般公衆ニ對シテモ電話通話ノ利便ヲ得セシムルコトトシ本計畫ニ要スル經費ハ國費及地方費ニ依リ支辨シ昭和二年度以降五箇年間ニ之ヲ完成セシムルモノナリ、而シテ此ノ五箇年間ニ實施シタル狀況ハ豫定町村三千四十七箇町村ニ對シ千七百二十六箇所ニシテ、尙多數ノ未架設町村ヲ殘シ居レリ、然レ共府縣町村ノ負擔高額トナルト地方不況ノ折柄ナル爲メ本制度ニ依リ之ヲ完成セシムルコトハ頗ル困難ナルヘキ状態トナリタルヲ以テ町村電話制度ヲ廢シテ之ヲ一般擴張計畫ニ併合シ以テ未架設町村ニ電話ヲ架設シテ地方公共團體ノ負擔輕減ト地方開發トヲ圖ルコトトシ昭和七年十月一日ヨリ之ヲ實施セリ

壬地ノ交換ニ屬スル電話ニ關スル料金特定 特設電話及役場専用電話ハ凡テ昭和七年十月一日ヨリ普通電話ニ變更セラレタルヲ以テ是等ニ對スル料金ハ當然電話規則ニヨル料金ヲ課セラルルコトトナレカ現行ノ儘ニ適用スルトキハ當該加入者ノ過半数ハ料金ノ増加ヲ見ルモノトス、斯クノ如キハ農漁山村ノ疲弊、中小商工業者ノ困憊ノ現況ニ照シ妥當ナラサルト今回ノ制度變更カ增收ヲ目的トセサルトニヨリ當分ノ内壬地ニ屬スル普通電話トナルモノニ限り可及の特設電話時代ノ料金相當額ニ特定スルコトトセリ、但シ長崎縣嚴原局所屬加入者ニ對シテハ從來ノ通トセリ

特別加入區域及加入區域外ヨリノ加入電話ニ關スル制度改正 昭和七年十月一日ヨリ特別加入區域及加入區域外ヨリノ加入電話ニ關スル制度ヲ改正セリ、其ノ概要次ノ如シ

1. 加入區域外電話路線ノ實費負擔制度ノ廢止

從來加入區域外ヨリ加入セムトセルモノニ對シテハ豫算經理上ノ都合ニヨリ加入者ヲシテ區域外電話線路ヲ建設寄附セシムルコト、シ、其ノ工事ハ逓信省ニ於テ委託ヲ受ケ執行シ居リタルモ其ノ手續煩瑣ニシテ工事ヲ遲延セシメ所要物品モ全部加入者ノ提供スルモノナルカ故ニ本省工事ノ殘品又ハ撤去品ヲ使用スルヲ得ス物品ノ經理甚タシク不經濟ニシテ且不便アルノミナラス既設線路ノ有無及其ノ狀態ニ依リ建設費一様ナラス從テ加入者ノ負擔不公平ヲ免レサルカ如キ弊アリタルヲ以テ特別加入區域内ニ於ケルカ如ク定額ノ接続料制度ニ依ルコトトセリ

電話線接続料

- (1) 當該電話取扱局ノ特別加入區域内ニ於ケル關係電話線路110「メートル」迄毎=18圓
- (2) 當該電話取扱局ノ加入區域外ニシテ當該電話取扱局ヨリ8「キロメートル」以内ノ地ニ於ケル關係電話線路110「メートル」迄毎=23圓
- (3) 當該電話取扱局ノ加入區域外ニシテ當該電話取扱局ヨリ8「キロメートル」ヲ超ユル部分ノ地ニ於ケル關係電話線路110「メートル」迄毎=32圓

2. 區域外加入ノ特別附加使用料ノ改正

區域外加入者ニ對シテハ從來度數制施行地ハ市内通話一通話毎ニ所定ノ度數料ノ外ニ附加使用料五錢ヲ課シ均一料金制施行地ハ附加使用料トシテ下記ノ年額料金ヲ課シ居レリ

土地種別	單獨加入	共同線加入	連接加入
戊地	180	135	90
己、庚、辛、壬地	120	90	60

然ルニ度數制施行地ニ於テハ本料金ヲ通話度數ニ對シテノミ課スルカ故ニ通話度數ノ多寡ニ依リ負擔ニ著シキ懸隔ヲ生シ權衡ヲ失スルコト大ナルヲ以テ其ノ一部ハ通話度數ニ應ジ課スルト共ニ一部ハ基本料ニシテ課シ多數使用者ト少數使用者トノ間ノ負擔ノ權衡ヲ圖ルノ必要ヲ認メ從來ノ一通話五錢ヲ參錢トスルト共ニ基本年額ニ相當スル附加使用料ヲ使用度數ニ拘ラス課スルコトニ改メタリ又均一制施行地ニ於ケル區域外加入者ノ負擔ハ度數制施行地ニ比シ著シク高額ニシテ例ヘハ東京ニ於ケル區域外加入者ノ特別ノ附加使用料平均負擔年額118圓ナルニ對シ戊地180圓己地以下120圓ニシテ著シク權衡ヲ失シ居ルヲ以テ之ヲ相當低減スル爲メ該附加使用料ヲ電話使用料相當額ニ改メタリ

地方廳及公署カ其ノ電話線ヲ引渡シタル場合ノ料金ノ減免及通話ノ先順位ニ關スル規定廢止

官廳用電信電話規程第一條第二號ノ電話(警察事務及刑事訴訟事務ノ専用ニ供スル爲メ施設スルモノ)ヲ施設スル地方廳又ハ電信法第二條第三號ノ電話(公共團體ノ事務執行ノ爲一市區町村内若ハ隣接市區町村間ニ於テ公署相互間又ハ一郡市區内ニ於テ公署ト第一次監督官廳トノ間ニ施設スルモノ)ヲ施設スル地方廳カ其ノ電話線ヲ逓信省ニ無償引渡シタル場合、引渡ヲシタル電話線ニ直接連絡スル電話官署ニ於テ特設電話ノ加入者カ一名(連接加入者及無料加入者ヲ除ク)ニシテ且其ノ引渡ヲ爲シタル地方廳又ハ公署ノ地方費支辨ニ係ルモ

ナルトキハ交換料及附加交換料ヲ免除シ居レルカ今回當該電話カ普通電話ニ變更セラルルニ伴ヒ右ニ關スル省令ヲ昭和七年十月一日ヨリ廢止セリ、然レトモ交換料等ノ免除ニ付テハ當該加入ノ性質ニ鑑ミ將來ニ於テモ同様特典ヲ認ムルヲ妥當トセルヲ以テ在來ノ役場專用電話ノ料金ト一括シテ電話規則中特別ノ規定ヲ置キ使用料其ノ他低額料金ヲ課スルコトトセリ尙本件廢止ニ係ル省令中市外通話ニ對スル料金半減及先順位接続ニ關スル特典ハ存續スルヲ妥當トセルヲ以テ之ヲ電話規則中ニ規定セリ

電話通話規則中改正 地方廳又ハ公署カ其ノ電話線ヲ引渡シタル場合ニ於ケル料金ノ減免及通話ノ先順位

ニ關スル省令廢止セラレタルヲ以テ該省令中市外通話ノ料金半減及先順位接続ニ關スル規定ヲ昭和七年九月二十八日省令第四十號ヲ以テ電話規則中ニ追加シ十月一日ヨリ之ヲ施行セリ

昭和七年度以降辛地以上ニ於テ開通シタル加入電話ノ名義及設置場所變更禁止

昭和七年度ニ於テハ是迄ノ電話擴張計畫ニ改定ヲ加ヘ擴張財源ヲ公債ニ求メ設備負擔金ニ相當多額ノ低減ヲ斷行シタルカ新規加入者ニ對シ從來ノ如ク名義及設置場所ノ變更ヲ自由ナラシムルトキハ新設電話ハ夥シク市場ニ流出シテ電話市價ニ急激ナル變動ヲ及ホシ電話ヲ所有スル中小商工業者ノ如キハ市價ノ低落ニ依リ大ナル打擊ヲ受クルモノト思料セラルルカ目下經濟界ノ狀態ハ極度ノ不況ニ直面シ政府ハ本年度ニ於テ前後二回ニ亙リ臨時議會ヲ召集シ農村及中小商工業者ノ救濟策ヲ講シ經濟ノ復興ヲ企圖セル折柄其ノ恢復ニ惡影響ヲ及ホスヘキ虞アル電話市價ノ低落ハ成ルヘク之ヲ避クルノ必要アリ依テ電話ノ普及上差シテ妨ケトナラサル限度ニ於テ幾分ナリトモ市價ノ低落ヲ阻止セムトシ辛地以上ノ地ニ於テ新ニ架設スル順番開通、寄附開通及特別開通ノ電話ニ對スル加入名義及設置場所ノ變更ハ所轄逓信局長ニ於テ已ムヲ得サルモノト認メ特ニ許可シタル場合ノ外開通後一年ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ爲シ得サル旨昭和七年七月二日省令第二十一號ヲ以テ公布シ同日ヨリ之ヲ施行セリ

電話特別開通申請受付 昭和七年度電話特別開通申請受付及架設狀況等下記ノ如シ

(1) 申請受付期間

自七月十一日 至同月三十日 (但シ本年度新ニ交換業務ヲ開始スヘキ局所ノ受付ハ事務開始決定ノ告示後トシ其ノ期間ハ五日間トスルコト)

(2) 設備費減額

本年度電話擴張計畫ニ於テハ設備費ニ對シ多額ノ低減ヲ爲セリ即チ前年度ニ於ケル擴張計畫ニ於テハ加入者負擔金ヲ以テ主タル財源トシタル關係上設備費相當高額ニシテ經濟ノ不況及一般物價ノ低落ヨリ見ルモ申請者ノ負擔過重ニ失シ爲メ電話ノ普及ヲ不自然ニ阻礙シ居ル實況ナリシヲ以テ本年度ニ於テハ財源ノ一部ヲ公債ニ仰キ前年度ヨリ更ニ多額ノ設備費低減ヲ斷行セリ尙特設電話及町村電話ヲ普通電話ニ變更シ之等ノ地ニ於ケル本年度加入者新增設ハ特別開通制度ニ依ルコトニ改定セリ

設備費及寄附金

區 別	單獨加入		共同線加入		連接加入	
	前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度
東 京	900	500	230	130	—	—
大 阪	800	450	230	130	—	—
京都、神戸、名古屋、横濱	700	400	180 <small>名古屋、京都、神戸、横濱</small>	100	—	—
戊 地	530	270	105	50	40	—
己 地	430	240	85			
庚 地	350	210	75			
辛 地	280	180				
壬 地	240	150				

備 考

設備費及寄附金又ハ加入登記料ハ申請受付當時ノ土地種別ニ依ルコト尙本年度ニ於テハ特設電話又ハ役場専用電話ヨリ普通電話ニ變更セラルル局所ノ土地種別ハ變更後ノ土地種別ニ依ルコト

(3) 町村役場加入ニ關スル特例

役場専用電話ノ所屬電話官署ニ電話規則ニ依ル電話事務開始ノコトニ改正ノ結果下記ノ如キ特例ヲ設ケタリ

(イ) 従前ノ町村電話計畫ニ依ル一般加入者ヲ收容シ居ラサル局所又ハ町村役場ノミ開通セシムル豫定ノ交換開始局所ニ對シ町村役場以外ニ一般加入ヲ希望スルモノアルトキハ其ノ局所ノ總加入者數カト名ニ達セサル場合町村役場以外ノ申請ハ工事上ノ都合ニ依リ受理セサルコトアルヘキ旨注意ノ上申請ノ受付ヲ爲スコト

(ロ) 新ニ交換業務ヲ開始スル局所ニシテ町村役場一加入ノミ開通セシムルモノハ特別開通制度ニ依ラス電話規則第十一條第五號ニ依ルコトトシ其ノ寄附額ハ壬地單獨加入設備相當額トス但シ加入者電話線路1,200「メートル」ヲ超ユルモノハ1,200「メートル」ヲ超ユル部分ノ線路距離110「メートル」迄毎金18圓ヲ右寄附額ニ附加スルコトトシ電話線接続料ハ之ヲ徴收セサルコト

(4) 加入申込積滞數ノ整理

本年度改正計畫ニ於テハ從來ノ加入申込積滞數整理ノ爲設備費ヲ徴收セス加入申込登記順番ニ依リ開通ヲモ爲セリ

(5) 申請受付状況

申請受付状況ニ就テハ各局ヨリ毎日電報又ハ電話ヲ以テ報告セシメタリ今申請數ト受理決定數ノ割合ヲ見ルニ次ノ如シ、因ニ受理決定數ハ從來ノ如ク豫メ之ヲ決定セス申請受付後其ノ状況及前年度設備費納入状況其ノ他局舎交換機等ノ關係ヲ考査ノ上決定セラレタルモノトス、申請受付數及受理決定數等次表ノ如シ

(イ) 六大都市

局 名	申請受付數 (1)	受理決定數 (2)	(2)ノ(1)ニ對スル割合
東 京	11,355	4,000	3.5
大 阪	5,327	2,420	4.5
京 都	1,762	1,000	5.7
神 戸	966	550	5.7
名 古 屋	2,221	1,810	8.1
横 濱	430	260	6.0
計	22,061	10,040	4.6

(ロ) 六大都市以外ノ地

遞 信 局 名	申請受付數 (1)	受理決定數 (2)	(2)ノ(1)ニ對スル割合
東 京	8,488	5,000	5.9
名 古 屋	4,191	2,600	6.2
大 阪	6,309	3,900	6.2
廣 島	4,124	2,500	6.1
熊 本	6,580	3,600	5.5
仙 臺	1,795	1,000	5.6
札 幌	605	280	4.6
計	32,092	18,880	5.9

備 考

本申請受付數及受理決定數ニハ新設ノ分ヲ含マズ

(6) 本年度電話特別開通數下記ノ如シ

(イ) 六大都市

局 名	開 通 數	備 考
東 京	4,046	本開通數中ニハ有寄附特急架設ヲ含ミ順番開通ヲ含マズ
大 阪	3,173	
京 都	1,058	
神 戸	523	
名 古 屋	1,739	

局名	開通數	備考
横濱	271	
計	10,810	

(ロ) 六大都市以外ノ地

遞信局名	開通數			備考
	増設	新設	合計	
東京	5,040	561	5,601	本開通數中=ハ有寄附特急架設ヲ含 ミ順番開通ヲ含マズ
名古屋	2,591	161	2,752	
大阪	3,561	427	3,988	
廣島	2,937	177	3,114	
熊本	3,600	157	3,757	
仙台	1,043	125	1,168	
札幌	275	242	517	
計	19,047	1,850	20,897	

電話擴張計畫實施 第六十二議會ノ協賛ヲ經タル電話擴張計畫ニ於ケル昭和七年度割額ハ二千三百五十七

萬一千二百圓ニシテ實施工程下記ノ如シ

(1) 加入者及市外線新增設工程

區別	計畫工程	實施工程	備考
東京	3,500	4,288	1. 實施工程ハ特別開通有寄附特急架設、順番開通ノミヲ示ス
大阪	2,600	3,382	2. 右ノ外
京都外三都市	3,500	3,890	
其ノ他ノ局	22,400	19,180	無寄附特急架設
交換開始		1,769	
計	32,000	32,509	共同線加入 680
市外線新增設	3,860 (15,159軒)	5,418 (21,278軒)	連接加入 145 共同線加入ヲ單獨加入ニ變更 237

(2) 電話事務開始

遞信局名	通話事務	電話交換	備考
東京	60	67	
名古屋	30	27	
大阪	17	37	
廣島	34	41	
熊本	45	35	
仙台	35	27	
札幌	17	22	
計	238	256	

(3) 超短波無線装置ニ依ル電話通話事務開始 超短波無線装置ニ依ル電話通話事務ハ昭和七年度計畫ニ於テ山形縣酒田、飛島間ニ本邦ニ於テ始メテ開始スルコトトス

(4) 公衆電話増設

遞信局名	増設數	備考
東京	100	
名古屋	35	
大阪	60	
廣島	10	
熊本	12	
仙台	8	
札幌	5	
計	230	

(5) 電話土地種別ノ改定 昭和六年度加入者増設ノ結果標準加入者數ニ達シタルモノ及交換方式變更ニ伴ヒ下記各局ノ土地種別ヲ變更セリ

記

(イ) 標準加入者數ニ依ルモノ(昭和七年四月一日實施)

戊地ニ變更 宇都宮

庚地ニ變更 逗子、船橋、富田

(ロ) 交換方式變更ニ依ルモノ(昭和七年七月一日實施)

己地ニ變更 伊勢崎、上諏訪

(6) 特設電話ヲ普通電話ニ變更 昭和六年度加入者増設ノ結果加入者數二百名以上トナリタル左記特設電話

局ヲ普通局ニ變更シ土地種別ヲ辛地トセリ

昭和七年四月一日實施

箱根宮ノ下、御殿場、水海道、小牧、尾張大野、杵築、黒澤尻

昭和七年七月一日實施

丸岡、石動

制度改正ニ伴ヒ特別電話規則ニ依ル電話、役場専用電話ヲ昭和七年十月一日ヨリ凡テ普通電話ニ變更シ土

地種別ヲ壬地トセリ

(7) 電話交換方式變更

逓信局名	局數	方式變更局名		
		自働式	共電式	簡易直複式
東京	5	世田谷	伊勢崎、松澤	清水、三島
名古屋	2	—	—	伊那、犬山
大阪	2	—	高知	洲本
廣島	—	—	—	那覇
熊本	2	大牟田	—	—
仙臺	2	—	—	—
札幌	—	—	弘前	新發田
計	13	—	—	—

内鮮電話通話連絡 内鮮電話通話連絡ハ官民多年ノ要望ニシテ昭和五年度ヨリ海底電話「ケーブル布」設置ニ着手シ昭和八年三月頃完成ノ筈ナリシカ時局關係上内鮮通話連絡ハ其ノ完成ヲ俟ツ能ハサリシヲ以テ不取敢下釜山間二心入海底電信「ケーブル」ニ特殊装置ヲ施シ電話ニ使用スルコトトシ同八年一月十五日下關釜山線ノ開通ヲ見タリ

都市近接地間市外電話ノ改善 都市ト其ノ近接地トノ間ノ關係ハ益々緊縮ノ度ヲ加ヘ殊ニ高速度交通機關普及ニ伴ヒ電話通話ニ於テモ舊來ノ設備ヲ以テハ到底其ノ使命ヲ全フシ得サルニヨリ之カ改善ニ努メ七年度ニ於テハ下記區間ニ對シ必要ニ應シ市外電話回線ヲ増設シ即時市外通話取扱法指定線式及「ダイヤル」式市外通話法ヲ採用シ都市近接地間ノ通話ノ速達ヲ圖リタリ

(1) 即時市外通話法實施區間及増設回線數

- 東京荻窪間 18回線
- 東京世田谷間 18回線
- 中野荻窪間 7回線
- 天下茶屋住吉間 9回線

(2) 指定線式市外通話法實施區間及増設回線數

- 東京川口間 6回線

- 東京鶴見間 6回線
- 京都嵯峨間 5回線
- 大阪岡町間 6回線
- 大阪奈良間 6回線
- 名古屋津島間 回線増設セス

(3) 「ダイヤル」式市外通話法實施區間

- 名古屋一宮間 回線増設セス
- 大阪旭間 回線増設セス
- 京都大津間 回線増設セス

第十章 電話線路

Section 10. Telephone Routes,

内地電話

Length of Inland

年度末 At the 31st March of:—	種別 Description	陸上線 Land Lines キロメートル(Km)				地下 Underground 線路 Routes
		架空線 Aerial Lines		架空ケーブル * Over head Cables		
		線路 Routes	線 Lines	線路 Routes	心 Cores	
昭和 七 年 1933	度	54,515	592,894	4,006	1,510,181	3,115
六 年 1932	度	52,986	583,896	3,305	1,418,141	2,946
五 年 1931	度	51,811	591,641	2,401	1,318,921	2,624
四 年 1930	度	50,493	597,177	1,459	1,218,018	2,247
三 年 1929	度	46,926	584,601	807	1,065,197	1,913
二 年 1928	度	44,484	554,645	437	938,000	1,457
元 年 1927	度	39,246	524,270	361	802,086	1,210
大正 十 四 年 1926	度	36,500	492,975	271	672,542	1,033
十 三 年 1925	度	23,999	385,034	102	454,762	888
十 二 年 1924	度	22,904	361,683	82	367,217	707

備考 架空「ケーブル」中架空線=添架シタル部分ノ線路ハ計上セズ

Note. Exclusive of parts of cables laid along with aerial lines.

障 碍 及 内 機 械

Faults and Apparatus

線 路

Telephone Lines

ケーブル Cables キロメートル(Km)	合 計 Total キロメートル(Km)		百 平 方 軒 = 付 Per 100 Square (Km)		水 底 ケーブル Submarine Cables キロメートル(Km)	
	線路 Routes	線 Lines	線路 Routes	線 Lines	線 Lines	心 Cores
3,552,307	61,636	5,655,382	16	1,479	867	6,565
3,424,264	59,237	5,426,301	15	1,420	808	5,948
3,358,543	56,836	5,269,105	15	1,379	788	5,911
3,079,316	54,199	4,894,511	14	1,282	673	5,487
2,839,065	49,646	4,488,863	13	1,125	443	2,753
2,554,020	46,378	4,046,665	12	1,061	397	3,625
2,158,028	40,817	3,484,384	11	912	295	3,024
1,840,355	37,804	3,005,872	10	775	185	2,089
1,470,729	24,989	2,310,525	6	596	177	1,850
1,202,662	23,693	1,931,562	6	498	177	1,909

內地市內電話
Frequencies of Faults of

種別 Description	年次	昭和	年	度	年	度	年	度
	Year	七	三	三	二	一	三	一
		1932-33	1931-32	1930-31	1929-30			
交換局内 Fault in Exchange Office	交換機 Switch Board	368,094	404,788	454,195	468,285			
	配線盤 Distributing Board	35,834	39,733	47,360	51,268			
	繼電器架 Relay Rack	40,976	42,088	48,206	49,987			
	可熔片盤及中繼線輪架 Fuse Board and Repeating Coil Rack	14,821	17,190	20,253	18,059			
	發電裝置 Power Plant	1,581	2,216	5,975	7,277			
	局内線其ノ他 Office Wires etc.	31,326	41,641	35,338	39,664			
	計 Total	492,632	547,656	611,327	634,540			
加入者宅内 Fault in Subscriber's Station	電話機 Telephones	401,400	387,541	379,941	380,307			
	保安器 Protective Devices	44,264	44,718	46,545	46,428			
	電池 Cells	20,012	21,110	23,264	25,072			
	室内線 Wires	12,244	12,430	12,326	12,706			
	轉換機 Switches	10,262	11,219	12,406	-			
	加入者不注意其ノ他 Subscriber's Carelessness etc.	50,767	53,990	57,078	77,857			
	計 Total	538,949	531,008	531,560	542,370			
線路 Fault on Routes	架空線 Aerial Lines	107,205	119,570	133,894	145,316			
	架空ケーブル Over-head Cables	24,313	22,358	21,751	20,511			
	地下ケーブル Underground Cables	5,398	7,182	6,453	8,990			
	加入者引込線 Subscriber's Leading-in	65,462	71,738	78,728	85,975			
	中繼線 Trunk Line	336	668	765	1,379			
	配線箱 Distributing Box	30,769	33,603	37,458	41,126			
	線 Bridle Wire	3,732	3,963	4,752	5,464			
	其ノ他 Others	39,164	43,692	48,082	50,572			
	計 Total	276,379	302,774	331,883	359,333			
	合 Grand Total	計	1,307,960	1,381,438	1,474,770	1,536,243		

障礙度數
Inland Urban Telephones

三	二	元	大	十	十	十
年	年	年	正	三	三	二
度	度	度	四	年	年	年
1928-29	1927-28	1926-27	1925-26	1924-25	1923-24	
516,062	443,375	440,024	436,844	341,403	350,410	
54,268	59,100	72,548	69,294	56,271	49,746	
60,215	52,522	64,145	65,559	46,256	34,506	
24,227	34,137	28,871	19,422	17,975	16,429	
5,068	4,375	2,281	2,350	2,556	2,525	
43,763	49,674	49,404	60,921	62,952	43,033	
703,603	643,183	657,273	654,390	527,413	496,649	
358,335	326,986	305,115	265,005	226,503	212,987	
44,090	41,971	37,745	32,881	28,443	26,969	
24,358	29,371	29,425	28,823	29,782	31,319	
13,740	13,905	12,447	12,627	11,905	10,869	
-	-	-	-	-	-	
68,666	46,154	39,923	32,924	29,050	27,804	
509,189	458,387	424,655	372,260	325,683	309,948	
155,435	155,543	152,104	124,335	119,141	100,644	
16,612	15,997	17,419	14,034	10,455	8,743	
11,510	8,772	7,669	9,988	9,175	6,736	
88,087	75,636	77,880	68,298	61,973	55,009	
1,273	-	-	-	-	-	
45,907	47,254	47,083	42,310	33,715	27,902	
6,659	6,951	6,574	5,534	4,317	4,448	
51,100	59,218	55,532	52,489	41,041	27,021	
376,583	369,371	364,261	316,988	279,817	230,503	
1,589,375	1,470,941	1,446,189	1,343,638	1,132,913	1,037,100	

內地市外電話障
Frequencies and Hours of Faults

種別 Description	年次 Year	年度									
		七年度 1932-33	六年度 1931-32	五年度 1930-31	四年度 1929-30	三年度 1928-29	二年度 1927-28	元年度 1926-27	十四年度 1925-26	十三年度 1924-25	十二年度 1923-24
混線 Contact	度數 Frequency	4,394	4,356	5,634	5,386	5,799	5,816	6,179	5,795	5,917	5,750
	時數 Hours	19,487	17,927	32,838	26,771	30,227	29,449	35,984	31,465	33,243	39,559
地氣 Earth	度數 Frequency	3,639	3,603	4,788	4,945	4,754	5,290	5,192	4,355	4,407	3,878
	時數 Hours	16,648	15,242	27,132	25,518	25,308	28,672	29,558	26,340	25,268	24,283
斷線 Disconnection	度數 Frequency	4,282	3,794	3,947	4,098	3,519	4,007	3,726	3,008	2,881	2,515
	時數 Hours	15,163	13,700	20,554	17,847	16,524	21,137	22,541	14,901	16,186	14,916

內地郵便電信電話機
Number of Telephone Apparatuses
Post, Telegraph and

種別 Description	年度末 On March 31st of:	年度		
		七年度 1933	六年度 1932	五年度 1931
並列複式 Parallel Multiple System	共電式 Common Battery System	1,156	1,073	1,302
	磁石式 Magneto System	14	14	15
	直列複式 Series Multiple System	324	320	357
	單式 Metallic Single Board	6,085	5,603	5,432
手交換式 Manual Telephone Exchange	中繼臺 Trunk Board			
	共電式 Common Battery System	441	413	420
	磁石式 Magneto System	-	-	2
市外線用 Toll Board	無紐中繼臺 Cord less "B" Board	26	26	26
	共電式 Common Battery System	1,118	937	870
	大型磁石式 Large Magneto System A	428	421	470
	小型磁石式 Small Magneto System B	2,184	2,240	2,104
記錄臺 Recording Board	173	141	106	
合計 Total	11,949	11,314	10,991	

碍度數及時數
of Inland Suburban Telephones

種別 Description	年次 Year	年度									
		七年度 1932-33	六年度 1931-32	五年度 1930-31	四年度 1929-30	三年度 1928-29	二年度 1927-28	元年度 1926-27	十四年度 1925-26	十三年度 1924-25	十二年度 1923-24
漏電 Leakage	度數 Frequency	26	20	9	8	30	26	44	91	34	60
	時數 Hours	3,268	618	51	119	641	229	747	781	572	1,617
其他 Others	度數 Frequency	682	616	665	600	522	700	873	604	613	604
	時數 Hours	2,584	2,039	2,648	2,122	2,015	2,557	3,570	2,646	2,914	3,225
合計 Total	度數 Frequency	13,023	12,389	15,043	15,037	14,624	15,839	16,014	13,853	13,852	12,813
	時數 Hours	57,150	49,526	83,223	72,377	74,715	82,044	92,400	76,133	78,183	83,600

械及電池數
and Batteries used at Inland
Telephone Offices

種別 Description	年度						
	四年度 1930	三年度 1929	二年度 1928	元年度 1927	十四年度 1926	十三年度 1925	十二年度 1924
並列複式 Parallel Multiple System	1,022	1,022	935	844	728	633	498
	13	13	32	70	119	118	121
直列複式 Series Multiple System	360	356	357	295	290	251	250
	5,243	4,840	4,284	3,843	3,421	3,100	2,991
單式 Metallic Single Board	445	457	437	453	408	382	286
	-	-	11	5	6	13	6
手交換式 Manual Telephone Exchange	26	21	11	-	-	-	-
	694	559	-	-	-	-	-
市外線用 Toll Board	468	431	765	662	503	370	342
	2,023	1,664	1,446	1,388	1,230	1,102	1,017
記錄臺 Recording Board	99	89	65	46	50	35	36
	10,563	9,610	8,473	7,671	6,796	6,004	5,547

内地郵便電信 電話機
電話局所用

Number of Telephone Apparatuses

Post, Telegraph and

種 別 Description	年 度 末 On March 31st of :-				
	七 年 度 1933	六 年 度 1932	五 年 度 1931		
自 働 式 交換機 Automatic Tele- phone Exchange	ラインスイッチボード (コネクタ-付) Line Switch Board	419	430	393	
	両面ラインスイッチボード Line switch board equipped with 200 line switches	304	290	258	
	セレクタ-ボード Selector Board	279	261	239	
	ストロージャー式 Strowger System	レピーター-ボード Repeater Board	54	48	44
	出中継二次ラインスイッチボード Outgoing Secondary Line Switch Board	108	107	102	
	コネクタ-ボード Connector Board	111	117	94	
	ラインファンダーフレーム Line Finder Frame	41	24	-	
	コネクタ-フレーム Connector Frame	41	-	-	
	S & H 式(上) S. B. 式(下) Siemens und Halske System (Above) Siemens Broth- er System (Under)	一次ラインスイッチボード Primary Line Switch Board	372	358	357
		二次ラインスイッチボード Secondary Line Switch Board	59	61	56
		コネクタ-ボード Connector Board	196	197	194
		セレクタ-ボード Selector Board	250	249	249
	レピーター-ボード Repeater Board	40	38	36	
合 計	2,274	2,180	2,022		
電 話 機 Telephones	共 通 常 Common Battery System 式	247,282	222,013	226,390	
	磁 石 Magneto System 式	376,970	375,470	379,690	
	自 働 Automatic System 式	116,915	106,581	96,420	
	卓 上 Desk set	共 通 常 Common Battery System 式	54,177	53,157	45,925
		磁 石 Magneto System 式	34,553	31,831	35,308
		自 働 Automatic System 式	27,885	26,092	22,944
	公 衆 Public 用	3,152	2,936	2,790	
	合 計	860,934	818,080	809,467	
電 池 Batteries	一 次 Primary 次	860,085	865,568	874,915	
	二 次 Secondary 次	16,741	13,967	12,219	
	合 計	876,826	879,535	887,134	

械 及 電 池 數

and Batteries used at Inland

Telephone Offices

(續)

(Continued)

四 年 度 1930	三 年 度 1929	二 年 度 1928	元 年 1927	大 正 十 四 年 度 1926	十 三 年 度 1925	十 二 年 度 1924
351	312	301	269	269	-	-
247	164	94	34	-	-	-
232	203	164	96	77	-	-
44	41	35	20	14	-	-
104	99	97	49	44	-	-
84	64	80	3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
347	249	160	120	120	-	-
54	40	21	12	12	-	-
190	141	92	60	60	-	-
241	150	114	65	64	-	-
38	23	15	4	4	-	-
1,932	1,486	1,173	732	664	-	-
216,813	219,607	211,744	196,957	176,425	159,386	120,456
375,803	352,406	328,845	314,516	291,454	260,048	252,722
88,952	69,969	59,883	35,016	21,386	-	-
40,250	41,524	40,182	40,363	38,040	35,786	24,482
34,669	32,839	31,426	32,412	31,601	30,720	31,295
20,821	18,346	15,909	6,747	3,023	-	-
2,775	2,565	2,231	1,877	1,670	1,755	1,377
780,083	737,256	690,220	627,888	563,599	487,695	430,332
847,034	785,844	746,163	703,831	650,943	571,545	547,456
7,416	5,988	4,430	3,853	2,971	1,948	1,618
854,450	791,832	750,593	707,684	653,914	573,493	549,074

第十一章 電話加入者及電話通話數

Section 11. Number of Telephone Subscribers and Messages

内地電話加入者

Number of Inland Telephone Subscribers

年次 Year	種別 Description	單獨加入 Individual Subscription	共同線加入 Party Line Subscription	連接加入 Extention Line Subscription	合計 Total	加入申込者 Applicants for the telephone subscription
昭和七年	1932-33 年度	743,958	13,925	3,253	761,136	167,276
昭和六年	1931-32 年度	710,916	13,673	3,325	727,914	172,150
昭和五年	1930-31 年度	698,199	13,286	3,535	715,020	176,900
昭和四年	1929-30 年度	673,615	12,809	3,619	690,043	182,217
昭和三年	1928-29 年度	640,981	11,130	3,610	655,721	195,332
昭和二年	1927-28 年度	595,049	10,350	3,747	609,146	200,001
昭和元年	1926-27 年度	538,764	9,690	4,103	552,557	202,351
大正十年	1925-26 年度	481,495	8,961	4,337	494,793	210,238
大正十年	1924-25 年度	429,838	8,412	4,601	442,851	225,981
大正十年	1923-24 年度	418,148	8,078	4,673	430,899	229,914

内地電話通話數

Number of Inland Telephone Messages

年次 Year	種別 Description	同一加入區域内 In the Same Subscription District			加入區域外 With Other District	
		加入者相互 通話數(推算) Number of mes- sages between Subscribers	局所及公衆電話 =テ通話時數 Hours of Conver- sation of Office and by Public Telephone	呼出請求件數 Requests of Call	通話時數 Hours of Conversation	呼出請求件數 Requests of Call
昭和七年	1932-33 年度	3,208,443,375	35,444,101	38,537	190,635,368	1,929,063
昭和六年	1931-32 年度	3,111,359,022	34,755,091	37,131	180,033,609	1,954,216
昭和五年	1930-31 年度	2,992,928,336	34,242,737	37,399	167,168,858	1,962,930
昭和四年	1929-30 年度	2,881,123,698	34,057,430	38,829	155,614,560	2,083,377
昭和三年	1928-29 年度	2,730,238,110	31,860,452	39,567	138,036,070	2,026,950
昭和二年	1927-28 年度	2,439,878,924	26,708,234	36,488	119,466,774	2,042,051
昭和元年	1926-27 年度	2,195,600,413	22,707,408	36,062	102,722,430	1,984,941
大正十年	1925-26 年度	1,866,159,780	20,102,056	42,886	86,685,649	1,988,690
大正十年	1924-25 年度	1,679,537,137	13,946,449	54,989	73,861,197	1,885,581
大正十年	1923-24 年度	1,671,040,060	10,099,224	39,641	62,176,928	1,852,765

備考 一通話時數ハ三分間トス
Note. Unit time of conversation is 3 minutes.

第十二章 無線電信無線電話業務ニ關スル施設

Section 12. Institutions for Wireless Telegraph and Wireless Telephone Services.

無線電信無線電話業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

船舶安全法中無線電信關係事項規定 國際海上人命安全條約ニ基キ船舶ノ安全ニ關スル法律ヲ整理統一シ新ニ船舶安全法ヲ制定スルコトナリタルガ同法中船舶無線電信ノ強制範圍其ノ他無線電信關係事項ハ大體右條約ノ規定ニ一致セシムルコト同法案ハ第六十四回帝國議會ノ協賛ヲ經テ昭和八年三月十四日發布セラレタリ

無線電報規則中改正 無線電報課金上ノ公正ヲ期スル等ノ爲昭和七年九月十四日省令第三二號ヲ以テ下記ノ諸點ニ付改正ヲ加ヘ同月二十六日ヨリ實施セリ

- (1) 電報取扱時間外ニ差出ス陸地間無線電報ニ對シ時間外料金ヲ課スルコトトセリ
- (2) 電報規則ノ改正ニ依リ歐文新聞電報ノ取扱開始ニ伴ヒ新聞無線電報ニ付テモ歐文ノ取扱ヲ爲スコトトセリ
- (3) 南洋群島中「ヤツブ」島ヲ除ク各島ト南洋群島以外ノ各地トノ間ニ發著スル無線電報ノ料金ヲ南洋「ヤツブ」島ニ發著スル電報ノ料金ト同額ニ引下グ以テ電報料課金上ノ均衡ヲ計ルト共ニ同群島産業開發上等ニ資セリ

私設無線電信規則中改正 愛知縣知事ヨリ名古屋港務所構内ニ稅關港務部用無線電信ト同様ノ目的ヲ以テ官應用並私設無線電信施設方出願アリ之ヲ許可スルト共ニ其ノ運用上支障ナカラシムル爲私設無線電信規則中私設無線電信ヲ施設目的外ニ使用シ得ル範圍ヲ擴張シ船舶ニ施設シタル私設無線電信ハ地方長官又ハ地方自治體施設ノ海港檢疫若ハ港内取締事務用無線電信ヨリ當該事務ノ必要ニ依リ交信ヲ求メラレタルトキハ稅關港務部用無線電信ノ場合ト同様其ノ施設目的外ニ互リ使用シ得ルコトニ昭和七年六月六日省令第一八號ヲ以テ改正シ同月二十日ヨリ之ヲ施行セリ

無線通信士資格檢定規則中改正 第一級銜檢定ノ申請資格ハ從來第二級資格取得後二年以上無線電信ニ依ル公衆通信ニ從事シタル者ニ限ラレタルヲ昭和七年七月二十日省令第二四號ヲ以テ無線電信ニ依ル電報託送通信ニ從事シタル者ニ付テモ其ノ申請ヲ爲シ得ルコトニ改メ實務經歷ニ伴フ資格向上ノ均衡ヲ期スルコトトシ公布ノ日ヨリ之ヲ施行セリ

無線電報取扱規程中改正 無線電報規則等改正ニ伴ヒ本取扱規程中ニモ下記ノ諸點ニ付改正ヲ行ヒ九月二十六日ヨリ之ヲ施行セリ

- (イ) 陸地間發著無線電報ヲ電報取扱時間ニ拘ラズ取扱フコトトシタル關係條項ヲ削除セリ
- (ロ) 海岸局ニ於テ持續長波ニ依リ受信シタル艦船發無線電報ノ返信取扱等ニ關シ著信電報官署ニ注意ヲ與フルノ要アルトキハ相當局内心得ヲ添付スルコトトセリ
- (ハ) 陸上無線電信局ニ於テハ所轄通信局長ノ承認ヲ經テ通信日誌ノ様式ヲ變更シテ使用シ得ルコトトセリ
- (ニ) 船舶局ニ於ケル非違事故防遏等ニ資スル爲船舶局ニ對シ電報差立狀況ヲ通信日誌ニ記錄セシメ且之ヲ通信日誌抄録ヲ以テ報告セシムルコトトセリ

船舶信號符字ヲ無線電信呼符號ニ一致 昭和三年ヨリ同五年迄倫敦ニ於テ開催ノ萬國船舶信號書改訂會議ノ結果船舶信號符字ト船舶無線信號トヲ一致セシムルコトトナリタルニ伴ヒ私設無線電信規則及私設電信電話、無線電信無線電話監督事務規程中本件實施上必要ナル改正ヲ行フト共ニ各逓信局ニ對シ之カ措置方ヲ通牒シ昭和七年六月二十日ヨリ實施セリ

對外通信約定

- (1) 日亞間無線通信約定 昭和七年九月二十七日逓信省ト亞國「トランス、ラヂオ」社トノ間ニ直接無線電信連絡ニ關スル約定ヲ締結シ同年十二月一日ヨリ實施セリ
- (2) 臺灣比律賓間無線通信約定ニ關スル了解成立 昭和七年三月一日ヨリ假通信ヲ開始セル臺灣比律間無線連絡ニ付テハ特別ノ通信約定ヲ締結スルコトナク東京「マニラ」間無線連絡ニ關スル約定ニ依ルコトトシ昭和七年六月逓信省トRCA通信社トノ間ニ了解成立セリ
- (3) 日佛間無線通信約定修正 昭和五年十一月十四日締結シ逓信省、佛國「ラヂオ、フランス」社間通信約定ニ對シ「佛蘭西主管廳カ會社」ノ事業ヲ回收シタルトキハ當然主管廳カ之ニ代ルモノトスル旨修正方會社ヨリ提議アリ昭和七年六月三十日前記約定ニ對スル修正書ヲ作成シ之ニ署名セリ

對外無線通信連絡開始

- (1) 本邦「アルゼンチン」間無線通信開始 本邦「アルゼンチン」間無線通信ニ付テハ昭和六年十月頃ヨリ屢々試驗通信ヲ施行シ一方通信開始ニ必要ナル交渉ヲ進メ居タル處試驗通信ノ成績モ良好トナリシヲ以テ昭和七年十二月一日ヨリ東京無線局ニ於テ「ブエノスアイレス」無線局トノ間ニ直接通信ヲ開始セリ
- (2) 本邦英領印度間無線通信開始 本邦英領印度間直通無線通信ニ付テハ商工業方面ノ要望モアリ屢次折衝中ナリシ處具體的交渉ヲ一方試驗通信ノ成績モ良好ナリシヲ以テ昭和八年一月十一日ヨリ東京無線局ニ於テ英領印度「ボンベイ」無線局トノ間ニ直接無線通信ヲ開始セリ
- (3) 本邦「シリア」間無線通信開始 本邦「シリア」間無線通信ニ付テハ兼テ試驗通信ヲ施行シ通信開始ニ關シ折衝中ノ處試驗ノ成績モ良好ナリシニ付昭和八年一月十一日ヨリ東京無線局ニ於テ「ベイルート」無線局トノ間ニ直接連絡ヲ開始シ西部亞細亞及亞弗利加方面トノ通信取扱ヲ開始セリ

「ラヂオ」調査ノ實施 前年度ニ於テ施行方決定セル逓信省及日本放送協會共同ノ「ラヂオ」調査ハ昭和七年四月下旬ヨリ六月中旬ニ亙リ郵便又ハ放送協會ノ集金員ニ依リテ全國約百二十三萬ノ聴取者ニ調査票ヲ配布シ其ノ回答ハ八月末日ヲ以テ締切リタル處三十五萬八千三十九枚ノ回答アリ之ヲ内閣統計局ニ委嘱シテ集計ヲ行ヒタルガ其ノ結果ハ取纏メ完了ノ部分ヨリ漸次社會ニ發表スルコトトシ前後數回ニ亙リ「ラヂオ」又ハ新聞紙ヲ通ジテ中間報告ヲ爲セリ

國際電話株式會社設立認可 世界各國ニ於ケル國際電話事業ノ急激ナル發達ニ伴ヒ本邦ニ於テモ之ガ急施ヲ要スル處政府財政ノ關係上急遽實現困難ナルニ鑑ミ之ガ設備ノ建設、維持及機械ノ運轉ハ之ヲ民營ニ委ネ通話ノ取扱等實際業務運行ヲ政府ニ於テ掌理スルノ方針ヲ定メ第六十三回帝國議會ニ於テ之ガ設備使用、交

付金ニ要スル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ノ件ニ關シ協賛ヲ經タルヲ以テ昭和四年末以來申請中ノ國際電話株式會社發起人ニ對シ國際電話設備ノ民營ヲ許可セリ同社ハ同年十二月二十四日創立總會ヲ開キ其ノ設立ヲ見タリ

Faint, illegible text at the top of the left page.

Faint, illegible text in the middle of the left page.

Faint, illegible text in the lower middle of the left page.

Faint, illegible text in the lower part of the left page.

Faint, illegible text in the lower part of the left page.

Faint, illegible text in the lower part of the left page.

Faint, illegible text in the lower part of the left page.

Faint, illegible text in the lower part of the left page.

郵便爲替貯金
POSTAL MONEY ORDER
AND POSTAL SAVINGS

貯金局沿革略誌

明治八年

- 一月 明治六年郵便爲替創設ノ件漸ク議ニ上リ七年九月郵便爲替規則ヲ發布シ八年一月ヨリ内務省驛遞寮ノ下ニ開始ス而シテ爲替種類ハ一種トシ證書一枚ノ金額制限ヲ參拾圓以下トシ其ノ料金ハ五圓迄參錢、拾圓迄五錢、貳拾圓迄十錢、參拾圓迄十五錢トシ證書ノ有効期間ヲ六箇月トス
- 四月 貯金預規則ヲ發布シ翌月ヨリ實施ス、預金ハ一人年拾錢以上百圓迄總額五百圓迄トシ利子ハ年三分トス
- 七月 繰替爲替法ヲ設ケ資金運用ニ便ス

明治九年

- 一月 爲替料金ヲ改正ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分ニ改ム
- 同 郵便受取所ニ於テ貯金ヲ取扱ハシメ之ヲ貯金預所ト稱ス
- 七月 府縣上納金繰替法ヲ設ケ上納金ヲ爲替資金ト共ニ運用スルコトトス
- 十二月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ三箇月ニ改ム

明治十年

- 一月 驛遞寮ヲ廢シ更ニ驛遞局ヲ置ク
- 同 貯金利子ヲ年五分ニ改ム
- 同 貯金預所ヲ驛遞局貯金預所ト改稱ス
- 九月 貯金預所ノ設ケナキ地ニ於テ貯金ヲ爲サムトスル者ノ爲ニ其ノ預入手續ヲ定ム
- 十二月 貯金預規則ヲ改正シテ最底預高ヲ參錢トシ小額貯金預入ニ便ス

明治十一年

- 一月 貯金利子ヲ年六分ニ改ム

明治十二年

- 十二月 英領香港郵政廳ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌月一日ヨリ實施ス之ヲ外國郵便爲替條約締結ノ嚆矢トス

明治十三年

- 一月 驛遞局貯金(従前ハ單ニ貯金ト稱ス)ト改稱ス
- 同 大阪外五局ニ貯金繰替拂ノ方法ヲ設ケ貯金拂戻ノ捷路ヲ開ク
- 十二月 一人一箇月ノ預金額ヲ拾錢以上參拾圓迄トシ同時ニ預金總額ニ對スル制限ヲ解キ翌年一月ヨリ實施ス

明治十四年

- 三月 京都外五市内ノ貯金預所ニ貯金拂戻ヲ取扱ハシム
- 四月 貯金利子ヲ年七分二厘ニ改ム

- 四月 農商務省ヲ置カレ驛遞事務ハ同省ノ所管ニ移ル
- 八月 英國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス

明治十五年

- 一月 爲替料金を改正ス
- 十月 出納局預金ト各府縣預爲替超過金トノ振替順序及送金法ヲ設ク
- 十一月 東京府防火線及屋上制限建物改修積立金ヲ貯金ニ預入ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便條約ヲ制定シ其ノ一部タル爲替及貯金制度ニ改正ヲ加ヘ爲替證書ノ有効期間ヲ百二十日トナシ又貯金一人一度ノ額金額ヲ拾錢以上一日ノ預金額ヲ五拾圓迄トシ特ニ認可ヲ受ケタルモノハ五十圓以上ノ預入ヲ爲スコトヲ得セシメ翌年一月ヨリ實施ス

明治十六年

- 一月 英國ノ媒介ニヨリ日耳曼ト郵便爲替ヲ開始ス
- 二月 郵便切手、驛遞局經費等ノ爲ニ各局間振替爲替法ヲ定メ四月ヨリ實施ス
- 十一月 府縣上納金繰替法ヲ廢ス

明治十七年

- 四月 貯金利子ヲ千圓未満ハ年六分トシ翌年一月ヨリ、千圓以上ハ年四分トシテ七月ヨリ之ヲ施行ス
- 七月 貯金差繰拂規則ヲ修正シテ貯金即時拂規則ト改稱シ拂戻ノ利便ヲ進ム
- 同 大藏省ト預金ノ約定ヲ改正シ驛遞局ヨリ貯金預入ニ拂渡スヘキ利子、貯金事業經費ハ別ニ國庫ヨリ交付ヲ受ケ貯金運轉利殖ノコトハ舉テ大藏省ニ移ス
- 十二月 佛國ト郵便爲替條約ヲ締結シ翌年三月ヨリ實施ス

明治十八年

- 一月 貯金ノ業務ハ大藏、農商務兩省ノ共管ニ屬ス
- 二月 英國ノ媒介ニヨリ歐米諸國及英領各殖民地ト郵便爲替ヲ開始ス
- 三月 萬國聯合郵便爲替條約ニ加盟ス
- 五月 北米合衆國ト郵便爲替條約ヲ締結シ十月ヨリ實施ス
- 六月 東京、大阪、横濱、神戸、長崎及上海郵便局ニ銀貨貯金ヲ施行シ翌月前記各局ニ外國人貯金ノ取扱ヲナサシメ又九月金貨貯金ヲ開始ス
- 九月 電信爲替及小爲替法ヲ設ケ十月ヨリ施行ス
- 同 全國郵便局ニ於テ總テ貯金ノ取扱ヲナサシム
- 十二月 逓信省ヲ置カレ驛遞局ハ同省ノ所管トナル

明治十九年

- 二月 逓信省官制公布セラレ爲替貯金事務ハ驛遞局第四部(外國爲替事務ハ第三部外國爲替課)ニテ掌理ス
- 五月 千圓以下ニ付スヘキ貯金利子ヲ年五分四厘ニ改ム
- 九月 貯金利子ノ割合ヲ更メ預金千圓迄ハ年四分二厘、千圓以上ハ年三分トス
- 同 歐米諸國ニ對シ萬國郵便爲替約定ニヨリ郵便爲替又ハ電信爲替ヲ實施シ又郵便爲替條約ヲ締結シタルモノ多シ

明治二十年

- 三月 逓信省官制ヲ改正シ爲替貯金局ヲ置キ局中ニ第一課(爲替事務分掌)第二課(貯金事務分掌)ヲ設ク
- 同 驛遞局貯金ヲ郵便貯金ト改稱ス
- 十二月 兌換銀券ノ發行ニヨリ銀紙價額ノ差ナキニ至レルヲ以テ銀貨貯金預方法ヲ廢ス

明治二十一年

- 十二月 布哇本邦出稼人ノ爲同國日本領事館ニ貯金事務ヲ開始シ及其ノ内地ヘ送金スル郵便爲替法ヲ定ム

明治二十三年

- 二月 金貨貯金及外國人貯金取扱ヲ廢ス
- 六月 郵便爲替貯金局ヲ本省ヨリ分隸シ、官制ヲ定メ郵便爲替貯金局ヲ置ク
- 八月 郵便貯金條例ヲ公布シ預金總額ニ對スル制限ヲ元利合セテ五百圓迄トシ翌年一月ヨリ實施ス

明治二十四年

- 一月 貯金預所ニテハ貯金預入ノ外其ノ拂戻請求ノミヲ取扱ハシムルコトトス
- 八月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金局ヲ廢シ郵便爲替貯金管理所ヲ置キ同所ニ於テハ主トシテ現業事務ヲ掌理シ規畫、監督事務ハ明治四十二年七月郵便貯金局設置ニ至ル迄郵務局或ハ逓信局ニ於テ掌理ス

明治二十六年

- 十月 天災其ノ他非常ノ場合ニ於テ貯金拂戻ノ手續ヲ簡單ニス

明治二十七年

- 八月 非常召集ニ應スヘキ軍人ニ對シ郵便爲替ノ振出、拂渡ノ特別扱ヲ爲スコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ布哇外數國ト郵便爲替交換ヲ開始ス
- 十二月 戰地郵便局ニ爲替振出事務ヲ開始ス

明治二十八年

- 四月 野戰郵便局ニ貯金預入事務ヲ開始ス
- 六月 外國宛郵便爲替料金を改正ス

明治二十九年

- 四月 郵便爲替、郵便貯金ニ關スル規定ヲ新領土臺灣ニ施行ス
- 十二月 郵便貯金非常拂ノ制ヲ定ム

明治三十一年

- 四月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改メ翌年四月ヨリ施行ス
- 五月 天災其ノ他非常ノ場合ニハ電報ヲ以テ貯金ノ拂戻ヲナシ得ル手續ヲ設ク
- 十二月 郵便爲替締結國間ニ於ケル郵便爲替事務約定ヲ公布シ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十二年

- 二月 郵便爲替證書一枚ノ金額制限參拾圓ヲ五拾圓ニ高メ次ヲ爲替料金(小爲替ヲ除ク)ヲ改メ四月ヨリ實施ス
- 五月 郵便貯金出張取扱ノ制ヲ設ク

十一月 郵便居宅拂ノ制ヲ設ケ翌年一月ヨリ施行ス

明治三十三年

三月 郵便切手貯金規則ヲ制定シ學童婦女子等ノ貯金ヲ獎勵ス

九月 始メテ本所ニ女子雇員ヲ採用シ次テ各支所ニモ亦之ヲ採用ス

同 爲替資金及過超金ハ從來通運會社又ハ小包郵便ニヨリタルヲ通常價格表記郵便ニヨリ取扱フコトトシ賜金送金ノ敏活ヲ期セリ

十月 郵便爲替法、郵便爲替規則、郵便爲替取扱規程ヲ實施ス

明治三十四年

三月 郵便爲替證書引讓渡ノ制ヲ設ケ爲替證書讓渡ノ途ヲ開キ且手形交換所ニ於テ爲替金拂渡ノ便法ヲ設ケ四月一日ヨリ施行ス

同 證券貯金規則ヲ設ケ國債、縣債、市債等ノ證券又ハ其ノ利札ハ郵便貯金ニ預入シ得ルコトトシ四月一日ヨリ施行ス

七月 在外本邦出稼人ノ爲郵便爲替貯金預入ノ便利ヲ圖リ特別郵便貯金規則ヲ制定シ十月ヨリ施行ス

八月 郵便取立金取立濟通知書線引讓渡ノ途ヲ開キ郵便爲替證書讓渡ノ例ニ準シ取扱フコトトス

明治三十五年

五月 貯金即時拂戻ハ一箇月一回ナリシヲ二回トシ一回ノ金額貳拾圓迄ナリシヲ參拾圓迄ニ擴張シ同時ニ特別即時拂戻ニ關スル規定ヲ設ケ豫メ認可ヲ受ケタル預入ニ對シテ金額及回数ニ制限ナク即時拂ノ取扱ヲ爲シ得ルノ途ヲ開ク

明治三十六年

二月 高額郵便爲替振出ノ制ヲ設ケ特ニ逕信大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り高額ノ郵便爲替ヲ振出シ得ルコトトス

四月 通信官署ノ歳入金歳出金ハ爲替貯金等ノ現金ト共ニ一團トシテ取扱ヒ交互振替及繰替受拂ヲナスノ制ヲ實施ス

十二月 規約貯金ノ制ヲ設ケ多數團結シテ實行スル貯金ニ便ス

明治三十七年

二月 日露ノ開戦ニ伴ヒ軍事郵便爲替貯金規則ヲ制定シ野戰郵便局ニ於テ爲替金ノ受入及貯金預入ノ事務ヲ開始シ専ラ出征者ノ便利ヲ圖ル

三月 俘虜郵便爲替規則ヲ制定シ俘虜ノ爲無料特別送金ノ方法ヲ設ケ

七月 郵便集配人取集郵便貯金ノ制ヲ設ケ八月ヨリ實施ス

九月 貯金利子ヲ年五分四毛ニ改ム

同 戰地特別郵便貯金規則ヲ制定シ出征者ヲシテ軍事爲替ニ依リ預入シ得ル途ヲ開ク

十月 貯金即時拂一箇月ノ回数制限ヲ廢シ一日一回金三拾圓以內一箇月總額六十圓迄ヲ限り即時拂ノ取扱ヲ爲スコトトシ十一月ヨリ實施ス

十一月 郵便局國庫債券取扱規則ヲ制定シ國庫債券應募申込、應募金ノ拂込及債券交付ノ手續ヲ定ム

同 据置貯金ヲ實施ス

十二月 逕信省轄内郵便局ノ設置ニ伴ヒ郵便貯金直接拂ノ法ヲ開始ス

同 貯蓄債券購買媒介ノ制ヲ設ケ

明治三十八年

七月 郵便貯金及郵便貯金規則並郵便貯金取扱規程ヲ實施ス、其ノ要旨ハ一人貯金總額ヲ千圓ニ高メ(公共團體等ニハ制限ヲ置カス)即時拂ヲ便ニシ、特別即時拂、非常拂、海外在留人特別貯金拂戻ノ方法ヲ擴メ、預入ノ所有スル證券ヲ保管スルコト等ナリ

明治三十九年

三月 郵便振替貯金規則ヲ創設シ其ノ加入者ノ口座ニ對スル拂込、口座相互ノ振替及口座ヨリ拂出ヲナス其ノ口座現在金ニ對シテハ年三分六厘ノ利子ヲ付スルコトトス

五月 郵便振替貯金拂出證書線引讓渡ノ途ヲ開ク

七月 女子通信手ヲ任用ス之レ本邦ニ於ケル女子判任官ノ嚆矢トス

八月 明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ以テ交付シ又公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ以テ交付スルノ制ヲ設ケ

明治四十年

五月 勸業債券購買媒介郵便規則ヲ制定シ、貯蓄債券購買媒介郵便規則ヲ廢ス

九月 羅馬郵便爲替約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則等ヲ改正シ十月一日ヨリ施行ス

明治四十一年

四月 郵便局國庫債券償還及引換取扱規則ヲ制定シ無記名第一回國庫債券償還事務ノ取扱ヲナス

五月 郵便官署保管國庫債券引換規則ヲ制定シ引換公債證書ハ其ノ儘保管シ得ルノ途ヲ開ク

十月 振替貯金規則ヲ改正シ十二月一日ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ二箇以上ノ口座ニ加入シ得ルコト及別名登記ノ制ヲ認メタルコト、拂出料金ヲ改正シ現金拂ノ場合ニ於テモ無料通信ヲ爲シ得ルモノトシタルコト等トス

十二月 郵便爲替規則ヲ改正シテ通常及電信爲替ノ金額制限ヲ百圓ニ高メ爲替料金ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十二年

一月 日本勸業銀行賣出ノ勸業債券ヲ郵便貯金ヲ以テ購入保管シ得ル方法ヲ設ケ

四月 市公金拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌五月始テ大阪市内郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス

同 從來郵便貯金預入ノ都度發送セル登記濟通知書ヲ廢止ス

七月 官制ヲ改正シ郵便爲替貯金管理所及同支所ヲ廢シ郵便貯金局及之カ支局ヲ置ク

十一月 居宅拂ハ在來一、二等局及主ナル三等局ニ限ラレタルヲ廣ク各局ニ及ホス

明治四十三年

一月 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ朝鮮總督府通信管理局ニモ開始ス

二月 貯金利子ヲ年四分二厘ニ改メ四月一日ヨリ施行ス

三月 郵便貯金局官制ヲ改正シ郵便貯金局職員官名ヲ改ム

- 三月 從來大藏省及各地方廳ニ於テ取扱ヒタル國庫支辨ニ屬スル年金恩給、遺族扶助料及退職料支給事務ヲ逓信省管掌ニ移シ四月一日ヨリ施行ス
- 同 郵便振替貯金口座受拂事務ヲ臺灣總督府通信局ニ開始ス
- 六月 郵便貯金規則ヲ改正シテ即時拂ノ制限ヲ寬ニシ、通帳ニ現在高證明ヲ付スル場合ヲ制限シ七月一日ヨリ施行ス
- 七月 郵便振替貯金小切手拂込規則ヲ制定シ持參人拂ノ小切手ヲ以テ郵便振替貯金ノ拂込ニ充用スルヲ得セシメ東京外五市内各郵便局ニ於テ之カ取扱ヲ開始ス
- 同 郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ小口保險ニ關スル調査ニ着手ス
- 十月 福岡市ニ郵便貯金支局ヲ設ケ十一月一日ヨリ振替貯金口座受拂事務ヲ開始ス
- 同 私立貯蓄銀行ノ預金者ヲ郵便貯金ニ引續クノ先例ヲ拓ク
- 十一月 臺灣、樺太、朝鮮及清國相互間及同地方ト内地間ノ電信爲替料ヲ改正ス
- 同 郵便集金規則ヲ制定シ振替貯金制度ヲ利用シ石川縣下及鳥取市ニ於ケル日本赤十字社釀金ノ取集ニ對シテ之ヲ施行ス

明治四十四年

- 三月 郵便電信電話官署現金出納計算規程ヲ改正シ四十四年度分ヨリ施行ス
- 四月 從來郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル郵便切手ハ五厘、壹錢、貳錢ノ三種ナリシカ更ニ壹錢五厘、參錢ノ二種ヲ加ヘ又將來本省發行ノ切手貯金臺紙ニハ切手印面ヲ印刷セス預入ノ請求ニ依リ無料交付ノコトトシ四月一日ヨリ施行ス
- 同 滿洲ニ屬スル爲替貯金及取立金等ノ計算管理事務ハ四月一日ヨリ關東都督府通信管理局ニ於テ掌理スルコトトナレリ
- 九月 集金郵便振替金拂込規則ヲ制定ス
- 十一月 郵便貯金通帳ノ形式ヲ改メ冊子式ヲ折疊式トナシ且設欄ヲ半減シテ取扱ノ簡便ト用紙ノ經濟トヲ圖リ翌年一月ヨリ施行ス
- 十二月 府縣稅納入郵便振替貯金特別取扱規則ヲ制定シ翌年一月ヨリ施行ス

明治四十五年 大正元年

- 二月 振替貯金規則ヲ改正シ三月ヨリ施行ス、其ノ要旨ハ基本金ヲ半減シ、自己口座ニ對スル受拂料金ヲ減免シ、居宅拂及電報局待拂ヲ新設シタルコト等トス
- 同 電信爲替證書留置ノ制ヲ設ケ又直配達區内ニ在ル受取人ニ對シテハ證書ヲ受信電報ノ例ニ依リ配達スルコトトス
- 五月 郵便振替貯金ニ依ル債券募集元利金支拂並貸付事務特別取扱規則及同取扱規程ヲ制定シ、四十年五月發布ノ勸業債券購買媒介郵便規則ヲ廢止ス
- 十一月 線引郵便爲替證書便宜拂ノ制ヲ設ケ
- 十二月 朝鮮ニ於ケル一般金利ノ高率ニ鑑ミ同地郵便貯金ニ限リ利子ヲ年五分四毛ニ改ム

大正二年

- 一月 郵便貯金規則及郵便貯金取扱規程ヲ改正シ三月一日ヨリ施行ス、其ノ要點ハ即時拂ノ方法ヲ擴張シ現在高證明又ハ自局所預入レノモノノ金額制限ヲ撤廢シ、拂長豫告ノ制ヲ設ケ、他局預入ニシテ現在高證明ナキモノハ一定額ヲ限リ確認即時拂ノ方法ヲ設ケタルコト等ナリ
- 三月 日英郵便爲替業務約定ノ追加條款ヲ締結シ二十一日ヨリ日英兩國間ニ電信爲替ノ交換ヲ開始ス
- 四月 日露郵便爲替交換約定ヲ締結シ本邦ト露國(芬蘭ヲ除ク)及在北滿洲露國郵便局トノ間ニ郵便爲替ノ直接交換ヲナスコトトシ五月一日ヨリ施行ス
- 六月 官制改正ノ結果郵便貯金局官制ハ廢止セラレ新ニ爲替貯金局官制ヲ制定シ十三日ヨリ施行ス、其ノ改定要點ハ郵便貯金局及同支局ノ事務ハ爲替貯金局及同支局ニ於テ之ヲ繼承シ、高等官、判任官ノ官名ヲ改メ本局ニ於ケル貯金部及爲替部ヲ併合シテ業務部トナシ、人事課ヲ廢シテ庶務課ヲ設ケ、大阪又下關ノ各支局ニ於ケル計理、原簿ノ二課ヲ合併シテ何レモ貯金課ヲ置キタルコト等トス
- 六月 土耳其ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始シ七月一日ヨリ實施ス

大正三年

- 八月 日獨及日澳間國交斷絶ト共ニ本邦ト兩國間ノ郵便爲替關係亦停止トナリタルモ翌九月以降瑞西郵政廳ノ媒介ニ依リ獨逸トハ通常郵便爲替ノ交換ヲ開始シ次テ十月ニ至リ之ヲ廢止セリ
- 同 日獨開戰ニ伴ヒ山東省方面野戰郵便局及艦船郵便所ニ於テ軍事爲替貯金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 郵便爲替規則ヲ改正シ爲替證書一枚ノ制限金額ヲ擴張シ、爲替料金ヲ改定シ又爲替金額改措防止ノ爲證書樣式ヲ改メ翌年一月ヨリ施行ス

大正四年

- 一月 從來金庫及收入官吏ニ於テ取扱ヒタル國庫金受拂事務ヲ開始シ一定ノ金種目ニ對シテ其ノ取扱ヲ認メ三月一日ヨリ施行ス
- 三月 貯金利子ヲ年四分八厘ニ改ム、但シ臺灣總督府及關東都督府所管原簿ニ登記ノモノハ朝鮮總督府所管ノモノト等シタ年五分四毛トシ四月一日ヨリ施行セリ
- 十一月 大禮記念トシテ郵便切手貯金臺紙二種ヲ發行シ十日(御即位大禮當日)以降各郵便局ニ於テ貯金預入ノ請求ニ應ジ之ヲ交付セシム

大正五年

- 一月 郵便爲替證書ノ有効期間ヲ統一シ四月一日ヨリ實施ス
- 同 香港郵政廳ノ媒介ニ依リ「サモア」英領「ソロモン」群島「ギルバート」及「エリス」群島並「トンガ」ノ各英領地ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 中米古西多利加及「サルヴァドル」トハ墨西哥郵政廳ノ媒介ニ依リ爲替ヲ交換スルコトトナリ居タルモ墨西哥ニ於テ國際爲替交換ヲ停止シタル結果英國ノ媒介ニヨルコトトシ施行ス
- 七月 小樽ニ爲替貯金支局ヲ設ケ八月一日ヨリ貯金及振替貯金ニ關スル事務ヲ開始ス
- 同 郵便取立金ハ郵便爲替金トシテ計理スルコトニ改メ八月ヨリ施行ス
- 九月 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ南「エクアドール」共和國ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 西班牙ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ又同國郵政廳ノ媒介ニ依リ在「モロツコ」西班牙郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始シ十月一日ヨリ施行ス

大正六年

- 十一月 帝國占領南洋群島ニ於テ十二月一日ヨリ電信爲替事務ヲ開始ス
- 十二月 日米郵便爲替約定ニ依リ米領「サモア」ト郵便爲替ノ交換ヲ又羅馬約定ニヨリ澳門、葡萄牙殖民地ト通常及電信爲替ノ直接交換ヲ孰レモ七年一月一日ヨリ開始ス

大正七年

- 四月 郵便爲替證書引續規則ヲ廢止シ、郵便官署手形交換所參加規則ヲ制定シ同時ニ郵便爲替規則及郵便振替貯金規則中手形交換所組合銀行トノ交換計算ニ關スル條項等ニ改正ヲ加ヘ五月一日ヨリ施行ス
- 八月 郵便官署國債募集取扱規則ヲ制定施行ス

大正八年

- 一月 埃及郵政廳ノ媒介ニ依リ在「パレスティン」英國郵便局ト通常爲替ノ交換ヲ開始ス
- 五月 官制及分課規程ニ改正ヲ加ヘ監理、業務、保險ノ各部ヲ廢止シ庶務外十五課ヲ置キ又支局ノ庶務課ヲ廢止シ貯金、振替貯金ノ二課ヲ置キ十五日ヨリ實施ス
- 六月 平和記念トシテ郵便切手貯金臺紙ヲ發行シ七月一日以降各郵便局ニ於テ貯金預ケ人ノ請求ニ依リ交付ス
- 同 金澤市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 八月 仙臺市ニ爲替貯金支局ヲ設置ス
- 同 國債募集、賣出及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則及取扱規程ヲ制定施行スルト共ニ從來各種ノ國債證書及其ノ利札ハ證券貯金トシテ預入スルコトヲ得タルモ之ヲ廢止セリ

大正九年

- 一月 郵便爲替、外國郵便爲替、郵便貯金、振替貯金等ニ關スル各種料金ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 樺太、青島地方、南洋群島又ハ支那ヲ表示セル記號ヲ付シタル原簿ニ登記ノモノハ貯金利子ヲ年五分四毛ニ改正ス
- 五月 獨逸ト爲替ノ交換ヲ再開ス
- 六月 貯金規則ヲ改正施行ス、其ノ要旨ハ通帳二冊以上ヲ所持シ得ル場合ヲ明示シ、切手貯金ノ種類ヲ制限シ、利子記入請求ヲ任意トシタルコト等トス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ證書制限金額ヲ高メ八月一日ヨリ施行ス
- 同 郵便切手貯金臺紙ニシテ切手印面一枚ヲ印刷シタルモノハ十四日限り使用ヲ禁止ス
- 八月 郵便貯金法ヲ改正シ貯金總額ヲ貳千圓ニ高メ十月一日ヨリ實施ス
- 十月 遞信省官制ヲ改正シ貯金局ヲ置キ、爲替貯金局官制ヲ廢シ簡易保險事務ハ簡易保險局ノ所管ニ移ル

而シテ貯金局ニ於ケル改正要點ハ高等官及判任官官名及分課規程等ノ改正ナリ

- 十一月 名古屋市ニ貯金支局ヲ設置ス

大正十年

- 一月 本邦比律賓群島間郵便爲替ハ從來米本國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換ヲ爲シ來リシモ本邦ト同群島兩郵政廳間ニ郵便爲替約定ヲ締結シ三月一日ヨリ兩國間ニ郵便爲替直接交換ヲ實施ス
- 六月 貯金局吏員養成ノ爲メ本支局ニ講習所ヲ設置シ七月一日ヨリ實施ス
- 八月 長野市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 同 西班牙馬德里締結郵便爲替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ翌年一月一日ヨリ施行ス

大正十一年

- 二月 馬德里締結郵便振替業務約定實施ニ伴ヒ外國郵便振替規則ヲ制定ス
- 三月 會計規則ノ改正ニ伴ヒ郵便官署ニ於ケル各歳入及歳出取扱規則同取扱規程ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 四月 會計法規ノ改正ニ伴ヒ關係諸法規ヲ改正シ四月一日ヨリ實施ス
- 六月 大正十一年法律第十八號ニ依リ增加恩給等ノ增加金額支給規則同取扱規程ヲ制定實施ス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 八月 据置貯金利子ノ割合ヲ年五分四毛ニ引上グ
- 十二月 在支那本邦郵便局撤廢ニ伴ヒ十二月二十日限り在支那本邦郵便官署ヲ拂渡局所トスル郵便爲替ノ振出及外國郵便爲替ノ交換事務並郵便貯金拂戻證書、郵便振替貯金拂出證書及外國郵便爲替券ノ發行事務ヲ停止シ、在留邦人ニハ其ノ貯金ヲ海外貯金ニ組替ヲ爲スコトヲ得セシム

大正十二年

- 一月 日本帝國及支那共和國間郵便爲替交換ニ關スル約定締結ニ伴ヒ外國郵便爲替規則同取扱規程ヲ改正シ一月一日ヨリ實施ス
- 二月 郵便振替貯金ニ依リ債券募集、元利金支拂並貸付事務、集金郵便振替貯金拂込事務、外國郵便爲替事務ハ無集配三等郵便局ニ於テハ本月限り取扱ハサルコトトス
- 同 郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ受取人ノシタル居宅請求ノ制ヲ廢止シ三月一日ヨリ實施ス
- 同 産業組合中央金庫法實施ニ伴ヒ郵便貯金法ニ改正ヲ加ヘ産業組合中央金庫ニ對シ預入金ノ金額制限ヲ適用セサルコトトス
- 四月 大阪、下關、福岡、仙臺及名古屋ノ各支局ニ於ケル庶務會計ヲ庶務課ニ改ム
- 五月 皇后陛下行啓アラセラル

- 八月 日支條約締結ニ伴ヒ爲替課ヲ内國外國兩爲替課ニ分割ス
- 九月 震火災ノ爲局舎焼失セシニ付假事務所ヲ麻布區富士見町内閣統計局ニ設ク
- 同 震災ノ爲郵便切手在庫品焼失ニ付切手貯金ヲ當分ノ内停止ス
- 同 恩給法改正ニ伴ヒ恩給法附則ニヨル増額恩給更正規則同取扱規程ヲ制定シ翌十月一日ヨリ實施ス
- 十月 郵便貯金、郵便振替貯金、保管證券又ハ郵便爲替ニ關スル大正十二年九月一日現在ノ權利ニシテ之ヲ證明スヘキ郵便貯金通帳其ノ他ノ證據書類ヲ亡失シタルモノニ對シ其ノ權利ヲ申告スルノ途ヲ開キ翌月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 同 震災ノ爲郵便貯金、郵便爲替等ノ權利ノ申告ニ關スル勅令公布ニ伴ヒ臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則ヲ制定シ十一月一日ヨリ之ヲ實施ス
- 十一月 年金恩給支給規則ヲ規定シ、郵便貯金證券保管及振替貯金臨時取扱規則ヲ制定シ震災ノ爲停止シタル本局所管爲替貯金各種業務ハ十一月二十六日ヨリ其ノ取扱ヲ復舊セリ
- 十二月 臨時分課規程ヲ定メ臨時確認、規則ニ依ル申告ノ確認、大正十二年九月一日以前交付ノ貯金通帳及證券保管通帳ニ對スル受拂高確認並大正十二年九月一日以前ノ各種業務ノ整理事務ヲ掌理セシム
- 同 上記臨時分課規程制定ニ伴ヒ貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局經理課及原簿課ヲ貯金課ニ改ム
- 同 京橋區木挽町ニ建築中ナリシ假廳舎落成ニ付移轉ス

大正十三年

- 四月 行賞賜金事務取扱廢止ノ結果貯金局賜金課規程ヲ廢止ス
- 同 震災前發行ニ係ル貯金本局所管通帳中行賞賜金ニ屬スルモノ及貯金本局所管ノ貯金通帳ニ附屬スル證券保管通帳ニ對シ預ケ人ノ任意ニ依リ確認ノ爲ニスル通帳提出ノ受付ヲ開始ス
- 五月 東京及神奈川縣内ノ一、二等郵便局ヲシテ集團臨時住宅、簡易宿泊所及工場ニ貯金獎勵ノ爲メ郵便貯金ノ特別出張取扱ヲ爲サシメ六月十日ヨリ實施ス
- 同 五月十日ヨリ當分ノ内貯金局構内郵便局ニ於テ確認通帳ノ所持者及大正十二年九月二日以降ノ新規預入者ニ對シ其ノ貯金ノ全部又ハ一部ノ局待拂ヲ取扱フコトトス
- 七月 爲替貯金等ノ執務時間ヲ改正ス
- 同 震火災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ賣却事務ヲ復舊ス
- 九月 馬來半島「トレンガヌ」州ト香港郵政廳ノ媒介ニ依リ郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 震火災ノ爲停止中ナリシ貯蓄債券ノ賣却事務ヲ復舊シ同時ニ復興貯蓄債券ノ購入保管交付賣却事務ヲ取扱フ
- 十月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「チエツコ、スロヴアキア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課、經理課トナ

シ内國爲替課及外國爲替課、第一貯金整理課及第二貯金整理課ヲ各併合シ講習所ヲ廢止ス

- 十一月 南洋廳ニ於テ外國郵便爲替事務ノ取扱ヲ開始ス

大正十四年

- 一月 郵便爲替及振替貯金ノ居宅拂制度ヲ廢止ス
- 二月 外國郵便爲替金居宅拂制度ヲ廢止ス
- 同 「チエツコ、スロヴアキア」國ニ於テ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ブルガリヤ」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 三月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「地地利國」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 南洋廳所管郵便局ニ於テ年金恩給ノ支給事務ヲ開始ス
- 同 震災前ノ本局所管貯金通帳ニ對スル引上及即時拂等停止ノ件ヲ公布シ五月以降改印轉居等届出ノトキハ通帳ヲ提出スルコトトシ更ニ十月以降ハ之等ノ通帳ニ對スル特殊拂戻ヲ爲ササルコトトス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「阿弗利加洲」タンガンイーカ」地方ト郵便爲替ノ交換ヲ開始ス
- 同 芬蘭國ト通常郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス
- 五月 物爾瓦利國ニ於テハ英國郵政廳ノ媒介ニヨリ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ハンガリー」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 震災ノ爲停止中ナリシ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ購入保管事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 七十五回以後發行ノ額面二十圓以下ノ勸業債券ノ交付事務ヲ開始ス
- 同 「ストックホルム」締結郵便爲替約定及郵便振替約定並同約定施行規則ヲ公布ス
- 十一月 復興貯蓄債券ノ募集事務ヲ無集配三等局ニ於テ取扱ハシム
- 十一月 郵便貯金創業滿五十周年ニ際シ多年郵便貯金獎勵ニ盡瘁シタル部内者及部外功勞者ヲ表彰ス

大正十五年

昭和元年

- 四月 資本利子税法制定ニ伴ヒ關係法規類ヲ改正シ資本利子税免稅ニ關スル取扱方ヲ制定施行ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「エストニア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 九月 郵便取扱所爲替貯金取扱規程ヲ制定ス

昭和二年

- 三月 英國郵政廳ノ媒介ニヨリ「ラトヴィア」國「リシアニア」國及「ルクセンブルグ」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 四月 勤儉獎勵婦人團體ノ主唱ニ係ル愛國貯金(六箇年据置ノ郵便貯金)ニ對シ通帳表面ニ「愛國貯金」トシテ添付スルコトトセリ

- 五月 金鵝勳章年金令中改正ノ結果功五級以下ノ年額ヲ増加セラレ又旭日章年金ニ於テモ勳五等以下ノ年額ヲ増加セラレタルヲ以テ省令第十五號ヲ以テ之カ増額年金更正規則ヲ制定シ新證書交付方法等ヲ定メタリ
- 七月 郵便貯金規則中ヲ改正ス其ノ要旨ハ從來郵便貯金ハ預入ノ月及拂戻ノ月ニ利子ヲ附セザリシモ十五日以前ニ預入シタルモノニ對シテハ預入ノ月ヨリ利子ヲ附スルコトニ改正シ七月一日ヨリ施行ス
- 十月 「ラトヴィア」國ニ於テハ英國郵政廳ノ媒介ニ依リ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十二月 郵便貯金規則中ヲ改正シ集金ノ方法ニ依リ月掛貯金制度ヲ創設シ昭和三年二月一日ヨリ實施ス

昭和三年

- 二月 恩給受給權消滅並年金支給廢止ノ場合ニ於ケル給與金ニ付テハ支給期月及期日ニ拘ラス支給スヘキ明文ヲ設クルノ要ヲ認メ規則ニ相當改正ヲ加ヘ二月一日ヨリ實施セリ
- 四月 外國電信爲替ノ爲替電報ニ後廻電報利用ノ途ヲ開ク
- 九月 御大禮記念ノ爲新規預入スル規約貯金、据置貯金及月掛貯金ニ對シ通帳表面ニ「大禮記念マーク」ヲ添付スルコトトセリ
- 十月 御大禮休日ニ於テハ一般ニ爲替貯金等ノ現金受拂事務ヲ取扱ハサルコトトシ所轄逓信局長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ局前ニ揭示ノ上其ノ取扱ヲ爲ス旨告示セリ
- 十二月 支出官ノ再發行ニ係ル歳出金支拂通知書ニ對スル拂渡方ヲ新ニ規定シ十二月二十四日ヨリ實施セリ

昭和四年

- 一月 「ルーマニア」國トノ郵便爲替ノ交換ヲ停止ス
- 同 貯金規則及同取扱規程ヲ改正シ公共團體、社寺、學校等ノ貯金拂戻ニ拾錢未滿壹錢以上ノ端數ヲ認ムルコトトシ二月一日ヨリ施行ス
- 一月 臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則並同規程ヲ改正シ證券保管通帳ノ一般ノ檢閱請求ヲ受理スルコトニ復舊シ一月二十八日ヨリ施行セリ
- 三月 貯金規則及同取扱規程ヲ改正シ据置貯金ノ据置期間ノ延伸ヲ認ムルト共ニ特別通帳ヲ廢シ一般通帳ヲ使用スルコトニ改メ四月一日ヨリ施行ス
- 七月 貯金局及同支局分課規程ヲ改正シ本局貯金課ヲ第一貯金課、第二貯金課ニ分割シ七月二日ヨリ實施セリ
- 八月 「ヴァテイカン」ハ萬國郵便聯合爲替約定及振替約定等ニ加入セリ
- 九月 皇太神宮遷御ノ休日ニ於テハ一般ニ爲替貯金等現金受拂事務ヲ取扱ハサルコトトシ所轄逓信局長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ局前ニ揭示ノ上其ノ取扱ヲ爲ス旨告示セリ
- 十二月 据置貯金預ケ人ヨリ其ノ貯金ヲ國債償還資金獻納出願ノ理由ニ依リ期間内拂戻ノ請求アリタルトキハ特ニ之カ拂戻方ヲ認可スルコトトセリ
- 同 「イエメン」國ハ萬國郵便聯合爲替約定等ニ加入セリ

昭和五年

- 二月 「ヴァテイカン」ト郵便爲替ノ直接交換ヲ開始ス

- 三月 德島市ニ貯金支局ヲ設置ス
- 同 集金郵便振替貯金拂戻規則ヲ改正シ集金書中ニ加入者ノ住所ヲ印刷セシメ取立不能ノ場合ハ直接加入者ニ返送スルコトトシ本月三十一日ヨリ實施ス
- 六月 倫敦締結郵便爲替約定及同郵便振替約定ヲ公布ス
- 同 英國郵政廳ノ媒介ニ依リ「ペルー」國及「ポーランド」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 七月 聯合ノ爲替ノ約定及中華民國トノ爲替約定ニ依ル爲替券ノ有効期間ヲ定ム
- 九月 勅令第百八十二號ヲ以テ郵便貯金利子割合ノ件ヲ改正シ普通貯金ハ年四分二厘、据置及月掛貯金ハ年四分四厘四毛トシ十月一日ヨリ實施ス

昭和六年

- 二月 麻布區飯倉町ニ新築中ノ貯金局廳舎落成ニ付二月二十日移轉ス
- 三月 外國郵便振替規則及同取扱規程ヲ定メ四月一日ヨリ獨逸、瑞西、白耳義、瑞典、和蘭、丁抹及「ダントツヒ」自由市ト、五月一日ヨリ佛蘭西及「アルジェリー」ト振替ノ交換ヲ開始ス
- 同 振替貯金規則ヲ改正シ在外居住者ノ振替貯金加入ヲ認ムルコトトシ四月一日ヨリ實施ス
- 同 郵便貯金規則ヲ改正シ局所外預入ノ取扱ヲ四月一日限り廢止ス
- 四月 郵便爲替規則、貯金規則及振替貯金規則ヲ改正シ各種證書ノ九十日ノ特別有効期間ヲ廢止シ且樺太ニ對スル冬季不算入期間ヲ削除ス
- 六月 各廳歳入金及同歳出金規則ヲ改正シ煙草專賣官署ノ收入金ヲ各廳歳入金トシテ郵便局ニ於テ受入ルルコトトシ七月一日ヨリ實施ス
- 七月 英國ノ媒介ニ依リ「ユーゴスラヴィア」國向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 同 郵便爲替規則ヲ改正シ布米通常爲替ハ振替貯金ノ利用ニ依リ其ノ必要ナキニ到リタルヲ以テ七月三十一日限り廢止ス
- 九月 日本勸業銀行法中改正ヲ加ヘラレ貯金局カ從來日本銀行ニ保管ヲ託シタル日本勸業銀行關係證券ハ九月七日全部同行ヘ移管セリ
- 同 「ユーゴスラヴィア」國ハ英國ノ媒介ニ依リ本邦向郵便爲替ノ振出ヲ開始ス
- 十月 爲替相場不安定等ノ爲昭和六年十月ヨリ同七年九月迄一年間ニ外國郵便爲替ノ振出ヲ制限又ハ停止シタル國「ハンガリー」、埃地利、希臘、「チリ」、諸威、獨逸、「ユーゴスラヴィア」、「ポルトガル」領「ギニア」、「アルゼンティン」ノ九國ヲ算ス
- 十二月 金輸出禁止ニ伴フ邦貨暴落ノ結果トシテ海外多額送金ノ激増スルヲ防グ爲外國郵便爲替ニ振出制限ヲ設ク

昭和七年

- 七月 資本逃避防止法ノ施行ニ伴ヒ従前ノ外國郵便爲替ノ振出制限ノ範圍ヲ擴張シ更ニ外國郵便振替ノ拂出ニ制限ヲ設ク
- 同 獨逸國及蘭領東印度ト交換スル電信爲替ニ無線電信ヲ又蘭領東印度ト交換スル電信爲替ニ書信電報ヲ利用シ得ルコトトス

- 七月 昭和七年法律第十三號ニ依ル恩給更正規則及同取扱規程ヲ制定シ八月一日ヨリ施行ス
- 八月 勅令第二百二十七號ヲ以テ郵便貯金利率割合ノ件ヲ改正シ普通貯金ハ年三分、据置及月掛貯金ハ年三分二厘四毛、振替貯金ハ年二分四厘トシ十月一日ヨリ施行ス
- 九月 外國電信爲替ノ拂渡事務ヲ外國郵便爲替交換局又ハ外國電信爲替局ノ存スル市ニ於ケル他ノ外國郵便爲替取扱局ニモ取扱ハシムルコトトシ十月一日ヨリ施行ス
- 十月 勅令第三百六號ヲ以テ新ニ東京市ニ編入セラレタル地域ニアル郵便官署ハ當分ノ内該地域トニ於テ支拂ヲ要スル各廳歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ヲ編入前ノ例ニ依リ取扱フコトトシ十月五日ヨリ施行ス

第三編 郵便爲替及貯金

Chapter 3. Postal Money Order and Postal Savings

第一章 郵便爲替業務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Postal Money Order

郵便爲替業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

外國郵便爲替ノ振出制限範圍擴張及外國郵便振替ノ拂出制限設定 昭和六年十二月我國ノ金輸出再禁止ニ伴フ邦貨暴落ノ結果トシテ郵便爲替ニ依ル海外多額送金ノ激增スルコトヲ豫想シ同一差出人ヨリ同一日ニ同一國(中華民國、香港、澳門及暹羅ヲ除ク)ニ宛テ送金シ得ル金額ニ制限ヲ加ヘ原則トシテ千圓(外國貨幣ハ其ノ相當額)迄トシ昭和六年十二月十五日ヨリ實施シ來レル處昭和七年七月一日ヨリ資本逃避防止法施行セララルニ及ヒ外國郵便爲替又ハ外國郵便振替ニ依ル外國向送金ニ付テモ政府事業タル立場ニ鑑ミ取締ノ要アルコトヲ認メ曩ノ振出制限ヲ擴張シテ中華民國、香港、澳門及暹羅國宛爲替ノ振出ニ又外國郵便振替ノ拂出ニ之ヲ適用シ七月一日ヨリ實施セリ

外國電信爲替ノ無線送達開始 外國電信爲替ノ爲替電報ハ從來有線電信ノミニ依リタルモ今般獨逸國及蘭領東印度ヨリ無線ニ依リ電送スル方法ヲ提議シ來レリ本方法ハ漸次各國間ニ採用セラレムトスル情勢ニアリ且有線ニ依ル電送ニ比シ遜色ナキニ付右兩國トノ電信爲替ノ爲替電報ニハ無線ヲ利用スルコトトシ更ニ蘭領東印度トノ爲替電報ハ之ヲ書信電報ニ依リ得ルコトトシ八月一日ヨリ實施セリ

爲替證書様式改正 通常爲替證書及小爲替證書ハ金額表示欄「パンチ」ヲ以テ切取ル式ナリシモ切取不完全ノ爲事故ヲ醸成シタル例モアリ又切取ニ不都合ヲ要シタルヲ以テ兩者共金額表示欄ヲ廢止シ小爲替證書ノミ振出日附印欄ヲ金額階級別ニ改正シ十二月十七日ヨリ實施セリ

振出日	金額	階級別	改正後	備考
昭和六年十二月十五日	1000	1000	1000	千圓
昭和六年十二月十五日	500	500	500	五百圓
昭和六年十二月十五日	100	100	100	百圓
昭和六年十二月十五日	50	50	50	五十圓
昭和六年十二月十五日	10	10	10	十圓
昭和六年十二月十五日	5	5	5	五圓
昭和六年十二月十五日	1	1	1	一圓
昭和六年十二月十五日	0.5	0.5	0.5	五角
昭和六年十二月十五日	0.2	0.2	0.2	二角
昭和六年十二月十五日	0.1	0.1	0.1	一角
昭和六年十二月十五日	0.05	0.05	0.05	五角
昭和六年十二月十五日	0.02	0.02	0.02	二角
昭和六年十二月十五日	0.01	0.01	0.01	一角

郵便爲替受拂高

Number and Amount of Postal Money Orders Issued and Paid

種別 Description	内國爲替 Domestic Money Order		外國爲替 International Money Order		合計 Total		
	振出 Issued	拂渡 Paid	振出 Issued	拂渡 Paid	振出 Issued	拂渡 Paid	
昭和七年度 1932-33	口 No. 數	37,607,642	37,577,591	39,167	107,339	37,646,809	37,684,930
	金額 (円) Amount (En)	824,157,339	823,476,749	1,562,547	4,992,594	825,719,886	828,469,343
六年度 1931-32	口 No. 數	36,070,000	36,065,846	59,809	90,488	36,129,809	36,156,334
	金額 (円) Amount (En)	783,692,189	783,917,340	2,320,684	3,722,529	786,012,873	787,639,869
五年度 1930-31	口 No. 數	36,326,612	36,366,340	70,240	109,828	36,396,852	36,476,168
	金額 (円) Amount (En)	830,988,397	832,410,281	2,499,775	4,580,734	833,488,172	836,991,015
四年度 1929-30	口 No. 數	38,193,070	38,198,215	67,688	126,939	38,260,758	38,325,154
	金額 (円) Amount (En)	963,460,800	963,792,783	2,708,948	5,788,487	966,169,748	969,581,270
三年度 1928-29	口 No. 數	37,832,737	37,883,967	62,646	141,490	37,895,383	38,030,457
	金額 (円) Amount (En)	983,599,605	983,256,676	2,560,092	6,317,066	986,159,697	989,573,742
二年度 1927-28	口 No. 數	36,692,523	36,592,913	57,721	141,585	36,750,244	36,734,498
	金額 (円) Amount (En)	989,907,263	990,298,211	2,455,520	6,769,577	992,362,783	997,067,788
元年度 1926-27	口 No. 數	35,180,467	35,112,844	58,065	140,731	35,238,532	35,253,575
	金額 (円) Amount (En)	933,491,219	933,440,989	2,516,306	6,600,175	936,007,525	940,041,164
大正十四年度 1925-26	口 No. 數	34,762,956	34,717,308	44,886	140,578	34,807,842	34,857,886
	金額 (円) Amount (En)	949,365,449	949,827,965	2,176,154	7,104,474	951,541,603	956,932,439
十三年度 1924-25	口 No. 數	30,207,107	31,501,604	27,754	124,830	30,234,861	31,626,434
	金額 (円) Amount (En)	790,183,385	825,096,729	1,631,472	7,768,767	791,814,857	832,865,496
十二年度 1923-24	口 No. 數	28,744,508	29,755,690	38,241	125,274	28,782,749	29,880,964
	金額 (円) Amount (En)	761,440,031	797,217,457	3,420,807	7,978,766	764,860,838	805,196,223

備考 在中華民國本邦郵便局撤廢 = 付大正十一年度以降 = ハ同局取扱數ヲ含マズ
 Note. The figures relate only to the Inland Post offices, as the Japanese Post offices in Middle Republic were closed up the 1st January, 11th year of Taiyo.

第二章 郵便貯金業務ニ關スル施設

Section 2. Institutions for Postal Savings

郵便貯金業務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

郵便貯金利子割合ノ改正 從來貯金利子割合ハ通常貯金年四分二厘、据置及月掛貯金年四分四厘四毛、振替貯金年三分六厘ナリシモ低金利政策ニ順應シ通常貯金年三分、据置及月掛貯金年三分二厘四毛、振替貯金年二分四厘ニ各一分二厘方引下ケ昭和七年十月一日ヨリ實施セリ、尙之ニ伴ヒ据置貯金預ケ人ニシテ利子引下ヲ理由トシテ貯金拂戻ノ請求ヲ爲スモノニ對シテハ十二月末日迄便宜期間内拂戻ヲ認メタリ

未確認通帳提出方控 大正十二年九月一日以前發行ニ係ル次ノ貯金通帳又ハ證券保管通帳ハ成ルヘク十二月三十一日迄ニ郵便局ニ差出シ臨時郵便貯金及郵便爲替確認規則ニ依ル確認ヲ受ケヘキコトヲ告示セリ

(1) 次ノ記號ヲ附シタル郵便貯金通帳

イ、ゐ、き、れ、を、あ、い、ゆ、り、め、南

ロ、前記記號ニ「恩」「臨」又ハ「据」ヲ冠シタルモノ

ハ、軍本、外、野戰、功、勳京、艦(艦ノ下ニ「い、ろ」等ノ文字アルモノ)、臨艦

(2) 未タ確認ヲ受ケサル證券保管通帳

金貯便郵 二郵便貯金
Postal Savings

種 別 Description	昭 和 七 年 度 1932-33			六 年 度	五 年 度
	内 地 局 Inland Offices	在 中 華 民 國 局 Offices in Middle Republic	合 計 Total	1931-32	1930-31
新 規 預 入 人 員 No. of Accounts Opened	4,817,952	2	4,817,954	4,595,230	4,325,968
全 額 拂 戻 人 員 No. of Accounts Closed	4,287,047	1,798	4,288,845	3,909,829	4,077,160
年 度 末 現 在 預 ケ 人 No. of Accounts remaining open at the End of the Fiscal Year	34,815,691	5,949	34,821,640	34,279,844	33,587,980
預 入 口 數 No. of Deposits	105,919,579	2,560	105,922,139	103,636,697	103,585,074
拂 戻 口 數 No. of Withdrawals	40,255,810	3,498	40,259,308	36,233,397	33,390,480
預 入 金 額 Amount of Deposits	1,809,400,893	87,090	1,809,487,983	1,794,312,581	1,691,299,098
拂 戻 金 額 Amount of Withdrawals	1,853,188,946	111,524	1,853,300,470	1,485,520,254	1,392,471,604
年 度 末 現 在 貯 金 額 Amount standing to the credit of all open accounts at the End of the Fiscal Year	2,664,622,606	250,334	2,664,872,940	2,709,181,810	2,400,695,455
平 均 一 人 貯 金 額 Average amount one of depositor	76.54	42.08	76.53	79.03	71.47

尙本年度中ニ於ケル預拂ノ狀況ヲ地方別ニ依リ示セハ次ノ如シ

The Postal savings transaction in the Present Year is as follows according to prefectures.

預 拂 及 現 況 運 寄 金 貯 便 郵
Transactions

四 年 度	三 年 度	二 年 度	元 年 度	大 正 十 四 年 度	十 三 年 度	十 二 年 度
1929-30	1928-29	1927-28	1926-27	1925-26	1924-25	1923-24
4,589,115	4,769,327	4,673,023	3,488,859	3,712,020	4,493,565	3,510,655
3,190,683	2,868,897	2,770,247	2,722,765	2,595,449	2,877,747	2,045,670
33,319,632	31,895,042	29,942,813	27,958,909	27,126,269	25,770,651	20,749,587
105,113,127	98,086,896	89,286,623	80,606,107	82,975,438	70,603,337	56,916,984
29,052,373	26,257,150	24,413,846	21,138,380	20,550,790	20,629,354	16,492,018
1,540,235,665	1,335,949,165	1,465,724,118	847,084,582	815,856,027	841,963,342	780,161,641
1,206,989,335	1,111,237,106	1,089,351,272	759,450,223	784,526,727	846,456,312	698,955,179
2,111,443,200	1,786,221,726	1,567,577,745	1,196,643,485	1,113,103,751	1,076,181,235	839,417,250
63.37	56.00	52.35	42.80	41.03	41.76	40.45

郵便貯金地方別
Postal Savings Transactions by Prefectures

昭和七年度
1932-33

Table with 8 columns: 通信局 Direction of Communications, 地方 Prefectures under Jurisdiction, 新規預入人員 No. of Accounts Opened, 全額拂戻人員 No. of Accounts Closed, 預入口數 No. of Deposits, 拂戻口數 No. of Withdrawals, 預入金額 Amount of Deposits, 拂戻金額 Amount of Withdrawals. Rows include Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, Kyushu, and various prefectures like Aomori, Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, Niigata, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Yamanashi, Sizuoka, Toyama, Ishikawa, Fukui, Nagano, Gifu, Aichi, Mie, and Total.

郵便貯金地方別 (續)
Postal Savings Transactions by Prefectures (Continued)

昭和七年度
1932-33

Table with 8 columns: 通信局 Direction of Communications, 地方 Prefectures under Jurisdiction, 新規預入人員 No. of Accounts Opened, 全額拂戻人員 No. of Accounts Closed, 預入口數 No. of Deposits, 拂戻口數 No. of Withdrawals, 預入金額 Amount of Deposits, 拂戻金額 Amount of Withdrawals. Rows include Osaka, Hiroshima, Kumamoto, and various prefectures like Siga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tokushima, Kochi, Tottori, Simane, Okayama, Hiroshima, Yamaguchi, Kagawa, Ehime, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagosima, Okinawa, and Total. Includes a section for '在中華民國局所 Offices in Middle Republic'.

本表ノ外野戰郵便局ニ於テ交付シタル貯金通帳ニ對スルモノ及海外在留本邦人ノ貯金等ヲ示セバ次ノ如シ
 In addition to the list, the savings entered in the pass bonds issued at the Field Post Office and those belonged of Japanese abroad are as follows:—

種別	Description	新規預入人員 No. of Accounts opened	全額拂戻人員 No. of Accounts closed	預入口數 No. of Deposits	拂戻口數 No. of Withdrawals	預入金額 Amount of Deposits	拂戻金額 Amount of withdrawals
	明治二十七八年戰役行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the war. of 27 th and 28 th year of Meiji	-	7	163	117	6,798	6,227
	明治三十七八年戰役軍事郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 37 th and 38 th year of Meiji.	-	1	2	4	139	6
	同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	1	-	1	1	88
	大正三四年戰役野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in the war of 3 rd and 4 th year of Taisyo.	-	1,535	1,981	2,804	60,366	70,338
	同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	-	-	-	-
	同行賞賜金郵便貯金 Postal Savings granted for rewards in connection with the said war.	3	2,041	67,104	46,349	2,921,778	3,175,119
	大正三四年乃至九年對北朝鮮野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in Siberia in the war of 4 th -9 th year of Taisyo.	-	2,286	317	3,907	7,215	10,600
	同戰地特別郵便貯金 Special Postal Savings deposited at the front in the said war.	-	-	-	-	3	-
	濟南事件野戰郵便貯金 Field Post Office Savings in the Tsinan Trouble	-	399	5,250	2,786	123,773	123,271
	上海事變海軍軍用郵便貯金 Naval Post Office Savings at the Shanghai Incident	3,384	1,047	13,531	3,499	257,246	107,969
	海外在留本邦人特別郵便貯金 Special Postal Savings of Japanese abroad	-	12	586	249	14,098	25,406
臺	Formosa	74,647	65,721	1,417,789	637,706	19,692,254	19,644,656
樺	Saghalien	18,811	14,662	358,600	170,911	8,474,980	8,327,577
朝	Tyosen	489,493	282,190	7,760,747	2,189,929	82,371,051	83,289,921
關東廳管	The kwantung Province	75,691	38,575	1,025,451	458,779	28,221,268	27,628,293
南洋	South Seas	3,207	1,401	37,563	18,935	1,530,207	1,467,896
其他	Other	-	-	-	-	-	-
合	Total	665,236	409,878	10,689,084	3,535,976	143,681,177	143,877,367

第三章 證券

Section 3. Bonds

保管證券

Custody of Public Bonds

種別	Description	人員數 Number	枚數 No. of Bonds	金額 Amount
昭和	七年度末 March 31, 1933	799,710	4,105,010	72,578,695
	六年度末 March 31, 1932	834,046	4,345,123	74,853,795
	五年度末 March 31, 1931	877,233	4,592,233	77,809,370
	四年度末 March 31, 1930	946,351	4,878,044	82,076,165
	三年度末 March 31, 1929	989,705	5,140,678	89,186,830
	二年度末 March 31, 1928	1,034,548	5,425,503	96,776,725
	元年度末 March 31, 1927	1,093,622	5,805,743	109,638,720
大正	十四年度末 March 31, 1926	1,207,991	6,454,265	120,078,085
	十三年度末 March 31, 1925	1,272,030	7,333,298	133,804,645
	十二年度末 March 31, 1924	1,269,465	7,681,620	153,772,155

備考 1. 大正十二年ノ受入、拂出高中ニハ同年八月以前ノ分ハ大正十二年ノ震災ニ因リ資料喪失ノ爲不明ニ付之ヲ包含セス
 2. 本計數中ニハ轉記受拂ノ人員、枚數、金額ヲ包含セス
 Note 1. Figures for the receipt and withdrawal for 1923-4 are not Complete, figures for first 5 months of the fiscal year being unknown on account of the 1923 disaster.
 2. Figures for transfer of accounts and number and amount of bonds are not given in this table.

第四章 郵便振替貯金

Section 4. Postal Check and Transfer

郵便振替貯金口座加入者及受拂高

Number of Subscribers Receipts and Payments in connection with the Postal Check and Transfer

種 別 Description	人 員 Subscriber			口 數 No.		金 額 Amount		
	新規加入 No. of Accounts Opened	脱 退 No. of Accounts Closed	年度末現在 At the end of the fiscal year	受 入 Receipts	拂 出 Payments	受 入 Receipts	拂 出 Payments	年度末現在 At the end of the fiscal year
昭和七年度 1932-33	18,846	10,205	282,231	37,107,800	15,007,510	1,857,928,095	1,847,871,126	75,409,071
六年度 1931-32	18,690	15,820	273,588	35,714,024	14,547,486	1,569,342,071	1,580,612,576	65,352,102
五年度 1930-31	18,319	15,878	269,689	36,233,056	14,697,182	1,638,365,181	1,633,214,241	76,615,288
四年度 1929-30	19,535	26,384	267,240	36,527,843	14,485,977	1,754,651,002	1,741,380,620	70,071,582
三年度 1928-29	18,753	7,555	274,077	35,008,674	14,369,851	1,650,108,724	1,646,392,268	55,828,350
二年度 1927-28	20,382	7,791	262,881	33,421,221	14,530,566	1,538,025,948	1,531,486,944	51,108,997
元年度 1926-27	17,460	7,014	250,255	31,253,153	14,352,634	1,322,768,969	1,318,723,697	43,685,851
大正十四年度 1925-26	18,526	6,594	239,769	29,015,389	14,182,860	1,306,587,457	1,305,592,402	38,897,442
十三年度 1924-25	17,365	6,234	228,254	27,096,661	14,111,419	1,301,633,981	1,301,175,785	37,902,387
十二年度 1923-24	15,907	3,357	153,231	15,411,803	3,444,242	895,392,464	892,392,449	25,082,679

備考 1. 大正十二年度東京振替貯金口座加入者ハ震災ノ爲不明ニ付之ヲ含メス
Note. This data excludes the subscribers in connection with Tokyo Postal transfer on from 1st April 1923 to 31st March 1924

2. 大正十三年度末及同十四年度末現在人員中ニハ未確認ノモノ各15,747人、15,334人ヲ含ム
The number of Subscribers at the end of 13th or 14th fiscal year of Taisyo includes 15,747 and 15,334 respectively, whose accounts as stood at time of the earthquake-fire are not yet recognised by the Post office

第五章 年金恩給

Section 5. Annuity and Pension

年金恩給給與金拂渡高

Payments of Annuities, Pensions and Other Grants

種 別 Description	各 局 拂 渡 Payment		郵便貯金=振替預入 Transfer to Postal Savings Deposits		合 計 Total	
	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount	口 數 No.	金 額 Amount
昭和七年度 1932-33	1,610,450	153,065,909	43,437	6,069,323	1,653,887	159,135,232
六年度 1931-32	1,578,117	147,098,673	42,790	5,812,927	1,620,907	152,911,600
五年度 1930-31	1,551,842	143,077,212	41,829	5,537,771	1,593,671	148,614,983
四年度 1929-30	1,531,705	139,539,581	40,979	5,282,921	1,572,684	144,822,502
三年度 1928-29	1,519,035	136,449,449	40,499	5,124,138	1,559,534	141,573,587
二年度 1927-28	1,557,371	133,343,260	41,551	4,928,344	1,598,922	138,271,604
元年度 1926-27	1,470,773	127,624,329	38,795	4,688,086	1,509,568	132,312,415
大正十四年度 1925-26	1,448,050	124,971,831	38,086	4,465,747	1,486,136	129,437,628
十三年度 1924-25	1,394,433	119,241,557	40,888	4,688,729	1,435,321	123,930,286
十二年度 1923-24	1,216,805	82,493,565	29,701	3,148,212	1,246,506	85,641,777

簡易保險局沿革略誌

我國簡易生命保險制度ハ其ノ端ヲ遠ク日清戰役終了後ニ發セリ即チ當時逓信省ニ小口保險創始ノ議起リ明治三十八年郵便貯金法制定ノ際其ノ中ニ郵便保險年金ニ關スル條項ヲ規定スルノ議アリシモ時期尙早ノ故ヲ以テ中止シ更ニ其ノ調査ヲ繼續スルコトナレリ、然ルニ其ノ後世態ノ變遷著シク殊ニ日露戰後産業ノ發展ニ伴ヒ小口保險實施ノ必要一層緊切ヲ加フルニ到リシヲ以テ明治四十三年七月郵便貯金局内ニ郵便保險年金制度調査委員會ヲ設ケ内外保險事業ノ調査ニ著手セリ然モ簡易保險制度施行ノ曉ニ於テハ社會各般ニ及ボス影響ノ大ナルヘキハ明ニシテ其ノ調査ニ就テモ萬全ヲ期セサルヘカラサルヲ慮リ翌四十四年一月其ノ調査機關ヲ擴張シテ逓信省内ニ郵便保險年金制度調査會ヲ組織シ且之ニ關係アル學者、實業家ヲ加ヘテ討議研鑽スル所アリ、一方ニ於テハ大正三年時ノ内閣ハ小口保險ノ實施ヲ施政方針ノ一トシ同年五月内閣ニ小口保險制度調査委員會ヲ設置シ委員長ニ法制局長官ヲ、内務、大藏、文部、農商務及逓信ノ各省ヨリ夫々委員ヲ選任シテ六月ヨリ十一月ニ亙リ數十回ノ委員總會及特別委員會ヲ開キ調査審議スル所アリ同年十二月其ノ決定要領及法律、勅令並規則草案ヲ公表スルト共ニ一面地方長官、商業會議所各種學會又ハ協會等各方面ニ諮問シ、且内外斯業ノ實況ヲ參酌シテ遂ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法ノ成案ヲ見ルニ至リ大正五年二月第三十七議會ニ提出セリ、議會ハ保險金額ノ最高限度參百圓ヲ貳百五十圓ニ修正ノ上之ヲ協賛シ茲ニ簡易生命保險法案及簡易生命保險特別會計法案ノ成立ヲ見ルニ至レリ

以上ハ簡易生命保險制度調査ノ經過ヲ略述セルモノナルカ更ニ本法制定後ノ重ナル事項ヲ摘録スレハ次ノ如シ

大 正 五 年

- 三 月 爲替貯金局内ニ簡易生命保險事業準備部ヲ置キ之カ實施ニ關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル
- 四 月 逓信省内ニ簡易生命保險事務準備委員會ヲ設置シ各種規程ヲ其ノ審査ニ附ス
- 七 月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ヲ公布ス
- 八 月 簡易生命保險法及簡易生命保險特別會計法ノ實施期日ヲ前者ハ大正五年十月一日後者ハ同年八月二十日ト定ム
- 九 月 爲替貯金局及地方逓信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局内ニ保險部ヲ、逓信局内ニハ總務部ニ保險課ヲ、分掌局ニハ第四課ヲ設ケテ簡易生命保險ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 同 簡易生命保險令、簡易生命保險審査會規程、簡易生命保險特別會計規則、簡易生命保險規則、簡易生命保險特別會計事務規程等ヲ制定公布ス
- 同 簡易生命保險取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則、簡易生命保險團體特別取扱規程等ヲ制定ス
- 十 月 一日ヨリ簡易生命保險事業ヲ開始ス

大 正 六 年

- 七 月 簡易生命保險積立金運用規則ヲ公布ス
- 九 月 簡易生命保險ノ保險契約者ニ對スル貸付ノ利率ヲ保險料振替貸付ニアリテハ年四分八厘、普通貸付ニアリテハ年六分ト定ム

大正七年

- 四月 簡易生命保險審査會規程施行細則ヲ制定ス
- 同 簡易生命保險規則ヲ改正ス、其ノ要旨ハ保險料前拂方法ヲ設ケ、延滞料免除ノ場合ヲ規定シ、小額保險金ノ簡易支拂手續ヲ制定シ、殖民地等ヨリ保險料拂込並再度保險證書無料交付ニ關スル規定ヲ制定シ、保險證書訂正料金ノ徴收ヲ廢止シタルコト等トス
- 九月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ短期拂込養老保險ヲ設ケ、法域外住居者ニ對スル保險金及還付金支拂方法ヲ定ム
- 十二月 簡易生命保險團體特別取扱規程ヲ改正シ八年一月一日ヨリ施行ス

大正八年

- 五月 爲替貯金局及地方遞信官署官制ヲ改正シ爲替貯金局ニ於ケル保險部ヲ廢止シ從來監理課及調度課ニ於テ取扱タル庶務、規畫、監督、經理ニ關スル事務ハ爲替貯金ニ關スル夫レ等ノ事務ト同一課ニ於テ取扱フコトトナリ外ニ保險契約、保險支拂、保險原簿、積立金運用、保險統計ノ五課ヲ置キ又從來ノ各遞信局及事務分掌局ヲ七遞信局トシ各遞信局ニ保險課ヲ設ク
- 六月 簡易生命保險審査會規程ヲ改正シ委員十人ヲ十二人ニ改ム
- 八月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ制定シ十九日ヨリ之ヲ施行ス
- 十一月 簡易生命保險規則ヲ改正シ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ノ申込ニ對シ簡易手續ヲ制定ス

大正九年

- 三月 簡易生命保險規則ヲ改正シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ契約ノ申込又ハ復活申込ニ際シ申込人ト被保險者ト所在地ヲ異ニスル場合ニ受付局以外ノ郵便局ニ於テ被保險者ノ面接ヲ爲シ得ルノ方法ヲ設ケ、保險料前拂ノ制度ヲ保險料豫納ノ形式ニ改メ、保險金還付金ノ局待拂及普通貸付金ノ局待貸付ノ途ヲ開キ、復活利息金ノ徴收ヲ廢止シ、保險料振替貸付期間ヲ二箇年ニ延長シタルコト等トス
- 十月 簡易保險局官制制定セラレ新ニ簡易保險局ヲ設ケテ從來爲替貯金局ニ於テ掌理シタル簡易生命保險ニ關スル事務ヲ受繼キ庶務、監理、契約、支拂、原簿、醫務、積立金運用、統計ノ八課ヲ置キ其ノ事務ヲ管掌ス
- 十二月 簡易生命保險積立金貸付規則ヲ改正シ翌十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス、其ノ要旨ハ借入申込書用紙ヲ正副二通トシ遞信局ヲ經由シテ遞信大臣ニ提出セシムルニ在リ

大正十年

- 四月 簡易生命保險特別會計法ヲ改正シ支拂上ノ餘裕金ヲ大藏省預金部ニ預入スルコトヲ得セシム
- 九月 簡易保險局官制ヲ改正シ從來ノ八課ヲ改メテ庶務、規畫、監督、積立金運用、契約、支拂、第一原簿、第二原簿、醫務、統計ノ十課トシ別ニ講習所ヲ設ケテ吏員ヲ養成ニ任ス

大正十一年

- 二月 一日ヨリ南洋廳管内ニ於テ簡易生命保險事務ノ取扱ヲ開始ス
- 四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額二百五十圓ヲ三百五十圓ニ増額シ九月一日ヨリ實施ス

- 六月 團體特別取扱規則ヲ改正シ團體員ノ箇數十箇未滿トナリタルトキハ團體トシテノ取扱ヲ廢止セリ
- 八月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ保險料ノ併合拂込ヲ認メ、長期繼續ノ契約者ニ對スル保險料還付ノ途ヲ開ク
- 九月 簡易保險健康相談所規則及簡易保險健康相談所取扱規程ヲ制定ス
- 十一月 關東廳管内郵便官署ニ於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法ニヨリ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス
- 十二月 新ニ計理課ヲ置キ從來第一原簿課及第二原簿課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十二年

- 三月 簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買入又ハ建物ノ建設ニ關スル法律ヲ公布シ大正十二年度ヨリ施行ス
- 九月 一日ニ於ケル關東地方ノ激震ト之ニ伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタル者多カリシヲ以テ五日ヨリ東京市芝區日出町簡易保險局構内、東京中央郵便局出張所ニ於テ保險金及還付金ノ非常局待拂並保險契約者ニ對スル貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱ヒ罹災者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ就キ特別拂込猶豫期間ヲ設定ス
- 十月 非常局待拂ハ五日限り之ヲ廢止シ六日ヨリ普通局待拂及局待貸付ヲ取扱フ
- 同 罹災契約者ニ對スル貸付利率ヲ振替貸付三分六厘、普通貸付四分八厘ニ低下ス

大正十三年

- 三月 大正十二年九月ニ於ケル罹災契約者ニ對シテハ保險料ノ拂込ニ付キ特別拂込猶豫期間一箇月ヲ追加設定ス
- 六月 監督課ヲ業務課ト改メ從來規畫課ニテ取扱ヒタル歳入歳出ノ豫算及決算ニ關スル事項並事業用物品ノ經理ニ關スル事項ヲ移管ス
- 同 簡易生命保險規則中ヲ改正ス、其ノ要旨ハ癩疾被保險者ノ契約ニ對スル保險料免除ノ特例ヲ開キ、長期繼續契約者ニ對スル還付保險料ヲ増額シタルコト等トス
- 同 簡易保險健康相談所規則中ヲ改メ相談所ニ於ケル取扱事務範圍ヲ擴張シ、特殊ノ施設ヲ要スル診察検査又ハ試験ヲモ行ヒ又書面ニヨル健康相談ヲモ取扱フコトトス
- 十一月 行政整理ノ爲メ在來ノ庶務課、規畫課、監督課ノ事務ノ分合ヲ行ヒ之ヲ庶務課、業務課及經理課トナシ計理課ヲ司計課ト改メ醫務課及講習所ヲ廢止シ原簿事務膨脹ニ付第三原簿課ヲ特設ス

大正十四年

- 五月 二十三日但馬地方ニ於ケル震火災ノ爲メ、兵庫縣豐岡、同城崎及京都府久美濱局ニ於テ保險金ノ局待拂及契約者ニ對スル貸付金ノ局待貸付ヲ取扱フ
- 九月 新ニ規畫課ヲ置キ業務課及經理課ニ於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ

大正十五年

昭和元年

- 三月 簡易生命保險法中ヲ改正シ保險金額三百五十圓ヲ四百五十圓ニ増額シ五月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 四月 簡易保険局内=郵便年金事務準備部ヲ設ケ之カ實施=關スル諸般ノ調査ヲナシ其ノ草案成ル
- 同 郵便年金法及郵便年金特別會計法ヲ公布ス
- 五月 二十四日十勝岳ノ爆發=ヨル災禍ノ爲メ石狩國上富良野、同美瑛及同東中局=於テ保險金ノ局待拂及契約者=對スル貸付金ノ局待貸付ヲ取扱フ
- 六月 簡易生命保險積立金運用規則中ヲ改正シ年賦及半年賦償還貸付ノ貸付期間二十年内ヲ二十五年内ニ改ム
- 八月 第四原簿課ヲ新設ス
- 同 郵便年金令、郵便年金特別會計規則、郵便年金規則、郵便年金取扱規程ヲ公布ス
- 九月 郵便年金特別會計事務規程ヲ定ム
- 同 年金課ヲ新設シ年金事業ニ關スル事務ヲ掌理セシム
- 十月 一日ヨリ郵便年金事業ヲ開始ス
- 同 關東廳管内郵便官署=於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法=依リ郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス
- 同 簡易生命保險規則中ヲ改正シ長期契約繼續=依ル保險料還付額ノ増加並保險料前納制度ヲ認メ且之=對スル保險料割引制度ヲ制定ス
- 同 樺太廳管内郵便官署=於テ郵便振替貯金ノ特別取扱ノ方法=依リ簡易生命保險ノ保險料集金其ノ他ノ事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和二年

- 三月 京都府及兵庫縣下=激震ト之=伴フ火災ノ爲災禍ヲ被リタルモノ多カリシヲ以テ十二日ヨリ京都府網野郵便局外六局=於テ保險金ノ非常局待拂並貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱ヒ且罹災者=對シテハ保險料ノ拂込=付キ特別猶豫期間ヲ設定ス
- 四月 財界ノ混亂=因リ私法上ノ金錢債務ノ支拂延期等=關スル法律公布セラレタル爲簡易生命保險契約及郵便年金契約=於テモ月掛保險料拂込期間、保險料若ハ掛金拂込猶豫期間又ハ保險契約者=對スル貸付期間滿了スルモノ並掛金拂込期間ノ到來スルモノ=對シ二十一日ノ猶豫ヲナセリ
- 六月 簡易生命保險審査會規程及同施行細則ヲ改正シ新=郵便年金=關スル爭議ヲモ民事訴訟提起前=簡易生命保險審査會=提出セシメ其ノ審査ヲ經ルコトトセリ
- 八月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ支拂課ヲ分テテ第一支拂課、第二支拂課ヲ置キ第五原簿課ヲ新設ス
- 九月 熊本縣下=於テ風水害=罹リタル者多カリシ爲小島郵便局外一局=於テ保險金ノ局待拂並貸付金ノ非常局待貸付ヲ取扱フ
- 十月 臺灣總督府管内郵便官署=於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法=依リ簡易生命保險及郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和三年

- 一月 保險料及延滞料ノ領收證ノ書式ヲ改正ス
- 四月 公債市價ノ昂騰=伴ヒ掛金一時拂ノ場合=於ケル豫定利率年六分ヲ年五分七厘五毛ニ改定ス
- 八月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ第三支拂課ヲ新設シ且ツ年金課ヲ非現業事務=當ル年金監理課ト現業事務=當ル年金契約課ニ分課ス

- 十月 樺太廳管内郵便官署=於テ郵便振替貯金特別取扱ノ方法=依リ郵便年金事務ノ取扱ヲ開始ス

昭和四年

- 一月 一等郵便局、電信局及電話局分課規程中ヲ改正シ神戸、長崎、新潟、札幌、小樽、鹿兒島、静岡及岐阜ノ各郵便局=保險課ヲ設ク
- 三月 公債市價ノ昂騰=伴ヒ掛金一時拂ノ場合=於ケル豫定利率年五分七厘五毛ヲ年五分五厘ニ改定ス
- 七月 簡易保險局官制中ヲ改正シ新=理事(專任一人勅任)ヲ置ク
- 同 同分課規程中ヲ改正シ業務課ヲ監督課ト改メ新=第六原簿課ヲ設ケ第五原簿課=於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ
- 同 簡易保險局=業務長(理事)ヲ置キ契約課、各支拂課、司計課、各原簿課及年金契約課ノ事務ヲ統理ス
- 十月 郵便年金規則中ヲ改正シ分割拂第二回以降掛金ノ集金制度ヲ設ケ同時=拂込期間十五日ヲ置ク

昭和五年

- 七月 簡易生命保險規則及同取扱規程、簡易生命保險團體特別取扱規則及同取扱規程中ヲ改正ス
- 九月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ新=第四支拂課ヲ設ケ從來各支拂課=於テ取扱ヒ來リタル保險契約者=對スル貸付事務ヲ掌理スルコトトセリ
- 十月 郵便年金規則中ヲ改正ス
- 十二月 簡易生命保險規則及同取扱規程中ヲ改正ス

昭和六年

- 三月 簡易生命保險特別會計法中ヲ改正シ歳出科目中ニ營繕費ヲ加ヘ昭和六年度ヨリ施行ス
- 四月 簡易生命保險法中ヲ改正シ新=小兒保險ヲ加フルト共ニ削減期間ヲ短縮スル等ノ改正アリ十月一日ヨリ施行ス
- 六月 簡易生命保險令中簡易生命保險法改正ニ伴フ事項ヲ改正ス
- 八月 簡易生命保險規則ヲ改正シ小兒保險、曆月集金制ノ採用等ヲ規定ス
- 九月 簡易生命保險團體特別取扱規則ヲ改正ス
- 同 簡易保險局分課規程ヲ改正シ第四支拂課ヲ廢止シ新=第一貸付課及第二貸付課ヲ設ク
- 十月 簡易保險局分課規程ヲ改正シ新=醫務課ヲ設ケ中央健康相談所ニ關スル事項並一般醫務ニ關スル事項ヲ掌理ス
- 同 郵便年金規則ヲ改正シ年金併合支拂ノ制ヲ設ケタル外二、三改正ヲ加ヘタリ

昭和七年

- 十月 簡易保險局分課規程中ヲ改正シ新=第七原簿課ヲ設ケ第一原簿課=於テ取扱ヒタル事務ノ一部ヲ取扱フ
- 十一月 北海道地方=於ケル水災被害契約者救済ノ爲簡易生命保險北海道水災非常取扱規則及同取扱規程ヲ制定ス
- 十二月 簡易生命保險規則中ヲ改正シ保險料ノ集金ヲ取扱ハサル期間ヲ一月一日ヨリ一月五日迄ニ改ム
- 同 郵便年金規則中分割拂掛金ノ集金ニ關スル事項ヲ改正ス

第四編 簡易生命保險及郵便年金

Chapter 4. Post Office Life Insurance and Post Office Life Annuities

第一章 簡易生命保險事務ニ關スル施設

Section 1. Institutions for Post Office Life Insurance Services

簡易生命保險事務ニ關シ本年度中ニ於テ施設シタル事項ノ大要次ノ如シ

被保險者ニ對スル保健施設 被保險者ノ健康ノ保持ト増進トヲ計ラムカ爲大正十一年九月簡易保險健康相談所規則及同取扱規程ヲ制定以來全國主要都市ニ百十四箇所ノ健康相談所ヲ設置シタルカ本年度ニ於テハ更ニ熊谷、川越、沼津、上野、岡谷、小松、桑名、福知山、西宮、岸和田、濱田、萩、八幡濱、後藤寺、都城、別府、直江津、三條、野付牛、留萌ノ二十箇所ニ之ヲ増設セリ

北海道地方ニ於ケル水災害契約者救済施設 昭和七年十一月十七日省令第四八號並公達第六四一號ヲ以テ簡易生命保險北海道水災非常取扱規則及同規程ヲ制定シ北海道地方ニ於ケル水災害罹災契約者ニ對シ下記救済施設ヲ爲セリ

- 一、昭和七年八月以降拂込期ノ到來スル保險料ニシテ水災害ノ爲保險料拂込不能ノモノニ對シ郵便官署ノ承認ヲ經テ同八年十月三十一日迄其ノ拂込ヲ猶豫ス
- 二、前項契約者ハ昭和八年十二月三十一日迄ノ間ニ於テ未拂保險料ノ拂込ニ代ヘ保險金ノ減額請求ヲ爲スコトヲ得

支店名	昭和七年八月以前	昭和七年八月以後	昭和八年十月三十一日迄	昭和八年十二月三十一日迄	合計
札幌	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000
仙台	800,000	800,000	800,000	800,000	3,200,000
東京	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	4,800,000
名古屋	900,000	900,000	900,000	900,000	3,600,000
大阪	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	4,400,000
神戸	700,000	700,000	700,000	700,000	2,800,000
福岡	600,000	600,000	600,000	600,000	2,400,000
北九州	500,000	500,000	500,000	500,000	2,000,000
山口	400,000	400,000	400,000	400,000	1,600,000
徳島	300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
香川	200,000	200,000	200,000	200,000	800,000
高松	150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
愛媛	100,000	100,000	100,000	100,000	400,000
高知	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
熊本	30,000	30,000	30,000	30,000	120,000
大分	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000
宮崎	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000
鹿児島	5,000	5,000	5,000	5,000	20,000
那覇	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
合計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	40,000,000

簡易生命保險

第二章 保險

Section 2. Summary of Post

簡易生命保險

簡易生命保險

Summary of Post Office

種別	新契約			契		
	New Contracts			Death		
Description	件數	保險料	保險金額	件數	保險料	
	No.	Premium	Sum insured.	No.	Premium	
終身保險 Whole Life Policies	個人契約	430,941	343,112.4	67,282,327.4	87,091	62,871.5
	團體契約	2,008	1,027.3	265,049.3	1,460	580.2
	計	432,949	344,139.7	67,547,376.7	88,551	63,451.7
養老保險 Endowment Policies	個人契約	1,805,902	1,636,103.7	219,556,942.3	118,327	110,967.4
	團體契約	8,894	5,375.5	765,510.2	1,514	708.9
	計	1,814,796	1,641,479.2	220,322,452.5	119,841	111,676.3
合 Grand Total	個人契約	2,236,843	1,979,216.1	286,839,269.7	205,418	173,838.9
	團體契約	10,902	6,402.8	1,030,559.5	2,974	1,289.1
	計	2,247,745	1,985,618.9	287,869,829.2	208,392	175,128.0
小兒保險 Infantile Policies	635,611	427,015.5	83,157,958.0	4,922	3,523.1	
總 Grand Total	2,883,356	2,412,634.4	371,027,787.2	213,314	178,651.1	
昭和六年	1931-32	2,800,819	2,453,427.3	388,633,808.1	200,888	168,269.8
五年	1930-31	2,434,292	2,308,475.1	357,792,091.3	186,446	153,736.0
四年	1929-30	2,157,554	2,305,921.1	355,829,270.6	170,551	136,190.7
三年	1928-29	2,502,585	2,332,353.4	369,607,993.1	150,617	116,572.0
二年	1927-28	2,453,705	1,897,368.8	313,045,665.5	129,540	99,122.7
元	1926-27	2,507,116	1,998,996.8	339,637,009.3	107,082	80,124.0
大正	1925-26	2,500,093	2,000,779.6	333,308,373.5	84,181	61,234.1
十	1924-25	1,926,149	1,660,826.1	281,624,338.0	72,281	48,869.6
十	1923-24	1,407,552	1,105,541.6	199,056,301.3	65,714	42,730.1

事業成績

Office Life Insurance Business

險事業成績

Life Insurance Business

昭和七年度
1932-33

保險金額	約			消滅		
	Contracts Terminated			Surrender		
Sum insured	件數	保險料	保險金額	件數	保險料	保險金額
No.	Premium	Sum insured	No.	Premium	Sum insured	
12,281,763.8	-	-	-	110,443	59,929.3	15,030,733.5
(81,978.2)	-	-	-	2,439	857.6	288,283.4
147,043.9	-	-	-	112,882	60,786.9	15,319,016.9
(289.5)	-	-	-	16,288,305.4	111,530	104,279.8
12,428,807.7	-	-	-	10,632,587.9	393,785	367,083.8
(82,267.7)	-	-	-	119,092.2	4,548	2,201.1
16,288,305.4	111,530	104,279.8	10,632,587.9	398,333	369,284.9	54,970,206.7
(187,942.1)	1,492	845.3	86,952.5	28,570,069.2	111,530	104,279.8
119,092.2	1,492	845.3	86,952.5	266,136.1	1,492	845.3
(1,712.3)	113,022	105,125.1	10,719,540.4	2,001.8	113,022	105,125.1
16,407,397.6	113,022	105,125.1	10,719,540.4	511,215	430,071.8	70,289,223.6
(189,654.4)	702,474.0	-	-	6,987	3,058.7	600,059.6
28,570,069.2	111,530	104,279.8	10,632,587.9	28,570,069.2	111,530	104,279.8
(269,920.3)	1,492	845.3	86,952.5	28,836,205.3	113,022	105,125.1
266,136.1	1,492	845.3	86,952.5	702,474.0	6,881	4,664.9
(2,001.8)	29,538,679.3	113,022	105,125.1	10,719,540.4	518,096	434,735.7
28,836,205.3	113,022	105,125.1	10,719,540.4	511,215	430,071.8	70,289,223.6
(271,922.1)	702,474.0	-	-	29,538,679.3	113,022	105,125.1
702,474.0	-	-	-	(442,430.1)	113,022	105,125.1
(170,508.0)	27,915,316.5	55,302	43,466.4	4,487,420.0	563,040	493,025.5
27,915,316.5	55,302	43,466.4	4,487,420.0	563,040	493,025.5	80,326,593.8
25,691,414.7	25,413	19,962.3	1,918,265.5	428,622	388,830.9	63,058,106.8
23,168,603.3	19,560	13,505.7	1,293,450.5	206,398	184,105.3	30,287,103.2
20,092,943.9	21,461	12,891.2	1,251,261.5	162,242	132,173.4	22,386,899.2
17,342,696.8	17,032	8,750.3	851,818.3	152,643	127,691.5	21,448,011.8
14,188,784.9	10,235	6,137.7	589,757.1	126,996	113,019.0	18,709,973.1
11,062,187.2	-	-	-	97,787	86,053.7	14,185,295.9
9,085,575.3	-	-	-	63,555	49,721.9	8,689,529.2
8,107,377.3	-	-	-	53,434	38,069.2	6,822,445.5

簡易生命保

Summary of Post Office

種別 Description	契約消滅 Contracts Terminated			契約復活 Revival of Contracts		
	失効 Lapse					
	件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured	件数 No.	保険料 Premium	
終身保 Whole Life Policies	個人契約 Individual Contracts	167,847	109,615.9	24,830,429.3	50,782	32,154.0
	團體契約 Collective Contracts	984	395.8	127,071.1	273	127.8
	計 Total	168,831	110,011.7	24,957,500.4	51,055	32,281.8
養老保 Endowment Policies	個人契約 Individual Contracts	605,813	531,167.6	75,691,028.8	122,517	104,477.2
	團體契約 Collective Contracts	2,394	1,196.9	191,007.6	483	225.1
	計 Total	608,207	532,364.5	75,882,036.4	123,000	104,702.3
合計 Grand Total	個人契約 Individual Contracts	773,660	640,783.5	100,521,458.1	173,299	136,631.2
	團體契約 Collective Contracts	3,378	1,592.7	318,078.7	756	352.9
	計 Total	777,038	642,376.2	100,839,536.8	174,055	136,984.1
小兒保 Infantile Policies		44,951	28,652.2	5,613,164.0	3,262	2,234.2
總計 Grand Total		821,989	671,028.4	106,452,700.8	177,317	139,218.3
昭和六年 1931-32	度	976,614	802,932.4	131,275,667.3	166,531	129,941.1
昭和五年 1930-31	度	822,797	742,451.0	119,960,794.7	131,351	103,006.1
昭和四年 1929-30	度	640,244	568,188.9	92,926,172.7	104,827	79,282.0
昭和三年 1928-29	度	623,530	470,768.6	79,662,113.0	97,080	71,469.0
昭和二年 1927-28	度	625,518	456,387.2	79,340,017.2	88,363	63,433.0
昭和元年 1926-27	度	586,836	444,104.3	76,794,661.6	64,185	44,844.5
大正十四年 1925-26	度	576,341	462,688.5	78,453,252.7	51,861	35,221.5
大正十三年 1924-25	度	477,039	368,240.8	65,278,764.9	54,852	35,443.4
大正十二年 1923-24	度	377,174	242,718.6	45,850,042.9	37,236	21,242.8

備考、死亡欄中括弧内ノ数字ハ災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因リ契約締結後二年内ニ死亡シタルモノ
 Note:—The figures in parenthesis in the column under the heading "Deaths" signify the deaths occurred, within paragraph of Article 1 of the Law relating to the Prevention of Infectious Diseases, and those in the brackets in of which premiums are exempted in accordance with the Disability Provision.

險事業成績 (續)

Life Insurance Business

(Continued)

昭和七年度
1932-33

活 Sum insured	其他ノ事由ニ由ル増減 Increase or Decrease from other Causes			年度末現在契約 Contracts in force at the End of the Fiscal Year					
	件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured	件数 No.	保険料 Premium	保険金額 Sum insured			
7,216,573.6	-	38,146	-	33,622.0	-	8,615,974.9	4,150,085	2,552,993.2	575,577,559.7
38,461.7	-	475	-	259.3	-	94,473.8	109,316	38,958.1	12,233,317.6
7,255,035.3	-	38,621	-	33,881.3	-	8,710,448.7	4,259,401	2,591,951.3	587,810,877.3
15,882,583.3	-	34,321	-	34,157.8	-	8,127,715.4	12,617,741	11,256,489.9	1,655,044,977.5
36,348.0	-	435	-	118.0	-	4,440.9	166,330	79,213.7	13,413,690.0
15,918,931.3	-	34,756	-	34,039.8	-	8,137,156.3	12,784,071	11,335,703.6	1,668,458,667.5
23,099,156.9	-	3,825	-	67,779.8	-	16,743,690.3	16,767,826	13,809,483.1	2,230,622,537.2
74,809.7	-	40	-	141.3	-	103,914.7	275,646	118,171.8	25,647,007.6
23,173,966.6	-	3,865	-	67,921.1	-	16,847,605.0	17,043,472	13,927,654.9	2,256,269,544.8
443,207.0	-	685	-	1,117.5	-	226,844.8	1,139,715	798,377.9	156,524,406.3
23,617,173.6	-	4,550 (60)	-	69,038.6 (41.8)	-	17,074,449.8 (8,454.4)	18,183,187	14,726,032.8	2,412,793,951.1
22,318,260.0	-	4,721	-	66,139.0	-	15,176,393.1	16,793,485	13,632,759.0	2,253,136,387.1
17,871,493.0	-	3,684	-	63,406.4	-	13,607,297.0	15,626,700	12,623,223.7	2,101,365,709.7
14,027,873.0	-	3,270	-	37,634.5	-	10,077,154.3	14,528,019	11,580,039.1	1,949,938,004.1
12,808,560.9	-	2,587	-	23,127.9	-	7,616,470.5	13,305,661	10,134,461.1	1,737,833,349.5
11,580,250.4	-	2,357	-	17,699.7	-	5,724,788.0	11,666,433	8,486,171.8	1,486,426,483.6
8,305,391.0	-	2,385	-	15,035.2	-	4,931,216.2	10,051,455	7,235,071.4	1,286,507,899.8
6,639,432.0	-	3,073	-	13,480.1	-	4,116,818.8	8,313,688	5,849,650.3	1,053,779,892.4
6,867,421.0	-	2,016	-	6,874.0	-	2,425,562.7	6,523,116	4,437,105.6	821,649,641.6
4,298,548.9	-	1,251	-	3,613.1	-	1,535,387.0	5,157,006	3,214,542.4	618,637,314.7

ヲ示シ、其他ノ事由ニ由ル増減欄中末段ノ括弧内数字ハ廢疾條項ニ因ル契約高ヲ示ス。
 Note:—The figures in parenthesis in the column under the heading "Increase or Decrease from other Causes," indicate the contracts, two years after the date of issue of Policies, from an accident and from any disease prescribed in the first paragraph of Article 1 of the Law relating to the Prevention of Infectious Diseases, and those in the brackets in of which premiums are exempted in accordance with the Disability Provision.

簡易生命保險
Classification of Post Office Life

Table with columns for Direction of Communications, Prefecture, New Contracts (件數, 保險料, 保險金額), and Contracts Terminated (死亡, 滿期, 解約). Rows include Hokkaido, Tohoku, Kanto, and Chugoku regions.

事業成績地方別
Insurance Business by Prefectures

昭和七年度
1932-33

Table with columns for Sum Insured, Lapse (件數, 保險料, 保險金額), Revival of Contracts, Decrease from other Causes, and Contracts in Force at End of Fiscal Year. Rows list various prefectures and their respective insurance statistics.

簡易生命保險

Classification of Post Office

Table with columns for Direction of Communications, Prefecture, New Contracts (件数, 保険料, 保険金額), Death (件数, 保険料, 保険金額), Endowment (件数, 保険料, 保険金額), Surrender (件数, 保険料), and Grand Total.

事業成績地方別

Insurance Business by Prefectures

(續)

(Continued)

昭和七年度 19 2-33

Table with columns for Revival of Contracts (件数, 保険料, 保険金額), Decrease from other Causes (件数, 保険料, 保険金額), and Contracts in Force at the End of the Fiscal Year (件数, 保険料, 保険金額).

被保險者職業別

Classification of Number of Policies by Occupations of the Insured

昭和七年度末
March 31, 1932-33

Table with columns for Direction of communications (Tokyo, Nagoya, Osaka, Hiroshima, Kumamoto, Sendai, Sapporo, Kwantung Province, Manchuria, Saghalien, Formosa) and Total. Rows include Agriculture, Aquatic Products Industry, Mining Industry, Manufacturing Industry, Commerce, Transportation Industry, Civil Services & Liberal Professions, Domestic works, Other Industries, No Industry, and Unknown.

備考 一、本表ハ正式ノ調査ニ依ラス次ノ簡便法ニ據リタリ。即チ昭和七年度末成人保險現在契約ノ保險證書末尾ニ五百二番ノ編號ヲ有スル契約ノ被保險者又ハ其扶養者ノ職業ヲ當該契約受持局ニ於テ實地調査シタルモノニ基キ各通信局別ニ是等ノ産業別割合ヲ求メ之ヲ現在契約件數ニ乘シ算出シタリ。

二、南洋ハ契約件數僅少ナルト調査困難ノタメ掲記セズ。三、本表ハ大體ニ於テ昭和五年内閣訓令第三號ノ産業分類ニ依レリ唯同分類ト異ナル點ハ有業者ノ家族ニシテ業ヲ有セザル者ハ同分類ニ於テハ無業者中ニ包含セシメ本調査ノ前同調査ト比較ニ便スルニテ是等ヲ各産業ニ組入レ掲ケテシテ其ノ組入數ハ括弧ヲ付シタル再掲ニシテ之ヲ明ニスルコトセリ。但シ無業(所屬産業ナキモノ)ニ於ケル再掲ハ家族ノ契約件數ヲ示ス。

四、内閣訓令第三號ノ産業分類ハ前同以前ノ職業分類ト前記無業者以外ニモ多少ノ差異ナキニ非ス例ハ通信業ハ前同以前ニ於テハ交通業ニ算入シタルニ反シ本調査ノ産業分類ニ於テハ之ヲ公務自由業ニ算入シタルカ如シ

Notes: I. The above tabulation was made, not by the regular process, but by the Method of Sampling as mentioned below:- (A) About 1/1000 sample Policies of all were taken, by selecting those having the figures 502 at the end of their Policy number. After these had been classified according to the items given in the table, the percentages to the total were calculated and the results were multiplied by 17,043,000 or the number of policies in force, and rounded. (B) Industries of the insured or their supporters were ascertained by the post offices which had charge of those selected policies. II. The classification of the Industries in the above table is, on the whole, made in accordance with the Classification instructed by the Government in the year 1930; yet what is differing from the latter is that, for comparison with the previous Investigation, the classification is made according to the Industries to which the insured are belonging, no matter whether they are practically engaged or not engaged in any industries, while, in the latter Classification, the families who have no occupation are classified as "No Industry" though they belong to any Industries according to their supporters' or housekeepers'; the figures in the parentheses indicate aside the policies of which the insured have no occupation but are belonging to some industries. III. On comparing the said Government Classification of Industries with the Classification of Occupations which was being adopted up to the previous Investigation, some difference other than those cited in the preceding section may also be found; for instance, the Communication Services which were grouped as Transport and Communication Services according to the latter Classification are separated and included in the Civil Services and Liberal Professions according to the former Classification.

第三章 審査立會

Section 3. Meeting of Investigation

審査會ノ審査

保險契約者及保險金受取人カ簡易生命保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シ民事訴訟ヲ提起セムトスルキハ簡易生命保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要スルモノトス

審査會ノ審査狀況

本年度中ニ於テ審査會ノ審査ヲ請求シ來リタル數ハ二件ナリシカ何レモ裁決前ニ於テ請求取下ヲ爲セリ

第四章 積立金ノ運用

Section 4. Investment of the Fund

積立金ノ運用範圍

積立金ハ逓信大臣ノ管理ニ屬シ保險契約者ニ貸付ヲ爲ス場合ヲ除クノ外簡易生命保險積立金運用委員會ニ諮問シ公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スルモノトス

積立金ノ運用狀況

積立金ハ主トシテ社會公共事業ニ對シ貸付スルコトトシ本年度ニ於テハ共同宿泊所、簡易食堂、公益市場、實費診療事業、産院、公立結核療養所、公設職業紹介所、公設質屋、公設託兒所、公益浴場、授産及職業輔導事業、隣保事業、自作農創設維持、地方改善地區整理、就職旅費貸付資金及日傭労働者賃銀立替資金、小額生業資金、住宅、傳染病院、衛生試験所、細菌検査所、下水道、汚物掃除施設、公設火葬場、小口産業資金、産業共同施設、公營兒童保健施設、公營体育施設、小學校、實業補習學校、上水道、公設屠場、公立病院、水利事業、公設防火設備、道路、農村電氣事業、河川改修事業、港灣修築事業、公營共同墓地、公立圖書館、耕地整理事業、北海道土功組合事業、市町村廳舎、公會堂、三等郵便局舎、國內移住獎勵補助資金、公立中等學校、公營自動車事業等四十八種ノ事業ヲ選擇シ中産以下薄資者階級ノ福祉ノ増進、保健衛生、教育及農漁山村ノ振興等諸施設ニ對シ貸付ヲ行ヘリ而シテ積立金中貸付ニ至ラサルモノハ公債其ノ他確實ナル社債ニ投資シツツアルガ其ノ貸付狀況及年度末現在ニ於ケル運用狀況ヲ示セハ次表ノ如シ

積立金貸付狀況
Statement for the Loans of the Insurance Fund

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of:—	昭和 七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正 十四年度
		1933	1932	1931	1930	1929	1928	1927	1926
共 同 宿 泊 所 Loans for Establishment of Free Lodging Houses.	円	571,561	599,584	624,952	643,202	666,754	539,548	557,725	410,000
簡 易 食 堂 Loans for Establishment of Popular Restaurants.	円	133,668	141,248	147,582	157,664	164,496	304,004	186,709	146,050
公 益 市 場 Loans for Establishment of Public Retail Markets.	円	5,274,586	5,136,193	5,369,456	5,510,167	3,866,517	3,972,419	3,366,585	2,608,832
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	37,593	54,665	58,758	36,595	39,200	-	-	-
商 業 共 同 施 設 Loans for Services for Lowering Cost of Living.	円	23,297	24,336	4,514	4,684	878,297	3,052	16,000	18,200
實 費 診 療 事 業 Loans for Establishment of Dispensaries.	円	2,356,453	2,438,280	2,305,582	2,167,377	1,476,122	954,365	854,485	638,748
産 院 Loans for Establishment of Maternity Hospitals.	円	248,304	252,184	255,881	243,966	56,911	59,720	62,401	67,400
公 立 結 核 療 養 所 Loans for Establishment of Public Sanatorium.	円	941,557	1,099,182	271,910	291,503	41,243	49,486	-	-
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	172,987	30,031	30,031	16,362	217,787	236,413	222,875	-
公 設 職 業 紹 介 所 Loans for Establishment of Labour Exchanges.	円	242,211	255,416	304,542	351,770	397,580	377,154	405,167	271,838
公 設 質 屋 Loans for Public Pawn-Shop Funds.	円	1,530,751	1,570,545	1,470,060	1,222,916	1,182,476	791,409	510,951	265,530
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	120,172	44,198	37,000	15,000	15,000	15,000	15,000	-
公 設 託 兒 所 Loans for Day Nurseries.	円	240,959	258,922	268,308	284,547	304,280	318,259	275,393	214,738
公 益 浴 場 Loans for Establishment of Public Utility Bathing Houses.	円	101,030	95,227	101,263	114,565	107,311	119,676	129,549	101,986
授 産 及 職 業 補 導 事 業 Loans for Giving Employment and Vocational Training Works.	円	7,727	8,718	9,664	10,565	-	-	-	-
自 作 農 創 設 維 持 Loans for Creation and Maintenance of Peasant Proprietorship.	円	97,407,642	85,068,173	72,993,015	57,800,932	44,710,522	30,829,723	19,659,997	8,932,415
地 方 改 善 地 區 整 理 Loans for Local Districts Improvement and Boundary Adjustment Services.	円	1,594,312	1,620,648	598,796	441,151	463,899	468,416	284,000	154,000

積立金貸付狀況 (續)
Statement for the Loans of the Insurance Fund (Continued)

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of:—	昭和 七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正 十四年度
		1933	1932	1931	1930	1929	1928	1927	1926
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	-	4,261	4,261	8,836	24,549	30,000	30,000	-
就 職 旅 費 及 日 傭 勞 働 者 賃 金 立 替 Loans for Travelling Expenses for Employment and Advances for Day- Labourers' Wages.	円	4,180	504,600	505,000	505,000	500,000	500,000	-	-
小 額 生 業 資 金 Loans for Petty Funds for means of Livelihood	円	139,185	140,085	127,915	114,816	19,764	-	-	-
住 宅 Loans for Supply of Public Dwelling Houses.	円	9,390,534	10,009,401	10,752,860	11,127,776	11,913,561	12,459,351	12,789,331	10,501,152
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	10,338	11,985	13,025	13,512	14,447	15,196	16,500	-
傳 染 病 院 Loans for Establishment of Isolation Hospitals.	円	2,827,729	2,921,332	3,095,918	2,705,373	2,231,852	1,396,391	968,391	561,012
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	453,578	494,587	549,452	577,429	601,769	553,928	306,900	-
下 水 道 Loans for Construction of Sewage Works	円	12,951,452	12,120,728	11,256,492	9,450,135	6,966,618	4,660,011	717,207	364,000
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	8,524,231	8,933,587	9,053,517	8,832,250	9,020,716	7,404,833	2,297,835	1,260,000
汚 物 掃 除 施 設 Loans for Garbage-Disposition Establishments.	円	1,477,951	1,321,748	1,215,470	1,154,530	722,058	160,500	-	-
農 業 共 同 施 設 Loans for Cooperative Undertaking of Agricultural Industry	円	2,127,529	2,113,861	2,300,863	2,155,731	2,314,445	1,822,757	1,228,945	616,596
公 設 火 葬 場 Loans for Establishment of Public Crematoria.	円	272,847	205,235	193,257	202,785	86,500	-	-	-
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	50,255	10,218	11,930	11,800	-	-	-	-
小 學 校 Loans for Building of Primary Schools.	円	33,886,447	36,589,071	41,781,120	42,130,534	43,170,107	34,105,324	25,917,883	14,586,585
同 上 舊 債 償 還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	3,316,921	3,928,192	4,477,763	4,518,326	4,957,166	5,003,639	3,908,218	1,222,400
實 業 補 習 學 校 Loans for Establishment of Technical Continuation Schools.	円	48,666	28,837	36,800	50,680	99,359	126,916	23,833	8,233

積立金貸付状況 (續)
Statement for the Loans of the Insurance Fund (Continued)

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of—	昭和 七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正 十四年度
		1933	1932	1931	1930	1929	1928	1927	1926
公立病院 Loans for Establishment of Public Hospitals.	円	523,749	509,826	562,046	598,164	587,611	430,338	203,835	50,000
同上 舊債償還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise	円	196,029	117,590	65,231	117,106	137,729	161,409	60,000	-
水道 Loans for Service Water-Supply Works.	円	33,914,413	32,101,736	27,592,835	22,280,618	13,705,970	14,988,077	10,373,085	6,197,333
同上 舊債償還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	18,724,771	19,594,863	16,254,453	10,517,817	4,870,079	4,076,625	1,720,392	500,000
水産共同施設 Loans for Establishment of Cooperative Plants for Aquatic Industry.	円	1,339,670	1,219,122	1,180,489	1,149,913	1,120,726	243,867	73,000	-
耕地整理事業 Loans for Readjustment Works of Arable Lands.	円	70,161	132,125	313,211	477,330	220,197	-	-	-
同上 舊債償還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	15,056	111,728	42,784	34,098	163,271	124,900	-	-
水利事業 Loans for Water-Utilization Works.	円	115,886	181,347	130,662	83,800	-	-	-	-
市町村廳舎 Loans for Establishment of City, Town and Village Offices.	円	404,822	316,900	334,063	361,933	154,776	49,400	-	-
同上 舊債償還 Loans for the Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	2,443	2,962	3,449	-	-	-	-	-
三等郵便局 Loans for Building 3rd. Class Post Offices.	円	87,359	91,443	91,310	94,942	67,394	-	-	-
道路 Loans for Construction of Public Roads.	円	1,727,041	585,659	1,141,533	681,924	76,700	-	-	-
同上 舊債償還 Loans for Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	249,472	202,684	39,407	40,200	19,000	-	-	-
公立中等學校 Loans for Building Public Middle-Schools.	円	376,935	294,088	319,123	303,760	102,500	-	-	-
同上 舊債償還 Loans for Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	142,320	191,615	162,481	223,488	200,100	-	-	-
公營自動車事業 Loans for Public Traffic Works by Motor Cars.	円	59,712	63,359	70,000	-	-	-	-	-
農村電氣事業 Loans for Electrification Works in the Agricultural Districts.	円	930,207	207,464	213,422	230,000	-	-	-	-
同上 舊債償還 Loans for Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	166,681	203,429	101,300	-	-	-	-	-
小口産業資金 Loans for Industries on Small Scale.	円	933,324	578,048	80,000	-	-	-	-	-

積立金貸付状況 (續)
Statement for the Loans of the Insurance Fund (Continued)

貸付種別 Classification.	年度末 At the 31st March of—	昭和 七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	元年度	大正 十四年度
		1933	1932	1931	1930	1929	1928	1927	1926
公會堂舊債償還 Loans for Redemption Fund of Old Debts borne in Building Public Halls.	円	15,887	20,540	24,905	-	-	-	-	-
畜産共同施設 Loans for Cooperative Improvement and Promotion Works for Producing the Live-Stock.	円	42,433	27,900	-	-	-	-	-	-
公設防火設備 Loans for Fire-Proof Equipment.	円	38,169	39,372	-	-	-	-	-	-
林業共同施設舊債償還 Loans for Redemption Fund of Old Debts on the Cooperative Measures of the Forestry Industry.	円	5,777	9,300	-	-	-	-	-	-
工業共同施設 Loans for Cooperative Improvement and Promotion Works of Manufacturing Industry.	円	31,869	31,869	-	-	-	-	-	-
河川改修 Loans for Rivers Improvement Works.	円	422,041	231,500	-	-	-	-	-	-
港灣修築事業 Loans for Harbour Improvement Works	円	165,797	-	-	-	-	-	-	-
同上 舊債償還 Loans for Redemption Fund of Old Debts on the Preceding Enterprise.	円	469,300	-	-	-	-	-	-	-
公設屠場 Loans for Establishment of Public Butcheries	円	64,000	-	-	-	-	-	-	-
計 Total.	円	247,721,136	235,101,747	218,948,761	190,067,572	158,657,359	127,352,106	87,182,192	49,697,048
契約者貸付 Loans on Policies.	円	85,452,269	67,871,575	50,046,822	32,791,655	20,480,719	12,667,737	6,772,855	3,032,423
合 計 Grand Total.	円	333,173,405	302,973,322	268,995,583	222,859,227	179,138,078	140,019,843	93,955,047	52,729,471

積立金運用状況
Condition of Investment of the Insurance Fund

昭和七年度末現在
As at March 31, 1933

種別 Kind of Investments	金額 Amount
公共貸付額 Loans for Public Welfare Enterprises.	249,238,226
帝國政府公債證券放資額 National Bonds.	105,700,088
其ノ他ノ有價證券放資額 Other Securities.	142,200,252
保險契約者ニ對スル貸付額 Loans on Policies.	85,452,269
預金部預金額 Deposit at the Deposit Section of Treasury.	74,245,436
現金 Cash	1,121,700
計 Total	657,957,971

備考 一、昭和七年度末積立金總額ハ 759,896,198円76銭 ナルモ右ハ同年度收支決算ノ關係上昭和八年五月末ニ於テ始メテ積立金トシテ運用シ得ルニ至ルモノナルヲ以テ本表ニハ便宜昭和六年度末積立金ニ依リ之ヲ計上セリ。
二、本表中「公共貸付額」ノ大部分ハ地方自治團體ニ對スル貸付ナリ。
Note:— 1. The total amount of the fund at the end of the Present fiscal year, i.e., the year ending 31 March 1933 is 759,896,198 yen 76 sen which sum, however, does not appear in the above table; the reason is that as the settlement of the account of the Treasury is usually completed in May of next fiscal years, the amount to be available as investment up to the end of the present fiscal year is applied with that at the end of the preceding fiscal year.
2. The most part of the above-mentioned Loans for public Welfare Enterprises is advanced on loan to the Local Self-Governments.

積立金府縣別貸付状況
Loans of the Insurance Fund, Specifying Prefectures

昭和七年度末現在
As at March 31, 1933

通信局 Direction of Communications	府縣 Prefectures	貸付金額 Amt. of Loans Given
札幌 Sapporo	北海道 Hokkaido	10,332,783.22
	青森 Aomori	2,359,161.17
	岩手 Iwate	2,363,088.02
	宮城 Miyagi	6,233,476.97
	秋田 Akita	3,358,547.65
	仙臺 Sendai	3,245,460.44
	福山 Yamagata	4,204,026.48
	新潟 Niigata	6,611,894.97
	計 Total	28,375,655.70
	東京 Tokyo	茨城 Ibaraki
栃木 Totigi		3,125,659.15
群馬 Gunma		5,761,757.81
埼玉 Saitama		2,637,078.03
千葉 Tiba		2,690,348.57
東京 Tokyo		54,009,314.55
神奈川 Kanagawa		9,263,413.68
山梨 Yamanasi		2,203,555.53
静岡 Siduoka		5,459,328.96
計 Total		88,767,864.11
名古屋 Nagoya	富山 Toyama	2,669,009.42
	石川 Isikawa	1,896,851.19
	福井 Hukui	2,374,443.80
	長野 Nagano	4,180,906.86
	岐阜 Gibu	4,480,639.05
	愛知 Aiti	10,921,835.60
	三重 Mie	4,284,392.04
計 Total	30,808,077.96	